



2014

教育要項

(看護学科)

香川大学医学部

目 次

香川大学医学部の基本理念・教育目標・人材養成上の目的	(1)
香川大学医学部履修要項	(2)
香川大学医学部看護学科3年次編入学生の既修得単位及び在学期間の通算等の取扱いに関する要項	(20)
香川大学医学部開設科目に係る欠席取扱い申合せ	(24)
附属病院における実習中の学生の針刺し等汚染事故発生時の対応について	(32)
平成26年度 看護学科行事予定表	(34)
平成26年度 授業時間割表(1～4年次生用)	(36)

1 年次生対象授業科目

形態・生理学A(生命維持の基本構造)	2
形態・生理学B(環境適応と行動)	4
生化学	6
分子生物学・栄養学	7
薬剤療養学	8
看護学概論	9
看護理論	11
基本援助技術論	12
基礎看護学早期体験実習	15
成人看護学概論	16
母性看護学概論	18
ボランティア活動	20
国際交流活動	21

2 年次生対象授業科目

微生物学A(細菌学・真菌学)	24
微生物学B(ウイルス学・原虫学)	25
免疫学	26
機能再生医療学	27
看護と法規	28
社会福祉・社会保障論	29
看護統計論	30
基礎看護方法論	31
生活援助技術論	33
基礎看護技術論	37
基礎看護学実習	40

成人疾病論	41
成人慢性期援助論	44
成人急性期援助論	46
成人リハビリテーション期援助論	48
成人終末期援助論	50
老年看護学概論	52
老年疾病論	54
老年援助論	55
小児看護学概論	57
小児疾病論	59
小児保健対象論	60
小児援助論	62
母性疾病論	64
精神看護学概論	66
精神疾病論	68
精神援助論	69
在宅看護学概論	70
家族看護学	72
公衆衛生学	74
公衆衛生看護学概論	76
看護とコミュニケーション	78
ボランティア活動	79
国際交流活動	80
Communicative English III N(1) (2) (3)	81

3 年次生対象授業科目

疫学	86
保健医療福祉行政論	87
公衆衛生統計論	89
成人看護学演習	91
成人看護学基本実習	93
母性保健対象論	95
母性援助論	97
在宅援助論	99
公衆衛生看護対象論	100
コミュニティアセスメント論	102
健康教育論	104
学校保健 I	106
看護と国際社会	107
看護クリティカルシンキング	109

看護倫理	111
看護研究基礎論	112
養護原論	114
Communicative English IV N(1)(2)(3)	116
上級英語(Advanced English)I(2)	119
上級英語(Advanced English)II(2)	120

4 年次生対象授業科目

地域看護管理論	122
地域看護学実習	123
看護マネジメント学	125
統合実習	126
養護実習	127

3～4 年次生対象授業科目

成人看護学急性期・リハビリテーション期実習	130
成人慢性期・終末期実習	132
成人看護学継続看護実習	133
老年生活援助実習	135
老年看護学実習	136
小児看護学実習	137
母性看護学実習	138
在宅看護学実習	139
精神看護学実習	140
看護研究	141

年間時間割カレンダー

1 年次生	145
2 年次生	149
3 年次生	164
4 年次生	180

香川大学医学部の基本理念

- 1 世界に通ずる医学及び看護学の教育研究を目指す。
- 2 人間性の豊かな医療人並びに医学及び看護学の研究者を養成する。
- 3 医学及び看護学の進歩並びに人類の福祉に貢献すると共に地域医療の充実発展に寄与する。

教 育 目 標

- 1 看護の対象である人間としての権利と自由を尊重し、思考力、判断力、行動力を高めることができる能力を養う。
- 2 看護の問題を総合的に判断し、解決できる基本的な知識及び看護実践能力を養う。
- 3 生涯を通じて自己啓発し、看護を批判的に分析し、建設的・創造的に発展させることができる基礎的能力を養う。
- 4 看護活動を通して教育、研究、管理を担い、及び国際貢献ができる能力を養う。

人 材 養 成 上 の 目 的

- 1 生命の尊重を基本として、人間に対する高い倫理性と深い思索力をもった看護職者を育成する。
- 2 保健・医療・福祉の進展に柔軟に対応できる科学的判断力と専門技術を備えた看護職者を育成する。
- 3 幅広い視野を持ち、地域保健医療や国際貢献の発展に寄与する看護職者を育成する。

香川大学医学部履修要項

(趣旨)

第1 この要項は、香川大学学則(以下「学則」という。)、香川大学医学部規程及び香川大学追試験及び再試験に関する規則に定めるもののほか、履修に関し必要な事項を定める。

(授業科目等)

第2 開設する授業科目、単位数及び履修年次は、医学科にあつては別表1、看護学科にあつては別表2のとおりとする。ただし、必要がある場合には教授会の議を経て、各年次配当及び単位数を変更することがある。

(授業科目の履修)

第3 授業科目は、原則として別表1及び別表2に定める年次配当順に履修するものとする。

2 学生は、別表1又は別表2に掲げる授業科目を履修しようとするときは、履修届を所定の期日までに総務課学務室(以下「学務室」という。)に提出しなければならない。

3 前項の履修届を提出したのち、履修すべき授業科目の変更又は取消しをする場合は、履修科目変更(取消)届を所定の期日までに学務室に提出しなければならない。

4 医学科の学生は、臨床実習開始前の学生評価のための共用試験(CBT及びOSCE)(以下「共用試験」という。)に合格し、一般社団法人全国医学部長病院長会議からStudent Doctorに認定されなければ、医学実習Ⅰ及び医学実習Ⅱを履修できない。

(単位の認定)

第4 履修した授業科目については、試験又はその他の審査を行い、合格した科目について所定の単位を認定する。また、2学年以上にまたがる科目については、それぞれ履修途中における学年末に履修段階判定を行うことがある。

(試験)

第5 試験は、定期試験、追試験及び再試験とする。

2 定期試験は、原則として学期末に一定の期間を定めて行う。

3 追試験は、定期試験終了後に、再試験は、定期試験及び追試験終了後に期間を定めて行う。

4 前2項に定める試験のほか、担当教員は学習成果の評価を随時に行うことができる。

5 医学科の学生は、学部開設科目の講義については時間数の3分の2以上、実験及び実習については原則としてすべて出席しなければその授業科目の試験を受けることができない。

6 看護学科の学生は、学部開設科目の講義及び演習については3分の2以上、臨地実習については5分の4以上出席しなければその授業科目の試験を受けることができない。

7 次の各号のいずれかの事由により定期試験に欠席した者に対しては、追試験を行う。

- (1) 天災その他の非常災害(事由書添付)
- (2) 交通機関の突発事故(事由書添付)
- (3) 負傷又は疾病(医師の診断書添付)
- (4) 3親等内の親族の死亡による忌引き(事由書添付)
- (5) 就職試験の受験(事由書添付)
- (6) その他医学部長が相当と認める事由(事由書添付)

8 前項による追試験の許可を受けようとする者は、欠席した試験が行われた日の翌日から起算して7日以内に、前項各号に掲げる書類を添えて医学部長に願い出なければならない。

9 再試験は、定期試験又は追試験を受験し、不合格になった場合、願い出により科目担当教員の承認

を得て受けることができる。

(成績の評価)

第6 成績の評価は、次表のとおりの評点及び評語をもって表し、秀、優、良又は可を合格、不可を不合格とする。

評点	評語
90 点以上	秀
80 点以上 90 点未満	優
70 点以上 80 点未満	良
60 点以上 70 点未満	可
60 点未満	不可

ただし、医学実習Ⅱ、課題実習、早期医学実習、国際交流活動はこれらの評点及び評語によらず合格のときは了と評価することができる。

2 再試験の評価は、可を限度とする。

3 2か年以上の年次にわたって開講する科目については、その途中の各年次ごとに合又は否の履修段階判定を行うことができる。

(医学科の履修段階判定及び進級判定)

第7 1年次末において、当該年次に履修すべき授業科目等に不合格となった授業科目がある場合は、2年次に進級できない。

ただし、不合格科目が全学共通科目のみのときは進級できる。

2 2年次末において、当該年次に履修すべき授業科目等に不合格又は否となった授業科目がある場合は、3年次に進級できない。

ただし、不合格科目が全学共通科目のみのときは進級できる。

3 3年次末において、当該年次に履修すべき授業科目等に不合格又は否となった授業科目がある場合は、4年次に進級できない。

ただし、不合格科目が全学共通科目のみのときは進級できる。

4 4年次末において、当該年次に履修すべき授業科目等に不合格若しくは否となった授業科目がある場合、又は共用試験に不合格となった場合は、5年次に進級できない。全学共通科目についても、所定の単位以上修得していない場合は進級できない。

5 5年次末において、当該年次に履修すべき授業科目等に不合格若しくは否となった授業科目がある場合は、6年次に進級できない。

(看護学科の進級判定)

第8 各学年次末において、該当学年次末までに履修しなければならない必修科目について、不合格となった授業科目がある場合は進級できない。

ただし、1年次末において、全学共通科目は進級判定から除くものとし、2年次末までに修得しなければならない。

2 3年次末において、1年次から3年次までに履修しなければならない選択科目について、所定の単位以上修得していない場合は進級できない。

3 3年次編入学生については、前2項の規定は適用しない。

(成績の認定)

第9 成績の総合認定は、教授会において審議する。

(再履修)

第10 1、2、3、4、5年次に留め置かれた場合は、不合格又は否となった授業科目(実習を含む。)を再履修するものとする。ただし、選択科目については該当する授業科目のうちから再履修するものとする。

2 前項の再履修の方法は、担当教員の指示による。

(聴講)

第11 既に合格となった授業科目の聴講を希望する者は、当該授業科目担当教員に聴講願を出して、許可を得た上で講義を聴講することができる。

なお、聴講できる授業科目は、聴講する学生の該当する学年次以下において開講されている授業科目とする。

(試験における不正行為)

第12 試験において不正行為があったときは、教授会の議を経て次のとおり措置する。

(1) 不正行為があった学期のすべての授業科目の成績を無効とし、原級に留め置く。

(2) 不正行為について反省が認められない場合は、(1)の措置に加えて、学則第84条により懲戒する。

(その他)

第13 その他この履修要項の定めにより処理し難い事項及び不合理な事例が生じた場合は、学務委員会の議を経て処理する。

附 則

1 この要項は、平成16年4月1日から施行する。

2 平成15年9月30日に香川医科大学(以下「旧香川医科大学」という。)に在学し、かつ平成16年3月31日に旧香川医科大学に在学する者(以下「在学者」という。)及び在学者の属する年次に編入学等する者が在学しなくなるまでの間、旧香川医科大学を卒業するために必要とされる教育課程その他教育に必要な事項は、旧香川医科大学の医学部規程その他の規程等の定めるところによる。

附 則

この要項は、平成17年3月1日から施行する。ただし、改正後の要項第14及び別表1については、平成17年4月1日から施行する。

附 則

この要項は、平成18年4月1日から施行する。

附 則

この要項は、平成19年4月1日から施行する。

附 則

この要項は、平成20年4月1日から施行する。

附 則

この要項は、平成21年4月1日から施行する。ただし、平成21年3月31日以前に入学した学生については、なお従前の例による。

附 則

この要項は、平成21年10月21日から施行する。

附 則

この要項は、平成23年4月1日から施行する。

附 則

この要項は、平成24年4月1日から施行する。ただし、平成23年3月31日以前に入学した学生については、なお従前の例による。

附 則

この要項は、平成24年4月1日から施行する。

附 則

この要項は、平成25年4月1日から施行する。ただし、平成25年3月31日以前に入学した学生については、なお従前の例による。

附 則

この要項は、平成26年4月1日から施行する。ただし、平成26年3月31日以前に入学した学生については、なお従前の例による。

別表2 (平成25年度～)

授業科目等		単位数			履修年次				備考		
		必修	選択	自由	1年次	2年次	3年次	4年次			
全学 共通 科目	主題科目A	2			2				2単位修得	16単位 以上修得	28単位 以上修得
	主題科目B		6		6				6単位以上修得		
	学問基礎科目		8		8				8単位以上修得		
	コミュニケーション科目	大学入門ゼミ	2			2				2単位修得	
		情報リテラシー	2			2				2単位修得	
		既修外国語(英語)	6			4	1	1		6単位修得	
		初修外国語			2	2					
	健康・スポーツ実技	2			2				2単位修得		
専 門 基 礎 科 学	基礎・臨床科学	形態・生理学A(生命維持の基本構造)	2			2				15単位以上修得 (選択1単位含む)	
		形態・生理学B(環境適応と行動)	2			2					
		生化学	2			2					
		分子生物学・栄養学	2			2					
		微生物学A(細菌学・原虫学)	2				2				
		微生物学B(ウイルス学・真菌学)	2				2				
		薬剤療養学	2			2					
		免疫学		1			1				
	機能再生医療学		1			1					
	社会保健学	看護と法規	2				2				5単位修得
社会福祉・社会保障論		2				2					
看護統計論		1				1					
基 礎 看 護 学	基礎看護学	看護学概論	1			1				12単位修得	
		看護理論	1			1					
		基礎看護方法論	1				1				
		基本援助技術論	2			2					
		生活援助技術論	2				2				
		基礎看護技術論	2				2				
		基礎看護学早期体験実習	1			1					
		基礎看護学実習	2				2				

授 業 科 目 等		単 位 数			履 修 年 次				備 考
		必 修	選 択	自 由	1 年 次	2 年 次	3 年 次	4 年 次	
生 涯	成人看護学	成人看護学概論	1			1			14 単位修得
		成人疾病論	2				2		
		成人慢性期援助論	1				1		
		成人急性期援助論	1				1		
		成人リハビリテーション期援助論	1				1		
		成人終末期援助論	1				1		
		成人看護学演習	1					1	
		成人看護学基本実習	1					1	
		成人急性期・リハビリテーション期看護実習	2					2	
		成人慢性期・終末期看護実習	2					2	
		成人看護学継続看護実習	1					1	
発 達	老年看護学	老年看護学概論	2			2		8 単位修得	
		老年疾病論	1			1			
		老年援助論	1				1		
		老年生活援助実習	2						2
		老年看護学実習	2						2
看 護	小児看護学	小児看護学概論	1			1		6 単位修得	
		小児疾病論	1			1			
		小児保健対象論	1			1			
		小児援助論	1			1			
		小児看護学実習	2						2
学	母性看護学	母性看護学概論	1		1			6 単位修得	
		母性疾病論	1			1			
		母性保健対象論	1				1		
		母性援助論	1				1		
		母性看護学実習	2						2
精 神	精神看護学	精神看護学概論	2			2		6 単位修得	
		精神疾病論	1			1			
		精神援助論	1			1			
		精神看護学実習	2						2

授 業 科 目 等		単 位 数			履 修 年 次				備 考	
		必 修	選 択	自 由	1 年 次	2 年 次	3 年 次	4 年 次		
地域生活看護学	在宅看護学	在宅看護学概論	2			2			6 単位修得	
		在宅援助論	1				1			
		家族看護学	1			1				
		在宅看護学実習	2				2			
	地域看護学	公衆衛生学	1			1			3 単位修得	
		公衆衛生看護学概論	2			2				
統合実践看護学	統合実践看護学	看護とコミュニケーション	1			1			15 単位修得	
		ヘルスアセスメント	1				1			
		看護と国際社会	1				1			
		看護マネジメント学	2					2		
		看護クリティカルシンキング	1				1			
		看護研究基礎論	2				2			
		看護研究	2					2		
		看護倫理	2				2			
		救急・災害看護	1					1		
		ボランティア活動			1	1				
		国際交流活動			1	1				
		統合実習	2							2
看護探究科目	高度実践看護学	臨床高度実践技術論			2			2		
		クリティカルケア看護論			2			2		
	がん・緩和ケア看護学	がん・緩和ケア論			2			2		
		スピリチュアルケア論			1			1		

授 業 科 目 等		単 位 数			履 修 年 次				備 考
		必 修	選 択	自 由	1 年 次	2 年 次	3 年 次	4 年 次	
地域生活看護学 (保健師課程)	公衆衛生看護学			2			2		保健師課程を選択の学生は、25 単位修得すること。
				2			2		
				2			2		
				1			1		
				1			1		
				1			1		
				2				2	
				1				1	
				1				1	
				1			1		
				2				2	
				2				2	
				1				1	
				1				1	
				2				2	
		3				3			
教職科目				1			1	その他、教職に必要な科目は教育学部で開設している科目を履修すること	
			1			1			
			1				1		
			2				2		
			4				4		
計		109	16	45	170			124 単位以上修得	

(平成24年度～)

授 業 科 目 等		単 位 数			履 修 年 次				備 考		
		必 修	選 択	自 由	1 年 次	2 年 次	3 年 次	4 年 次			
全 学 共 通 科 目	主題科目 A	2			2				2 単位修得	16 単位 以上修 得	28 単位 以上修 得
	主題科目 B		6		6				6 単位以上修得		
	学問基礎科目		8		8				8 単位以上修得		
	コミュニケーション科目	大学入門ゼミ	2			2				2 単位修得	
		情報リテラシー	2			2				2 単位修得	
		既修外国語 (英語)	6			4	1	1		6 単位修得	
		初修外国語			2	2					
	健康・スポーツ実技	2			2				2 単位修得		
専 門 基 礎 科 学	基礎・臨床科学	形態・生理学 A (生命維持の基本構造)	2			2				15 単位以上修得 (選択 1 単位含む)	
		形態・生理学 B (環境適応と行動)	2			2					
		生化学	2			2					
		分子生物学・栄養学	2			2					
		微生物学 A (細菌学・原虫学)	2				2				
		微生物学 B (ウイルス学・真菌学)	2				2				
		薬剤療養学	2			2					
		免疫学		1			1				
	機能再生医療学		1			1					
	社会保健学	看護と法規	2				2				5 単位修得
		社会福祉・社会保障論	2				2				
		看護統計論	1				1				
	基礎看護学	基礎看護学	看護学概論	1			1				12 単位修得
看護理論			1			1					
基礎看護方法論			1				1				
基本援助技術論			2			2					
生活援助技術論			2				2				
基礎看護技術論			2				2				
基礎看護学早期体験実習			1			1					
基礎看護学実習	2				2						

授 業 科 目 等		単 位 数			履 修 年 次				備 考
		必 修	選 択	自 由	1 年 次	2 年 次	3 年 次	4 年 次	
生 涯	成人看護学	成人看護学概論	1			1			14 単位修得
		成人疾病論	2				2		
		成人慢性期援助論	1				1		
		成人急性期援助論	1				1		
		成人リハビリテーション期援助論	1				1		
		成人終末期援助論	1				1		
		成人看護学演習	1					1	
		成人看護学基本実習	1					1	
		成人急性期・リハビリテーション期看護実習	2					2	
		成人慢性期・終末期看護実習	2					2	
		成人看護学継続看護実習	1					1	
発 達	老年看護学	老年看護学概論	2			2		8 単位修得	
		老年疾病論	1			1			
		老年援助論	1				1		
		老年生活援助実習	2						2
		老年看護学実習	2						2
看 護	小児看護学	小児看護学概論	1			1		6 単位修得	
		小児疾病論	1			1			
		小児保健対象論	1			1			
		小児援助論	1			1			
		小児看護学実習	2						2
学	母性看護学	母性看護学概論	1		1			6 単位修得	
		母性疾病論	1			1			
		母性保健対象論	1				1		
		母性援助論	1				1		
		母性看護学実習	2						2
精 神	精神看護学	精神看護学概論	2			2		6 単位修得	
		精神疾病論	1			1			
		精神援助論	1			1			
		精神看護学実習	2						2

授 業 科 目 等		単 位 数			履 修 年 次				備 考	
		必 修	選 択	自 由	1 年 次	2 年 次	3 年 次	4 年 次		
地域生活看護学	在宅看護学	在宅看護学概論	2			2			6 単位修得	
		在宅援助論	1				1			
		家族看護学	1			1				
		在宅看護学実習	2				2			
	地域看護学	公衆衛生学	1			1			3 単位修得	
		公衆衛生看護学概論	2			2				
統合実践看護学	統合実践看護学	看護とコミュニケーション	1			1			15 単位修得	
		ヘルスアセスメント	1				1			
		看護と国際社会	1				1			
		看護マネジメント学	2					2		
		看護クリティカルシンキング	1				1			
		看護研究基礎論	2				2			
		看護研究	2					2		
		看護倫理	2				2			
		救急・災害看護	1					1		
		ボランティア活動			1	1				
		国際交流活動			1	1				
		統合実習	2							2
看護探究科目	高度実践看護学	臨床高度実践技術論			2			2		
		クリティカルケア看護論			2			2		
	がん・緩和ケア看護学	がん・緩和ケア論			2			2		
		スピリチュアルケア論			1			1		

授 業 科 目 等		単 位 数			履 修 年 次				備 考
		必 修	選 択	自 由	1 年 次	2 年 次	3 年 次	4 年 次	
地域生活看護学 (保健師課程)	公衆衛生看護学			2			2		保健師課程を選択の学生は、25 単位修得すること。
				2			2		
				2			2		
				1			1		
				1			1		
				1			1		
				2				2	
				1				1	
				1				1	
				1			1		
				2				2	
				2				2	
				1				1	
				1				1	
				2				2	
		3				3			
教職科目				1			1	その他、教職に必要な科目は教育学部で開設している科目を履修すること	
			1			1			
			1				1		
			4				4		
計		109	16	43	168			124 単位以上修得	

(平成23年度～)

授 業 科 目 等		単 位 数			履 修 年 次				備 考			
		必 修	選 択	自 由	1 年 次	2 年 次	3 年 次	4 年 次				
全 学 共 通 科 目	主題科目A	2			2				2 単位修得	20 単位 以上修 得	28 単位 以上修 得	
	主題科目B	6			6				6 単位以上修得			
	教養ゼミナール		2		2				選択			
	学問基礎科目			8		8						8 単位以上修得
		看護学	2			2						2 単位修得
	コミュニケーション科目	既修外国語（英語）	6			4	1	1				6 単位以上修得
		初修外国語			2	2						
健康・スポーツ実技		2			2				2 単位修得			
専 門 基 礎 科 学	基 礎 ・ 臨 床 科 学	形態・生理学A(生命維持の基本構造)	2			2				10 単位以上修得 (選択 1 単位含む)		
		形態・生理学B(環境適応と行動)	2			2						
		生化学	1			1						
		分子生物学・栄養学	1			1						
		微生物学A(細菌学・原虫学)	1				1					
		微生物学B(ウイルス学・真菌学)	1				1					
		薬剤療養学	1			1						
		免疫学		1			1					
	機能再生医療学		1			1						
	社 会 保 健 学	疫学	2					2		8 単位以上修得		
		公衆衛生学	1					1				
		保健政策論	2					2				
		看護と法規	1				1					
		社会福祉・社会保障論	1				1					
保健統計論		1					1					
基礎保健学			1	1								
基 礎 看 護 学	基 礎 看 護 学	看護学概論	1			1				12 単位修得		
		看護理論	1			1						
		基礎看護方法論	1				1					
		基本援助技術論	2			2						
		生活援助技術論	2				2					
		基礎看護技術論	2				2					
		基礎看護学早期体験実習	1			1						
		基礎看護学実習	2				2					

授 業 科 目 等		単 位 数			履 修 年 次				備 考
		必 修	選 択	自 由	1 年 次	2 年 次	3 年 次	4 年 次	
生 涯	成人看護学	成人看護学概論	1			1			14 単位修得
		成人疾病論	2				2		
		成人慢性期援助論	1				1		
		成人急性期援助論	1				1		
		成人リハビリテーション期援助論	1				1		
		成人終末期援助論	1				1		
		成人看護学演習	1					1	
		成人看護学基本実習	1					1	
		成人急性期・リハビリテーション期実習	2					2	
		成人慢性期・終末期実習	2					2	
	成人看護学継続看護実習	1					1		
発 達	老年看護学	老年看護学概論	2			2		8 単位修得	
		老年疾病論	1			1			
		老年援助論	1			1			
		認知症高齢者のケア			1		1		
		老年生活援助実習	2				2		
		老年看護学実習	2				2		
看 護 学	小児看護学	小児看護学概論	1			1		6 単位修得	
		小児疾病論	1			1			
		小児保健対象論	1			1			
		小児援助論	1			1			
		子どもを持つ家族の看護			1		1		
		小児看護学実習	2				2		
学	母性看護学	母性看護学概論	1			1		6 単位修得	
		母性疾病論	1			1			
		母性保健対象論	1				1		
		母性援助論	1				1		
		子どもが産まれる家族の看護			1		1		
		母性看護学実習	2				2		
精 神 看 護 学	精神看護学	精神看護学概論	2			2		6 単位修得	
		精神疾病論	1			1			
		精神援助論	1			1			
		精神障害者のリハビリテーション			1		1		
		精神看護学実習	2				2		

授 業 科 目 等			単 位 数			履 修 年 次				備 考	
			必 修	選 択	自 由	1 年 次	2 年 次	3 年 次	4 年 次		
在宅看護学	在宅看護学	在宅看護学概論	2				2			5 単位必修	
		在宅援助論	1					1			
		在宅看護学実習	2						2		
	地域生活看護学	地域看護学	地域看護学概論	2				2			14 単位必修
			地域看護対象論	1					1		
			地域援助論	2					2		
			地域ケースワーク論	1					1		
			産業保健・看護論	1					1		
			離島保健・看護論	1					1		
			学校保健Ⅰ	1					1		
地域看護管理論			1						1		
地域看護学実習	4						4				
統合実践看護学	統合実践看護学	看護入門セミナー			1	1				12 単位以上 (選択 1 単位含む)	
		看護とコミュニケーション	1				1				
		ヘルスアセスメント	1				1				
		家族看護学	1				1				
		看護と国際社会		1				1			
		看護マネジメント学	2						2		
		看護クリティカルシンキング		1				1			
		看護研究セミナー		1			1				
		看護研究基礎論	2					2			
		看護研究	2						2		
統合実習	2						2				
教職科目	教職科目	学校保健Ⅱ			1			1		その他、教職に必要な科目は教育学部で開設している科目を履修すること	
		養護原論			1			1			
		養護実習			4				4		
計			117	15	14		146		129 単位以上修得		

(平成21年度～)

授業科目等		単位数			履修年次				備考	
		必修	選択	自由	1年次	2年次	3年次	4年次		
全学 共通 科目	教養ゼミナール		2		2				28 単位以上修得 看護学必修 (共通科目)	
	主題科目		8		8					
	共通科目		8		8					
	看護学	2			2					
	外国語	既修外国語 (英語)	6			4	1	1		
	初修外国語			2		2				
	健康・スポーツ科目	2			2					
専 門 基 礎 科 学	基礎・ 臨床 科学	形態・生理学A (生命維持の基本構造)	2			2				10 単位以上修得 (選択 1 単位含む)
		形態・生理学B (環境適応と行動)	2			2				
		生化学	1			1				
		分子生物学・栄養学	1			1				
		微生物学A (細菌学・原虫学)	1				1			
		微生物学B (ウイルス学・真菌学)	1				1			
		薬剤療養学	1			1				
		免疫学		1			1			
	機能再生医療学		1			1				
	社会 保健 学	疫学	2					2		8 単位以上修得
		公衆衛生学	1					1		
		保健政策論	2					2		
		看護と法規	1				1			
社会福祉・社会保障論		1				1				
保健統計論		1					1			
基礎保健学			1	1						
基礎 看護 学	基礎 看護 学	看護学概論	1			1				12 単位修得
		看護理論	1			1				
		基礎看護方法論	1				1			
		基本援助技術論	2			2				
		生活援助技術論	2				2			
		基礎看護技術論	2				2			
		基礎看護学早期体験実習	1			1				
		基礎看護学実習	2				2			

授 業 科 目 等		単 位 数			履 修 年 次				備 考
		必 修	選 択	自 由	1 年 次	2 年 次	3 年 次	4 年 次	
生 涯	成人看護学	成人看護学概論	1			1			14 単位修得
		成人疾病論	2				2		
		成人慢性期援助論	1				1		
		成人急性期援助論	1				1		
		成人リハビリテーション期援助論	1				1		
		成人終末期援助論	1				1		
		成人看護学演習	1					1	
		成人看護学基本実習	1					1	
		成人急性期・リハビリテーション期実習	2					2	
		成人慢性期・終末期実習	2					2	
成人看護学継続看護実習	1					1			
発 達	老年看護学	老年看護学概論	2			2		8 単位修得	
		老年疾病論	1			1			
		老年援助論	1			1			
		認知症高齢者のケア			1		1		
		老年生活援助実習	2				2		
老年看護学実習	2				2				
看 護 学	小児看護学	小児看護学概論	1			1		6 単位修得	
		小児疾病論	1			1			
		小児保健対象論	1			1			
		小児援助論	1			1			
		子どもを持つ家族の看護			1		1		
		小児看護学実習	2				2		
学	母性看護学	母性看護学概論	1			1		6 単位修得	
		母性疾病論	1			1			
		母性保健対象論	1				1		
		母性援助論	1				1		
		子どもが産まれる家族の看護			1		1		
		母性看護学実習	2				2		
精 神 看 護 学	精神看護学	精神看護学概論	2			2		6 単位修得	
		精神疾病論	1			1			
		精神援助論	1			1			
		精神障害者のリハビリテーション			1		1		
		精神看護学実習	2				2		

授 業 科 目 等			単 位 数			履 修 年 次				備 考
			必 修	選 択	自 由	1 年 次	2 年 次	3 年 次	4 年 次	
在宅看護学		在宅看護学概論	2				2			5 単位必修
		在宅援助論	1					1		
		在宅看護学実習	2						2	
地域生活看護学	地域看護学	地域看護学概論	2				2			14 単位必修
		地域看護対象論	1					1		
		地域援助論	2					2		
		地域ケースワーク論	1					1		
		産業保健・看護論	1					1		
		離島保健・看護論	1					1		
		学校保健 I	1					1		
		地域看護管理論	1						1	
		地域看護学実習	4						4	
統合実践看護学	統合実践看護学	看護入門セミナー			1	1				12 単位以上 (選択 1 単位含む)
		看護とコミュニケーション	1				1			
		ヘルスアセスメント	1				1			
		家族看護学	1				1			
		看護と国際社会		1				1		
		看護マネジメント学	2						2	
		看護クリティカルシンキング		1				1		
		看護研究セミナー		1			1			
		看護研究基礎論	2					2		
		看護研究	2						2	
		統合実習	2						2	
教職科目		学校保健 II			1			1		その他、教職に必要な科目は教育学部で開設している科目を履修すること
		養護原論			1			1		
		養護実習			4				4	
計			109	23	14	146			129 単位以上修得	

香川大学医学部看護学科3年次編入学生の既修得単位及び在学期間の通算等の取り扱いに関する要項

(趣旨)

第1 この要項は、香川大学医学部規程第8条第2項の規定に基づき、香川大学医学部看護学科における3年次編入学生(以下「編入学生」という。)の既修得単位、在学期間等について必要な事項を定める。

(修業年限)

第2 編入学生の修業年限は、香川大学学則(以下「学則」という。)第25条の規定にかかわらず2年とする。

(在学期間)

第3 編入学生の在学期間は、学則第26条第1項の規定にかかわらず4年を超えることができない。

(卒業要件)

第4 編入学生の卒業要件は、編入学した学年次の入学年度によるものとする。

(既修得単位の認定)

第5 入学前の短期大学等において修得した単位は、本学が開設している授業科目と照合し、本学における授業科目の履修により修得したものとして認定する。

2 認定する授業科目の単位数については、別表に定めるとおりとする。

(認定手続)

第6 第5に規定する既修得単位の取扱いについては、学務委員会で原案を作成し、教授会が本学の単位として認定する。

(認定の通知)

第7 認定の結果については、速やかに当該学生に通知する。

(成績の標語)

第8 第6の規定により認定された授業科目の成績は、「認定」の標語をもって表すものとする。

(修得単位)

第9 編入学生は、第6の規定により認定された単位と合わせて、別表の卒業要件として定められた単位を修得しなければならない。

(履修指導)

第10 認定を行った場合は、学習内容の豊富化を図るよう適切な指導を行うものとする。

附 則

1 この要項は、平成16年4月1日から施行する。

2 平成15年9月30日までに香川医科大学(以下「旧香川医科大学」という。)に編入学し、かつ平成16年3月31日に在学する者の旧香川医科大学を卒業するために必要とされる教育課程その他の教育に必要な事項は、旧香川医科大学の医学部看護学科3年次編入学生の既修得単位及び在学期間の通算等の取扱いに関する要項等の定めるところによる。

附 則

この要項は、平成18年4月1日から施行する。

附 則

この要項は、平成20年4月16日から施行し、平成20年4月1日から適用する。

附 則

この要項は、平成21年4月1日から施行する。

附 則

この要項は、平成22年4月1日から施行する。

附 則

この要項は、平成23年4月1日から施行する。

附 則

この要項は、平成26年4月1日から施行する。

別表

医学部看護学科3年次編入学卒業要件単位（平成26年度入学者）

授 業 科 目 等		単 位 数			配 当 年 次	編入学生 認定単位 上限	卒業要件単位数		
		必 修	選 択	自 由					
全学共通科目	主題科目		8		1・2・3・4	20単位	28単位以上修得		
	学問基礎科目		10		1・2・3・4				
	コミュニケーション科目	情報リテラシー		2				1・2・3・4	
		既修外国語（英語）	6					1・2・3・4	
		初修外国語			2			1・2・3・4	
		健康・スポーツ実技	2					1・2・3・4	
専門基礎科学	基礎・臨床科学	形態・生理学A（生命維持の基本構造）	2			1	14単位	15単位以上修得 （選択1単位含む）	
		形態・生理学B（環境適応と行動）	2			1			
		生化学	2			1			
		分子生物学・栄養学	2			1			
		微生物学A（細菌学・原虫学）	2			2			
		微生物学B（ウイルス学・真菌学）	2			2			
		薬剤療養学	2			1			
		免疫学		1		2			
		機能再生医療学		1		2			
	社会保健学	看護と法規	2			2	5単位	5単位修得	
		社会福祉・社会保障論	2			2			
		看護統計論	1			2			
	基礎看護学	基礎看護学	看護学概論	1			1	12単位	12単位修得
			看護理論	1			1		
基礎看護方法論			1			2			
基本援助技術論			2			1			
生活援助技術論			2			2			
基礎看護技術論			2			2			
基礎看護学早期体験実習			1			1			
基礎看護学実習			2			2			

授 業 科 目 等		単 位 数			配 当 年 次	編 入 学 生 認 定 単 位 上 限	卒 業 要 件 単 位 数		
		必 修	選 択	自 由					
生 涯 発 達	成 人 看 護 学	成人看護学概論	1			1	14単位	14単位修得	
		成人疾病論	2			2			
		成人慢性期援助論	1			2			
		成人急性期援助論	1			2			
		成人リハビリテーション期援助論	1			2			
		成人終末期援助論	1			2			
		成人看護学演習	1			3			
		成人看護学基本実習	1			3			
		成人急性期・リハビリテーション期看護実習	2			3			
		成人慢性期・終末期看護実習	2			3			
		成人看護学継続看護実習	1			3			
看 護 学	老 年 看 護 学	老年看護学概論	2			2	8単位	8単位修得	
		老年疾病論	1			2			
		老年援助論	1			2			
		老年生活援助実習	2			3			
		老年看護学実習	2			3			
小 児 看 護 学	小 児 看 護 学	小児看護学概論	1			2	6単位	6単位修得	
		小児疾病論	1			2			
		小児保健対象論	1			2			
		小児援助論	1			2			
		小児看護学実習	2			3			
母 性 看 護 学	母 性 看 護 学	母性看護学概論	1			1	6単位	6単位修得	
		母性疾病論	1			2			
		母性保健対象論	1			3			
		母性援助論	1			3			
		母性看護学実習	2			3			
精 神 看 護 学	精 神 看 護 学	精神看護学概論	2			2	6単位	6単位修得	
		精神疾病論	1			2			
		精神援助論	1			2			
		精神看護学実習	2			3			
地 域 生 活 看 護 学	在 宅 看 護 学	在宅看護学概論	2			2	5単位	6単位修得	
		在宅援助論	1			3			
		家族看護学	1			2			
		在宅看護学実習	2			3			
	地 域 看 護 学	地 域 看 護 学	公衆衛生学	1			2	—	3単位修得
			公衆衛生看護学概論	2			2		

授 業 科 目 等		単 位 数			配 当 年 次	編 入 学 生 認 定 単 位 上 限	卒 業 要 件 単 位 数
		必 修	選 択	自 由			
統合実践看護学	統合実践看護学	看護とコミュニケーション	1			2	8単位 15単位修得
		ヘルスアセスメント	1			3	
		看護と国際社会	1			3	
		看護マネジメント学	2			4	
		看護クリティカルシンキング	1			3	
		看護研究基礎論	2			3	
		看護研究	2			4	
		看護倫理	2			3	
		救急・災害看護	1			4	
		ボランティア活動			1	1・2・3・4	
		国際交流活動			1	1・2・3・4	
		統合実習	2			4	
看護探究科目	高度実践看護学	臨床高度実践技術論			2	4	—
		クリティカルケア看護論			2	4	
	がん・緩和ケア看護学	がん・緩和ケア論			2	4	
		スピリチュアルケア論			1	4	
地域生活看護学（保健師課程）	公衆衛生看護学	疫学			2	3	— 保健師課程を選択の学生は、25単位修得すること。
		公衆衛生統計論			2	3	
		保健医療福祉行政論			2	3	
		公衆衛生看護対象論			1	3	
		コミュニティアセスメント論			1	3	
		健康教育論			1	3	
		コミュニティケースワーク論			2	4	
		産業保健・看護論			1	4	
		離島保健・看護論			1	4	
		学校保健Ⅰ			1	3	
		健康危機管理論			2	4	
		ヘルスプロモーション演習			2	4	
		組織連携論			1	4	
		公衆衛生看護管理論			1	4	
		公衆衛生看護学基礎実習			2	4	
公衆衛生看護学実習			3	4			
教職科目		学校保健Ⅱ			1	3	— その他、教職に必要な科目は教育学部で開設している科目を履修すること
		養護原論			1	3	
		教育実践演習C			1	4	
		養護実習			4	4	
計		103	22	43		104単位	124単位以上修得

香川大学医学部開設科目に係る欠席取扱い申合せ

平成 23 年 12 月 13 日

医学部学務委員会

香川大学医学部の学生の通学が困難となる事由が発生した場合における医学部開設授業（定期試験を含む。以下同じ。）の欠席の取扱いについて、次のとおり定める。

（定義）

第 1 この取扱いにおける各号に掲げる用語の意義は、それぞれ当該各号に定めるとおりとする。

- (1) 休講とは、授業を取りやめることをいう。
- (2) 公欠とは、一定の条件を満たすことにより、授業に出席したものとみなす取扱いとする授業の欠席をいう。なお、公欠として取り扱う授業については、原則として補講は行わず、授業担当教員（以下「担当教員」という。）が当該授業に相当する学習を課すものとする。
- (3) 準公欠とは、担当教員の判断により、前号の取扱いに準じて授業に出席したものとみなす取扱いとする授業の欠席をいう。
- (4) 出席停止とは、学校保健安全法第 19 条に規定する出席停止をいう。
- (5) 欠席とは、授業に出席しない場合の授業の欠席をいう。

（学生が感染症に罹患した場合の取扱い）

第 2 学生が感染症に罹患した場合及び感染の拡大を防止するために医学部開設授業の一部又は全部を休講又は欠席する場合は、出席停止又は公欠とし、その取扱いは別紙 1 に定めるとおりとする。

（気象警報の発令等の場合における取扱い）

第 3 気象警報の発令等の場合は平成 22 年 1 月 6 日付け（全学）教務委員会申合せの定めるところにより取扱い、地震その他の非常災害により交通が困難となっている場合は休講又は公欠とし、その取扱いは別紙 2 に定めるとおりとする。

（学生の親族が死亡した場合の取扱い）

第 4 学生の親族が死亡した場合で、学生が葬儀、服喪その他親族の死亡に伴う忌引きのために通学できない場合は公欠とし、その取扱いは別紙 3 に定めるとおりとする。

（公欠以外の欠席）

第 5 担当教員は、公欠以外の事由により授業に欠席した者から欠席届の提出があったときは、受理するものとし、欠席の取扱いは担当教員に一任する。なお、準公欠の取扱いは次の各号に定めるとおりとする。ただし、実験・実習はすべて出席することを原則とし、その欠席は準公欠から除外する。

- (1) 負傷又は疾病（医師の診断書を添付する。）
- (2) 就職試験の受験（事由書を添付する。）
- (3) 国際大会、全国体育大会、西日本医科学生総合体育大会、西日本コメディカル総合体育大会、及び前 2 者の西日本大会に種目のないサークルは、当該大会に相当する大

会（本大会に選手登録されている場合のみを対象とし、地区大会は認めない。選手登録されている事由書を添付する。）

第6 授業を欠席する場合は、事前（事前に届出ができないときは事後）に別紙様式「欠席届」を速やかに医学部学務室へ提出することとする。

（一授業科目当たりの公欠及び準公欠の制限）

第7 第2から第5までの規定にかかわらず、一の授業科目についての公欠及び準公欠の扱いとすることができる回数は、当該授業科目の授業回数の5分の1を超えることができないものとする。

（その他）

第8 第2から第5までに定めるもののほか、学生の通学が困難となる事由が発生した場合であって、学務委員長が特別の事情があると認めるときの授業等の取扱いについては、医学部学務委員会の議により学務委員長が判断し措置する。

附 則

この申合せは、平成23年12月13日から施行し、平成24年4月1日から適用する。

この申合せは、平成25年4月1日から適用する。

別紙1 第2関係 (出席停止、公欠)

1. 学生が感染症に罹患した場合

(1) 学生が次表の感染症に罹患した場合は、医師の診断に基づき、出席停止とする。

感染症の種類	学校保健安全法施行規則第18条に規定する感染症の病名
第1種	エボラ出血熱、クリミア・コンゴ出血熱、痘そう、南米出血熱、ペスト、マールブルグ病、ラッサ熱、急性灰白髄炎、ジフテリア、重症急性呼吸器症候群（病原体がコロナウイルス属SARSコロナウイルスであるものに限る。）及び鳥インフルエンザ（病原体がインフルエンザウイルスA属インフルエンザAウイルスであつてその血清亜型がH5N1であるものに限る。以下「鳥インフルエンザ（H5N1）」という。）新型インフルエンザ等感染症、指定感染症、新感染症
第2種	インフルエンザ（鳥インフルエンザ（H5N1）を除く。）、百日咳、麻しん、流行性耳下腺炎、風しん、水痘、咽頭結膜熱及び結核
第3種	コレラ、細菌性赤痢、腸管出血性大腸菌感染症、腸チフス、パラチフス、流行性角結膜炎、急性出血性結膜炎その他の感染症

(2) 出席停止の期間は、次表の期間を基準に、医師に治癒したと診断されるまでとし、医師の発行する次の項目が記載された診断書（治癒証明書）に基づき措置する。

- 一 病名
- 二 罹患期間

感染症の種類	学校保健安全法施行規則第19条に規定する出席停止の期間
第1種	第1種の感染症に罹患した者については、治癒するまで。
第2種	第2種の感染症（結核を除く。）に罹患した者については、次の期間。ただし、病状により保健管理センター医師その他の医師において感染のおそれがないと認めたときは、この限りでない。 イ インフルエンザ（鳥インフルエンザ（H5N1）及び新型インフルエンザ等感染症を除く。）にあつては、解熱した後2日を経過するまで。 ロ 百日咳にあつては、特有の咳が消失するまで。 ハ 麻しんにあつては、解熱した後3日を経過するまで。 ニ 流行性耳下腺炎にあつては、耳下腺の腫脹が消失するまで。 ホ 風しんにあつては、発しんが消失するまで。 ヘ 水痘にあつては、すべての発しんが痂皮化するまで。 ト 咽頭結膜熱にあつては、主要症状が消退した後2日を経過するまで。
第3種	結核及び第3種の感染症に罹患した者については、病状により保健管理センター医師その他の医師において感染のおそれがないと認めるまで。

2. 出席停止となった期間の授業の取扱い

学生が、出席停止となった期間に出席できなかった授業については、届出により公欠扱いとする。

3. 公欠の届出

感染症に罹患した場合は、学生が医学部学務室へ電話連絡を行い、公欠の届出は、治癒後、別紙様式「欠席届」により、学生が医学部学務室へ医師の診断書（治癒証明書（コピー可））とともに提出するものとする。

届出を受理した場合は、その写しにより担当教員へ連絡するものとする。

4. 感染の拡大を防止するために医学部開設授業の一部又は全部を休業する場合

感染症罹患者の発生に伴い、感染の拡大を防止する目的で行う休業措置は医学部長が決定するものとする。

5. 学生への連絡

休業の周知は、学内掲示、本学医学部ホームページ掲載、メール送信等により、学内及び学外実習中の学生に速やかに行うものとする。

別紙2 第3関係 (出席停止、公欠)

I 気象に関する警報の発表等の場合における休講措置の基準について

(平成26年2月24日(全学)教務委員会申合せ)

全ての学部及び研究科の開講科目並びに全学共通教育の開講科目に関して、特別警報及び気象警報の発表等の場合における休講の措置は、次の基準による。

なお、休講の措置については、掲示及びホームページへの掲載等により周知する。

1. 特別警報の発表による場合

各キャンパスの所在する地域に特別警報の発表があった場合は、当該キャンパスの全ての授業を直ちに中止する。

2. 気象警報の発表による場合

(1) 昼間の授業について

指定する地域に、大雨、洪水、暴風又は大雪の警報が、午前6時に発表されている場合は休講とする。午前6時以降に発表された場合は、発表された時刻以降に開始する授業を休講とする。

ただし、午前9時の時点で警報が解除されている場合で、かつ、それ以降に発表されないときは、午後1時以降に開始される授業を実施する。

(2) 夜間の授業(午後6時以降に開始する授業)について

前号の「午前6時」を「午後3時」に読み替え、ただし書きは適用しない。

(3) 前2号の指定する地域を次のとおり定める。

幸町キャンパス及び林町キャンパスは高松市とし、医学部キャンパス及び農学部キャンパスは、高松市又は三木町とする。

なお、居住地の気象状況又は交通機関の運休等により、登校できなかった学生については、補講等により個別に対応するものとする。

(4) 教育実習、臨床実習、臨地実習及びフィールドワーク科目等の授業で前各号によりがたい場合は、その都度、その授業を開講する部局の長が判断し措置する。

3. その他非常時の場合

学部、研究科及び全学共通教育の開講科目については、学部長等が判断し措置する。

II 地震、その他の非常災害により交通が困難となる場合

香川県の全域又は一部地域に、地震により激甚な災害が生じ、鉄道及び道路が遮断されて学生の通学が困難となる事態が発生した場合は、Iに準じて休講又は公欠の取扱いとする。

1. 公欠の届出

公欠の届出は、後日、別紙様式「欠席届」により、学生が医学部学務室へ交通機関の運行休止、道路遮断を明らかにする書類とともに提出するものとする。

教務係は、届出を受理した場合は、その写しにより担当教員へ連絡するものとする。

2. 学生への連絡

休業の周知は、学内掲示、本学医学部ホームページ掲載、メール送信等により、学内及び学外実習中の学生に速やかに行うものとする。

別紙3 第4関係 (公欠)

I. 学生が葬儀、服喪その他親族の死亡に伴う忌引きのために通学できない場合

1. 忌引きの対象となる親族の範囲

- ① 配偶者
- ② 1親等(親、子)
- ③ 2親等(兄弟姉妹、祖父母、孫)
- ④ 3親等(本人・配偶者の曾祖父母、伯父叔伯母、曾祖父母・伯父叔伯母の配偶者、甥姪、甥姪の配偶者、曾孫)

2. 忌引きの日数

- ① 配偶者の場合は、死亡した日以降の連続する7日以内(土、日、休日を含む。)
- ② 1親等の場合は、死亡した日以降の連続する7日以内(土、日、休日を含む。)
- ③ 2親等の場合は、死亡した日以降の連続する3日以内(土、日、休日を含む。)
- ④ 3親等の場合は、死亡した日若しくは死亡した翌日以降の1日(土、日、休日を含む。)

3. 公欠の届出

公欠の届出は、後日、別紙様式「欠席届」により、学生が医学部学務室へ会葬礼状等裏付ける書類とともに提出するものとする。

届出を受理した場合は、その写しにより担当教員へ連絡するものとする。

別紙様式

欠 席 届

平成 年 月 日

香川大学医学部長 殿

医学部 学科

第 年次

学籍番号 番

氏 名

連絡先TEL

下記事由により欠席します（しました）のでお届けします。

記

期間 平成 年 月 日から

平成 年 月 日まで

理由 _____

授業科目名及び担当教員

授業科目名	担当教員名	授業科目名	担当教員名
	教員		教員
	教員		教員
	教員		教員
	教員		教員
	教員		教員
	教員		教員

提出書類等（欠席届裏面）

以下の事項については、各事項に定められた証明書類を添付の上、医学部学務室教務係へ提出すること。

なお、授業を欠席する場合は、事前（事前に届出ができないときは事後）に、この「欠席届」を速やかに医学部学務室教務係へ提出すること。

教務係は、届出を受理した場合は、その写しにより授業担当教員へ連絡する。

1. 学生が学校保健安全法施行規則第 18 条に規定する感染症に罹患した場合
 - (1) 医師の診断に基づき、出席停止とする。学生が、出席停止となった期間に出席できなかった授業については、届出により公欠扱いとする。
 - (2) 医師の診断に基づき感染症に罹患したことが判明したときは、学生が医学部学務室学生係へ届出の電話連絡を行うこと。
 - (3) 出席停止の期間は、学校保健安全法施行規則第 19 条に規定する出席停止の期間を基準に、医師に治癒したと診断されるまでとする。なお、医師の発行する診断書は次の項目が記載された診断書（治癒証明書）とする。
 - 一 病名、二 罹患期間、三 治癒したことの証明
 - (4) 公欠の届出は、治癒後、この「欠席届」に医師の診断書（治癒証明書（コピー可））を添付すること。
2. 気象警報の発令により休講となる場合には、この「欠席届」の提出はしなくてよい。

地震、その他の非常災害により交通が困難となる場合の公欠の届出は、この「欠席届」に交通機関の運行休止、道路遮断を明らかにする書類を添付すること。
3. 学生が葬儀、服喪その他親族の死亡に伴う忌引きのために通学できない場合の公欠の届出は、この「欠席届」に会葬礼状等裏付ける書類を添付するとともに、死亡した親族の続柄、葬儀場所の住所（都道府県名、郡区市名）、葬祭日を明記すること。
4. 次の準公欠の事由により授業に欠席した場合は、各号の書類を添付すること。ただし、実験・実習の欠席は準公欠の取扱いから除外するものとする。
 - (1) 負傷又は疾病（医師の診断書を添付する。）
 - (2) 就職試験の受験（事由書を添付する。）
 - (3) 国際大会、全国体育大会、西日本医科学生総合体育大会、西日本コメディカル総合体育大会、及び前 2 者の西日本大会に種目のないサークルは、当該大会に相当する大会（本大会に選手登録されている場合のみを対象とし、地区大会は認めない。選手登録されている事由書を添付する。）

附属病院における実習中の学生の針刺し等汚染事故発生時の対応について

- ① 針刺事故用検査、その後の診療までの対応は、当該学生の実習を担当している指導教員が責任をもって行う。
- ② 学生教育研究災害傷害保険（学研災）の手続きは、学務室学生係が担当する。

針刺し等汚染事故発生時のフローチャート

針刺し等汚染事故発生

速やかに指導教員に報告！

学生

- 皮膚の切創、粘膜汚染→石けんと流水で丁寧に洗う
- 目に曝露→コンタクトレンズを外し、水道水で洗い流す、擦らない
- 口腔→十分な含嗽を行う

指導教員は病院感染予防マニュアルに基づき迅速に以下の措置をとる

指導教員

- 感染対策室（3058）に連絡
- 汚染源患者の3ヶ月以内のHCV抗体、HBs抗原、HIV抗体を確認
- 医事課外来係(3023, 3024)に連絡し、検査部へ受付を依頼
- 3ヶ月内の検査結果がない場合→患者の同意を得て「針刺事故用検査伝票」で検査実施
- 受傷者はただちに「針刺事故用検査伝票」で検査実施
- 検体と「針刺事故用検査伝票」を検査部に提出(時間内 3676、時間外 5880)
- 指導教員は汚染源患者の感染症検査結果を確認、検査結果に応じた対応を行う
 - HBs抗原(+)またはHCV抗体(+): 消化器内科受診
 - HIV抗体(+): HIV診療担当医師（地域包括医療学 窪田先生または感染症講座 渡邊先生）受診

学生

受診・処置後、医事課の支払い（保険診療）を終え、学務室学生係に報告

学務室学生係（2061）に事故報告書を提出。学生教育研究災害傷害保険（学研災）の手続きについて説明をうける。

平成26年度 行事予定表

平成26年度 授業時間割表

平成26年度行事予定表(看護学科)

学期 学年	1	2			
前期	4	1: 火 学年始 第1学期開始 4: 金 入学式・ガイダンス 7: 月 新入生ガイダンス 8: 火 定期健康診断・修学相談 9: 水 授業開始 12: 土 新入生研修	4	1: 火 学年始 第1学期開始 7: 月 前期授業開始・授業ガイダンス 10: 木 定期健康診断(午後休講)	
	5	1: 木 火曜日授業振替日 7: 水 月曜日授業振替日 9: 金 火曜日授業振替日	5	1: 木 火曜日授業振替日 7: 水 月曜日授業振替日 9: 金 火曜日授業振替日	
	6		6		
	7	19: 土 授業予備日 26: 土 授業予備日	7	19: 土 授業予備日 26: 土 授業予備日	
	8	29: 火 第1学期末試験(7/29~8/4)	8	29: 火 第1学期末試験(7/29~8/4)	
	9	6: 水 夏季休業開始 8/6~8日補講・試験予備日	9	6: 水 夏季休業開始 8/6~8日補講・試験予備日	
	9	16: 火 補講期間 20: 土 3年次編入入試 30: 火 夏季休業終了 第1学期終了	9	1: 月 補講期間 20: 土 3年次編入入試 30: 火 夏季休業終了 前期終了	
	後期	10	1: 水 第2学期開始 大学記念日(休業) 2: 木 授業開始 11: 土 医学部祭 12: 日 16: 木 月曜日授業振替日 30: 金 臨時休業(香大祭前夜祭)	10	1: 水 第2学期開始 大学記念日(休業) 2: 木 授業開始 10: 金 前夜祭(午後休講) 11: 土 医学部祭 12: 日 16: 木 月曜日授業振替日
		11	1: 土 香大祭 2: 日 3: 月 臨時休業(香大祭撤収日) 5: 水 月曜日授業振替日 22: 土 推薦入試 27: 木 月曜日授業振替日	11	1: 土 香大祭 2: 日 5: 水 月曜日授業振替日 21: 金 入試準備(午後休講) 22: 土 推薦入試 27: 木 月曜日授業振替日
12			12		
1		25: 木 冬季休業開始 7: 水 冬季休業終了 8: 木 授業開始 16: 金 センター試験準備(臨時休業) 17: 土 大学入試センター試験 18: 日	1	25: 木 冬季休業開始 7: 水 冬季休業終了 8: 木 授業開始 16: 金 センター試験準備(臨時休業) 17: 土 大学入試センター試験 18: 日	
2		9: 月 9~16日第2学期末試験 16: 月 水曜日の試験を行う 17: 火 17~23日補講・試験予備日 24: 火 午後入試準備 25: 水 入学者選抜試験(前期) 26: 木	2	9: 月 補講期間開始 9: 月 9~16日第2学期末試験 16: 月 水曜日の試験を行う 17: 火 17~23日補講・試験予備日 24: 火 午後入試準備 25: 水 入学者選抜試験(前期) 26: 木	
3		11: 水 春季休業開始 12: 木 入学者選抜試験(後期) 13: 金 31: 月 春季休業終了 第2学期終了 学年終	3	6: 金 補講期間終了 11: 水 春季休業開始 12: 木 入学者選抜試験(後期) 13: 金 31: 月 春季休業終了 第2学期終了 学年終	

平成26年度行事予定表(看護学科)

学期 学年	3		4
前期	1 火 学年始 第1学期開始	4 火 学年始 第1学期開始	1 火 学年始 第1学期開始
	7 月 前期授業開始	7 月 前期授業開始・授業がイタンス	7 月 前期授業開始・授業がイタンス
	8 火 授業がイタンス		
	10 木 定期健康診断(午後休講)	10 木 定期健康診断(午後休講)	10 木 定期健康診断(午後休講)
	5 1 木 火曜日授業振替日 7 水 月曜日授業振替日 9 金 火曜日授業振替日	5 1 木 火曜日授業振替日 7 水 月曜日授業振替日 9 金 火曜日授業振替日	5 1 木 火曜日授業振替日 7 水 月曜日授業振替日 9 金 火曜日授業振替日
	6	6	6
	7	7	7
	19 土 授業予備日 26 土 授業予備日	19 土 授業予備日 26 土 授業予備日	19 土 授業予備日 26 土 授業予備日
	29 火 第1学期末試験(7/29~8/4)	28 月 夏季休業開始	28 月 夏季休業開始
8 6 水 夏季休業開始 8/6~8日補講・試験予備日	24 日 夏季休業終了 25 月 授業開始	24 日 夏季休業終了 25 月 授業開始	
9 1 月 補講期間 12 金 夏季休業終了 16 火 授業開始・臨地実習開始式 20 土 3年次編入入試	20 土 3年次編入入試	20 土 3年次編入入試	
前期終了	30 月 前期終了	30 月 前期終了	
後期	10 1 水 第2学期開始 大学記念日(休業)	10 1 水 第2学期開始 大学記念日(休業)	10 1 水 第2学期開始 大学記念日(休業)
	10 金 前夜祭(午後休講)		
	11 土 医学部祭	11 土 医学部祭	11 土 医学部祭
	12 日	12 日	12 日
	16 木 月曜日授業振替日	16 木 月曜日授業振替日	16 木 月曜日授業振替日
	11 1 土 香大祭 2 日	11 1 土 香大祭 2 日	11 1 土 香大祭 2 日
	5 水 月曜日授業振替日	5 水 月曜日授業振替日	5 水 月曜日授業振替日
	22 土 推薦入試	22 土 推薦入試	22 土 推薦入試
	27 木 月曜日授業振替日	27 木 月曜日授業振替日	27 木 月曜日授業振替日
	12	12	12
	25 木 冬季休業開始	25 木 冬季休業開始	25 木 冬季休業開始
	1 7 水 冬季休業終了 8 木 授業開始	1 7 水 冬季休業終了 8 木 授業開始	1 7 水 冬季休業終了 8 木 授業開始
	17 土 大学入試センター試験 18 日	17 土 大学入試センター試験 18 日	17 土 大学入試センター試験 18 日
2 9 月 9~16日第2学期末試験 16 月 水曜日の試験を行う 17 火 17~23日補講・試験予備日 24 火 午後入試準備 25 水 入学者選抜試験(前期) 26 木	2 24 火 午後入試準備 25 水 入学者選抜試験(前期) 26 木	2 24 火 午後入試準備 25 水 入学者選抜試験(前期) 26 木	
3 11 水 春季休業開始 12 木 入学者選抜試験(後期) 13 金	3 1 日 卒業認定日	3 1 日 卒業認定日	
31 月 春季休業終了 第2学期終了 学年終	24 火 卒業式	24 火 卒業式	

平成26年度 授業時間割表

(1年次生)

前期

曜日	I 時限 (8:50 ~ 10:20)	II 時限 (10:30 ~ 12:00)	III 時限 (13:00 ~ 14:30)	IV 時限 (14:40 ~ 16:10)	V 時限 (16:20 ~ 17:50)
月		形態・生理学A (生命維持の基本構造) (峠, 筒井)209	生化学(藤井)209		
火	幸町キャンパス				
水	全学共通科目 大学入門ゼミ (峠, 大西, 他) 301,303,A,D,小D,小E	形態・生理学A (生命維持の基本構造) (峠, 筒井)209	看護学概論 (名越)臨2, 209	全学共通科目 情報リテラシー (筒井, 藤井)マルチ	
木	幸町キャンパス				
金	幸町キャンパス				

後期

曜日	I 時限 (8:50 ~ 10:20)	II 時限 (10:30 ~ 12:00)	III 時限 (13:00 ~ 14:30)	IV 時限 (14:40 ~ 16:10)	V 時限 (16:20 ~ 17:50)
月		形態・生理学B (環境適応と行動) (峠, 筒井)209	分子生物学・栄養学 (藤井)209	成人看護学概論 (清水)209 母性看護学概論 (佐々木)209	
火	幸町キャンパス				
水	看護理論 (名越)209	薬剤療養学 (筒井)209	形態・生理学B (峠, 筒井)209	基本援助技術論 (南)209	
			基本援助技術論 (南)209		
木	幸町キャンパス				
金	幸町キャンパス				

(備 考)

1. 教室名

209…209講義室 (看護棟2F)
303…303講義室 (看護棟3F)
A …大講義室A (講義棟1F)
小D…小講義室D (講義棟2F)
臨2…臨床講義棟2階

301…301講義室 (看護棟3F)
マルチ…マルチメディア実習室(看護棟2F)
D …大講義室D (講義棟2F)
小E…小講義室E (講義棟2F)

2. 実習期間

基礎看護学早期体験実習 9月 1日(月) ～ 5日(金)

3. 注意事項

- (1) 看護学概論は4月9・23・30日、5月 14・21日の水曜日2限に三大学連携授業として、医学科と合同授業(科目:医学概論)を行う。なお、上記の日は形態・生理学Aは、3限に行う。
- (2) 水曜日2限の形態・生理学Aは4月9・23・30日、5月 14・21日は水曜日3限に開講。
- (3) ボランティア活動(自由科目)については、P20参照。
- (4) 国際交流活動(自由科目)については、P21参照
- (5) 授業回数確保のため、補講期間内に授業を行うことがある。

平成26年度 授業時間割表

(2年次生)

前期

曜日	I 時限 (8:50 ~ 10:20)	II 時限 (10:30 ~ 12:00)	III 時限 (13:00 ~ 14:30)	IV 時限 (14:40 ~ 16:10)	V 時限 (16:20 ~ 17:50)
月	幸町キャンパス (養教1種教職科目開講日 (I ~ V時限)・全学共通科目開講日)				
火	生活援助技術論 (南)209	基礎看護技術論 (南)209	微生物学A (細菌学, 原虫学) (藤井)209	成人疾病論 (峠, 筒井, 他) 209	精神疾病論 (中村, 他)301
水	成人疾病論 (峠, 筒井, 他) 209	小児看護学概論 (谷本, 他)301	成人急性期援助論 (當日) 301	成人疾病論予備日 (峠, 他)209	
木	基礎看護方法論 (名越, 他)305	小児疾病論 8コマ (日下, 谷本, 他)301	老年看護学概論 (大森)305	成人疾病論予備日 (峠, 他)209	成人慢性期援助論 (清水) 209
金		精神看護学概論 (渡邊)305	生活援助技術論 (南)209		
			基礎看護技術論 (南)209		

後期

曜日	I 時限 (8:50 ~ 10:20)	II 時限 (10:30 ~ 12:00)	III 時限 (13:00 ~ 14:30)	IV 時限 (14:40 ~ 16:10)	V 時限 (16:20 ~ 17:50)
月		基礎看護技術論 (南)305	小児保健対象論 (谷本) 305	成人終末期援助論 (金正)305	免疫学 (筒井)305
火	精神援助論 (渡邊)301	微生物学B (ウイルス学, 真菌学) (藤井)209	老年援助論 (大森)209	母性疾病論 4週 (佐々木, ※塩田)301	
水	小児援助論 (谷本, 他) 301	在宅看護学概論 (松井)301	看護と法規 (名越, 大西, 木下, 豊嶋 ※藤本, ※馬場) 301	看護統計論 4週 (清水, ※荒川,)209、マルチ	
木	幸町キャンパス (養教1種教職科目開講日 (I ~ V時限)・全学共通科目開講日)				
金		全学共通科目 「Communicative English III N」 (Willey, 佐藤, 長井) 209, 301, 303	成人リハビリテーショ ン期援助論 (當日)209	(看・保)公衆衛生 看護学概論 (大西)209	

(備 考)

1. 教室名

209…209講義室 (看護棟2F) 301…301講義室 (看護棟3 F)
303…303講義室 (看護棟3F) 305…305講義室 (看護棟3 F)

2. 実習期間

基礎看護学実習:9月 8日(月) ～ 19日(金)

3. 注意事項

(1) 4月10日 (木)午後健康診断のため休講。

(2) 太枠内は選択科目及び自由科目を示す。

(3) ※は非常勤講師を示す。

(4) 母性疾病論は、①②12月8日(月)4・5限、③④12月22日(月)4・5限、⑤⑥1月14日(水)4・5限
⑦⑧1月26日(月)4・5限、2月2日(月)4限試験。

(5) 集中講義について

○ 看護とコミュニケーション(必修・15h)

藪添・竹森:7月31日(木)～8月1日(金)に集中講義(1～4限)にて開講予定。

○ 社会福祉・社会保障論(必修・30h)

9月 4日(木)～9月 5日(金)及び 9月 22日(月)～9月30日(火)に集中講義にて開講予定。

○ 公衆衛生学(必修・15h)

平成27年2月9日(月)～2月13日(金)に2年,3年編入生合同の集中講義にて開講予定。

(6) ボランティア活動(自由科目)については、P79参照。

(7) 国際交流活動(自由科目)については、P80参照。

(8) 授業回数確保のため、補講期間内に授業を行うことがある。

平成26年度 授業時間割表

(3年次生)

前期

曜日	I 時限 (8:50 ~ 10:20)	II 時限 (10:30 ~ 12:00)	III 時限 (13:00 ~ 14:30)	IV 時限 (14:40 ~ 16:10)	V 時限 (16:20 ~ 17:50)
月	(養)学校保健 (注:本学・教育学部で 実施)	(保)疫学 (藤井) 303			全学共通科目 「上級英語」 医学部キャンパス (Willey) 大B
火	看護研究基礎論予備日(全教授)301		(保)公衆衛生統計 論 (真鍋)303	看護倫理(大森, 他)305	
	成人看護学演習 (當日・清水・金正)305			在宅援助論(松井)305	
水		母性保健対象論 (佐々木, 他) 305	ヘルスアセスメント (全教員)		
			看護クリティカルシ ンキング(清水)305		
木	(保)公衆衛生看護対 象論 (大西, 越田) 303	(保)コミュニテイ アセスメント論 (大西)303	(保)健康教育論 (越田) 303	(保・養)保健医療福祉 行政論 (大西, ※星川, ※須那, 他) 305	母性援助論 (佐々木) 301
金	看護研究基礎論 (全教授)301	全学共通科目 「Communicative English IV N」 (Willey, 岩中, 長井) 209,301,マルチ	看護と国際社会(谷本, 他)301		(養)養護原論 303
			ヘルスアセスメント(全教員)		
			(保)学校保健 I (中西)303		

後期

曜日	I 時限 (8:50 ~ 10:20)	II 時限 (10:30 ~ 12:00)	III 時限 (13:00 ~ 14:30)	IV 時限 (14:40 ~ 16:10)	V 時限 (16:20 ~ 17:05)
月		臨	地	実	習
火		臨	地	実	習
水		臨	地	実	習
木		臨	地	実	習
金		臨	地	実	習

(備 考)

1. 教室名

209…209講義室(看護棟2F) 301…301講義室(看護棟3F) 303…303講義室(看護棟3F)
305…305講義室(看護棟3F) 大B…大講義室B(講義棟1F) マルチ…マルチメディア実習室(看護棟2F)

2. 実習期間

「看護学実習の手引」を参照すること。

3. 注意事項

(1) 4月10日 (木)午後健康診断のため休講。

(2) 太枠内は選択科目及び自由科目を示す。

(3) ※は非常勤講師を示す。

(4)ヘルスアセスメント講義予定

4月11・16・18・23・25・30日、5月2日、7月2・9・16・23(試験)日

(5) クリティカルシンキング講義予定

5月21日(水)3時限、5月28日(水)3・4時限、6月4日(水)3・4時限、6月18日(水)3時限、6月25日(水)3・4・5時限

(6) 看護と国際社会 講義予定

5月23日・30日、6月6・13日

(7) 3年次編入生の受講科目

○2年次後期開講科目の「公衆衛生看護学概論」(後期金曜日4限),「家族看護学」(後期後半期火曜日4限),「看護とコミュニケーション」(7月31日～8月1日)を必ず受講すること。

○公衆衛生学(必修・15h)平成27年2月9日(月)～2月13日(金)に2年生と合同の集中講義を必ず受講すること。

(8) 保健師課程の学生は、(保)の講義科目は必ず受講すること。

養教課程の学生は、(養)の講義科目は必ず受講すること。(別に本学での開講科目も受講する)

(9) 保健師科目 学校保健 I 講義予定: 7月4・11・18・25日

(10) 養教科目「学校保健」(3年次前期月曜日 1時限開講)は本学、教育学部で受講すること。

(11) ボランティア活動(自由科目)については、P79参照。

(12) 国際交流活動(自由科目)については、P80参照。

(13) 授業回数確保のため、補講期間内に授業を行うことがある。

平成26年度 授業時間割表

(4年次生)

前期

曜日	I 時限 (8:50～10:20)	II 時限 (10:30～12:00)	III 時限 (13:00～14:30)	IV 時限 (14:40～16:10)	V 時限 (16:20～17:05)
月	臨	地	実	習	
火	臨	地	実	習	
水	臨	地	実	習	
木	臨	地	実	習	
金	臨	地	実	習	

後期

曜日	I 時限 (8:50～10:20)	II 時限 (10:30～12:00)	III 時限 (13:00～14:30)	IV 時限 (14:40～16:10)	V 時限 (16:20～17:05)
月	看護研究(大森・教員全員)	看護マネジメント学(名越、佐々木)	地域看護管理論(大西)	集中授業	
火	看護研究(大森・教員全員)	看護マネジメント学(名越、佐々木)	地域看護管理論(大西)	集中授業	
水	看護研究(大森・教員全員)	看護マネジメント学(名越、佐々木)	地域看護管理論(大西)	集中授業	
木	看護研究(大森・教員全員)	看護マネジメント学(名越、佐々木)	地域看護管理論(大西)	集中授業	
金	看護研究(大森・教員全員)	看護マネジメント学(名越、佐々木)	地域看護管理論(大西)	集中授業	

(備 考)

1. 実習期間

「看護学実習の手引」を参照すること。

2. 注意事項

(1) 4月10日 (木)午後健康診断のため休講。

(2) 看護研究: 10月 24日(金)まで

(3) 薬害被害に関する講義:4月24日(木)3時限

(4) 集中講義について

○看護マネジメント学: 10月14日(火)～ 10月17日(金)

○地域看護管理論: 9月29日(月)～ 10月2日(木)

(5) 統合実習:10月27日(月)～11月14日(金)のうちの2週間(詳細は、看護学科教育要項別冊
看護学実習の手引きを参照)

(6) ボランティア活動(自由科目)については, P79参照。

(7) 国際交流活動(自由科目)については, P80参照。

(8) 授業回数確保のため、補講期間内に授業を行うことがある。

1 年次生対象 授業科目

授業科目名 形態・生理学A（生命維持の基本構造）	科目区分	DPコード bcaM	分野コード
	単位数 2	時間割 前期 月2,水2	
担当教員名 峠 哲男, 筒井 邦彦, 三木 崇範, 他	対象年次及び学科	1～ 医学部 看護学科	
	関連授業科目	薬剤療養学、成人疾病論、老年疾病論	
	履修推奨科目	免疫学	
学習時間 A：講義90分 × 30回 + 自学自習 B：講義90分 × 23回 + 自学自習			
授業の概要 看護とは、健康上のあらゆる問題、すなわち健康の増進、維持、回復に関する人間の反応に対処し、個人ないし集団が自立してゆくことを援助することにある。そのための基礎として、まず正常な人間の生命現象を科学的に理解し、さらには人間が病気になるとはどういうことかが理解できるようにならなければならない。 人体の形態や構造と機能には密接な関係があるといえる。例えば骨では、上下に可動する関節は左右に動くような構造にはなっていない。すなわち、形態や構造はその器官の機能を規定しているのであり、さらには形態と機能は表裏一体の関係であると言えることができるかもしれない。このような観点から、人体の構造と機能をよりよく理解するためには、構造と機能を同時に学習し、その有機的な関係について理解することが重要である。 この授業においては、まず生命を維持するための基本構造とその機能についての知識を習得してもらい（形態・生理A）、そのあとで、外界に対する適応能力や刺激に対する反応系に関する講義を行う（形態・生理B）。そのような生命現象としての人体を理解したうえで、疾病による形態の変化（病理学的変化）と機能の異常について学習し、身体の正常と異常の判別が行えるような基礎知識を身につける。			
授業の目的 適切な臨床看護を行うことができるようになるために、まず人体の形態と構造に関する基礎知識を身につける。その上で、人体の諸器官の機能が正常に営まれている健康な状態とはいかなるものであるかを把握し、その上で疾病による身体的変化を理解できるようにする。さらには、将来必要とされる臨床看護上の問題や疾病を理解した上で、研究としての展開が行えるような科学的思考能力を身につける。			
到達目標			学習・教育到達目標 (工学部JABEE基準)
1. 正常な人体諸器官の形態、構造、機能について説明する。 2. 正常な人体器官の形態と構造およびそれらの機能が障害された場合、どのような病的状態が引き起こされるかを説明する。 3. 代表的疾患における病理学的変化と機能異常について説明する。 4. 疾病により招来される身体の変化を推察し、身体状態の正常と異常の大まかな判別を行う。			
成績評価の方法と基準 1年前期末及び後期末授業終了後に筆記試験を行なう。講義の途中に小テストを数回実施する。自己学習課題についてはレポートの提出により評価する。出席数も評価に含まれる。			
授業計画並びに授業及び学習の方法 形態・生理学A			
1	人体の大要と解剖学用語	人体の大要、解剖学用語、人体各部の名称	(峠)
2	細胞	細胞の構造と機能、細胞周期、染色体、ゲノム	(峠)
3	組織	上皮組織、結合組織、血液、筋組織、神経組織	(峠)
4	外皮系	皮膚と膜	(筒井)
5	ホメオスタシス	フィードバック機構、体温、体温の調節と異常、発汗	(筒井)
6	エネルギー代謝	基礎代謝、肥満、やせ、飢餓	(筒井)
7	血液の成分と造血	血液の一般的性質、成分、造血・造血因子	(峠)
8	血液の機能	赤血球、白血球、血小板の働き	(峠)
9	体液	体液の組成とpH、酸・塩基平衡、体液の循環と移動、脱水、浮腫	(筒井)
10	電解質	体液中の電解質、電解質異常の臨床	(峠)
11	血管系・循環系	毛細血管、動脈、静脈、肺循環、体循環、胎児の血液循環	(峠)
12	心臓	心臓の構造、心臓壁と刺激伝達系、拍動、心電図	(峠)
13	循環動態	血圧、血圧の異常、脈拍、静脈圧	(峠)
14	循環調節	局所性調節、神経性調節、内分泌性調節	(峠)
15	リンパ系	リンパ管、リンパ節・扁桃・脾臓・胸腺	(峠)
16	気道系の構造	鼻、咽頭、喉頭、気管、気管支	(峠)
17	肺・胸部内臓器	肺葉、肺胞、胸膜、縦隔、胸郭	(峠)
18	呼吸の生理	呼吸の調節、呼吸運動、呼吸困難、ガス交換、運動時の酸素摂取	(峠)

19	口、歯、唾液腺 (筒井)	口蓋、舌、乳歯と永久歯、耳下腺、顎下腺、舌下腺	
20	食道、胃、小腸、大腸、肝臓、胆嚢、膵臓、腹膜 食道、胃の形、胃の粘膜、胃の筋層、十二指腸、空腸、回腸、盲腸、結腸、直腸 (筒井)		
21	肝葉、肝小葉、肝血管系、肝障害、胆嚢、膵外分泌部、ランゲルハンス島、 腹膜、後腹膜器官 (筒井)		
22	口蓋、舌、乳歯と永久歯、耳下腺、顎下腺、舌下腺 (筒井)		
23	消化と吸収 唾液の分泌、嚥下、消化液の分泌、消化管の運動 (筒井)		
24	消化管の吸収、嘔吐、下痢、腸閉塞、排便、便秘 (筒井)		
25	腎臓の構造 髄質と皮質、腎小体、尿細管、ネフロン (筒井)		
26	尿の生成と腎臓 尿の生成、腎臓の機能、腎疾患 (筒井)		
27	排尿 尿管・膀胱・尿道、排尿の機序、排尿の障害 (筒井)		
28-30	人体の発生 生殖細胞、性染色体と性の決定、胎児の栄養と胎盤、 妊娠と分娩、染色体異常と奇形 (筒井)		

人体器官の形態、構造、位置及びそれぞれの名称を覚えるだけでなく、常に生理機能と関連づけて学習すること。又、出来る限り臨床看護に必要な臨床上の問題や疾病とのかかわり合いの中で、生化学、病理学（疾病論）をも含めた総合的な学習を心掛けること。

時間があれば、課題提示によるグループでの自己学習と学習成果の発表時間を設ける。

教科書・参考書等

教科書

人体の構造と機能 第3版 佐藤照夫、佐伯由香 編（医歯薬出版、2012）

カラーで学べる病理学 第3版 渡辺照男 編（ヌーヴェル・ヒロカワ、2009）

参考書

わかりやすい人体の構造と機能 塩田浩平 編（中山書店、2013）

解剖生理学 第6版 高野廣子 著（南山堂、2009）

人体の構造と機能① 解剖生理学 第3版 林正健二 編（メディカ出版、2013）

トータル人体の構造と機能 大野忠雄 他、共訳 第2版（丸善、2007）

看護のための臨床病態学 浅野嘉延、吉山直樹 編（南山堂、2012）

オフィスアワー 毎週 月曜日 午後4時～午後6時

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

講義中は飲食、私語禁止、携帯電話使用禁止

授業科目名 (時間割コード: 762021) 形態・生理学B (環境適応と行動)	科目区分	DPコード bcaM	分野コード
	単位数 2	時間割 後期 月2, 集中3	
担当教員名 峠 哲男, 筒井 邦彦, 三木 崇範, 他	対象年次及び学科	1～ 医学部 看護学科	
	関連授業科目	薬剤療養学、成人疾病論、老年疾病論	
	履修推奨科目	免疫学	
学習時間 A: 講義90分 × 30回 + 自学自習 B: 講義90分 × 23回 + 自学自習			
授業の概要 看護とは、健康上のあらゆる問題、すなわち健康の増進、維持、回復に関する人間の反応に対処し、個人ないし集団が自立してゆくことを援助することにある。そのための基礎として、まず正常な人間の生命現象を科学的に理解し、さらには人間が病気になるとはどういうことかが理解できるようにならなければならない。 人体の形態や構造と機能には密接な関係があるといえる。例えば骨では、上下に可動する関節は左右に動くような構造にはなっていない。すなわち、形態や構造はその器官の機能を規定しているのであり、さらには形態と機能は表裏一体の関係であると言えることができるかもしれない。このような観点から、人体の構造と機能をよりよく理解するためには、構造と機能を同時に学習し、その有機的な関係について理解することが重要である。 この授業においては、まず生命を維持するための基本構造とその機能についての知識を習得してもらい(形態・生理A)、そのあとで、外界に対する適応能力や刺激に対する反応系に関する講義を行う(形態・生理B)。そのような生命現象としての人体を理解したうえで、疾病による形態の変化(病理学的変化)と機能の異常について学習し、身体の正常と異常の判別が行えるような基礎知識を身につける。			
授業の目的 適切な臨床看護を行うことができるようになるために、まず人体の形態と構造に関する基礎知識を身につける。その上で、人体の諸器官の機能が正常に営まれている健康な状態とはいかなるものであるかを把握し、その上で疾病による身体的変化を理解できるようにする。さらには、将来必要とされる臨床看護上の問題や疾病を理解した上で、研究としての展開が行えるような科学的思考能力を身につける。			
到達目標			学習・教育到達目標 (工学部JABEE基準)
1. 正常な人体諸器官の形態、構造、機能について説明する。 2. 正常な人体器官の形態と構造およびそれらの機能が障害された場合、どのような病的状態が引き起こされるかを説明する。 3. 代表的疾患における病理学的変化と機能異常について説明する。 4. 疾病により招来される身体の変化を推察し、身体状態の正常と異常の大まかな判別を行う。			
成績評価の方法と基準 1年前期末及び後期末授業終了後に筆記試験を行なう。講義の途中に小テストを数回実施する。自己学習課題についてはレポートの提出により評価する。出席数も評価に含まれる。			
授業計画並びに授業及び学習の方法 形態・生理学B			
1	内分泌器官の構造	視床下部、下垂体、甲状腺、上皮小体、膵臓、副腎、性腺、松果体 (筒井)	
2	ホルモン	ホルモンの種類と産生機構・調節 (筒井)	
3	各種ホルモンの作用機序	(筒井)	
4	ホルモンの分泌異常	(筒井)	
5	男性生殖器系、女性生殖器系	精巣、精路、付属生殖腺など、卵巣、卵管、子宮、性周期、乳腺 (筒井)	
6	神経系の構造	神経系の区分と発生、灰白質、核ならびに神経節、白質と根、髄膜 (峠)	
7	中枢神経系	脊髄、延髄、橋、中脳、小脳、 (峠)	
8	間脳、終脳、伝導路	(峠)	
9	末梢神経系	脊髄神経、脳神経 (峠)	
10	自律神経系、交感神経、副交感神経	(峠)	
11	運動機能	運動ニューロン、脊髄、脳幹 (峠)	
12	大脳皮質と大脳基底核、小脳	(峠)	
13	感覚機能	感覚の神経生理学、体性感覚、深部感覚、内臓感覚 (峠)	
14	味覚、嗅覚、聴覚、平衡感覚、視覚	(峠)	
15	自律神経機能と本能	自律神経系、視床下部と辺縁系、摂食行動、飲水行動 (峠)	
16	性行動、サーカディアンリズム	(峠)	
17	意識・高次神経機能	意識とは、睡眠、学習、記憶、連合野、前頭葉機能	

- (峠)
- 18 骨の構造と機能 骨の生理作用、骨の形状と構造、骨の化学成分、
骨の発生と成長、骨の病気 (峠)
- 19 骨格 頭蓋、脊柱、胸郭、上肢骨、下肢骨 (峠)
- 20 骨の連結 関節の一般構造、関節の運動、関節運動の障害 (峠)
- 21 骨格筋 骨格筋の形状と機能、筋収縮のメカニズム、
筋の神経支配 (峠)
- 22 全身の骨格筋 頭蓋の筋、頸部の筋、背部の筋、胸部の筋、横隔膜、
腹部の筋、上肢の筋、下肢の筋 (峠)
- 23 味覚器・嗅覚器 味覚器、嗅覚器 (峠)
- 24 聴器・平衡器、視器 外耳、中耳、内耳、眼球、眼底、水晶体、硝子体、
眼球の付属器 (峠)
- 1年後期 解剖学実習見学：峠哲男教授、筒井邦彦准教授、三木崇範教授の指導のもとに行う。

教科書・参考書等

教科書

人体の構造と機能 第3版 佐藤照夫、佐伯由香 編 (医歯薬出版、2012)
カラーで学べる病理学 第3版 渡辺照男 編 (ヌーヴェル・ヒロカワ、2009)

参考書

わかりやすい人体の構造と機能 塩田浩平 編 (中山書店、2013)
解剖生理学 第6版 高野廣子 著 (南山堂、2009)
人体の構造と機能① 解剖生理学 第3版 林正健二 編 (メディカ出版、2013)
トータル人体の構造と機能 大野忠雄 他、共訳 第2版 (丸善、2007)
看護のための臨床病態学 浅野嘉延、吉山直樹 編 (南山堂、2012)

オフィスアワー 毎週 月曜日 午後4時～午後6時

履修上の注意・担当教員からのメッセージ
講義中は飲食、私語禁止、携帯電話使用禁止

授業科目名 生化学 Biochemistry	(時間割コード：762032)		科目区分	DPコード bxxM	分野コード
	単位数	2	時間割	前期 月3	
担当教員名 藤井 豊	対象年次及び学科 1～ 医学部				
	関連授業科目 分子生物学・栄養学				
	履修推奨科目				
学習時間 講義90分 x 15回 + 自学自習					
授業の概要 人体は、生命を維持するために、様々な化学反応を続けています。生化学では、人体はどのような物質からできていて、どのような反応が起きているのかを教えます。 学んだ知識は、後期開講科目である、分子生物学・栄養学を理解するために必要な基本知識となります。					
授業の目的 人体を構成している物質の生成と分解の反応機構を理解し、その異常及び変動によって生ずる疾患の発症機序を考える基礎知識を身につける。					
到達目標					学習・教育到達目標 (工学部JABEE基準)
1. 人体構成成分の化学的性質と生理機能を説明できる。 2. 代表的な代謝性疾患の病態生理を説明できる。 講義毎の詳細な到達目標は、講義時にプリントを配布し示します。					
成績評価の方法と基準 期末試験により到達度を評価する。 講義毎に提出するリアクションペーパーは、成績評価の対象とはしない。					
授業計画並びに授業及び学習の方法					
1 生化学を学ぶための基礎知識その1 教科書1章、6章 2 生化学を学ぶための基礎知識その2 1章、6章 3 糖質 2章 4 脂質 3章 5 蛋白質 4章 6 酵素 10章 7 糖質の消化と吸収 9章、12章 8 解糖系、クエン酸回路、電子伝達系 12章 9 糖新生、ペントースリン酸経路 12章 10 脂質代謝その1 13章 11 脂質代謝その2 13章 12 蛋白質の消化と吸収 14章 13 アミノ酸代謝、ポルフィリン代謝 14章、16章 14 代謝異常1 17章 15 代謝異常2 19章					
教科書・参考書等 教科書 系統看護学講座 生化学 医学書院 参考書 ハーパー生化学 上代淑人監訳 丸善					
オフィスアワー 月曜日、火曜日、月・火曜日の振り替え講義日、午後4時10分～午後5時					
履修上の注意・担当教員からのメッセージ 講義は、高校で化学を勉強していない人を対象としたレベルで行い、単位の認定をします。より高度な内容も講義しますが、その部分は、「わかる人だけわかる」のでかまいません。どこが大事で、どこを聞き流して良いのかは、講義に出席していれば判断できるように話します。 講義では、毎回リアクションペーパーの提出を求めます。その日の講義で分かり難かった点、質問事項、感想などを書いてもらい、次の講義でその質問に回答します。					

授業科目名 (時間割コード: 762041) 分子生物学・栄養学 Molecular biology・Nutritional science	科目区分	DPコード bxxM	分野コード
	単位数 2	時間割 後期 月3	
担当教員名 藤井 豊	対象年次及び学科	1～ 医学部 看護学科	
	関連授業科目	生化学	
	履修推奨科目		
学習時間 講義90分 x 15回 + 自学自習			
授業の概要 分子生物学の講義では、遺伝子の構造、複製、転写、翻訳について解説し、遺伝子変異により病気が起こる仕組みを学びます。 糖尿病、脂質異常症、痛風、動脈硬化などの生活習慣病では、食事療法が最も大切な治療法と言えます。栄養学の講義では、臨床各科で学ぶ食事療法、栄養指導の基となる知識と基本的な考え方を学びます。			
授業の目的 遺伝子の構造、複製、転写、翻訳の仕組みを理解し、遺伝子が原因となる病気について基礎知識を身につける。また、栄養学においては、人間にとっての食事、栄養の意義、食事療法と健康保持に関する基本的考え方を、代謝反応と関連づけて身につける。			
到達目標			学習・教育到達目標 (工学部JABEE基準)
1. 遺伝子の複製、転写、翻訳の仕組みを説明できる。 2. 遺伝子病や癌が発生する仕組みを説明できる。 3. 栄養状態の評価方法を説明できる。 4. 各ライフステージにおける食生活の理想を説明できる。 5. 各種疾患の病態と食事療法を説明できる。 講義毎の詳細な到達目標は、講義時にプリントを配布し示します			
成績評価の方法と基準 分子生物学は中間試験により、栄養学は期末試験により到達度を評価する。 単位認定は両方の試験の合計点により判定する。 講義毎に提出するリアクションペーパーは、成績評価の対象とはしない。			
授業計画並びに授業及び学習の方法			
1 核酸とは 教科書(生化学) 5章 2 核酸代謝 15章 3 遺伝子の複製、転写、翻訳の仕組み 18章 4 がん遺伝子、遺伝子異常 5 ビタミンとミネラル 11章、(栄養学) 3章 6 栄養状態の評価 1章、2章 7 エネルギー代謝 4章 8 栄養ケア・マネジメント 7章 9 ライフステージと栄養 1 8章 10 ライフステージと栄養 2 8章 11 臨床栄養 9章 12 循環器疾患、消化器疾患と食事療法 9章 13 代謝疾患、腎疾患と食事療法 9章 14 循環器疾患、その他の疾患と食事療法 9章 15 食品と食生活 10章			
教科書・参考書等 教科書 系統看護学講座 生化学 医学書院 系統看護学講座 栄養学 医学書院 参考書 ハーパー生化学 上代淑人監訳 丸善 系統看護学講座 別巻 栄養食事療法 医学書院			
オフィスアワー 月曜日、火曜日、月・火曜日の振り替え講義日、午後4時10分～午後5時			
履修上の注意・担当教員からのメッセージ 分子生物学は、高校で化学、あるいは生物を履修していない学生がいることを前提として、講義をします。高度な内容を含みますが、丸暗記ではなく理解することを求めます。 栄養学は、前期の生化学で学んだ代謝の知識が必要です。 講義では、毎回リアクションペーパーの提出を求めます。その日の講義で分かり難かった点、質問事項、感想などを書いてもらい、次の講義で質問に回答します。			

授業科目名 (時間割コード：762050) 薬剤療養学 Pharmacotherapeutics	科目区分	DPコード bcdM	分野コード
	単位数 2	時間割 後期 水2	
担当教員名 筒井 邦彦	対象年次及び学科	1～ 医学部 看護学科	
	関連授業科目		
	履修推奨科目		
学習時間	講義90分×15回＋自学自習		
授業の概要 薬物による治療は、医療の中でも重要な位置を占めている。個々の患者に薬物療法が最も有効かつ安全に行われるよう、看護師は医師・薬剤師と協力して患者の治療、援助を行う必要がある。そのために体の機能や疾患の成り立ちを理解した上で、各種薬物の適切な使用方法について体系的に学ぶ。			
授業の目的 薬による治療が有効かつ安全に行われるよう、さらに患者が安心して積極的に治療を受けられるよう援助するために、人体の生理機能とその異常を理解した上で、薬および薬による治療の基礎知識を身につける。さらに、薬物の有害作用を認識し、薬物の薬効と有害作用を総合的に評価でき、将来臨床現場において早期に有害作用発見ができるような基礎学力を身につける。			
到達目標			学習・教育到達目標 (工学部JABEE基準)
1. 薬物の性質、作用機序、生体内動態、血中薬物濃度および薬効に影響を及ぼす要因について説明し、薬物療法の意義を述べることができる。 2. 将来医療業務を行なう者として特に有害作用、および薬物依存を理解し、安全性を念頭において薬物療法を評価できるようになる。 3. 薬物を生体に与える際の剤形と適用方法について理解できる。 4. 医薬品の分類、名称、法令、処方箋、調剤、薬品の取り扱い方について具体的に述べることができる。 5. 各種疾患に対して使用される薬物の薬効と副作用を体系的に述べるすることができる。 6. 薬物療法に伴う薬害と医療倫理について常に配慮ができる。			
成績評価の方法と基準 試験を成績評価の対象とする。 出席が不足した場合は試験を受けられない。			
授業計画並びに授業及び学習の方法			
第1-3週 総論 (薬の性質、薬理作用の基本、薬の投与経路、薬の有害作用、薬の管理等) 第4-15週 各論 順序が変わることがあるので注意 第4-5週 末梢神経作用薬 第6-7週 中枢神経作用薬 第8-10週 心臓、血管作用薬、利尿薬、脂質異常症治療薬、血液に関する薬 第11週 抗炎症薬、抗アレルギー薬 免疫治療薬 第12週 呼吸器系作用薬 第13週 消化器系作用薬 第14週 物質代謝作用薬、糖尿病治療薬、ホルモン関係の薬 第15週 抗がん薬			
【自学自習に関するアドバイス】 第1-3週 総論を理解しないと各論で習う薬剤の作用機序等が理解できないので、わからないまま放置しない。 第4-15週 疾患の病態とともに、なぜ薬剤が治療効果をもたらすかを理解してほしい。そしてそれぞれの薬剤の有害作用にはどのようなものがあるかを習得してほしい。 なお、抗感染症薬は2年時必修科目の微生物学で学習する。			
教科書・参考書等 教科書 安原一ほか. わかりやすい薬理学. ヌーヴェルヒロカワ.			
オフィスアワー 月曜日1限目。それ以外はアポイントメントをとること。			
履修上の注意・担当教員からのメッセージ わからないことを放置せず、質問したり自分で調べたりすること。			

授業科目名 (時間割コード：762200) 看護学概論 Introduction to Fundamental Nursing	科目区分	DPコード bdaM	分野コード
	単位数 1	時間割 前期 水3	
担当教員名 名越 民江	対象年次及び学科 1～ 医学部 看護学科		
	関連授業科目		
	履修推奨科目		
学習時間 講義90分 × 8回 (+3大学連携合同授業4回) + 自学自習			
授業の概要 本科目は、専門科目としての看護学を学ぶ導入部分として、人間、生活、環境、健康、看護の概念について講義する。また、保健・医療・福祉における看護の役割と安全についてや、関連職種との連携についても講義する。 看護の歴史の変遷を通して、社会における看護の役割を理解するとともに、看護実践活動の基本となる看護過程や看護倫理と法的側面について講義する。			
授業の目的 看護および看護学に関する理解を深め、看護観を構築する基盤形成のための知識、技術、態度を身につける。			
到達目標			学習・教育到達目標 (工学部JABEE基準)
1. 看護の歴史の変遷を通して、看護の役割機能、安全のとらえ方、現代社会における諸問題について説明することができる。 2. 看護の構成要素である人間、生活、健康、環境、看護のとらえ方について説明し、各概念間の関係性について解釈することができる。 3. 保健・医療・福祉を構成する人々の役割機能について説明することができる。 4. 看護過程の構成要素について述べるすることができる。 5. 看護の倫理的側面と法的側面について解釈することができる。			
成績評価の方法と基準 ・受験資格の確認のために毎回出席をとる。 ・最終評価は筆記試験を行う。			
授業計画並びに授業及び学習の方法			
授業計画 4/9：医学科医学概論との合同授業1・・・「医療に携わった先輩からのメッセージ」 第1回(4/16)・・・ガイダンス：学習目的、目標、学習方法と評価について 基礎看護学の概要と理念・「看護のイメージ」について 4/23：3大学連携合同授業2・・・「チーム医療」 4/30：3大学連携合同授業3・・・「医療従事者に求められるもの」 5/14：医学科医学概論との合同授業4・・・「薬物乱用の基礎知識」 5/21：医学科医学概論との合同授業5・・・「医学部生の心と体の健康」 第2回(5/28)・・・生活と安全：安全意識の向上とヒューマンエラー 危険予知、危険回避・防災について 第3回(6/4)～5回(6/18)・・・看護の構成要素：「統一体としての人間とは」・「ライフサイクルと生活過程」・ 「健康とは」・「ライフサイクルと健康障害のあらわれ」・ 「環境・社会関係について」・「看護とは」 第6回(6/25)・・・看護職と他職種との関係：看護職チームの構成と他職種との連携 保健医療福祉施設について 第7回(7/2)・・・看護実践と思考過程：看護実践と問題解決のための思考過程、 看護過程の構成要素について 第8回(7/16)・・・看護職と専門職：看護職と専門職業集団 看護と倫理：看護における倫理的側面・人権擁護について			

学習の方法

合同1回～合同5回・・・授業計画にある授業項目を下記のテキストをもとに、関連箇所を一読し質問項目の準備をする。

第1回・・・入学時配布されたシラバスの該当科目ページに目を通しておく。初回授業には持参する。

第2回～第8回・・・授業計画にある授業項目を下記のテキストをもとに、関連箇所を一読し、質問項目の準備をする。

教科書・参考書等

・川村佐和子他編、基礎看護学 看護学概論、メディカ出版、2004.

オフィスアワー 月曜日：16:00～18:00：看護学科棟 5階517室、名越研究室。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

事前学習や自学自習(図書館やインターネット検索等を活用) がかなり必要な科目です。

授業科目名 (時間割コード：762210) 看護理論 Nursing Theory	科目区分	DPコード bcxM	分野コード
	単位数 1	時間割 後期 水1	
担当教員名 名越 民江	対象年次及び学科	1～ 医学部 看護学科	
	関連授業科目		
	履修推奨科目		
学習時間	講義90分 × 8回 + 自学自習		
授業の概要	主として看護実践に用いられる看護の概念モデル、看護理論について講義する。		
授業の目的	理論とはについて理解を深め、看護実践に活用する方法を理解する。		
到達目標		学習・教育到達目標 (工学部JABEE基準)	
1. 看護理論について説明することができる。 2. 看護の概念モデル、看護理論の看護実践への活用方法について説明することができる。 3. 看護の概念モデルならびに看護理論と看護過程との関係について説明することができる。			
成績評価の方法と基準 ・受験資格の確認のために毎回出席をとる。 ・最終評価は筆記試験と課題発表を併せて行う。			
授業計画並びに授業及び学習の方法 授業計画 第1回・・・ガイダンス：学習目的、目標、評価について、看護理論の歴史的背景、理論とは、看護理論とはについて 第2回・・・用語の説明：モデルとは、概念とは、理論の範囲、病気のステージと看護理論 第3回・・・看護の概念モデルと看護理論 (F. ナイチンゲール) 第4回～第7回・・・各グループ課題発表 看護の概念モデルと看護理論 (薄井坦子、科学的看護論を用いて) 第8回・・・看護理論の看護学研究への活用方法について 【自学実習に関するアドバイス】 第1回・・・前期に使用した看護学概論テキストの関連箇所を通読しておく。 第2回～第8回・・・テキストとして使用する科学的看護論を熟読するとともに、各回の質問項目について準備する。			
教科書・参考書等 ・薄井坦子著、科学的看護論第3版、日本看護協会出版会、1997.			
オフィスアワー 月曜日：16:00～18:00：看護学科棟5階517室、名越研究室。 水曜日：12:00～13:00：看護学科棟5階517室、名越研究室。			
履修上の注意・担当教員からのメッセージ 講義ならびにグループ毎の課題発表に積極的に取り組む努力が必要。			

授業科目名 基本援助技術論 Fundamental Nursing Skills for Basic Nursing	(時間割コード：762231)	科目区分	DPコード bcaM	分野コード
担当教員名 南 妙子, 松岡 美奈子, 香川 里美		単位数 2	時間割 後期 水3~4	
		対象年次及び学科	1~ 医学部 看護学科	
		関連授業科目	看護学概論, 基礎看護学早期体験実習	
		履修推奨科目		
学習時間	講義+演習 90分 × 23回 + 自学自習			
授業の概要 基本援助技術論は、基礎看護学を構成する一科目である。この科目では、後続する看護学各論である成人・老年・小児・母性・精神・地域・在宅看護の対象となる個人、家族、地域社会に対する看護活動を展開する上で、共通に必要な看護技術の基礎的知識、基本的技術、看護職として望ましい基本的態度について学習する。 基本援助技術論では、看護の対象となる人の性別・年齢・生活の場や健康レベルを問わず、生命・生活を安全・安楽にするために共通に必要な生活行動の基本的援助技術と対象把握に必要な患者観察技術についてを講義・演習を通して教授する。				
授業の目的 1. あらゆる健康レベルの対象に看護を適用するために、看護技術を構成している基礎的理論を理解する。 2. 対象に安全・安楽に看護技術を提供するために、科学的根拠にもとづいて、看護援助を判断・実践できる基礎的能力を習得する。 3. 対象の健康上の問題を明確化し、対象に応じた援助を導き出すために、科学的に思考し、判断・意志決定するプロセスを習得する。 4. 看護職者としての基本的態度を身につける。				
到達目標				学習・教育到達目標 (工学部JABEE基準)
1. 看護技術提供時の患者の安全・安楽の重要性が説明できる。 2. 科学的根拠にもとづいた看護技術の重要性を述べるができる。 3. 人間関係形成の基盤となるコミュニケーションの意義・方法と構成要素が説明できる。 4. 看護におけるコミュニケーションの重要性を説明することができる。 5. 環境が健康に及ぼす影響と望ましい生活環境について説明できる。 6. 健康障害を持つ人の生活環境を調整することができる。 7. ボディメカニクスの意義・目的と原理が説明できる。 8. 体位の種類と姿勢・体位が心身に及ぼす影響について説明できる。 9. 体位変換の意義・目的と安楽な体位が説明できる。 10. 活動・休息の意義と健康との関連が説明できる。 11. 安全で安楽な移動（移乗）援助と移送の援助が実施できる。 12. 患者の健康レベルに応じた衣服（病衣）が選択できる。 13. 安全・安楽に寝衣交換の援助が実施できる。 14. ボディメカニクスを看護動作に適用できる。 15. 看護における観察の意義・目的と観察の種類・方法について説明できる。 16. 看護における記録の種類・方法や報告の目的について説明できる。 17. 看護観察に必要な技術である身体計測の原則と留意点を説明できる。 18. バイタルサイン測定の意味・目的と変動要因について説明できる。 19. バイタルサイン測定時の原則・留意事項が説明できる。 20. バイタルサイン（体温・脈拍・呼吸・血圧）を原則に基づいて正確に測定することができる。				
成績評価の方法と基準 1. 学期末に筆記試験と技術試験を行う。そのいずれもが合格基準に達していること。 2. 1. に加えて課題レポートの内容、出席状況を総合して成績評価とする。				
授業計画並びに授業及び学習の方法 第1回 「看護と技術」「コミュニケーション」講義（南） 看護技術とは何か・エビデンスに基づいた看護実践の重要性 コミュニケーションの構成要素とコミュニケーションの種類 第2回 「コミュニケーション」講義（南） 言語的コミュニケーション・非言語的コミュニケーションの特徴と限界 コミュニケーションプロセスに影響する要因 看護におけるコミュニケーションの重要性と効果的なコミュニケーション技術 第3~4回 「環境と健康」講義（南） 環境と健康との関連、環境構成要素と環境調整方法 病院・病室の構造と病人の環境				

病室環境調整の意義・目的と安全・安楽な病室環境
よい病床の条件と具体的な環境調整技術

第5回 「衣生活と健康」講義（南）

衣服の意義・目的と健康との関係、快適な衣服気候と衣服気候に関連する要因
健康障害を持つ人の寝衣の条件
寝衣交換の意義・目的と寝衣交換時の原則・留意点

第6回 「姿勢と体位」講義（南）

姿勢・体位の定義、体位の種類とよい姿勢
ボディメカニクスの意義と基礎理論、看護援助とボディメカニクス
安楽の定義と安楽の阻害要因、安楽な体位への援助方法（ポジショニング）
体位の身体に及ぼす影響（循環器・呼吸器系への影響、圧反射、褥瘡）

第7回 「姿勢と体位」講義（南）

体位変換の意義・目的、体位変換の方法と実施時の原則・留意点
移乗・移送の目的・方法と援助時の原則と留意点
（車椅子・ストレッチャー・担架による移送と歩行介助）

第8回 「活動と休息」講義（香川・南）

活動・運動の意義・目的、安静の心身への影響、活動への援助
休息・睡眠の意義と生理（レム睡眠・ノンレム睡眠）、休息・睡眠への援助

第9～10回 「観察の技術」「報告・記録」講義（南）

観察の意義・目的、観察の種類・方法と観察時の留意点
身体計測の方法と原則・留意点
看護記録の意義・目的、看護記録の構成要素、看護記録様式と記録の方法
報告の意義・目的と報告時の留意点

第11～12回 「ベッドメイキング」学内演習（南・松岡・香川・未定）

学内演習に関するオリエンテーション
ベッドメイキング（入院患者の病床の作成）

第13～14回 「シーツ交換」学内演習（南・松岡・香川・未定）

シーツ交換・体位変換の方法（臥床安静患者のシーツ交換）

第15～16回 「寝衣交換」・「安楽な体位」学内演習（南・松岡・香川・未定）

健康障害を持つ人の寝衣交換の方法
各体位における褥瘡好発部位の体圧測定とポジショニング

第17～18回 「バイタルサイン」講義（南）

バイタルサインとは、バイタルサイン測定の意義・目的
バイタルサインに影響する因子、体温のメカニズム
体温測定器具の特徴と測定方法・測定時の留意点、発熱時の看護
脈拍のメカニズム、脈拍の測定方法と測定時の原則・留意点

第19～20回 「バイタルサイン」講義（南）

血圧のメカニズム、血圧測定時の原則・留意点
呼吸のメカニズム、呼吸の測定方法と測定時の原則・留意点、呼吸困難時の看護
意識レベルの評価方法（GCSとJCS）

第21～22回 「移乗・移送」学内演習（南・松岡・香川・未定）

移乗・移送（車いす・ストレッチャー・担架・歩行器）の援助

第23回 「バイタルサイン」学内演習（南・松岡・香川・未定）

体温・脈拍・呼吸・血圧の測定

自学自習

各回の講義前には、該当箇所に関するテキスト、参考文献の内容を通読し、関連する既習学習項目についてを復習しておくこと。

各回の演習前には、演習内容に関するDVDの視聴と技術項目の手順の確認をする。演習後は、演習での学びの内容をまとめる。

教科書・参考書等

教科書・必読図書

- 茂野香おる，他：系統看護学講座専門分野Ⅰ 基礎看護学 [2] 基礎看護技術Ⅰ 第15版，医学書院，2011.
任和子，他：系統看護学講座専門分野Ⅰ 基礎看護学 [3] 基礎看護技術Ⅱ 第16版，医学書院，2013.
田中裕二編：Nursing Mook 根拠に基づくバイタルサイン，学研，2006.
その他必要時指示する

参考書

<基礎看護技術（全般）に関するもの>

- 大岡良枝，他編：NEW なぜ？がわかる看護技術 LESSON，学研，2006.
石井範子，他編：イラストでわかる基礎看護技術-ひとりで学べる方法とポイント-，日本看護協会出版会，2002.
志目岐康子，他編：ナーシンググラフィカ 基礎看護学-基礎看護技術（第5版），メディカ出版，2014.
坪井良子，他編：考える基礎看護技術Ⅰ 看護技術の基本 第3版，ヌーヴェルヒロカワ，2005.
坪井良子，他編：考える基礎看護技術Ⅱ 看護技術の実際 第3版，ヌーヴェルヒロカワ，2005.
三上れつ，他編：演習・実習に役立つ基礎看護技術 根拠に基づいた実践をめざして 第3版，ヌーヴェルヒロカワ，2008. (DVD付き)
阿曾洋子，他編：基礎看護技術 第7版，医学書院，2011.
深井喜代子編：新体系看護学全書 専門分野Ⅰ 基礎看護学② 基礎看護技術Ⅰ（第3版），メヂカルフレンド社，2012.
深井喜代子編：新体系看護学全書 専門分野Ⅰ 基礎看護学③ 基礎看護技術Ⅱ（第2版），メヂカルフレンド社，2012.
杉野佳江編：標準看護学講座13 基礎看護学2 日常生活と看護技術，金原出版，2003.
杉野佳江編：標準看護学講座14 基礎看護学3 診療に伴う看護技術，金原出版，2003.
井上幸子，他：看護学体系7看護の方法(2)日常生活行動の援助技術<1> 第2版，日本看護協会出版会
井上幸子，他：看護学体系8看護の方法(3)日常生活行動の援助技術<2> 第3版，日本看護協会出版会
井上幸子，他：看護学体系9看護の方法(4)治療に伴う看護の方法 第2版，日本看護協会出版会。
川島みどり監修：ビジュアル 基礎看護技術ガイド，照林社，2007.
岡崎寿美子，他：カラー写真で学ぶ基礎看護技術<1>病院環境・バイタルサイン・清潔，医歯薬出版，2013.

<コミュニケーションに関するもの>

- 大森武子，他：仲間とみがく看護のコミュニケーションセンス，医歯薬出版，2003.

<ボディメカニクスに関するもの>

- 平田雅子：完全版 ベッドサイドを科学する-看護に生かす物理学-，学研，2009.

<身体観察・診察に関するもの>

- 日野原重明編：フィジカルアセスメント ナースに必要な診断の知識と技術 第4版，医学書院，2006.

<バイタルサインに関するもの>

- 日野原重明，監：看護学生必修シリーズ バイタルサインの見方・読み方，照林社，2005.
平孝臣，他編：わかるバイタルサインA to Z，学研，2000.
日野原重明，他：バイタルサイン そのとらえ方とケアへの生かし方，医学書院，1980.
岡安大仁，他：JJNブックス バイタルサイン 診かたからケアの実際まで，医学書院，1988.
徳田安春：JJNスペシャル アセスメント力を高める！バイタルサイン，医学書院，2011.

<その他>

- 小坂橋喜久代編著：カラーアトラス からだの構造と機能 日常生活行動を支える身体システム，学研，2001.
阿部正和：看護生理学-生理学よりみた基礎看護，メヂカルフレンド社，1985.
菱沼典子：看護につなげる形態機能学，メヂカルフレンド社，2000.

オフィスアワー 水曜日（第2は除く）講義終了後 ～ 18:30

看護学科教育研究棟5階 515号室（南）

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

1. 授業ガイダンスを初回講義時に行う。各単元のより詳細な行動目標、ならびに履修にあたっての注意事項を提示するので、必ず出席すること。
2. 教科書・必読図書は、初回講義時までに購入し、毎回持参すること。
3. 学内演習にあたっては、別途資料（手順集・自己学習課題）を冊子体にして配布する。各自、紛失しないようにすること。また、演習前には手順集を読み、自己学習課題集の事前学習課題をまとめること。また、演習後は、演習での学びを学習課題に沿ってまとめること。
4. 看護技術は、一回の学内演習で身につく性質のものではない。対象者に安全・安楽に看護技術を提供するためには自己の技術力を高めるための練習が必要である。主体的に課外練習に取り組むことを期待する。
5. 学内での患者-看護師体験は、他者に技術を提供する貴重な学習の場である。体調を整えて、欠席することがないようにすること。尚、授業時間の2/3以上の出席がなければ試験は受けられない。

授業科目名 (時間割コード: 762261) 基礎看護学早期体験実習 Clinical Practice of Fundamental Nursing (Early Experience)	科目区分	DPコード abcM	分野コード
	単位数 1	時間割 前期 集中	
担当教員名 名越 民江, 南 妙子, 松岡 美奈子, 香川 里美	対象年次及び学科 1~ 医学部 看護学科		
	関連授業科目		
	履修推奨科目		
学習時間 実習1単位 (45時間) × 1単位 + 自学自習			
授業の概要 病院の機構・概要を理解し、入院している患者の生活環境の実際について知ることができるように展開する。なお、生活環境は、学生が観察するだけでなく測定器具を用いて実際に測定する。また、病棟での看護活動の実際を見学することにより、今後の学習をより深められるように展開する。			
授業の目的 看護の場としての病院の機構、概要を理解するとともに、看護の対象である入院患者の生活環境を見学実習し、看護について理解する。			
到達目標			学習・教育到達目標 (工学部JABEE基準)
1. 病院の機構、概要、看護部の概要について述べるができる。 2. 病院の役割と機能および各病棟の概要や安全について述べるができる。 3. 入院患者の生活環境の実態を観察し、環境測定用具を用いて測定することができる。 4. 医療チームにおける看護師の活動の実際を説明することができる。 5. 入院患者に関わる医療チームメンバーの各々の役割と、メンバー間の連携のあり方について述べるができる。 6. 今後の看護の学習を進めるために、自己の学習課題を述べるができる。			
成績評価の方法と基準 出席状況、見学実習の状況、課題レポート提出、グループ・クラスカンファレンスの参加態度を総合して評価する。			
授業計画並びに授業及び学習の方法 実習の手引きを参照			
教科書・参考書等 授業で紹介された図書および指定されたテキスト			
オフィスアワー 実習期間中は、毎日16:00~17:00、各担当教員研究室あるいは実習室			
履修上の注意・担当教員からのメッセージ 各自体調管理を十分に行いながら出席する。違和感がある時は、速やかに担当教員に申し出る。			

授業科目名 (時間割コード: 762280) 成人看護学概論 Adult Health Nursing theory	科目区分	DPコード bdaM	分野コード
	単位数 1	時間割 後期 月4	
担当教員名 清水 裕子	対象年次及び学科 1～ 医学部 看護学科		
	関連授業科目 成人看護学慢性期援助論、成人看護学急性期援助論、成人看護学終末期援助論		
	履修推奨科目 成人看護学慢性期援助論、成人看護学急性期援助論、成人看護学終末期援助論		
学習時間 講義90分 × 8回 + 自学自習			
授業の概要 本科目は基礎看護学で学んだ看護の哲学・理念、目的、方法に関する知識をさらに発展させて、ライフサイクルにおける「成人期」という特定の対象に対する看護実践の基本的考え方について学ぶ。 ライフサイクルにおける成人期は生活経験の蓄積や加齢に伴って健康上の問題をきたしやすい時期であり、いったん健康を障害されると成人のみならず成人を取り巻く周辺の人々に多大な影響を及ぼす。一方、成人期は自立し、自律性、生産性に優れ、発達課題や生活経験に根ざした独自の価値観や考え方を持ち、健康上の問題に対する反応（身体および考え方や取り組み方）は健康障害の違いのみならず、各々の生活経験や生活背景の違いによって個人差がある。 そこで、本科目ではこのような成人の特徴を理解するとともに、成人を取り巻く社会や生活環境、保健医療システム、家族形態や機能、文化的背景、社会福祉、資源の動向などから、成人期の患者と家族に起こりやすい健康上の問題を理解する。さらに、発達課題や生活経験の蓄積という観点から健康上の問題に対する成人特有の反応を理解し、成人期にある人と家族に対する保健医療システムとそのあり方、看護方法について学ぶ。 本授業をとおして学生は、後続する2年次の成人慢性期援助論、成人急性期援助論、成人リハビリテーション期援助論、成人終末期援助論、さらに3年次・4年次の成人看護学実習の基盤となる考え方を学び、看護の実践的知識・技術・態度を統合していくことが期待されている。			
授業の目的 あらゆる健康レベルにある成人期の人とその家族の看護上のニーズ、対象の特性に応じた看護の必要性和適切な看護の方法を理解するために、その基本となる知識を習得する。			
到達目標			学習・教育到達目標 (工学部JABEE基準)
1. ライフサイクルにおける成人期の位置づけとその意義・重要性を説明できる。 2. 成人各期にある人（家族を含む）の一般的な身体的特徴、社会心理的特徴（発達課題・生活課題）、生活の特徴を説明できる。 3. 成人期にある人の保健の動向および成人各期の保健問題とライフスタイルの関連性について説明できる。 4. 成人各期にある人に起こりやすい健康障害とその要因を説明できる。 5. 成人期にある人の健康障害の各期の反応パターンの特徴とその反応パターンの特徴に応じた看護の目的・方法の特徴を説明できる。 6. あらゆる健康レベルの成人期にある人の健康を支援するための保健政策と保健・医療・福祉システム、社会資源について説明できる。 7. 成人期にある人の看護の目的・役割・活動の場・課題について説明できる。			
成績評価の方法と基準 課題レポートと授業への参加度(20%)を評価資料とし、試験(80%)を実施する。			
授業計画並びに授業及び学習の方法 1. 成人看護学とは：成人看護の対象、成人看護の特徴（目的、役割・機能、成人の特徴） 2・3. 青年期・壮年期・向老期の特徴と保健問題：ライフサイクルにおける成人期の特徴と区分、課題学習；成人各期の身体的特徴、社会心理的特徴と保健問題 4・5. 成人保健の動向と保健医療福祉対策－疫学統計からみた成人期の特徴：視聴覚学習「路上で生活する人々」、課題学習：健康な生活を送るために必要な保健医療福祉対策 6. 健康レベルと看護方法 健康概念の起源からみた生活援助：健康レベルに即した家族を含めた看護方法 7. 成人看護に用いる理論 — 基礎編、ニード論、適応理論、ストレス理論、危機理論、学習理論他 8. まとめ 【自学実習へのアドバイス】 1. 指定図書を精読し、不明点を明らかにしておく 2・3. ライフサイクルをレポートするので、身近な人のライフサイクルをインタビューしておく 4・5. ホームレスの生活と回復を視聴するので、新聞等でこれらの方々の情報と自立支援法についての学習を準備する。 6－8. 教科書を精読し、不明点を明らかにしておく。			

教科書・参考書等

指定図書

安酸史子ほか. 成人看護学概論第2版. メディカ出版, 2013, (ナーシング・グラフィカ 成人看護学, 22).

大西和子ほか. 成人看護学概論. 第2版, ヌーヴェルヒロカワ, 2012.

参考書

小松浩子. 成人看護学総論. 第13版, 医学書院, 2010, (系統看護学講座 専門分野 2 成人看護学, 1).

野口美和子. 成人看護学概論・成人保健. 第3版, メヂカルフレンド社, 2007, (新体系看護学全書, 14).

林直子ほか. 成人看護学概論. 南江堂, 2011.

厚生労働統計協会. 国民衛生の動向〈2012/2013〉特集健康日本21(第2次). 厚生統計協会, 2012.

オフィスアワー 講義日の16:30-18:30

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

授業時必ず出欠を確認する

授業科目名 (時間割コード: 762470) 母性看護学概論 Introduction to Maternity Health Nursing	科目区分	DPコード bdxM	分野コード
	単位数 1	時間割 後期 月4	
担当教員名 佐々木 睦子	対象年次及び学科	1～ 医学部 看護学科	
	関連授業科目	母性保健対象論, 母性援助論, 母性疾病論	
	履修推奨科目	母性保健対象論, 母性援助論, 母性疾病論	
学習時間 講義90分 × 8回 + 自学自習			
授業の概要 母性看護学は、女性のリプロダクティブヘルスの観点から、母性の健康の保持増進と次世代を産み育てる機能が健全に発揮できるよう、女性の生涯にわたりはたらきかける領域である。 本科目では母性看護を実践するための基礎となる概念、および母性看護の対象の身体的、心理・社会的特性について多面的に理解し、母性看護活動について学ぶ。			
授業の目的 母性看護における基礎となる概念と対象理解に必要な基礎的知識を理解する			
到達目標			学習・教育到達目標 (工学部JABEE基準)
1. 母性看護の基礎となる概念について理解する 2. 母性看護の対象の身体的、心理・社会的特性について説明できる 3. 女性のライフサイクルにおける健康問題と看護の役割について説明できる 4. 女性の健康に関わる倫理的課題について考察する			
成績評価の方法と基準 試験、課題学習への取組とレポート、出席状況、学習態度をもとに総合的に評価する。			
授業計画並びに授業及び学習の方法			
第1回 母性看護の基礎となる概念 母性の身体的・心理社会的役割 母性看護学の役割 ヘルスプロモーション セクシュアリティ	第2回 母性と生命倫理 いのちのはじまりと性	第3回 母性看護の歴史と変遷 母性対象理解 女性のライフサイクル 女性性の発達、ジェンダー 母性の発達、母子関係	第4回 女性のライフサイクルにおける健康と看護 思春期、成熟期、更年期、老年期
第5回 リプロダクティブヘルス 家族計画、性感染症と人工妊娠中絶、不妊、女性の健康とDV 女性と喫煙、在日外国人女性、女性の自己決定能力	第6回 女性のメンタルヘルス 就労女性とワークライフバランス 女性の健康と法的問題 母性と周産期医療	第7-8回 課題学習と発表 1. 就労女性の妊娠・出産・子育てと看護 2. シングルマザーと母子保健、晩婚化と高齢出産における看護 3. 不妊と多胎妊娠・出産・子育てにおける看護 4. 更年期にある女性と家族の看護 5. 地域の子育て支援と在日外国人女性の妊娠・出産・子育てにおける看護	
自学自習 毎回の配付資料と教科書で復習し次回の講義に臨むこと			
教科書・参考書等 教科書 1. 村本淳子, 高橋真理: ウイメンズヘルスナーシング概論 第2版, ニューヴェルヒロカワ, 2011. 2. 高橋真理, 村本淳子: 女性のライフサイクルとナーシング, 第2版, ニューヴェルヒロカワ, 2011.			
参考書 1. 日本DV防止・情報センター: ドメスティック・バイオレンスへの視点、朱鷺書房, 2005. 2. 財団法人母子衛生研究会: わが国の母子保健 平成25年, 母子保健事業団, 2013.			

オフィスアワー 毎回講義終了後 ～18：30まで，看護学科教育研究棟4階416 佐々木研究室

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

講義とグループ討議・発表，レポート等で学習を展開する．また，適時，資料やDVD教材を活用する．

授業科目名 (時間割コード：764000) ボランティア活動 Volunteer Activities	科目区分	DPコード debM	分野コード
	単位数 1	時間割 前期 未定	
担当教員名 清水 裕子	対象年次及び学科	1～2 医学部 看護学科	
	関連授業科目	看護とコミュニケーション、看護クリティカルシンキング	
	履修推奨科目	心と体のケアリング、看護とコミュニケーション、公衆衛生看護学概論、家族看護学、看護倫理	
学習時間	講義90分 × 15回 + 自学自習に相当する学外でのボランティア活動が単位認定の対象になる。		
授業の概要 地域・社会貢献に対する学生のボランティア活動が推奨されている。そこで、ボランティア意識を向上させるために、学生が主体的に計画し参加したボランティア活動に対して一定の基準を満たすものに対して単位を認定し、ボランティア活動の活性化を計る。 本科目は、平成24年度に新しく新設した科目である。この科目は、平成23年3月11日に発生した東日本大震災の後、国内外の多くの人々が被災者支援のために活動し、その成果が教育活動に資するものであることを期待して開設された。この科目の履修を通して、人間関係の絆を再確認し、生きる意欲を相互に高めあうことができることを学ぶ。			
授業の目的 この授業では、学内での講義は、ボランティアを行うための基礎的な知識を学習するにとどめ、そのガイダンスをもとに、学外実地でのアウトリーチを主体的に実施することを学習活動の中心とする。これにより、人間関係の相互性、自立性を確認し、相互発展的な関係を築き、自らが保護的、支援的存在であることを確かめることを目的とする。			
到達目標			学習・教育到達目標 (工学部JABEE基準)
1. ボランティア活動の主体となる人間の存在と相互関係について理解できる。 2. 利他的行動と自己愛的行動を明確化できる。 3. 自然災害と支援の相互発展的過程を理解できる。 4. 自然と人間の調和的關係とコミュニティーの形成過程を理解できる。 5. 人間の愛と尊厳について洞察できる。			
成績評価の方法と基準 1. 支援を求める人々のニーズを理解し、自分にできる支援の可能性を説明できる。 2. 自分の支援的役割を明らかにし、関連する人々との連携方法を説明できる。 3. 自分の能力の限界を知り、安全に活動できる計画を立て、評価できる。 4. ボランティア活動によって得られた新たな価値について説明できる。 5. 生きるを支えるものとは何か、について自分の意見を明らかにできる。			
以上を自己評価と共に客観評価を行う。			
授業計画並びに授業及び学習の方法 1. ボランティア活動のガイダンス 2. ボランティア活動の計画書を作成する 3-1 3. ボランティア活動の実際 1 4-1 5. 評価とまとめ 【自己学習へのアドバイス】 1. 自分の希望するボランティア活動を見いだしておく。 2. どのような支援役割ができるかを明らかにしておく。 3-1 3. 健康管理が十分にできる。 1 4-1 5. 自分に内在する新たな価値を発見できるようアサーティブマインドで臨む。			
教科書・参考書等 参考図書 1. 清水裕子, ヒューマンケアと看護学, ナカニシヤ出版, 2013. 2. Martin E. P. Seligman, Authentic Happiness ; 小林裕子訳, 世界でひとつだけの幸せ, アスペクト, 東京, 2004. 3. M. Simone Roach, The Human Act of Caring, ; 鈴木智之, 操華子, 森岡崇訳, アクト・オブ・ケアリング, ゆみる出版, 東京, 1994. 4. 岩崎正子・上野轟・大江米次郎・夏目誠, 幸せを築く対人援助, 星雲社, 東京, 2008. 5. 草野篤子・柿沼幸雄・金田利子・間野百子編, 世代間交流学の創造, あせび書房, 東京, 2010.			
オフィスアワー 随時対応できるが、事前にアポイントをとること。			
履修上の注意・担当教員からのメッセージ ボランティアに参加するに際して健康上および経済的問題がないこと、学生保険に加入すること、に留意する。必要に応じて、予防接種の有無を確認することがある。			

授業科目名 (時間割コード：764001) 国際交流活動 International Exchange Activities	科目区分	DPコード acdM	分野コード
	単位数 1	時間割 前期 未定	
担当教員名 谷本 公重、徳田 雅明、日下 隆、横井 英人	対象年次及び学科	1～2 医学部 看護学科	
	関連授業科目	看護と国際社会	
	履修推奨科目	看護と国際社会、上級英語	
学習時間 事前準備 + 派遣先での研修 + 報告会 + 自学自習			
授業の概要 香川大学医学部の国際交流の理念は、『国際交流をとおして、グローバルスタンダードを有した「学生」「医師」「看護師」「研究者」の育成を行うとともに、人類の福祉や地域への貢献を行う。』としている。この理念のもとに、全学年を通して、学生には様々な国際交流活動に参加する機会が与えられている。こうした活動に積極的に参加することで、国際的感覚を涵養し、国際社会の一員としての自覚に目覚めることは、これからのグローバル社会において重要であり、医学・看護学の面でもグローバルスタンダードを自覚するためのまたとないチャンスである。本プログラムでは、①事前の十分な準備を行うこと、②実習を自主的かつ勤勉に行うこと、③報告書を提出すること、④報告会において発表すること、を求めている。対象となる活動は、香川大学医学部が交流をしている協定校において開設されるプログラムに参加するものに限る。それぞれのプログラムについては、活動の時期、内容、定員が異なるため、それらに対応する準備や勉強が求められる。いずれのプログラムにおいても、語学（英語）は重要であり、一定程度の語学力が求められる。語学プログラム（上級英語など）への参加が望ましい。			
授業の目的 学生の間、海外での経験を積むことにより、世界に通用する広い視野を涵養する。また他国での医学や看護学の状況を見聞することで日本の医学や看護学について考える機会とすることを目的とする。			
到達目標			学習・教育到達目標 (工学部JABEE基準)
1) 派遣先の大学で、医学もしくは看護学の研修（実習、講義、見学など）に自主的に参加することができる。 2) 派遣先の大学で行われている、医学もしくは看護学の現状を理解し、日本の医学もしくは看護学と比較・分析できる。 3) 派遣先の大学の学生や教員と交流ができ友好を深める行動ができる。			
成績評価の方法と基準 1) 派遣先の大学もしくは受け入れ科で発行する修了証。 2) 報告書および報告会での発表の評価。 以上より判断し「了」をもって合格とする。			
授業計画並びに授業及び学習の方法			
対象となる派遣は以下のものに限る ・夏季休暇中：チェンマイ大学での研修（医学科・看護学科） ・夏季休暇中：ブルネイ・ダルサラーム大学での研修（医学科） ・春季休暇中：中国医科大学もしくは河北医科大学での研修（医学科・看護学科） 上記の派遣において以下のとおりの活動を行うこと。 1) 事前の十分な準備を行うこと。 2) 実習を自主的かつ勤勉に行うこと。 3) 報告書を提出すること。 4) 報告会において発表すること。			
教科書・参考書等 ※			
オフィスアワー 看護学科コーディネーター 谷本 水曜日13時から15時 看護学科教育研究棟 4階 414号研究室			
履修上の注意・担当教員からのメッセージ 医学部内で開催される様々な国際交流活動にも積極的に参加してください。			

2 年次生対象
授業科目

授業科目名 (時間割コード：762110) 微生物学A 細菌学、原虫学 Microbiology A	科目区分	DPコード bxxM	分野コード
	単位数 2	時間割 前期 火3	
担当教員名 藤井 豊	対象年次及び学科	2～ 医学部 看護学科	
	関連授業科目	微生物学B	
	履修推奨科目	免疫学	
学習時間 講義90分 x 15回 + 自学自習			
授業の概要 医療従事者は、どの分野であっても感染症と関係せずに仕事をすることはできません。その中でも特に看護師は、直接患者さんに医療行為を行う機会が多い職業であるため、微生物に対する十分な知識と技術を持たなければ、治療や感染予防が出来ず、場合によっては自分自身が感染してしまう危険性もあります。微生物学A、Bでは、ヒトに感染症を起こす原因微生物である、細菌、真菌、ウイルス、原虫の特徴を理解し、それぞれの感染により起こる現象を勉強します。			
授業の目的 看護師として、他の医療従事者と誤解なく意思疎通をするために必要な微生物学の知識を習得する。			
到達目標			学習・教育到達目標 (工学部JABEE基準)
1. 微生物の種類と、それぞれの性質及び特徴を説明できる。 2. 微生物に対する宿主の反応を説明できる。 3. 感染予防法を説明できる。 4. 細菌感染症の治療法を説明できる。 講義毎の詳細な到達目標は、講義時にプリントを配布して示します。			
成績評価の方法と基準 期末試験により到達度を評価する。 講義毎に提出するリアクションペーパーは、成績評価の対象とはしない。			
授業計画並びに授業及び学習の方法			
1 微生物の種類、微生物学の歴史 教科書1章 2 細菌の形態と特徴、細菌の増殖 2章 3 滅菌と消毒、無菌操作 9章 4 感染経路と感染予防 6章、8章 5 感染に対する生体防御1 自然免疫 7章 6 感染に対する生体防御2 獲得免疫 7章 7 感染症の検査と診断 10章 8 感染症の治療、対策 11章、12章 9 グラム陽性菌1 13章 10 グラム陽性菌2 13章 11 グラム陰性菌1 13章 12 グラム陰性菌2 13章 13 抗酸菌、嫌気性菌、スピロヘータ 13章 14 マイコプラズマ、リケッチア、クラミジア 13章 15 原虫学総論、各論 4章、15章			
教科書・参考書等 教科書 系統看護学講座、微生物学 医学書院 参考書 シンプル微生物学 南江堂 図説人体寄生虫学 南江堂			
オフィスアワー 月曜日、火曜日、月・火曜日の振り替え講義日、午後4時10分～午後5時			
履修上の注意・担当教員からのメッセージ 講義では、毎回リアクションペーパーの提出を求めます。その日の講義で分かり難かった点、質問事項、感想などを書いてもらい、次の講義で質問に回答します。 微生物学では、微生物の固有名詞などの専門用語がたくさん出てきます。まずは講義を聴いて耳から覚え、聞き取り間違いが無いが、プリントや教科書で確認してください。深く理解することを否定するつもりはありませんが、専門用語は浅く、広く、たくさん、正しく覚えることも必要です。菌名は、講義ではラテン語の学名も使いますが、カタカナで覚えて書ければ充分です。			

授業科目名 (時間割コード：762120) 微生物学B ウイルス学、真菌学 Microbiology B	科目区分	DPコード bxxM	分野コード
	単位数 2	時間割 後期 火2	
担当教員名 藤井 豊	対象年次及び学科	2～ 医学部 看護学科	
	関連授業科目	微生物学A	
	履修推奨科目	免疫学	
学習時間 講義90分 x 15回 + 自学自習			
授業の概要 微生物学Bでは、ウイルス学と真菌学の講義をします。 現在、インフルエンザウイルス、エイズ、ノロウイルスによる食中毒、新しい抗ウイルス薬やワクチン、新型ウイルスの出現など、一般の人であっても毎日のようにウイルスに関するニュースを耳にするようになってきました。それは新たな問題の発生数が急速に増加しているからではなく、ウイルス学の進歩により、これまで存在すらわからずに目の前を通り過ぎていたことまで、人類が認識できるようになったという事実の裏返しでもあります。 幾千年もの間、人類が微生物と闘いながら明らかにしてきた知見を、雑学の範疇も含めてお話しします。それら人類苦心の業績は、これから医療従事者として働く上で必要な基礎知識となります。入学時から学んできた、生化学、分子生物学、微生物学Aの知識を総動員しながら聴いてください。			
授業の目的 看護師として、他の医療従事者と誤解なく意思疎通をするために必要な微生物学の知識を習得する。			
到達目標			学習・教育到達目標 (工学部JABEE基準)
1. 真菌とは何かを説明できる。 2. ウイルスとは何かを説明できる。 3. ワクチンについて説明できる。 4. 様々なウイルス感染症について説明できる。 講義毎の詳細な到達目標は、講義時にプリントを配布し示します。			
成績評価の方法と基準 期末試験により到達度を評価する。 講義毎に提出するリアクションペーパーは、成績評価の対象とはしない。			
授業計画並びに授業及び学習の方法			
1 真菌学総論、各論 教科書3章、14章 2 ウイルスの構造と分類 5章 3 ウイルスの生活環と感染細胞の変化 5章 4 現行のワクチンについて 9章 5 ウイルスの治療法と実験室内診断法 10章、11章 6 ヘルペスウイルス 16章 7 レトロウイルス総論 16章 8 レトロウイルス各論 16章 9 インフルエンザウイルス1 16章 10 インフルエンザウイルス2 16章 11 小児の感染症 16章 12 ウイルス性人獣共通感染症 16章 13 新興・再興感染症 16章 14 肝炎ウイルス 16章 15 その他のウイルス感染症とプリオン病 16章			
教科書・参考書等 教科書 系統看護学講座、微生物学 医学書院 参考書 シンプル微生物学 南江堂			
オフィスアワー 月曜日、火曜日、月・火曜日の振り替え講義日、午後4時10分～午後5時			
履修上の注意・担当教員からのメッセージ 講義では、毎回リアクションペーパーの提出を求めます。その日の講義で分かり難かった点、質問事項、感想などを書いてもらい、次の講義で質問に回答します			

授業科目名 (時間割コード：762080) 免疫学 Immunology	科目区分	DPコード bcdM	分野コード
	単位数 1	時間割 後期 月5	
担当教員名 筒井 邦彦	対象年次及び学科	2～ 医学部 看護学科	
	関連授業科目		
	履修推奨科目		
学習時間	講義90分×7.5回+自学自習		
授業の概要 “疫”とは“疫病”、致死的な伝染病のことを意味していました。そしてこの伝染病から免れる仕組みを解明することが免疫学のはじまりでした。しかし現在では、免疫学は単なる学問や研究に留まらず、感染症の予防や治療、検査手技への応用、がん治療から臓器移植にいたるまで実際の臨床の現場において広く応用されています。看護の場においても、基本的な免疫学の知識なくして疾患やその治療の理解は不可能です。免疫学の基礎的な知識を身につけることにより、臨床で求められる免疫学的な考え方の基本を学びます。			
授業の目的 生体の防御機構、免疫関係疾患の発症機構と自己治癒力および免疫療法、臓器移植など医療の基礎となる免疫反応のしくみを理解するために、免疫学の基礎知識を身につけます。			
到達目標			学習・教育到達目標 (工学部JABEE基準)
1. 抗体の構造と機能、抗体の多様性、抗体産生とその調節機構を説明できる。 2. 輸血を例とした血液型の基本を理解し、その抗原抗体反応の原理が説明できる。 3. 補体の機能を説明できる。 4. 免疫系各臓器の構造と機能を述べるができる。 5. 免疫担当細胞の種類と機能、産生される種々の生理活性因子の作用が理解できる。 6. ヒトの主要組織適合抗原であるHLA (MHC) 抗原について理解できる。 7. 感染に対する生体防御機構について具体的に述べるができる。 8. アレルギー、自己免疫疾患の種類と疾患、その発現機序を説明できる。 9. 腫瘍抗原、腫瘍と宿主の免疫学的相互関係について説明できる。 10. 抗原抗体反応を応用した臨床検査が説明できる。 11. 免疫学的にHIV感染症、AIDSの発症を説明できる。			
成績評価の方法と基準 試験を行います。出席が足りない場合、試験は受けられません。ただし出席を3割、試験を7割で評価します。			
授業計画並びに授業及び学習の方法			
第1回 血液型と輸血について (その血液型、大丈夫ですか?) 第2回 私が私でなくなるとき (風邪はどうやって治るの?) 第3回 抗体 (敵は無数) 第4回 免疫寛容 (どうして自分自身は攻撃されないの?) 第5回 アレルギー (花粉症、蕁麻疹、気管支喘息、はたしてその原因は) 第6回 関節リウマチとがん (あなたの免疫、正常ですか?) 第7回 HIVとAIDS (免疫機構の破壊) 第8回 まとめと試験			
【自学自習に関するアドバイス】 第1回は予習は要りませんが、この回の授業内容は記述式の試験問題にします。医療職を目指す皆さんにとって非常に大切ですので、よく理解してください。第2回以降は指定の副読本を事前に読んでおくことをお勧めします (第2回の授業までに副読本の1幕、第3回は2、3幕、第4回は4、5幕、第5回は6幕、第6回は7、8幕、第7回は9幕を)。			
教科書・参考書等 萩原清文. 好きになる免疫学. 講談社 (副読本として使用するので必ず購入のこと)			
オフィスアワー 講義日の講義終了後に。			
履修上の注意・担当教員からのメッセージ プリントを配布します。			

授業科目名 機能再生医療学 (時間割コード：762090)	科目区分	DPコード bcaM	分野コード
	単位数 1	時間割 後期 水4	
担当教員名 峠 哲男, 山本 哲司, 他	対象年次及び学科	2～ 医学部 看護学科	
	関連授業科目	老年疾病論、成人疾病論、形態・生理学 A・B、小児疾病論	
	履修推奨科目		
学習時間	講義90分 × 8回 + 自学自習		
授業の概要 昨今の医療技術の進歩は誠にめざましく、看護や介護の分野においても、そのような医療技術の進歩と密接に関連しています。そのため、現在どのような最先端医療が行われようとしているかに注目し、さらにはそのような医療に適合して行かねばより良い医療を行うことはできません。このような現状から機能再生医療学では、学生諸君に最新の医療技術に基づく神経・運動器障害や呼吸器障害の機能再生を目指した最先端医療やリハビリテーション技術の一端に触れてもらい、将来の医療従事者としての知識を備えてもらうことが目的です。香川大学医学部附属病院は、香川県内では唯一の高度先進医療を提供できる病院として認定されており、当病院の整形外科、病院リハビリテーション部、さらには外部の講師の先生方の御協力によりこの授業を行います。			
授業の目的 パーキンソン病などの運動機能異常症の治療法、脊髄損傷の病態と治療、悪性骨軟部腫瘍の治療法に関しての最新の治療法についての講義を通じて、今後どのような最先端医療が行われようとしているかの概要を理解する。また将来、ベッドサイドや在宅看護において応用ができるように、リハビリテーション技術の理論と疾患への応用についても理解する。			
到達目標			学習・教育到達目標 (工学部JABEE基準)
<ol style="list-style-type: none"> 1. 運動機能異常症の病態と治療について説明できる。 2. 脊髄損傷の病態と治療について説明できる。 3. 悪性骨軟部腫瘍の最先端の治療法について説明できる。 4. 運動疾患の症状や障害の評価法について解説できる。 5. 中枢神経障害、呼吸機能障害のリハビリテーションについて解説できる。 6. 看護におけるリハビリテーションの意義について説明できる。 			
成績評価の方法と基準 出席およびレポートの提出により評価する。			
授業計画並びに授業及び学習の方法			
<ol style="list-style-type: none"> 1 講義の目的と概要、その意義、評価方法について説明する (峠) 2 運動機能異常症の病態と治療 (峠) 3 脊髄損傷の病態と治療 (有馬) 4 関節疾患の診断と治療 (山本・森川) 5 リハビリテーション学総論 (森田) 6 小児・呼吸器・切除後のリハビリテーション (森田) 7 脳血管障害・脊髄損傷のリハビリテーション (伊藤) 8 リハビリテーション学と学習理論 (田中) 9 レポートの提出 (峠) <p>【自学実習に関するアドバイス】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 学生は、次の授業までに前回の授業内容について、教科書や参考書を用いて復習する。 2. 授業と関連する事項について、インターネットなどにより文献検索を行う。 3. 課題に対するレポートの内容については教員の指導を受ける。 			
教科書・参考書等			
<ol style="list-style-type: none"> 1. 病態生理で切った内科学 Part 5 神経疾患、医学教育出版社、五幸 恵著 2. 成人看護学 (9) 運動器疾患、医学書院 3. 目で見るリハビリテーション (第2版)、東京大学出版、上田 敏著 4. エッセンシャル整形外科学、医歯薬出版 その他、適時資料を提示する。			
オフィスアワー 峠 : 毎週月曜日 午後4-6時			
履修上の注意・担当教員からのメッセージ			
授業中、飲食、私語、携帯電話使用禁止			

授業科目名 (時間割コード: 762182) 社会福祉・社会保障論 Theory of social welfare and Social security	科目区分	DPコード bcdM	分野コード
担当教員名 筒井 邦彦, 平尾 智広, 樽井 康彦, 橋本 卓也, 岡内 須美子, 李 静淑	単位数 2	時間割 前期 集中	
	対象年次及び学科 2~2 医学部 看護学科		
	関連授業科目		
	履修推奨科目		
学習時間 講義90分 × 15回 + 自学自習			
授業の概要 人々の生命や生活の質を保障する社会の仕組みとして社会保障制度がある。人々の健康にかかわる保健医療職者は社会福祉の基本的理念、社会福祉・社会保障にかかわる法や諸制度を理解した上で、看護の実践を行う。本講義は、人々の健康的で幸福な生活を実現するための社会保障の理念と制度の基本について学ぶ。また、社会福祉・社会保障にかかわる基本的知識、社会福祉実践の展開に必要な援助技術と態度を教授する。 これらの学習をとおして、生活者の生活問題に対応し、看護の専門職者として、社会福祉・社会保障制度の現状をよりよい方向に発展させていくための姿勢を培う。			
授業の目的 1. 社会保障制度の歴史的な経過や全体像を把握しつつ、社会保障および社会福祉の基本的理念を学び、生活者の生活問題に対応できる基礎的知識を養う。 2. 福祉と保健・医療のかかわりを理解し、現状の問題・課題を解決するために必要な知識・技術・態度を学ぶ。			
到達目標			学習・教育到達目標 (工学部JABEE基準)
1. 社会保障の歴史的経過および基本的制度の枠組みを説明できる。 2. 社会福祉の理念、社会福祉の歴史と人々の福祉ニーズの変化を説明できる。 3. 社会福祉関連法の目的・施策、制度を説明できる。 4. 医療保険制度とその仕組みについて説明できる。 5. 児童・母子・高齢者・障害者の対象別支援方法と諸サービスの目的と内容を説明できる。 6. 社会福祉実践の基本となる援助技術および倫理について説明できる。			
成績評価の方法と基準 非常勤講師による、ミニレポートまたはミニテスト、受講態度・出席状況等により総合的に評価する。 講義ごとにミニレポート、もしくはミニテストがある。			
授業計画並びに授業及び学習の方法			
1 保健医療福祉活動の基本 2 社会保険の変遷と年金制度 3 医療保険制度 4 医療保険制度 5 介護保険制度 6 介護保険制度 7 社会福祉とは 8 社会福祉の理念と変遷 9 障害者(児)の施策 10 児童への施策 11 生活保護法と施策 12 高齢者への施策 13 保健福祉計画・社会福祉の民間活動 14 国・地方公共団体の行政、組織およびマンパワー 15 まとめ 集中講義なので、予備日を含め講義予定日に他の予定を入れないこと。 以上の内容を集中講義で行うが、非常勤講師の都合で授業計画の順序が前後する場合がある。 授業前の事前学習として、教科書の関連する所を読んでおくこと。			
教科書・参考書等 教科書: 福田素生 他; 系統看護学講座専門基礎健康支援と社会保障制度【3】社会福祉、医学書院 参考書: 椋野美智子他; はじめての社会保障、有斐閣アルマ			
オフィスアワー 講義終了後。非常勤講師の先生方による集中講義なので、わからないことは講義終了後に確認すること。			
履修上の注意・担当教員からのメッセージ 療養者は、医療・福祉制度を利用して療養しています。療養者の生活支援のために、どのような制度が利用可能であるのかを考えることが求められます。社会福祉・社会保障制度に関心をもち、制度を理解した上で、看護活動を行うことが療養者へのよりよい支援になります。履修時点では必要のない知識のように感じるかもしれませんが、実際に提供されている看護を理解するために必要な知識です。実践的知識を深めていく姿勢が必要です。授業はオムニバス方式であるため各講義・演習に出席することが履修の最低条件となります。			

授業科目名 (時間割コード: 762191) 看護統計論 Statistics for Nursing	科目区分	DPコード bcaM	分野コード
	単位数 1	時間割 後期 火4~5	
担当教員名 清水 裕子, 荒川 雅生	対象年次及び学科	2~ 医学部	
	関連授業科目	看護研究	
	履修推奨科目	情報リテラシー	
学習時間 講義90分 × 7回 + 自学自習			
授業の概要 看護研究に必要な基礎的な統計の知識を学習する。授業では、データを活用して、情報処理技術や統計的手法を用いて分析し、結果を解釈する方法を教授する。			
授業の目的 看護活動における援助の意思決定を行うためには、事実を解釈、理解し、妥当な結論を導く能力が必要である。授業では、定量的な分析手法の必要性を理解した上で、データの分析解釈を通して妥当な結果を導くことができるよう、統計方法を習得する。			
到達目標			学習・教育到達目標 (工学部JABEE基準)
1. 基本統計量の意味を説明し、検出できる。 2. 記述統計の意味を説明し、実施できる。 3. 推測統計の意味を説明し、実施できる。 4. 母集団と標本を説明できる。 5. 推定と検定の説明と結果を解釈できる。 6. 看護上の問題解決、意思決定のために統計方法を活用できる。			
成績評価の方法と基準 成績評価は次の通りとする。 1. 授業の出席度、参加度 20% 2. 授業内容の習得度 30% 3. 筆記試験 50%			
授業計画並びに授業及び学習の方法			
第1回	看護学における統計学の必要性と特徴、基本用語 なぜ、看護師になるために統計学が必要なのかを考え、看護活動をよりよくする手段として理解できる。 また、データ、分布、変数、尺度などの用語を正しく理解する。		
第2回~3回	記述統計と推測統計 記述統計と推測統計の違いについて、データの要約、一般化などの目的や特徴を理解する。		
第4回~5回	分布と推定・検定 分布の図表化と解釈、ばらつきや危険率などの解釈を理解する。		
第6回~7回	統計ソフトを活用する演習 1回から5回までに理解したことを、実際に統計ソフトを活用して検出する。		
第8回	筆記試験		
指定図書等 大木秀一著、看護統計学入門、医歯薬出版株式会社 (3,200円+税) (必携) 石村貞夫著、入門はじめての統計解析、東京図書) 2,400+税) (必携)			
オフィスアワー 授業日(火曜日)の16:10-18:00 (清水)			
履修上の注意・担当教員からのメッセージ 講師は、工学部教員も担当するが、質問は学科教員が受け付ける。(hshimizu@med.kagawa-u.ac.jp清水)			

【自学実習に関するアドバイス】

第1回～4回・・・授業の初回時に配布する資料を毎授業前に通読する。

第5回～14回・・・下記のテキストの関係箇所を事前学習する。毎回のグループワークの
学びは、自己ノートを作成する。

教科書・参考書等

- ・薄井坦子著、何がなぜ看護の情報なのか、日本看護協会出版会、2001.
- ・薄井坦子著、看護の原点をもとめて、日本看護協会出版会、2001.
- ・薄井坦子著、ナースが視る病気、講談社、1991.

オフィスアワー 木曜日：17時30分～18時30分：看護学科棟5階517室 名越研究室

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

講義、課題発表、グループワークを中心に展開するので主体的で、積極的な学習への取り組みを期待する。

授業科目名 (時間割コード: 762241) 生活援助技術論 Fundamental Nursing Skills for Activity Daily Living	科目区分	DPコード bcaM	分野コード
	単位数 2	時間割 前期 火1~2, 金3~4	
担当教員名 南 妙子, 松岡 美奈子, 香川 里美	対象年次及び学科 2~ 医学部 看護学科		
	関連授業科目 基本援助技術論, 基礎看護技術論, 基礎看護学実習		
	履修推奨科目		
学習時間 講義+演習 90分 × 30回 + 自学自習			
授業の概要 基本援助技術論(1年後期)に継続して看護技術の内容を学習する。この科目では、後続する看護学各論である成人・老年・小児・母性・精神・地域・在宅看護の対象となる個人、家族、地域社会に対する看護を展開する上で、共通に必要な日常生活の援助技術について、その基礎的知識、基本的技術、看護職者として望ましい基本的態度について学習する。 生活援助技術論では、安全・安楽でかつ科学的根拠に基づいた質の高い看護援助を実践するために共通に必要な日常生活行動の援助技術の諸理論と実践に必要な基本的技術を講義・演習を通して教授する。			
授業の目的 1. あらゆる健康レベルの対象に看護を適用するために、看護技術を構成している基礎的理論を理解する。 2. 対象に安全・安楽に看護技術を提供するために、科学的根拠にもとづいて、看護援助を判断・実践できる基礎的能力を習得する。 3. 対象の健康上の問題を明確化し、対象に応じた援助を導き出すために、科学的に思考し、判断・意志決定するプロセスを習得する。 4. 看護職者としての基本的態度を身につける。			
到達目標			学習・教育到達目標 (工学部JABEE基準)
1. 安全の意義・目的と重要性が説明できる。 2. 医療現場における安全の阻害因子が説明できる。 3. 安全を守るための技術の原理・原則について説明できる。 4. 感染予防のための技術が確実に実施できる。 5. 清潔と健康の関連について説明できる。 6. 清潔援助の意義・目的について説明できる。 7. 清潔援助の方法とケア効果・身体負荷について説明できる。 8. 対象の状態に応じた清潔の援助が安全・安楽に実施できる。 9. 排泄のメカニズムと生理が説明できる。 10. 排泄援助の必要な状況を判断し、対象に応じた排泄援助が実施できる。 11. 食事と健康の関連について説明できる。 12. 食事の意義・目的が説明できる。 13. 食事援助の必要な状況を判断し、対象に応じた食事援助が実施できる。 14. 経管栄養法について、その目的・適応・援助方法が説明できる。 15. 浣腸・導尿についてその原理と方法が説明できる。 16. 浣腸・導尿が必要な状況を判断し、安全・安楽に実施できる。 17. 死後のケアの意義・目的と実施時の原則・留意点について説明できる。 18. 診察の援助に必要な技術(罨法・吸引・吸入・包帯法)についてその原理と方法を説明できる。 19. 罨法・吸引・吸入・包帯法が安全・安楽に実施できる。			
成績評価の方法と基準 1. 筆記試験(学期末)と実技試験(日程別途連絡)を実施する。このいずれもが、合格基準に到達していること。 2. 1.に加えて、課題レポートの内容と出席状況を総合して成績評価とする。			
授業計画並びに授業及び学習の方法 第1~2回 「安全」講義 (南) 医療における安全の意義・目的と安全を阻害する因子 感染予防の技術「標準予防策」「感染経路別予防策」の意義・目的と内容 「滅菌・消毒法」の種類と特徴 「滅菌物の取り扱い・無菌操作」の原則・留意点 「手洗い」「隔離法」「ガウンテクニック」の意義・目的・方法と留意点 第3回 「安全」・「清潔と健康」講義 (南) 医療事故と事故防止の技術 清潔の意義・目的と関係器官の解剖・生理、清潔援助に必要なアセスメント項目			

- 第4～5回 「清潔と健康」講義（南）
 清潔援助（入浴・シャワー浴・清拭）のケア効果と心身への負荷
 皮膚清拭の目的・方法と原則・留意点
 洗髪の方法と原則・留意点、口腔ケアの目的・方法と原則・留意点
 その他皮膚・粘膜の清潔援助方法と留意点
- 第6回 「食事と健康」講義（松岡・南）
 食事の意義・目的と関係器官の生理、食事援助に必要なアセスメント項目
- 第7～8回 「感染予防」学内演習（南・松岡・香川・未定）
 「手洗い」「無菌操作」「滅菌手袋の装着」「ガウンテクニック」
- 第9回 「食事と健康」講義（松岡・南）
 食事援助の目的・方法と原則・留意点、食事摂取できない状況と援助方法
- 第10回 「経管栄養」講義（香川・南）
 経管栄養の目的・適応、経管栄養食の種類と特徴
 経管栄養実施時の原則・留意点と管理方法
- 第11回 「排泄と健康」講義（南）
 排泄の意義・目的と関係器官の生理、排泄援助に必要なアセスメント項目
- 第12回 「食事」学内演習（南・松岡・香川・未定）
 自力摂取できない患者の食事援助
 （ベッド上臥床安静、上肢機能・視覚障害のある患者の食事援助）
- 第13～14回 「清潔」学内演習（南・松岡・香川・未定）
 ベッド上臥床患者の全身清拭・足浴（石鹸清拭，他）
- 第15回 「排泄と健康」講義（南）
 排泄援助の方法と実施時の原則・留意点、排泄障害の種類と援助方法
- 第16回 「浣腸」講義（南）
 浣腸の意義・目的と種類・適応、関係器官の解剖・生理
 浣腸の方法と浣腸実施時の原則・留意点
- 第17回 「導尿」講義（南）
 導尿の意義・目的と種類・適応、関係器官の解剖・生理
 導尿の方法と導尿実施時の原則・留意点、持続導尿時の原則・留意点と管理方法
- 第18～19回 「清潔」学内演習（南・松岡・香川・未定）
 ベッド上臥床患者の洗髪（ケリーパッド，洗髪車，洗髪台による洗髪）
 ベッド上臥床患者の口腔ケア（ブラッシング，口腔清拭）
- 第20回 「吸入」講義（松岡・南）
 吸入の目的・種類と方法・原理、酸素吸入の基礎知識
 酸素ボンベの取扱い方と留意点、酸素吸入の種類・特徴と酸素療法中の患者の援助
- 第21回 「感染予防」学内演習（南・松岡・香川・未定）
 技術チェック：「無菌操作・手洗い」
- 第22回 「排泄」学内演習（南・松岡・香川・未定）
 ベッド上排泄援助に必要な患者の援助（便・尿器の使用法）
- 第23回 「浣腸」学内演習（南・松岡・香川・未定）
 浣腸が必要な患者への援助（グリセリン浣腸）、高圧浣腸（デモ）
- 第24回 「包帯法」講義（南）
 包帯の意義・目的と種類、巻軸包帯の基本的巻き方と包帯法実施時の原則と留意点
- 第25回 「吸引」講義（香川・南）
 吸引の目的・種類・方法と原理
 一時的吸引実施時の原則・留意点、持続的吸引実施時の原則・留意点

第26回 「死の看護」講義（南）

死の徴候、危篤時の看護、死亡の経過と心身の変化、死後のケアの目的と留意点

第27回 「罨法」講義（南）学内演習（南・松岡・香川・未定）

罨法の意義・目的と原理、温・冷罨法の方法と実施時の留意点
温・冷罨法の必要な患者への援助（湯たんぽ、温湿布、氷枕、氷嚢）

第28回 「吸引・吸入」「包帯法」学内演習（南・松岡・香川・未定）

酸素吸入法（酸素マスク・経鼻カニューラ）、酸素ボンベの取り扱い
口腔内一時的吸引法
巻軸包帯による包帯法（環行帯・らせん帯・蛇行帯・折転帯・亀甲帯・麦穂帯）
スピード包帯・三角巾・腹帯・絆創膏による包帯法

第29～30回 「導尿」学内演習（南・松岡・香川・未定）

一時的導尿が必要な患者への援助
持続導尿（デモ）
技術チェック：「一時的導尿」

自学自習

各回の講義前には、該当箇所に関するテキスト、講義資料等の内容に目を通し、関連する既習学習項目について復習しておくこと。

各回の演習前には、演習内容に関する事前学習課題をまとめ、演習内容に関連するDVDの視聴と技術項目の手順を確認して演習に参加すること。

演習後は、演習での学びの内容をまとめること。

演習項目により、技術チェックを実施するので、技術習得に向けて、個人・演習グループでの練習に主体的に取り組むこと。

教科書・参考書等

教科書・必読図書

藤崎郁，他：系統看護学講座専門分野Ⅰ 基礎看護学 [2] 基礎看護技術Ⅰ 第15版，医学書院，2011.

任和子，他：系統看護学講座専門分野Ⅰ 基礎看護学 [3] 基礎看護技術Ⅱ 第16版，医学書院，2013.

以上は、1年次に購入しているもの

新食品成分表編集委員会編：新食品成分表 2014，東京法令出版，2014.

竹尾恵子監：看護技術プラクティス 第2版，学研，2009.

参考書

任和子，他編：根拠と事故防止からみた基礎・臨床看護技術，医学書院，2014.

川口孝泰，他編：リンクで学ぶ看護基本技術ナビゲーション 清潔の援助技術，中央法規出版，2003.

川口孝泰，他編：リンクで学ぶ看護基本技術ナビゲーション 排泄の援助技術，中央法規出版，2005.

吉田みつ子，他監修：写真でわかる基礎看護技術－基礎的な看護技術を中心に－，インターメディカ，2012.

本庄恵子，他監修：写真でわかる臨床看護技術②－呼吸・循環・創傷ケアに関する看護技術を中心に－，インターメディカ，2012.

山口瑞穂子監修：看護技術 講義・演習ノート上巻 日常生活援助技術篇，医学芸術社，2006. (DVD付き)

香春知永，他編：看護学テキストNICE 基礎看護技術 看護過程のなかで技術を理解する，南江堂，2009.

岡崎美智子，他編：根拠がわかる基礎看護技術，メヂカルフレンド社，2008.

川嶋みどり監修：看護技術スタンダードマニュアル，メヂカルフレンド社，2008.

安藤郁子，編著：根拠と写真で学ぶ看護技術<2>観察・処置を支える援助，中央法規出版，2011.

小林小百合，編著：根拠と写真で学ぶ看護技術<1>生活行動を支える援助，中央法規出版，2011.

その他は、「基本援助技術論（1年次）」で示したものを参照して下さい。

オフィスアワー 火曜日 講義終了後 ～ 18:30 金曜日 9:30 ～ 10:30

看護学科教育研究棟5階 515号室（南）

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

1. 初回講義時に詳細な授業ガイダンスを行うので、必ず出席すること。
2. 授業は、前期前半期（4月～6月）に1週間に180分×2回のペースで開講される科目なので、体調を整え、欠席が続かないように気をつけること。授業時間の2/3以上の出席がないと試験が受験できない。
3. 技術チェックを要する項目が多く、技術の内容は、基本から応用技術へと組み立てている。従って、基本技術のチェックに合格しないと、次の技術チェック項目の受験が認められない。1つ1つの技術を確実に習得できるように、十分に練習をすることが求められる。
4. 歯磨きや髪を洗う、身体を拭く、食事など、普段の生活において自身で実施することはあっても、他者に援助することは初めて経験する学生がほとんどである。他者へケアを提供するということは、自身で実施するのとは違い、簡単にできるケアではないということを認識し、事前学習を必ず行って、演習に臨むこと。

5. 学内演習にあたっては、別途資料（手順集・自己学習課題）を冊子体にして配布する。各自、紛失しないようにすること。また、演習前には手順集を読み、自己学習課題集の演習前の課題をまとめること。また、演習後は、演習での学びを学習課題に沿ってまとめること。

授業科目名 (時間割コード: 762251) 基礎看護技術論 Fundamental Nursing Skills for Medical Treatment	科目区分	DPコード bcaM	分野コード
	単位数 2	時間割 前期 火2, 金3	後期 月2
担当教員名 南 妙子, 松岡 美奈子, 香川 里美	対象年次及び学科 2~ 医学部 看護学科		
	関連授業科目 基本援助技術論, 生活援助技術論, 基礎看護学実習, 基礎看護学実習		
	履修推奨科目		
学習時間 講義+演習 90分 × 23回 + 自学自習			
授業の概要 基本援助技術論(1年後期)・生活援助技術論(2年前期)に継続して、成人・老年・小児・母性・精神・地域・在宅看護の対象となる個人、家族、地域社会に対する看護を展開する上で共通に必要な看護技術の基礎的知識、基本的技術、看護職者として望ましい基本的態度について学習する。 前期に展開する基礎看護技術論では、診断・治療に伴う援助技術を安全に対象に提供するための諸理論とその基本的技術を講義・演習を通して教授する。 後期には健康障害を持つ患者とその家族のニーズや看護上の問題を明確化し、様々な状況にある対象に応じた個別の援助を導き出すために、科学的に思考・判断・意志決定するプロセスである看護過程を講義・グループワーク演習を通して教授する。			
授業の目的 1. あらゆる健康レベルの対象に看護を適用するために、看護技術を構成している基礎的理論を理解する。 2. 対象に安全・安楽に看護技術を提供するために、科学的根拠にもとづいて、看護援助を判断・実践できる基礎的能力を習得する。 3. 対象の健康上の問題を明確化し、対象に応じた援助を導き出すために科学的に思考し、判断・意志決定するプロセスを習得する。 4. 看護職者としての基本的態度を身につける。			
到達目標			学習・教育到達目標 (工学部JABEE基準)
1. 与薬の種類・方法が説明できる。 2. 各与薬方法の特徴と実施上の原則・留意点が説明できる。 3. 各注射法における安全な注射部位が解剖学的根拠に基づいて説明できる。 4. 与薬が正確な方法で安全に実施できる。 5. 診療における看護職者の役割について説明できる。 6. 検査時の看護職者の役割について説明できる。 7. 主な検査についてその意義と目的・方法を説明できる。 8. 静脈血採血が安全・正確にできる。 9. 看護過程を構成する要素を説明できる。 10. 看護過程の5段階について、その内容を説明できる。 11. 紙上患者の看護上の問題を看護過程の思考プロセスを用いて明確化できる。 12. 紙上患者の看護計画を立案できる。			
成績評価の方法と基準 1. 筆記試験(学期末)と実技試験を実施する。これらのいずれもが合格基準に到達していること。 2. 後期の「看護過程」に関しては、個人学習とグループ学習の内容についてを評価する。 3. 1と2に加えて、課題レポートの内容、出席状況を総合して科目の評価とする。			
授業計画並びに授業及び学習の方法 第1回 「与薬」講義(南) 与薬の意義・目的と看護者の役割、各与薬法の薬理作用(吸収・排泄経路)の特徴 与薬援助時に共通する原則(5Rの確認) 第2回 「与薬」講義(南) 注射法の種類と各注射法(皮内・皮下・筋肉・静脈)の特徴 皮内・皮下・筋肉注射法における安全な注射部位と選択方法 皮内・皮下・筋肉注射実施時の原則と留意点 第3回 「与薬」講義(南) 経口与薬法の特徴、安全な経口与薬の方法と留意点 直腸内与薬法・点眼法・外用剤(塗布法・点鼻など)の特徴と与薬時の留意点 第4回 「皮下注射・筋肉注射」学内演習(南・松岡・香川・未定) 皮下注射・筋肉内注射デモ・モデル演習			

第5～6回 「注射法」学内演習（南・松岡・香川・未定）

実技試験：皮下注射・筋肉注射

第7～8回 「経口与薬・直腸内与薬・点眼法」学内演習（南・松岡・香川・未定）

経口与薬・直腸内与薬・点眼法

第9回 講義「診療の介助・検査の介助」（南）

診療における看護師の役割

検査の意義・目的と看護師の役割、検査の種類と検査値のアセスメントの意義

血液検査の方法（安全・安楽な静脈血採血の実施方法と留意点）

第10回 「検査の介助」講義（南）

主な検査の目的・方法と実施時の留意点

（尿・便・喀痰・消化液・穿刺液・造影検査・内視鏡検査・X線検査・MRIなど）

第11回 「静脈血採血」学内演習（南・松岡・香川・未定）

静脈血採血の方法（デモ）・モデル演習

第12回 「静脈血採血」学内演習（南・松岡・香川・未定）

実技試験：静脈血採血

第13回 「与薬」講義（南）

静脈内・点滴静脈内注射における安全な注射部位と実施時の原則・留意点

輸血の種類と副作用、輸血時の原則と留意点

第14～15回 「静脈内注射」学内演習（南・松岡・香川・未定）

静脈内・点滴静脈内注射（デモ）・モデル演習

第16回 「看護過程」講義（南）

看護過程とは、看護過程と問題解決過程、看護診断

看護過程の構成要素（アセスメント・看護診断）

第17回 「看護過程」講義（南）

看護過程の構成要素（計画立案・実施・評価）

紙上事例の提示と情報分類の進め方

第18回 「看護過程」演習（南・松岡・香川・未定）

紙上事例の看護過程の展開（グループワーク①）データの分類とデータの解釈・分析

第19回 「看護過程」演習（南・松岡・香川・未定）

紙上患者の看護過程の展開（グループワーク②）データの解釈・分析

第20回 「看護過程」演習（南・松岡・香川・未定）

紙上患者の看護過程の展開（グループワーク③）看護問題抽出過程と関連図

第21回 「看護過程」演習（南・松岡・香川・未定）

紙上患者の看護過程の展開（グループワーク④）優先順位の確定と目標の設定

第22回 「看護過程」演習（南・松岡・香川・未定）

紙上患者の看護過程の展開（グループワーク⑤）看護計画の立案と発表準備

第23回 「看護過程」演習（南・松岡・香川・未定）

紙上患者の看護過程の展開 グループ発表・討論・まとめ

自学自習

各回の講義前には、学習内容に関連する既習学習項目について復習しておくこと。

各回の演習前には、演習内容に関するDVDの視聴と技術項目の手順を確認すること。

演習後は、自己の技術を振り返り、技術上の課題を明確にしておくこと。

実技試験を課す項目については、個人・グループでの練習に主体的に取り組むこと。

看護過程のグループワークに参加するための準備としての個人学習は必至である。各回の学習目標を確認し、個人学習・グループワークに取り組むこと。

教科書・参考書等

教科書・必読図書

- 藤崎郁，他：系統看護学講座専門分野Ⅰ 基礎看護学 [2] 基礎看護技術Ⅰ 第15版，医学書院，2011。
任和子，他：系統看護学講座専門分野Ⅰ 基礎看護学 [3] 基礎看護技術Ⅱ 第16版，医学書院，2013。
以上は、1年次に購入しているもの
竹尾恵子監：看護技術プラクティス 第2版，学研，2009。
「生活援助技術論（2年次）」で購入しているもの
任和子編：改訂版 看護過程ガイド ヘンダーソン、ゴードン、NANDAの枠組みによる，照林社，2009。
その他必要時指示する。

参考書

<与薬・検査に関するもの>

- 石塚睦子，他編：わかりやすい与薬 第4版，医学評論社，2010。
高田早苗，他編：EBN Books エビデンスに基づく注射の技術，中山書店，2006。
上谷いつ子，他編：安全確実に行うための最新 注射・輸液マニュアル，日本看護協会出版会，2005。
山口瑞穂子監修：看護技術 講義・演習ノート下巻 診療に伴う看護技術篇，医学芸術社，2006。（DVD付）
本庄恵子，他：写真でわかる臨床看護技術<1>注射・検査に関する看護技術を中心に！，インターメディカ，2012。
村上三好監：写真でわかる輸血の看護技術 輸血療法を安全に、適正に実施するために，インターメディカ，2008。
安藤郁子編著：根拠と写真で学ぶ看護技術<3>検査・治療を支える援助，中央法規出版，2011。

<看護過程に関するもの>

- R. アルファロールフィーヴァ著，本郷久美子監訳：基本から学ぶ看護過程と看護診断 第7版，医学書院，2012。
T. ヘザー・ハードマン編：NANDA-I看護診断 定義と分類2012-2014，医学書院，2012。
松木光子編：JJNブックス ケーススタディ 看護過程 根拠に基づく看護診断から評価まで 第2版，医学書院，2002。
三上れつ著：実践に役立つ看護過程と看護診断ーヘンダーソン・ゴードンのデータベースに基づく事例展開ー第2版，ヌーヴェルヒロカワ，2001。
江川隆子他編：ゴードンの機能的健康的パターンに基づく看護データベースー作成過程と臨床への応用ー第3版，ヌーヴェルヒロカワ，2010。
江川隆子監訳：ゴードン博士の看護診断アセスメント指針，照林社，2006。
高木永子監修：看護過程に沿った対症看護 病態生理と看護のポイント 第4版，学研，2010。
山口瑞穂子，他監修：疾患別看護過程の展開 第3版，学研，2008。
井上智子，他監修：病期・病態・重症度からみた疾患別看護過程+病態関連図 第2版，医学書院，2012。
阿部俊子，監修：エビデンスに基づく症状別看護ケア関連図 改訂版，中央法規出版，2013。
阿部俊子，監修：エビデンスに基づく疾患別看護ケア関連図，中央法規出版，2004。

その他は、「基本援助技術論」「生活援助技術論」で示したものを参照して下さい。

オフィスアワー 前期 金曜日 9:30 ~ 10:30, 後期 火・木曜日16:30 ~ 18:30 (南)
看護学科教育研究棟5階 515号室 (南)

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

1. 初回講義時にガイダンスを行うので、必ず出席すること。
2. 前期は、後半期（6月～7月）に展開する科目であるので、体調管理に気をつけ、欠席が続かないように気をつけること。授業時間の2/3以上の出席がないと、試験の受験ができない。
3. 演習内容は、技術の巧緻性を求められる難易度の高い項目で、授業時間以外の自己学習時間を要することは必至である。授業進行に沿って計画を立て、自己学習に主体的に取り組むことを期待する。
4. 学内演習にあたっては、別途資料（手順集・自己学習課題）を冊子体にして配布する。各自、紛失しないようにすること。また、演習前には手順集を読み、自己学習課題集の演習前の課題をまとめること。また、演習後は、演習での学びを学習課題に添ってまとめること。
5. 後期の「看護過程」におけるグループワークを効果的に運用するためには、個人学習による事前学習が不可欠である。活発な討議ができるように各自が準備して授業に臨むこと。

授業科目名 (時間割コード: 762271) 基礎看護学実習 Clinical Practice of Fundamental Nursing	科目区分	DPコード cbaM	分野コード
担当教員名 名越 民江, 南 妙子, 松岡 美奈子, 香川 里美	単位数 2	時間割 前期 集中	
	対象年次及び学科 2~ 医学部 看護学科	関連授業科目	
	履修推奨科目		
学習時間 実習1単位 (45時間) × 2単位 + 自学自習			
授業の概要 基礎看護学早期体験実習に続く実習である。この実習では、受持患者の入院、治療、検査による日常生活の変化や、心理状態について把握し援助活動を行う。そのためには、実習開始前までに学習した内容が統合・活用できるように、事前学習や学内演習の基本技術を、さまざまな条件をもった対象を想定して、応用できるように展開する。			
授業の目的 看護の対象を把握し、看護上の問題を明らかにして、看護援助を実施・評価するために、科学的に問題解決する思考能力の基礎を身につける。			
到達目標			学習・教育到達目標 (工学部JABEE基準)
<ol style="list-style-type: none"> 1. 受持患者とコミュニケーションが図れて、信頼関係を築くことができる。 2. 受持患者の入院生活の現状を分析することができる。 3. 受持患者の全体像が描けて必要な看護が述べることができる。 4. 現時点で優先すべき看護を確認し、指導者に報告することができる。 5. 患者の気持ちを大切に、既習の技術をどう応用すれば看護することができるかを考えて実施することができる。 6. 実施した看護を評価することができる。 7. 患者や家族に尊重した態度で接し、プライバシーの確保や倫理的配慮ができる。 			
成績評価の方法と基準 出席状況、実習の状況、実習記録の提出、最終レポートの提出、グループ・クラスカンファレンスの参加態度を総合して評価する。			
授業計画並びに授業及び学習の方法 実習の手引きを参照			
教科書・参考書等 授業で紹介された図書および指定されたテキストの他、専門科目での紹介図書			
オフィスアワー 実習期間中は、毎日16:00~17:00、各担当教員研究室あるいは実習室			
履修上の注意・担当教員からのメッセージ 各自体調管理を十分に行いながら出席する。違和感がある時は、速やかに担当教員に申し出る。			

授業科目名 成人疾病論 (時間割コード：762290)	科目区分	DPコード bcdM	分野コード
	単位数 2	時間割 前期 火4,水1,木4(前半),水4(後半)	
担当教員名 峠 哲男, 筒井 邦彦, 後藤 正司, 臼杵 尚志, 大森 浩二, 岡野 圭一, 金西 賢治, 黒田 泰弘, 窪田 泰夫, 紺谷 桂一, 白神 豪太郎, 田宮 隆, 西山 佳宏, 赤本 伸太郎, 原 大雅, 堀井 泰浩, 村尾 孝児, 森 望, 田中 輝和, 當目 雅代, 金正 貴美	対象年次及び学科 2～ 医学部 看護学科		
	関連授業科目 成人看護学概論 成人慢性期援助論 成人リハビリテーション期援助論 成人終末期援助論 成人看護学演習 成人看護学基本実習 成人急性期・リハビリテーション期実習 成人慢性期・終末期実習 成人看護学継続看護実習		
	履修推奨科目 機能再生医療学 免疫学		
学習時間 講義90分×31回+自学学習			
授業の概要 看護とは、個人・集団の健康的な生活リズムを作ることを目標に、健康上のあらゆる問題に対して援助を行うことであり、健康の増進、維持、回復に関する人間の反応を診断し、かつそれに対処し、個人ないし集団が自立していくことを援助することにある。看護の役割を果たすためには、まず人間の生命過程、発達過程を理解することから始まり、人間の生命、健康に影響を与えるその環境を認識し、健康とはなにか、人間が病むとはどういうことかについて講義する。そして対象となる人間がもっとも必要としている援助の内容が理解でき、かつ実践できるだけの知識と技術について講義する。医学上、病気の成り立ちや仕組みについての知識を講義する。			
授業の目的 人間の健康上の問題の反応を診断し処理するという看護の本来の役割を果たすためには、人間の構造と機能を理解することに始まり、各生体器官またはその機能の障害により発症する成人の代表的な疾患の病態・症状・診断技能・治療について理解し、看護の実践の場において看護上の問題点を認識する。また、疾患を理解することにより生活習慣病、難病、がん、感染症等の慢性病の日常生活維持に関する生活支援を行うための知識を深める。			
到達目標			学習・教育到達目標 (工学部JABEE基準)
1. 成人病の診断法、基本的検査、治療法について説明できる。 2. 外科的感染症、損傷、生体反応の病態について説明できる。 3. がん発症のメカニズム、病態、生体反応の病態について説明できる。 4. 麻酔学、救急医学、放射線医学の概要を説明できる。 5. 皮膚・アレルギー系、循環器系、呼吸器系、脳神経系、血液・造血器系、腎・泌尿器系、消化器系、内分泌・代謝系、運動器系、女性生殖器系、耳鼻咽喉器系における主要な成人病の病因、病態生理、経過、予後、治療について記述できる。			
成績評価の方法と基準 出席および態度20%、筆記試験80%で評価する。			
授業計画並びに授業及び学習の方法			
1. 授業ガイダンス (當目、金正) 授業目的、到達目標、授業計画および成人疾病論と看護			
2. 「内科学概論・診断学, 医学の歴史」(峠) 1) 内科学とは、患者の診方 2) 人と病気の歴史、近代医学の誕生			
3. 「症候学Ⅰ」(峠) 言語障害、貧血、頭痛、しびれ、運動麻痺、けいれん			
4. 「症候学Ⅱ」(峠) 嘔声、呼吸困難、咳嗽と喀痰、喀血、胸水、動悸、排尿障害、意識障害発熱、浮腫			
5. 「症候学Ⅲ」(筒井) 嚥下困難、悪心・嘔吐、吐血・下血、黄疸、肥満・やせ、腹部膨満、便秘・下痢			
6. 「検査診断学」(筒井) 臨床検査の意義、読み方、看護職の役割			
7. 「輸血」(田中) 治療目的と指針、治療方法と手技			
7. 「臨床腫瘍学Ⅰ」(田中) 腫瘍の概念と定義、発癌機序			

8. 「臨床腫瘍学Ⅱ」(田中)
症候、病態と治療
9. 「外科学概論」(臼杵)
外科学とは
10. 「外科学-損傷」(岡野)
損傷の種類、症状と創傷治療、熱傷
11. 「麻酔学」(白神)
麻酔薬と手術
12. 「救急医学」(黒田)
救急医療、外傷、中毒
13. 「放射線医学」(西山)
 - 1) 画像診断学、核医学、放射線治療
 - 2) 放射線障害とその防護
14. 「アレルギー系」(峠)
アレルギー、膠原病、等
15. 「皮膚」(窪田)
湿疹、帯状疱疹、等
16. 「循環器系Ⅰ」(大森)
高血圧症、心不全、不整脈、等
17. 「循環器系Ⅱ」(堀井)
虚血性心疾患と心臓手術、等
18. 「呼吸器系Ⅰ」(筒井)
慢性閉塞性肺疾患、気管支喘息、結核、等
19. 「呼吸器系Ⅱ」(後藤)
肺癌、呼吸器系手術、等
20. 「脳・神経系」(田宮)
脳出血、脳腫瘍、等
21. 「血液・造血器系」(田中)
貧血、DIC、白血病、悪性リンパ腫、等
22. 「腎・泌尿器系」(原)
腎臓病と人工透析、等
23. 「消化器系Ⅰ」(筒井)
肝炎、肝硬変、肝臓癌、膵炎、胆石症、等
24. 「消化器系Ⅱ」(岡野)
胃癌、食道癌、胃・食道手術、等
25. 「消化器系Ⅲ」(赤本)
大腸癌、直腸癌と人工肛門造設術、等
26. 「内分泌・代謝系」(村尾)
糖尿病、高脂血症、等
27. 「運動器系」(森川)
運動器疾患 等
28. 「女性生殖器系Ⅰ」(紺谷)
乳癌、甲状腺疾患、等

29. 「女性生殖器系Ⅱ」(金西)
子宮癌、卵巣癌、更年期障害、等

30. 「耳鼻咽喉器系」(森)
メニエール病、副鼻腔炎、上顎癌、等

自学学習

1～30の講義について教科書・参考書を用いて該当部分を、自己ノートを作成し予習復習として整理する。

教科書・参考書等

教科書

看護のための臨床病態学、南山堂、8,800円、2012

参考文献

- 1) 系統看護学講座 専門科目 成人看護学(2-14)、医学書院、2003
- 2) わかりやすい内科学 第2版、文光堂、2001
- 3) 疾患別看護過程セミナー 総合改訂版、医学芸術社、2006
- 4) 長谷川雅美・林優子編：疾患と看護過程実践ガイド、医学芸術社、2005
- 5) 山田幸広編：看護のための病態ハンドブック、医学芸術社、2005
- 6) 林正健二編：疾病と治療、MCメディカ出版、2008
- 7) 落合慈之監修：消化器疾患ビジュアルブック、2009

オフィスアワー 木曜日16時10分～17時

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

学習目標を達成するためには講義内容を予習・復習を通じて確実に把握し、単なる記憶としてではなく、論理的に裏付けされた知識として習得されねばならない。疾病に対する基本的な考え方を理解し、これらの基礎的な知識を看護の問題として臨床の場に応用していく柔軟さと感性を養うことが重要である。

授業科目名 (時間割コード：762300) 成人慢性期援助論 Adult Health Nursing : chronie	科目区分	DPコード bacM	分野コード
	単位数 1	時間割 前期 木5	
担当教員名 清水 裕子, 重田 宏恵	対象年次及び学科	2～ 医学部 看護学科	
	関連授業科目	成人看護学概論	
	履修推奨科目	成人看護学概論	
学習時間	講義90分 × 15回 + 自学自習		
授業の概要 生涯にわたって病気をコントロールしなければならない慢性期(いわゆる慢性疾患)の成人患者とその家族の体験世界への理解を深めるとともに、慢性期の成人患者とその家族が必要としている看護援助を判断し、個別的な看護を展開するために必要な知識・技術・態度を学ぶ。			
授業の目的 1. 慢性期にある成人患者とその家族が病や障害とともによりよく生きていくために、必要としている看護援助を実践するための基本となる知識・技術・態度を習得する。 2. 慢性の病の経験が成人とその家族の成長・発達を促し、発達課題を達成していけるよう、独自性を尊重した看護援助を実践するための基本となる知識・技術・態度を習得する。			
到達目標			学習・教育到達目標 (工学部JABEE基準)
1. 慢性期にある成人と家族に起こりやすい健康問題とその反応の特徴について説明できる。 2. 慢性期にある成人と家族の健康問題と反応に影響を及ぼす要因を説明できる。 3. 慢性期にある成人と家族のセルフケア(自己管理)の学習支援を促進・阻害する要因を説明できる。 4. 慢性期にある成人と家族のセルフケア学習支援に有用な理論を上げ、説明できる。 5. 慢性期にある成人と家族が必要としているセルフケアを判断し、学習支援のための方法を説明できる。 6. 慢性期にある成人と家族に必要な治療・検査の目的・意義、安全・安楽に目的を達成するための援助を説明できる。 7. 慢性期にある患者と家族が病気や障害とともに生きるために必要な能力・資源を開発するための看護援助について説明できる。 8. 慢性期にある患者と家族が病気や障害とともに生きていく経験に意味を見いだしていくための関わり、援助を説明できる。 9. 慢性期の患者と家族がQOLを維持、あるいは高めるために必要な保健医療システムや社会資源の活用について説明できる。			
成績評価の方法と基準 出席状況、学習態度、レポート(20%)を評価資料とし、試験(80%)を実施する。			
授業計画並びに授業及び学習の方法			
1. 慢性期にある成人の理解 慢性の病をもつ成人とその家族の体験世界、慢性期・慢性疾患の特徴、慢性の病を持つ患者とその家族に起こりやすい看護問題 2-4. 慢性期にある成人患者へのアプローチとその基本となる理論 慢性期の経過と経過別看護アプローチと基本理論：成人の学習理論、自己効力感モデル 行動理論、セルフケア理論、エンパワーメント(意思決定支援)モデル、ケアリング、スピリチュアルケア 5-8. 成人のセルフケア形成に向けての支援 1) 学習支援アプローチの実際：学習ニーズのアセスメント、学習支援計画の立案(共同目標設定)、学習支援方法の立案 2) 事例を用いた学習支援計画の立案(GWと発表討論)：泌尿器系疾患を持つ成人患者の看護一腎不全家族の支援とソーシャルサポート 9. 慢性期の成人患者の家族の問題と支援 慢性期の成人患者の支援のためのヘルスケアシステムと社会資源 10-15. 慢性疾患別成人の看護の方法 1) 代謝系疾患を持つ成人患者の看護—糖尿病、肝疾患他 2) 循環器系疾患を持つ成人患者の看護—心不全、他 3) 消化器系疾患を持つ成人患者の看護—直腸癌、他 4) 呼吸器系疾患を持つ成人患者の看護—COPD、他 5) がん患者の看護 6) 特殊な治療に必要な成人の看護—褥瘡、死にゆく人への援助 【自学自習へのアドバイス】 1-4. 指定図書を精読しておく 5-8. グループでの学習を進めるので、担当箇所を調査し、準備しておく。 10-15. CNS非常勤講師の講義などを参考にするので、指定された課題を調査学習しておく。また、疾患の系統的な理解を必要とするので成人疾病論を復習しておく。			

教科書・参考書等

指定図書

鈴木志津枝ほか. 慢性期看護論. 第2版, ヌーヴェルヒロカワ, 2012.

参考文献

浅野浩一郎ほか. 系統看護学講座 専門分野〈2〉～〈15〉. メディカ出版.

Strauss, Anselm L. ほか. 慢性疾患を生きる. 医学書院, 1987. 原タイトル: Chronic illness and the quality of life.

飯野京子ほか. 安全・確実・安楽ながん化学療法ナーシングマニュアル. 医学書院, 2009. 雑誌. JJNスペシャル No. 85

窪寺俊之. スピリチュアルケア入門. 三輪書店, 2000.

小坂橋喜久代ほか. エビデンスに基づく症状別看護ケア関連図. 中央法規出版, 2001.

コニー・M・デニス. オレム看護論入門. 医学書院, 1999.

厚生省老人保健福祉局老人保健課. 褥瘡の予防・治療ガイドライン. 照林社, 1998.

ジーン・ワトソンほか. ワトソン看護論. 医学書院, 1992.

ドロセア・E. オレムほか. オレム看護論. 第4版, 医学書院, 2005.

安酸史子ほか. 実践成人看護学-慢性期. 改訂版, 建帛社, 2010.

深谷智恵子ほか. ナーシング・グラフィカ第2版成人看護学③④⑥⑦. メディカ出版. 2013

ピエール ウグほか. 慢性疾患の病みの軌跡. 医学書院, 1995.

ミルトン・メイヤロフほか. ケアの本質. ゆみる出版, 1987.

シスター・M・シモース・ローチほか. アクト・オブ・ケアリング. ゆみる出版, 1996.

村本淳子ほか. 一目でわかる糖尿病といわれた人の看護Q&A. ヌーヴェルヒロカワ, 2003.

ルース・ウーほか. 病気と患者の行動. 医歯薬出版, 1984.

ラザルス, リチャード・S. ほか. ストレスの心理学. 実務教育出版, 1991.

ドナ・R. ファルヴォほか. 上手な患者教育の方法. 医学書院, 1992.

三井和浩. ナーシング・グラフィカ〈2〉～〈25〉. メディカ出版

オフィスアワー 授業日の18:00-19:00と次の日の16:30-18:30

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

グループでの調査学習を行います。生活経験を分かち合いながら実践可能な計画案を作成しますから、メンバー間での時間調整が必要になります。

授業科目名 成人急性期援助論 (時間割コード：762310)	科目区分	DPコード bcaM	分野コード
	単位数 1	時間割 前期 水3	
担当教員名 當目 雅代, 金正 貴美, 野口 英子, 小笠 美春, 國方 美佐, 松本 佐和子	対象年次及び学科 2～ 医学部 看護学科		
	関連授業科目 成人疾病論 成人看護学概論 成人慢性期援助論 成人リハビリテーション期援助論 成人終末期援助論 成人看護学演習 成人看護学基本実習 成人急性期・リハビリテーション期実習 成人慢性期・終末期実習 成人看護学継続看護実習		
	履修推奨科目 機能再生医療学 免疫学		
学習時間 講義90分×13回 + BLS・AED演習×2回 + 自学自習			
授業の概要 本授業は、成人を対象に健康状態が急激に変化する急性期、特に手術療法を受ける成人患者に対する看護援助方法を講義します。成人患者が手術による身体的、精神的、社会的な変化に適応するために、手術や麻酔が身体に及ぼす影響、手術を受ける患者の心理状態、手術前・中・後の身体的管理方法についてを講義します。また、救命が必要な対象者への一次救命方法についてを講義・演習します。			
授業の目的 1. 周手術期にある成人とその家族の身体的・精神的・社会的、ならびに生活への影響を理解し、必要としている看護ケアを判断するための基本的知識・技術・態度を身につける。 2. 周手術期ある成人患者とその家族が病気や障害による影響を最少にし、早期に回復するために、必要としている看護援助を実践するための基本となる知識・技術・態度を身につける。			
到達目標			学習・教育到達目標 (工学部JABEE基準)
1. 急性期・周手術期の定義を述べることができる。 2. 周手術期患者の不安の定義、特性、種類、症状および看護援助を説明できる。 3. ストレス理論およびストレス緩和要因を理解し、周手術期患者のストレスとその反応および看護援助の方法を説明できる。 4. 危機理論を理解し、周手術期患者の危機的状況と看護援助の方法を説明できる。 5. 手術に伴う生体反応および麻酔の影響に関する看護援助の方法を説明できる。 6. 手術室看護について説明できる。 7. 手術に伴う生体損傷とその修復過程のアセスメントおよび看護援助の方法を説明できる。 8. 術後合併症のアセスメントと看護援助の方法を説明できる。 9. 手術後の疼痛管理、輸液管理、創傷管理についての看護援助の方法を説明できる。 10. 手術前オリエンテーションの必要性と方法を説明できる。 11. 救急看護・ICUについて説明できる。 12. BLSとAEDについて実施できる。			
成績評価の方法と基準 出席状況・学習態度15%、課題レポート5%、筆記試験80%によって評価する。			
授業計画並びに授業及び学習の方法			
第1回 急性期と周手術期の定義 (當日) 周手術期看護師の役割を学ぶとともに、重症ケア専門看護師のDVDを視聴して、急性期の患者に対するケアのイメージを描く。			
第2回 手術前の心理的側面－手術の不安 (當日) 手術を受ける患者の不安を抱く内容・状況、不安の種類、不安に対する援助方法を学ぶ。			
第3回 手術前の心理的側面－ストレス・コーピング・危機理論 (當日) 手術を受ける患者にとって手術は大きなストレス源である。患者のストレス状況を理解するためにストレス・コーピング理論を学ぶ。また、手術を受けることは患者にとって危機的状況であるため、危機理論を学ぶ。			
第4回 周手術期の身体的側面－手術に伴う生体反応 (當日) 全身麻酔で手術を受ける患者の手術侵襲を知ることで、手術前・中・後の患者管理のアセスメントの視点を学ぶ。			
第5回 周手術期の身体的側面－麻酔の影響と看護 (當日) 全身麻酔で手術を受ける患者の麻酔による影響を知ることで、手術前・中・後の患者管理のアセスメントの視点を学ぶ。			
第6回 手術室の概要、安全対策、事故対策 (當日) 手術室の特徴、設備内容および医療事故の発生頻度の高い手術室での安全対策・事故対策方法を学ぶ。			
第7回 手術中の看護師の役割 (松本) 手術室看護の動向、手術室での直接看護師、間接看護師の機能と役割を学ぶ。			
第8回 手術後の看護 術後ケア方法 (當日) 手術後の看護のDVDを見ながら、術後ベッドの作成方法、麻酔からの覚醒の確認方法、手術後のケア方法について学ぶ。			
第9回 手術後の合併症予防(呼吸器系・循環器系) (當日) 手術後に発生頻度の高い呼吸器系・循環器系の合併症と予防の重要性とケア方法について学ぶ。			

- 第10回 手術後の合併症予防（消化器系・泌尿器系・術後せん妄）（当日）
手術後に発生頻度の高い消化器系・泌尿器系の合併症と術後せん妄の予防の重要性とケア方法について学ぶ。
- 第11回 手術後の疼痛管理、輸液管理（当日）
術後の疼痛管理の方法、輸液管理および水分出納のバランスについてを学ぶ。
- 第12回 手術後の創傷管理、ドレーン管理（当日）
手術後の創傷管理方法およびドレナージ方法の原理と胸腔ドレナージ・腹腔ドレナージのケア方法を学ぶ。
- 第13回 術前オリエンテーション（当日）
手術の身体的・心理的・社会的準備のための術前オリエンテーションの必要性について学ぶ。
- 第14回 救急看護－救急・ICU看護（國方）
救命救急認定看護師より救急・ICU看護について学ぶ。
- 第15回 BLSとAED（國方・当日・金正・野口・小笠）
救命救急認定看護師より一次救命方法とAEDについて演習を受けることで、技術を習得する。

教科書・参考書等

必携図書

竹内登美子編：高齢者と成人の周手術期看護 1 外来/病棟における術前看護第2版、医歯薬出版株式会社、2012年、1900円

竹内登美子編：高齢者と成人の周手術期看護 2 術中/術後の生体反応と急性期看護第2版、医歯薬出版株式会社、2012年、1900円

参考図書

鎌倉やよい：周手術期の臨床判断を磨く、手術侵襲と生体反応から導く看護、医学書院、2008年

疾患別看護過程セミナー 総合改訂版、医学芸術社、2006年

長谷川雅美・林優子編：疾患と看護過程実践ガイド、医学芸術社、2005年

山勢博彰編：救急看護論、ヌーベルヒロカワ、2005年

竹内佐智恵編：周手術期看護、MCメディカ出版、2009年

坂本すが監修：術前・術後マニュアル、メジカルフレンド社、2007年

大久保憲編：OPEナーシング、EBMに基づく手術部の感染防止Q&A、メディカ出版、2002年

中田精三編：手術室看護の知識と実際、メディカ出版、2002年

河野友信：手術患者と不安、真興交易医書出版部、2000年

オフィスアワー 火曜日12時30分～13時

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

授業では必携図書と配布プリントを必ず持参すること。授業プリントはその後の成人急性期・リハビリテーション期実習で活用するので、整理しておくこと。

<p>腹式呼吸・胸式呼吸および器具を使用した呼吸訓練方法について体験し、技術を習得する。</p> <p>第12回 運動機能障害を持つ人の看護：講義（当日） 運動器疾患術後のリハビリテーションプログラムを知り、患者が疾患を自己管理するために必要な患者教育方法について学ぶ。</p> <p>第13回 呼吸・循環機能障害を持つ人の看護：講義（当日） 慢性閉塞性肺疾患患者、虚血性心疾患患者に対するリハビリテーションプログラムを知り、患者が疾患を自己管理するために必要な患者教育方法について学ぶ。</p> <p>第14回 退院指導・退院計画：講義（当日） 患者が退院後の療養生活を円滑に送るために退院指導の意義・目的を学び、退院指導パンフレット作成を実施する。</p> <p>第15回 行動変容アプローチ：講義（非常勤講師 辻下） 理学療法士からリハビリテーションにおける行動変容アプローチについて学ぶ。</p>
<p>教科書・参考書等</p> <p>必携図書 中西純子編：成人看護学、リハビリテーション看護論第2版、ヌーベルヒロカワ、2008年、2625円</p> <p>参考図書 氏家幸子監修：成人看護学、D. リハビリテーション患者の看護第2版、廣川書店、2003年 石鍋圭子編：リハビリテーション専門看護、医歯薬出版、2001年 呼吸器ケア学会：呼吸リハビリテーションマニュアル、照林社、2007年 鈴木愉編：ナースのためのリハビリテーションレクチュア第2版、文光堂、2001年 渡辺俊之編：リハビリテーション患者の心理とケア、医学書院、2000年 大田仁史監修：障害受容意味論からの問い、荘道社、1998年 藤田君枝編：整形外科退院指導マニュアル、メディカ出版、2004年秋期増刊 石鍋圭子編：リハビリテーション看護研究1、医歯薬出版、2001年 大村裕子：カラー写真で見てわかるストーマケア―基本手技・装具選択・合併症ケアをマスター、メディカ出版、2006年 松原 康美、ストーマケアの実践、医歯薬出版、2007年 石鍋圭子編：リハビリテーション看護実践テキスト、医歯薬出版、2008年 宮川哲夫：動画でわかるスクイーピング、中山書店、2005年</p>
<p>オフィスアワー 火曜日12時30分～13時</p> <p>履修上の注意・担当教員からのメッセージ 講義と演習による授業です。演習は、看護学科棟4階成人・老年実習室で行います。看護ユニホームやジャージを着用する指示があります。結髪やアクセサリ等の身だしなみに注意し、名札の着用を必ず行ってください。</p>

授業科目名 (時間割コード: 762330) 成人終末期援助論 End of Life Care in Adult Nursing	科目区分	DPコード ndcM	分野コード
	単位数 1	時間割 後期 月4	
担当教員名 金正 貴美, 本多 美枝	対象年次及び学科 2～ 医学部 看護学科		
	関連授業科目 成人疾病論 成人看護学概論 成人慢性期援助論 成人リハビリテーション期援助論 成人終末期援助論 成人看護学演習 成人看護学基本実習 成人急性期・リハビリテーション期実習 成人慢性期・終末期実習 成人看護学継続看護実習		
	履修推奨科目 心と体のケアリング、成人疾病論、家族看護学		
学習時間 講義90分×8回+倫理的課題GW演習2回+自学学習			
授業の概要 本講義は、人生半ばにして死にゆく病いのなかで成人患者とその家族が経験している身体的・精神的・社会心理的・霊的苦痛について講義します。患者を理解するとともに、患者とその家族がそれらの経験に意味を見いだし、心穏やかにそのときを迎えることができるような看護のあり方について講義します。死にゆく成人と家族の看護の基本となる知識・技術・態度について講義します。			
授業の目的 1. 終末期にある成人患者とその家族の身体的・精神心理的・社会経済的・霊的苦痛に伴うニーズを満たし、残された日々を充実して過ごすための看護援助を実践するための基本となる知識・技術・態度を習得する。 2. 死にゆく病いの経験を成人とその家族が意味づけ、終りのときをおだやかに迎えることができるよう、独自性を尊重した看護援助を身につける。			
到達目標			学習・教育到達目標 (工学部JABEE基準)
1. 終末期にある成人と家族の身体的、精神心理的、社会経済的、ならびに生活への影響について説明できる。 2. 終末期にある成人とその家族の体験している苦痛、スピリチュアルペイン、ニーズを説明できる。 3. 理論に基づいて終末期にある成人とその家族の心理的反応とケアを説明できる。 4. 終末期医療(緩和ケア・チームアプローチなど)の特徴と意義・あり方を説明できる。 5. 終末期にある成人と家族が受ける治療・検査の意義・目的と安全・安楽な援助の方法について説明できる。 6. 終末期にある成人と家族が死にゆくことの経験に意味を見いだし、いくための看護者の関わり、援助のあり方について説明できる。 7. 終末期の成人と家族がQOLを維持、あるいは高めるために必要な保健医療システムや社会資源の活用の方法について説明できる。 8. 終末期にある成人の家族の援助の意義と方法について説明できる。			
成績評価の方法と基準 出席状況及び学習態度10%、レポート10%、小テスト10% 期末試験70%によって評価する。			
授業計画並びに授業及び学習の方法			
第1回: 終末期医療の歴史と緩和ケア (金正) 終末期医療の歴史、チーム医療、緩和ケアについて学ぶ			
第2回: 終末期における患者家族の特徴 終末期における身体症状出現やADL障害の出現、看取りの時期の予測と家族へのケアについて学ぶ			
第3回: 倫理的意思決定のプロセス (金正) 事例を通して、倫理的課題 (Truth telling、鎮静、アドバンスドディレクティブ、ジレンマ) について討論することで、倫理的課題に対する考察を深める			
第4回: 家族への援助 (金正) 終末期にある人の家族の苦痛や悲嘆のプロセスおよび家族の死への気づきやニードおよび遺族へのケア(グリーフワーク、遺族会) について学ぶ			
第5回: 全人的苦痛とスピリチュアルケア (金正) 終末期にある人の全人的苦痛とその援助、スピリチュアルペインとスピリチュアルケアについて学ぶ			
第6回: 苦痛を有する患者へのComfort Care (金正) 補完代替療法、リラクゼーション技法、医療者のストレスマネジメントについて学ぶ			
第7回: 疼痛を有する終末期患者へのケア (本多) がん性疼痛のアセスメント、薬物療法、疼痛緩和技術について学ぶ			

第8回：症状マネジメント1 (金正)

症状マネジメントの統合的アプローチ (IASM) モデル、呼吸器症状、消化器症状のメカニズム、推奨、看護ケアについて学ぶ

【自学実習に関するアドバイス】

第1回：がん患者をめぐる医療の問題や課題について、新聞記事や文献を収集し、自分の意見をまとめ、学習への動機づけとする

第2～8回：「緩和ケア・ターミナルケア看護論」の該当部分を読む

教科書・参考書等

教科書

鈴木志津枝、内布敦子：成人看護学 緩和・ターミナルケア看護論第2版、ヌーヴェルヒロカワ、2005

参考文献

委羽倭文子他：がん看護、三輪書店、2002

柏木哲夫、藤腹明子編：系統看護学講座10 ターミナルケア、医学書院、2005

恒藤暁：最新緩和医療学、最新医学社、2005

日本緩和医療学会：がん疼痛の薬物療法に関するガイドライン、金原出版株式会社、2010

日本緩和医療学会：苦痛緩和のための鎮静に関するガイドライン、金原出版株式会社、2010

日本緩和医療学会：がん患者の消化器症状の緩和に関するガイドライン、金原出版株式会社、2011

日本緩和医療学会：がん患者の呼吸器症状の緩和に関するガイドライン、金原出版株式会社、2011

P. J. ラーソン/内布敦子他：Symptom Management 患者主体の症状マネジメントの概念と臨床応用、日本看護協会出版会、1988

委羽倭文子他：ホスピスケアの実際、三輪書店、2000

根岸秀子、千崎美登子編：エンドオブライフのがん緩和ケアと看取り、医歯薬出版、2008

辻井博彦：がん放射線治療とケア・マニュアル、医学芸術社、2003

岡崎寿美子編：痛みのケア、医歯薬出版、2002

近藤まゆみ、峰岸秀子編：がんサバイバーシップ がんとともに生きる人びとへの看護ケア、医歯薬出版、2006

吉田哲：ターミナルケアの場面 看護とカウンセリングⅡ、メディカ出版、2000

アルフォンス・デーケン編：死への準備教育第2巻 死を考える、メヂカルフレンド社、1986

アルフォンス・デーケン編：死への準備教育第3巻 死を看取る、メヂカルフレンド社、1986

五十嵐透子：リラクゼーション法の理論と実際 ヘルスケア・ワーカーのための行動療法入門、医歯薬出版、2001

小島操子、佐藤禮子監訳：がん看護コアカリキュラム、医学書院、2007

恒藤暁、内藤敦子編集：系統看護学講座 別巻 緩和ケア、医学書院、2010

梅田恵、射場典子編集：看護学テキストNICU 緩和ケア、南江堂、2011

田村恵子、河正子、森田達也：看護に活かすスピリチュアルケアの手引き、青梅社、2012

オフィスアワー 月曜日 16:10 ~ 17:00

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

講義、演習は疑問を持って積極的に取り組み、自分の意見を発表する

授業科目名 (時間割コード: 762360) 老年看護学概論 Introduction to Gerontological Nursing	科目区分	DPコード bcdM	分野コード
担当教員名 大森 美津子, 西村 美穂, 政岡 敦子	単位数 2	時間割 前期 木3	
	対象年次及び学科 2~ 医学部 看護学科		
	関連授業科目		
	履修推奨科目		
学習時間 講義+グループワーク+演習90分×15回+自学自習			
授業の概要 老年看護の目的は、老年期にあるその人の生命・生活の質が、その人をとりまく環境や条件の中で最大に保たれるように援助することである。老年看護の対象は、人生の最終段階にある人で、これまでの生活背景や社会・文化的背景などから身体的、心理・社会的変化の個人差が大きい。老年看護を学ぶためには、高齢者の特徴を捉えるとともに、その高齢者が生活している高齢社会の現実に向ける必要がある。その上で、老年看護の理念や目標などについて学び、高齢者を支える行政の医療福祉政策の現状や変化についても学ぶ。また学生は、老化による身体的・心理的・社会的機能や能力の低下した高齢者に、内部・外部環境の変化に伴って発生する健康上の問題や生活機能障害について学び、個人差の大きい高齢者に対する援助のありかたを理解する。さらに、高齢者やその家族を看護するモデルについて学ぶ。			
授業の目的 高齢社会における保健・医療・福祉の現状と課題を踏まえた、老年看護の理念・目標・役割を理解する。その上で、健康・生活機能障害のある高齢者と家族の特徴とともに、看護に用いる理論を理解する。			
到達目標			学習・教育到達目標 (工学部JABEE基準)
1. 老いのとらえ方と加齢による影響について説明できる。 2. 老年期の各発達段階における特徴を説明できる。 3. 高齢者の体験や生活の実態について説明できる。 4. 高齢者を取り巻く倫理的問題について説明できる。 5. 高齢者に対する高齢社会の影響を説明できる。 6. 高齢者医療の動向について説明できる。 7. 高齢社会における保健福祉サービスの概要について説明できる。 8. 老年看護の理念・目標について説明できる。			
成績評価の方法と基準 試験、レポート、出席状況、学習態度により評価する。			
授業計画並びに授業及び学習の方法 それぞれを90分とし、講義、演習、グループワーク、自己学習、レポート形式で行う。 第1回 授業ガイダンス 老年看護とは 第2回 高齢社会と保健・医療・福祉の現状と課題 グループワーク 第3回 保健・医療・福祉の現状と課題 グループワーク 第4回 保健・医療・福祉の現状と課題 グループによる発表 第5回 老年看護の理念・役割 第6回 加齢に伴う変化 第7回 加齢に伴う変化 第8回 高齢者の健康 第9回 高齢者疑似体験 演習 第10回 高齢者疑似体験 演習 第11回 疾病を持つ高齢者 第12回 高齢者の家族 第13回 ロイ適応看護モデル 第14回 ロイ適応看護モデル 第15回 ロイ適応看護モデル 【自学自習に関するアドバイス】 第2回 高齢社会と保健・医療・福祉に関する情報を集める。 第3回 高齢社会と保健・医療・福祉に関する情報を整理し、まとめる。 第5回 老年看護の目標について考える。 第6・7回 加齢に伴う変化について文献を読む。 第8回 高齢者の健康について文献を読む。 第9・10回 高齢者の身体的特徴について整理し、疑似体験を考える。 第11回 高齢者の疾病やその看護について調べる。 第12回 疾病を持つ高齢者の家族に対する看護について考える。 第13~15回 ロイ適応看護モデルについて文献を読む。			
教科書・参考書等			

教科書

正木治恵, 真田弘美編集:看護テキストNice老年看護学概論「老いを生きる」を支えることは, 南江堂, 2013.

真田弘美, 正木治恵編集:看護テキストNice老年看護学技術 最後までその人らしく生きることを支援する, 南江堂, 2013.

シスター・カリスタ・ロイ著, 松木光子監訳:ザ・ロイ適応看護モデル 第2版, 医学書院, 2010.

参考書

堀内ふき. 高齢者の健康と障害. 第3版, メディカ出版, 2011, (ナーシング・グラフィカ, 26).

大淵律子ほか. 老年看護の実践. 第3版, メディカ出版, 2005, (ナーシング・グラフィカ, 27).

野呂レナルド, 柴田理恵訳:ロイ適応モデルにもとづく看護アセスメントツール, 医学書院, 2009.

ヒーサーA. アンドリュース, シスターC. ロイ著, 松木光子監訳:ロイ適応看護論入門, 医学書院, 2010.

小田正枝編集:ロイ適応看護理論の理解と実践, 医学書院, 2009.

小田正枝編集:ロイ適応モデル 看護過程と記録の実際, 廣川書店, 1999.

井上郁. 明解看護学双書6 老人看護学. 金芳堂, 2004.

厚生統計協会. 国民衛生の動向〈2011/2012〉. 厚生統計協会, 2011. 雑誌. 厚生 の指標増刊.

オフィスアワー 前期・木曜日 17時00分～ 18時00分

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

周囲の高齢者と積極的に関わりながら, また, 高齢者の保健・福祉に関わるニュースにも関心を持って学んでほしい。

授業科目名 老年疾病論 (時間割コード：762370)	科目区分	DPコード bcaM	分野コード
	単位数 1	時間割 前期 木4	
担当教員名 峠 哲男, 笥 善行, 森 望, 後藤 正司, 他	対象年次及び学科	2～ 医学部 看護学科	
	関連授業科目	成人疾病論	
	履修推奨科目	機能再生医療学	
学習時間	講義90分 × 8回 + 自学自習		
授業の概要 ニュートンによる老年看護の最初の定義（1950）では、「老年病学とは、高齢者における病的状態の治療とケアを扱う医学ならびに看護学の一分野である。これは健康の促進と疾病の予防も含まれる」と述べている。医学や看護の臨床の現場では単に疾病の治療やケアのみならず、日常生活動作や“生活の質”の向上を視野に入れた包括的な医療が要求されている。さらに老年看護と密接に関連する問題として認知症や老年精神病理学、老年社会学、生と死の問題などが挙げられる。このように老年看護学は、概念的にはかなり広範な内容を包含しているといえる。本講義では臨床老年看護学を学ぶ出発点として、高齢者の疾病について理解を深め、現在行われている治療や患者の辿る経過などを知り、看護へとつなげる学習が行えるようにする。			
授業の目的 老年看護において看護が本来の目的を果たすためには、老年学の立場に立った加齢に伴う身体の変化をはじめ、高齢者特有の病態や症状を理解し、高齢者に特徴的な疾患に関する知識を習得し、高齢者に起こりうる身体的変化の異常に関して知識を深める。また、高齢者の治療を行う場合の注意点や起こりやすい副作用、合併症についても学習する。			
到達目標			学習・教育到達目標 (工学部JABEE基準)
1. 加齢に伴う身体の変化（老化）や健康問題について説明できる。 2. 記憶・認知機能障害、転倒、失禁など高齢者に特有な病態や、症状が非定型的であることなど老年病の特徴について説明できる。 3. 高齢者が罹患しやすい代表的な疾病について、疫学・病理・症候・診断・治療・経過が説明できる。 4. 高齢者心理学、老年社会学について述べるができる。 5. 高齢者の治療を行う場合の起こりやすい副作用、合併症について述べるができる。			
成績評価の方法と基準 2年次前期末、講義終了時に筆記試験を行う。講義の出欠の状態も評価の対象とする。			
授業計画並びに授業及び学習の方法			
1 老化と老年病（1） 老化の定義、加齢の過程、老化による身体的変化（峠） 2 老化と老年病（2） 高齢者の特性、老年病の特徴、老年病の疫学（峠） 3 老化と老年病（3） 診断上の問題、治療上の問題・薬物投与量、高齢者の機能評価とQOL（峠） 4 老年外科 外科療法の適応、手術成績、術後の問題点（後藤） 5 認知症 疫学・病理・症候・診断・治療・経過（峠） 6 前立腺肥大・前立腺癌 疫学・病理・症候・診断・治療・経過（笥） 7 老人性難聴 疫学・病理・症候・診断・治療・経過（森） 8 白内障 疫学・病理・症候・診断・治療・経過（未定）			
学習目標を達成するためには講義内容を予習・復習を通じて確実に把握し、単なる記憶としてではなく、論理的に裏付けされた知識として習得されねばならない。疾病に対する基本的な考え方を理解し、これらの基礎的な知識を踏まえて看護の臨床の場に応用していく柔軟さと感性を養うことが重要である。			
教科書・参考書等 系統看護学講座 専門2 1 老年看護病態・疾病論、医学書院、2003 ナースの内科学 第6版、奈良信雄 中外医学社、2004 ナースの外科学 第4版、磯野可一 中外医学社、2005 ベッドサイドの老年診断学 第1版、萩原俊男 南山堂、1994 老年医学への招待 中村重信、三森康世 南山堂 2010			
オフィスアワー 月曜日 午後3-5時			
履修上の注意・担当教員からのメッセージ 授業中 飲食、私語禁止、携帯電話使用禁止			

授業科目名 (時間割コード: 762381) 老年援助論 Methodology of Gerontological Nursing	科目区分	DPコード cbdM	分野コード
	単位数 1	時間割 後期 火3	
担当教員名 大森 美津子, 西村 美穂, 政岡 敦子	対象年次及び学科	2~ 医学部 看護学科	
	関連授業科目	老年看護学概論、老年疾病論	
	履修推奨科目		
学習時間	講義+グループワーク+演習90分×15回+自学自習		
授業の概要 老年看護は老化による部分的変化と全体的変化が密接に絡まって、罹患している病気とともに高齢者の健康に様々な影響を与えていることを理解して進める必要がある。さらに日々の身体面・社会面での喪失を経験しつつ、死を意識しながら生活し、精神的な発達の可能性を秘めている。学生は老年看護の原則について学び、高齢者の特徴を踏まえて、老化を伴う健康障害や生活障害のある高齢者とその家族への援助について学ぶ。高齢者が、施設において検査や治療を受けたり、入院や退院に適応できる援助について学ぶ。高齢者の尊厳を保ちつつ、虐待防止や高齢者の権利擁護など倫理面に配慮し、精神的な発達を促せる高齢者の援助について学ぶ。			
授業の目的 高齢者が、自立した快適な生活を送るための援助の方法および治療を受ける高齢者の看護を習得する。また、高齢者がその人生を全うできるような高齢者ケアについて理解する。			
到達目標			学習・教育到達目標 (工学部JABEE基準)
1. 看護の原則について説明できる。 2. ロイ適応看護モデルを用いた看護過程の展開について説明できる。 3. 高齢者の日常生活の援助技術(コミュニケーション、食事、排泄、活動と休息等)について加齢と関係づけて説明できる。 4. 高齢者の安全で自立を高める環境を維持する方法について説明できる。 5. 認知症高齢者や家族のケア、高齢者の権利擁護について説明できる。 6. 入院している高齢者や家族への援助の方法について説明できる。 7. 高齢者や家族への退院支援について説明できる。			
成績評価の方法と基準 試験、レポート、出席状況、学習態度により評価する。			
授業計画並びに授業及び学習の方法 授業形態は、講義・グループワーク・演習とする。			
第1回 ガイダンス、老年看護の原則、ロイ適応看護モデルのグループワーク説明 第2回 老年看護の基本的な看護技術-安全な環境を維持する 第3回 老年看護の基本的な看護技術-活動の援助と転倒予防 第4回 老年看護の基本的な看護技術-コミュニケーションの促進 第5回 老年看護の基本的な看護技術-排泄の援助 尿失禁のある高齢者への援助 第6回 老年看護の基本的な看護技術-食事の援助 食事の演習のオリエンテーション 第7回 老年看護の基本的な看護技術-食事の演習 第8回 老年看護の基本的な看護技術-食事の演習のまとめ 第9回 認知症高齢者の看護 第10回 認知症高齢者の看護 第11回 ロイ適応看護モデルのグループワーク 第12回 ロイ適応看護モデルのグループワーク発表 第13回 入院している高齢者や家族の看護-診察、検査、入院 第14回 入院している高齢者や家族の看護-薬物療法、手術療法を受ける高齢者の看護 第15回 入院している高齢者や家族の看護-退院支援			
【自学自習に関するアドバイス】 第1回 ロイ適応看護モデルの復習をする。 第2回~7回 今までに学んだ基礎看護技術の復習を行い、レポート提出する。 第9・10回 認知症に関する文献を読む。 第11・12回 グループワーク前に必要な情報収集を行う。また、発表の準備を行う。 第13~15回 今までに経験した入院、退院支援についてまとめ、レポート提出する。			
教科書・参考書等 真田弘美, 正木治恵編集: 看護学テキストNice 老年看護学技術 最後までその人らしく生きることを支援する, 南江堂, 2013. 正木治恵, 真田弘美編集: 看護学テキストNice 老年看護学概論 「老いを生きる」を支えることとは, 南江堂, 2013. シスター・カリスタ・ロイ著, 松本光子監訳: ザ・ロイ適応看護モデル 第2版, 医学書院, 2010. 野呂レナルド, 柴田理恵訳: ロイ適応モデルにもとづく看護アセスメントツール, 医学書院, 2009.			

ヒーサーA. アンドリュース, シスターC. ロイ著, 松木光子監訳: ロイ適応看護論入門, 医学書院, 2010.
小田正枝編集: ロイ適応看護理論の理解と実践, 医学書院, 2009.
小田正枝編集: ロイ適応モデル 看護過程と記録の実際, 廣川書店, 1999.

オフィスアワー 後期・火曜日 17時00分～18時00分

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

基礎看護技術を復習して臨んでほしい。演習は臨床をイメージしながらよく考えて行い、身につけてほしい。

授業科目名 (時間割コード: 762410) 小児看護学概論 Introduction to Pediatric Nursing	科目区分	DPコード bcdM	分野コード
	単位数 1	時間割 前期 水2	
担当教員名 谷本 公重, 祖父江 育子	対象年次及び学科	2~ 医学部 看護学科	
	関連授業科目	小児疾病論、小児保健対象論、小児援助論	
	履修推奨科目	小児疾病論	
学習時間 講義90分 × 8回 + 自学自習			
授業の概要 小児看護の目的は、子どもとその家族の幸福と健康を実現できるように援助することです。本科目では、みなさんがライフサイクルを通じた健康の実現を理解するよう、子どもの成長・発達に関する知識を伝え、各発達段階において心身ともに健やかに発達するための成育看護について学びを深めるよう教授します。さらに、子どもの最善の利益を守るための法律や条約に関して学習していきます。			
授業の目的 1. 小児看護の特性、理念と目標、役割について学際的に学習する。 2. 小児各期の成長・発達における遺伝的素因や環境要因の影響について学習し、健康実現に関する包括的な取り組みの重要性について考究する。 3. 子どもとその家族の身体的・心理社会的発達過程について理解し、健康の増進に必要な基本的知識、態度を習得する。 4. 子どもの権利条約の成立背景、子どもの権利条約が小児の健全育成に果たす役割について学習し、小児の最善の利益にかなう医療・看護について考究する。			
到達目標			学習・教育到達目標 (工学部JABEE基準)
1. 小児看護の対象、理念、目標について説明できる。 2. 子どもの権利とその擁護について説明できる。 3. 小児各期の成長・発達の特徴とその過程を説明できる。 4. 小児各期の認知の発達の特徴とその過程を説明できる。 5. 小児の愛着形成過程を母子相互作用の観点から説明できる。 6. 小児各期の健康課題に関し、その特徴と援助について説明できる。			
成績評価の方法と基準 1. 出席 10% 2. 講義参加度 10% 3. 試験 80%			
授業計画並びに授業及び学習の方法 各回の項目と内容は以下の通りである。 第1回: 小児看護の理念と目標 第2回: 小児看護の移り変わり、子どもの人権擁護 (アドボカシー) 子どもの権利と歴史的背景、入院中の子どもの権利 第3回: 子どもの成長と発達 成長と発達の原則、形態的・機能的成長発達 第4回: 子どもの成長と発達 心理社会的発達 第5回: 子どもの成長と発達 基本的生活習慣 第6回: ライフサイクル各期の子どもと家族の生活と健康課題 新生児期・乳児期の子どもと家族・・・愛着 第7回: ライフサイクル各期の子どもと家族の生活と健康課題 幼児期の子どもと家族・・・事故防止 第8回: ライフサイクル各期の子どもと家族の生活と健康課題 学童期・思春期の子どもと家族・・・学校への適応、セルフケア、ヘルスプロモーション 【自学自習へのアドバイス】 本講義の自学としては、同時期にある小児疾病論との関連を重視しながら、各講義終了後の復習を中心に進め、知識の定着を図っていただきたい。その過程で生じた疑問は、積極的に担当教員に質問をしてほしい。そのうえで小児看護の理念、目標に対して自己の考えを明確にしていくこと。			

教科書・参考書等

【教科書（必携）】

二宮啓子，今野美紀編集：小児看護学概論改定第2版，南江堂，2012年，¥3,150

二宮啓子，今野美紀編集：小児看護技術改定第2版，南江堂，2012年，¥2,730

【参考書】

石黒彩子，浅野みどり編集：発達段階からみた小児看護過程＋病態関連図第2版，医学書院，2012年，¥3,990

竹村節子，横井和美監修：実習アセスメント実践ノート，医学芸術社，2008年，¥4,095

【その他資料】

適宜配布、紹介します。

オフィスアワー 水曜日13時から15時
看護学科教育研究棟 谷本 4階 414号研究室

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

教科書として指定した図書は、講義に必ず、持参してください。

授業科目名 (時間割コード: 762420) 小児疾病論 Developmental Pediatrics	科目区分	DPコード bxxM	分野コード
	単位数 1	時間割 前期 木2	
担当教員名 日下 隆, 岡田 仁, 岩瀬 孝志, 小西 行彦, 西庄 佐恵, 近藤 園子, 谷本 公重	対象年次及び学科	2~ 医学部 看護学科	
	関連授業科目	小児疾病論	
学習時間	講義90分 × 8回 + 試験		
授業の概要 小児科学は、胎生期から新生児期、乳児期、幼児期、学童期、思春期までの小児期全体を扱う。病気に罹患した小児だけを対象にするのではなく、疾病予防等により国の将来を担う心身ともに健全な成人を育成することを目的としている。また小児期には、各臓器や精神の成長・発達の時期に一度それが障害されると一生を決定づける非可逆的な変化をもたらすcritical period (臨界期) があり、小児の疾病を取り扱う時の基本となっている。成長とは細胞の増殖を促進は機能の分化をいい、あわせて発育という。このため、おのおの時期の生理的、心理的等の発育を理解したうえで、疾病罹患した小児に接することが重要である。小児疾患と接する際には、小児のおかれている環境をよく理解して、将来の発育にどのような影響をおよぼすかについても考えなければならない。さらに、疾患の予防方法の有無などについても知ることが重要である。講義においては、出生前小児科学を初めとして発達の変化を時間軸として、感染症、神経、腎、内分泌、呼吸器、循環器、血液腫瘍、免疫アレルギー、消化器疾患などの病態生理、臨床症状、治療を中心に小児疾病を解説する。			
授業の目的 近年、社会環境の変化、とくに出生率低下や少子化など小児を取り巻く社会構造・環境の変化に伴い小児疾病構造にも大きな変化が現れている。特に母乳保育を軸とする母子相互作用の意義を理解する必要がある。			
到達目標			学習・教育到達目標 (工学部JABEE基準)
1. 胎生期より新生児期、乳児期、幼児期、学童期、思春期の各時期の正常な成長、発達および生理を理解できる。 2. 母子相互作用、予防小児科 (事故、成人病、心身症)、予防接種、乳児健診、学校保健など社会小児科学を理解できる。 3. 小児に比較的好く見られる疾病の病態生理、臨床症状、治療を理解できる。			
成績評価の方法と基準 学期末 (一般目標・行動目標及び発育について再確認すること) に試験を行う。 場合により、レポートの評価を行う。			
授業計画並びに授業及び学習の方法			
第1回小児疾病論・総論「育児の原点」 第2回 ・各論「血液および造血器疾患、腫瘍、腎・泌尿器疾患」 第3回 ・各論「社会小児科学、出生前小児科学、先天性代謝異常、新生児疾患」 第4回 ・各論「呼吸器疾患、消化器疾患」 第5回 ・各論「生体防御総論 (免疫・アレルギー)、アレルギー性疾患、自己免疫疾患、感染症」 第6回 ・各論「成長・発達および生理、栄養および栄養障害代謝性疾患、内分泌」 第7回 ・各論「循環器疾患、小児保健、予防医学、母子手帳」 第8回 ・各論「神経系疾患・小児神経症」 第9回 ・試験			
教科書・参考書等 ・原 寿郎、編. 新生児・小児疾患. 第2版、中山書店、2005年 (看護のための最新医学講座 14) ・豊原清臣、編. 開業医の外来小児科学. 改訂5版、南江堂、2007年 ・小川雄之亮、編. 新生児学. 第2版、メディカ出版、2000年 ・飯沼一宇、他、編. 小児科学・新生児学テキスト. 第5版、診断と治療社、2007年 ・Behrman, Richard E. 他. ネルソン小児科学. 原著第17版、エルゼビア・ジャパン、2005年. 原タイトル: Nelson textbook of pediatrics.			
オフィスアワー 医学部小児科学講座			
履修上の注意・担当教員からのメッセージ 講義時間が限られているため、講義への参加は必須で、関連した事項を教科書や図書館などを利用して復習や自己学習を行うことが重要。			

授業科目名 (時間割コード: 762435) 小児保健対象論 Pediatric Nursing I	科目区分	DPコード bcdM	分野コード
	単位数 1	時間割 後期 月3	
担当教員名 谷本 公重	対象年次及び学科	2～ 医学部 看護学科	
	関連授業科目	小児看護学概論、小児疾病論、小児援助論、小児看護学実習	
	履修推奨科目	小児看護学概論、小児疾病論	
学習時間 講義90分 × 15回 + 自学自習			
授業の概要 本科目では、小児看護学概論での学びと関連づけながら、小児の成長発達や家族のライフステージに基づいた、健康な小児や家族の生活について教授します。また、さまざまな成長発達段階および健康状態にある小児と家族のアセスメント法や、小児看護の基礎的知識と援助法、小児期の特徴的な健康障害と看護方法について、映像での学習や一部演習を取り入れて教授し、小児保健や小児看護に関する理解が深まるようにします。これらすべては、小児とその家族が主体的に行う心理的準備を支援することの重要性を伝えながら教授します。なお、学習者には、常にその根底に看護職者としての倫理の原則について意識して学習する事を求めます。			
授業の目的 1. 小児とその家族中心の看護について理解する。 2. 小児の基本的な生活習慣の獲得過程を成長・発達過程との関連で理解し、その援助法を習得する。 3. 小児の成長・発達に基づいたフィジカル・アセスメント方法と注意点について理解する。 4. 小児看護の基本技術について理解する。 5. 小児とその家族に対する安全・安楽・安心なケアの実施方法を理解する。 6. 小児疾患の主要症状を小児の形態や機能から理解する。			
到達目標			学習・教育到達目標 (工学部JABEE基準)
1. 小児とその家族中心の看護の重要性について説明できる。 2. 小児の基本的な生活習慣と援助法を発達段階との関連で説明できる。 3. 事故予防や安全への配慮について説明できる。 4. 小児の成長・発達に応じた説明の必要性について説明できる。 5. 小児の成長・発達に基づいたフィジカル・アセスメントについて説明できる。 6. 小児の生活援助に必要な看護技術において、安全安楽やその留意点について説明できる。 7. 小児の薬物療法の特徴と起こり得るノンコンプライアンス状況について説明できる。 8. 小児救急の現状について説明できる。 9. 小児の主要症状に応じた子どもと家族の反応と適切な看護について説明できる。 10. 小児とその家族の最善の利益を尊重した看護について説明でき、適切な援助を習得できる。			
成績評価の方法と基準 1. 出席 10% 2. レポート 20% 3. 試験 70%			
授業計画並びに授業及び学習の方法 各回の項目と内容は以下の通りである。 第1回：プレパレーション（1） 認知発達、インフォームドコンセント・アセント、プレパレーション 第2回：プレパレーション（2） 実践上の課題、小児ケアモデル、プレパレーションの実際 第3回：子どもの健康状態を把握する技術 ヘルスヒストリー、バイタルサイン測定 第4回：子どもの健康状態を把握する技術 身体計測、アセスメント 第5回：生活援助に必要な看護技術 嚥下・咀嚼の発達、母乳育児援助 第6回：生活援助に必要な看護技術 食事介助、経管栄養、排泄の援助 第7回：安全・安楽のための環境整備 安静、体動制限、環境整備 第8回：呼吸管理のための看護技術 酸素吸入、喀痰喀出法（吸引・ネブライザー）、パルスオキシメータ 第9回：薬物療法を受ける子どもへの援助技術 小児の薬物療法、アドヒアランス 第10回：薬物療法を受ける子どもへの援助技術 輸液を受ける子どもへの援助 第11回：検査・処置を受ける子どもへの援助技術 採血・採尿 第12回：小児の救急看護			

小児救急の現状と緊急度評価

第13回：水・電解質バランス

成長に伴う、水・電解質バランスの変化、必要水分量、水分出納

第14回：症状と看護

発熱、脱水、浮腫

第15回：症状と看護

嘔吐、下痢

【自学自習へのアドバイス】

教科書として示す図書に関しては、講義前後に目を通してください。各回の自学自習に関して、以下に示します。

第1、2回：小児看護学概論で学習した子どもの成長・発達に関して復習をしておいてください。

第3 - 11回：該当する看護技術に関して、各領域での既習内容を復習しておいてください。

第10、11回：薬物の吸収、代謝、分布、排泄に関して既習内容を復習しておいてください。

第12回：小児救急の現状と社会的課題に関するメディア報道を確認しておいてください。

第13回：形態・生理学で学習した、細胞の構造と機能、体液と電解質について復習をしておいてください。

第14、15回：「発熱、嘔吐、下痢のある患児への看護」の紙上事例を用いて演習を行います。小児疾病論での学習を復習しておいてください。

教科書・参考書等

【教科書（必携）】

二宮啓子，今野美紀編集：小児看護学概論改定第2版，南江堂，2012年，¥3,150

二宮啓子，今野美紀編集：小児看護技術改定第2版，南江堂，2012年，¥2,730

【参考書】

石黒彩子，浅野みどり編集：発達段階からみた小児看護過程＋病態関連図第2版，医学書院，2012年，¥3,990

竹村節子，横井和美監修：実習アセスメント実践ノート，医学芸術社，2008年，¥4,095

【その他資料】

適宜配布、紹介します。

オフィスアワー 水曜日13時から15時

看護学科教育研究棟 谷本 4階 414号研究室

「 」4階 413号研究室

「 」3階 313号研究室

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

教科書は毎回、必携すること。

授業科目名 (時間割コード: 762445) 小児援助論 Pediatric Nursing II	科目区分	DPコード bcdM	分野コード
	単位数 1	時間割 後期 水1	
担当教員名 谷本 公重, 祖父江 育子, 松本 久美恵	対象年次及び学科	2~ 医学部 看護学科	
	関連授業科目	小児看護学概論、小児疾病論、小児保健対象論、小児看護学実習	
	履修推奨科目	小児看護学概論、小児疾病論	
学習時間	講義90分 × 15回 + 自学自習		
授業の概要 本科目では、成長・発達過程にある子どもとその家族が健康障害や入院によって受ける影響とその反応について教授します。そして、その子どもが自分の身体的・心理的・社会的な可能性を最大限発揮し、よりよい成長・発達を上げることができるように、加えて、その家族が子どもへの養育力を十分に働かせ、対処能力を発揮できるように援助するために必要な知識・方法・態度について教授します。授業では、一部、演習として、さまざまな状況にある子どもと家族に関する紙上事例を用いて、看護過程の展開を行います。本授業では看護職者としての倫理原則を意識して学習する事を求めます。			
授業の目的 1. 小児に特有な疾患に罹患した小児の特徴や、小児とその家族への看護ケアについて、発達段階を踏まえて学習し、いくつかの症例に関して具体的に看護ケアを立案する。 2. 検査・処置・手術を受ける小児とその家族の看護、痛みの発生機序と最新の緩和ケアについて学び、プレパレーションや緩和ケアの重要性を理解する。 3. 慢性疾患を持つ小児とその家族の発達課題の達成やセルフケア能力、QOLを高める援助法を学習し、小児とその家族への看護について理解する。 4. 小児とその家族の疾患・入院に対する反応や対処、危機理論について学習し、看護について理解する。 5. 発達段階に基づく小児の死の理解、ターミナル期の小児や家族の反応について学習し、ターミナル期の看護やグリーフケアについて理解する。 6. 変化する社会の中での小児看護の質を向上するうえでの課題やあり方について理解する。			
到達目標			学習・教育到達目標 (工学部JABEE基準)
1. 疾患や障害をもつ小児の看護について、状況別の重要点を説明できる。 2. 疾患による小児やその家族の反応や対処、入院が小児とその家族の生活に及ぼす影響について説明でき、保健・医療、教育、福祉等の連携について意見を述べるができる。 3. 検査・手術を受ける小児とその家族の反応について説明できる。 4. 小児がんと診断された患児が受ける治療・検査の目的・内容と家族を含めた援助のあり方について説明できる。 5. 慢性疾患を持つ小児とその家族の発達課題やQOL、セルフケアの重要性について説明できる。 6. 小児がもつ死の概念の発達の变化を説明できる。 7. 小児看護におけるグリーフワーク、グリーフケアについて説明できる。 8. 疼痛の発生機序に基づいて、緩和ケアやプレパレーションの重要性を説明できる。 9. 小児と家族を対象とした看護の質向上に貢献する活動について説明できる。 10. 小児看護について自己の考えを述べるができる。			
成績評価の方法と基準 1. 出席 5% 2. レポート 25% 3. 試験 70%			
授業計画並びに授業及び学習の方法 第1回: 入院生活における小児の反応と対処、保護者の反応と対処、看護ケア 第2回: 急性期にある子どもと家族への援助 1) 小児の感染症・・・症状の観察と緩和、環境調整、感染防止 第3回: 急性期にある子どもと家族への援助 2) 事例 (急性胃腸炎の小児への看護) 第4回: 急性期にある子どもと家族への援助 3) 川崎病・・・症状の観察と緩和、退院指導 第5回: 手術を受ける子どもと家族への援助 手術を要する小児の健康障害と手術の時期、小児のQOLと安全・安楽への援助 第6回: 先天性疾患をもつ子どもと家族への援助 先天性疾患の特徴と家族の反応、マスククリーニング 第7回: アレルギー疾患をもつ子どもと家族への援助 第8回: 小児がんの子どもと家族への援助 1) 発症、確定診断から治療開始までの子どもと家族への援助 第9回: 小児がんの子どもと家族への援助 2) 化学療法を受けている子どもと家族への援助			

- 第10回：小児がんの子どもと家族への援助
 3) 社会的問題に関する子どもと家族への援助
- 第11回：慢性疾患をもつ子どもと家族の援助
- 第12回：疼痛への緩和ケア (非常勤講師 祖父江)
 疼痛の機序、発達段階による疼痛のアセスメント、緩和ケア
- 第13回：ターミナル期の小児とその家族への援助 (非常勤講師 祖父江)
 発達段階における死の概念、ターミナル期の小児とその家族、グリーフワークとグリーフケア
- 第14回：小児看護学統合 (非常勤講師 松本)
 1) 疾患をもつ子どもとその家族への援助
- 第15回：小児看護学統合
 2) これからの小児看護・・・小児看護と専門看護師、小児看護と研究

【自学自習へのアドバイス】

本授業は、先行して履修した小児看護学概論、小児疾病論、小児保健対象論とリンクしています。既習の内容を毎回、復習するように努めましょう。また、各回で学習する内容は、教科書として指定した図書にて確認しましょう。

教科書・参考書等

【教科書 (必携)】

- 二宮啓子, 今野美紀 編集：小児看護学概論改定第2版, 南江堂, 2012年, ¥3,150
 二宮啓子, 今野美紀 編集：小児看護技術改定第2版, 南江堂, 2012年, ¥2,730

【参考書】

- 石黒彩子, 浅野みどり編集：発達段階からみた小児看護過程＋病態関連図第2版, 医学書院, 2012年, ¥3,990
 竹村節子, 横井和美監修：実習アセスメント実践ノート, 医学芸術社, 2008年, ¥4,095

【その他資料】

適宜配布、紹介します。

オフィスアワー 水曜日13時から15時
 看護学科教育研究棟 谷本 4階 414号研究室
 「 」4階 413号研究室
 「 」3階 313号研究室

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

教科書として指定した図書は、講義に必ず、持参してください。さまざまな状況にある子どもと家族への看護に関して、レポート課題を出します。内容をよく吟味し、自己の考えを論理的かつ簡潔にまとめるよう心がけてください。

授業科目名 母性疾病論 Maternity Health Medicine (時間割コード：762480)	科目区分	DPコード bdxM	分野コード
	単位数 1	時間割 後期 水4～5	
担当教員名 佐々木 睦子, 塩田 敦子	対象年次及び学科	2～ 医学部 看護学科	
	関連授業科目	母性看護学概論, 母性保健対象論, 母性援助論	
	履修推奨科目	母性看護学概論, 母性保健対象論, 母性援助論	
学習時間 講義90分 × 8回 + 自学自習			
授業の概要 女性はそのライフサイクルのなかで、胎生期における性の分化にはじまり、幼年期における母性の芽生え、思春期における女性としての心とからだの発育・発達、性成熟期における性と生殖および家族のケア、そして更年期・老年期にかけて加齢と老化など、内分泌的变化を基盤として、心とからだの様々な変化に遭遇する。その間、遺伝的要因や環境、家族や社会との関連で、女性特有の様々な疾患を生じうる。これら女性特有の疾患について、その背景・病態を理解し、予防および対処するための方法について学習する。			
授業の目的 1. 女性のライフサイクル各期の特有な疾患とその背景を理解する。 2. 妊娠期・分娩期・産褥期の正常および主な異常について基礎的知識を理解する。 3. 妊娠期・分娩期・産褥期の異常の予防と母子の看護援助について理解する。 4. 周産期にある女性のメンタルヘルスの特徴について理解する。			
到達目標			学習・教育到達目標 (工学部JABEE基準)
1. 女性のライフサイクル各期の特有な疾患について、病態生理および予防と医学的対応が説明できる 2. 妊娠期・分娩期・産褥期の正常な経過について説明できる。 3. 妊娠期・分娩期・産褥期に起こる主な異常について、病態生理と医学的対応が説明できる。 4. 妊娠期・分娩期・産褥期の異常の予防と母子の看護援助について説明できる。 5. 周産期にある女性のメンタルヘルスの特徴と看護援助について説明できる。			
成績評価の方法と基準 毎回の小テスト, 最終試験, 発問に対する応答性, レポート, 出席状況, 学習態度等で総合的に評価します。			
授業計画並びに授業及び学習の方法			
第1回	女性の性機能 周産期医学概論、性周期とホルモン 女性の性機能(性分化、排卵、受精、着床)		
第2回	思春期, 更年期 月経異常, 月経前症候群 など 更年期障害 など		
第3回	正常妊娠 正常妊娠の経過, 胎児の発育 正常分娩・正常産褥 正常分娩, 正常産褥の経過		
第4回	異常妊娠 切迫流早産、子宮外妊娠、多胎妊娠, 胎児発育不全 など 妊娠高血圧症候群、常位胎盤早期剥離 など		
第5回	合併症妊娠 糖尿病, 心疾患合併妊娠 など		
第6回	異常分娩, 異常産褥 骨盤位, 多胎, 回旋異常, 子宮復古不全 など 吸引分娩, 鉗子分娩, 帝王切開分娩		
第7回	不妊症		
第8回	女性のメンタルヘルスケア 思春期, 成熟期(妊娠・分娩・産褥, 育児期), 更年期, 老年期		
自学自習 毎回配布する資料で復習し, 次回講義に臨む			
教科書・参考書等			
教科書 1. 森恵美: 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 母性看護学各論 第12版, 医学書院, 2012. 2. 村本淳子, 高橋真理: 周産期ナーシング 第2版, ヌーヴェルヒロカワ, 2011.			
参考書 1. 岡村州博: 看護のための最新医学講座15 産科疾患第2版, 中山書店, 2005. 2. 神崎秀陽: 看護のための最新医学講座16 婦人科疾患第2版, 中山書店, 2006.			

オフィスアワー 外部講師のオフィスアワーは取りません。 毎回授業終了後 ～ 18：30まで，看護学科教育研究棟4階416 佐々木研究室
履修上の注意・担当教員からのメッセージ 授業は講義で行うが，グループ学習を取り入れることもある。

授業科目名 精神看護学概論 (時間割コード：762620)	科目区分	DPコード ebcM	分野コード
	単位数 2	時間割 前期 金2	
担当教員名 渡邊久美	対象年次及び学科	2～ 医学部 看護学科	
	関連授業科目	精神援助論、精神看護学実習	
	履修推奨科目	心理学、精神疾病論	
学習時間	学習時間	講義あるいは演習90分×15回＋自己学習（受講時に提示する課題へのレポート提出）	
授業の概要			
<p>精神看護学は、人生各期の精神健康に問題を持つ人に対人援助技術を用いて精神健康の保持をはかり、その人らしく生きることを支援する学問である。本科目では、まず、心の健康に関する諸理論や、精神保健の歴史の変遷、精神障害者と家族や社会との関わりなどを学びながら、現在の精神科医療や地域精神保健における精神障害者への看護の現状と課題を理解する。また、ケアの対象を理解するための様々な方法論について学ぶ。さらに、現代社会における精神健康問題の背景などにも視野を広げ、時代の変遷に適応して精神的健康を保つための視点を養う。</p>			
授業の目的			
<p>主に、心を病み、生きづらさを抱えるむら々（以下、当事者）を対象に、歴史的潮流を踏まえ、当事者の回復を支える看護を考えていくための基本的知識や考え方を学ぶ。ライフサイクルの各期に生じる心の健康問題の特徴や発達課題について理解し、当事者をとりまく環境、社会をアセスメントするための基礎的理論や、精神看護実践の土台となる対象理解に資する理論を学ぶ。特に、生物学的、心理学的、社会的理解を総合的に深めていく（科学的アプローチ）と同時に、生活史の理解や追体験の試みを手がかりとして（体験的アプローチ）、重層的に対象像を描き出し、対象の回復にとって必要な看護目標の導き方について、幅広い観点から検討していく。</p>			
到達目標			学習・教育到達目標 (工学部JABEE基準)
<ol style="list-style-type: none"> 心の機能や構造、発達に関する主要理論について、説明できる。 成人期以降に遭遇するメンタルヘルスの諸問題の特徴を背景とともに述べることができる。 精神障害者の体験について、症状と生活障害および対人関係障害の観点から理解できる。 精神障害者の回復（リカバリー）とそれに影響を与える家族、社会との関係について現在のわが国の現状と課題を説明できる。 精神障害者の家族を理解するための主要概念を述べ、家族看護理論の活用について理解できる。 わが国に置ける地域精神保健福祉および精神科医療の動向について理解し、チームアプローチにおける看護の役割について考察できる。 精神障害者の地域生活支援について現状のシステムとその課題を理解する。 現代社会におけるこころの健康のあり方について現状と課題を学ぶとともに、課題を通して、自分自身の傾向や成長発達課題について考えることができる。 			
成績評価の方法と基準			
出席や授業への参加態度、課題レポートの提出状況と内容、講義終了時に行う筆記試験から総合的に評価する。			
授業計画並びに授業及び学習の方法			
<p>第1回：＜精神看護学とは＞</p> <ol style="list-style-type: none"> 精神看護の定義（目的、方法、対象） 心の健康とは、正常と異常について <p>第2回：＜心の機能、構造に関する主要理論＞</p> <ol style="list-style-type: none"> 心のしくみと構造、防衛機制 知情意について <p>第3回：＜心の危機とその対処＞</p> <ol style="list-style-type: none"> 成人期以降の各期に生じやすいメンタルヘルスの問題 危機、ストレス対処、適応理論について <p>第4回：＜精神科医療と法律の変遷＞</p> <ol style="list-style-type: none"> 精神科医療のあゆみ（精神保健福祉法まで） 社会的背景と法律の変遷 精神障がい者の権利と社会参加、人権擁護 <p>第5～10回：＜精神障害者の体験の理解と関連理論＞</p> <ol style="list-style-type: none"> 統合失調症の体験 障害の日常・社会生活への影響 障害受容のプロセス バイオサイコソーシャルモデルによる理解の実際 知能検査、人格検査などによる一側面からの理解 生活者としての患者への援助の視点（生活モデルと医療モデル） 			

<p>7 セルフケア理論</p> <p>8 対人関係理論</p> <p>9 ある看護場面における発達面に考慮した看護の一例</p> <p>第11～12回：＜精神障害者と家族の関係＞</p> <p>1. 精神障害者の家族の体験とニーズ</p> <p>2. EEと再発</p> <p>3. 家族の捉え方の歴史的変遷（病因から治療の協力者へ）</p> <p>4. 家族支援の実際</p> <p>第13～15回：＜新しい精神保健福祉医療のかたち＞</p> <p>1 機能分化する精神科医療、多職種で支える当事者の地域移行、定着支援（ACT）</p> <p>2 ICFについて、障害者総合支援法・医療観察法の成立まで</p> <p>3 ノーマライゼーション、精神障害者の就労支援について</p> <p>4 リカバリーとは、 ストレングスモデルによるアプローチ</p>
<p>教科書・参考書等</p> <p>1) 萱間真美他編集：精神看護学 ころろ・からだ・かかわりのプラクティス 南江堂</p> <p>2) 執行草舟 生くる 講談社</p>
<p>オフィスアワー</p> <p>木曜日 17:00～18:00 6階(616) 渡邊研究室</p>
<p>履修上の注意・担当教員からのメッセージ</p> <p>・精神看護学は、精神看護学概論、精神疾病論、精神援助論、精神看護学実習を通して、精神看護学実践の基本的な理解が深められるように構成されており、本科目はその導入として重要である。</p> <p>・最初は、対象や看護の実際についてイメージしづらい部分もあるかもしれないが、徐々に様々な生活体験や当事者との関わりの機会を通して、理解を深めていくことができればよい。また、精神科医療、精神保健、心の発達や精神疾患は我々の身近な問題となっており、情報も巷にあふれているが、正解を求めるのではなく、参考書を通して自己理解を深めることによって、心の健康問題に関する定見を持つことを心がけてほしい。</p>

授業科目名 精神疾病論 (時間割コード：762630)	科目区分		DPコード abcM	分野コード
	単位数 1	時間割 前期 火5		
担当教員名 中村 祐、安藤 延男	対象年次及び学科 2～ 医学部 看護学科			
	関連授業科目			
	履修推奨科目			
学習時間 講義90分 × 15回 + 自学自習				
授業の概要 精神障害者に対する医療・看護に際しては、“疾病を抱えた人間”と、“疾病そのもの”の両面を総合的に理解することが重要である。精神科看護においては、精神看護概念の理解、心の発達と心の健康、精神疾患についての理解、精神障害者とその家族への援助とその技術の習得、精神障害者の社会復帰についての仕組みと地域精神福祉保健についての理解などが必要とされる。本科目では、精神疾患についての知識の習得を主たる目標とする。授業構成は序論、診断学、症候学の総論から始まる。続いて代表的精神疾患である統合失調症、気分障害についての講義を行う。さらに物質依存、認知症などの器質性疾患、神経症、心身症などの疾患について講義する。また、近年重要な問題になっている児童青年期、老年期領域の諸問題、リエゾン精神医学について述べ、最後に精神科治療学について述べる。				
授業の目的 1. 適切な精神科看護の実践を行うために、精神科疾患についての知識を習得する。 2. 精神障害者およびその家族の援助を行うために、精神障害者への理解を深め、人権尊重の態度を身につけ、地域精神保健福祉の仕組みを理解する。				
到達目標				学習・教育到達目標 (工学部JABEE基準)
1. 精神医学の歴史とその特徴について理解する。 2. 精神医学的状態像の捉え方を理解する。 3. 精神疾患の概念や精神科疾患の分類についての知識を習得する。 4. 代表的精神障害としての統合失調症、気分障害についての知識を習得する。 5. 物質依存、認知症などの器質性疾患、神経症、心身症について理解する。 6. 児童精神医学、老年期精神医学の特徴を理解し、それぞれの代表的精神疾患についての知識を習得する。				
成績評価の方法と基準 1. 講義終了後に筆記試験を行う 2. 講義の出欠や勉強態度を重視する				
授業計画並びに授業及び学習の方法				
総論	1	序論・診断学	歴史、特徴 精神医学的面接、診断	中村祐
	2	精神科症候学	精神医学的状態像、疾病概念、分類	中村祐
各論	3	統合失調症	統合失調症	安藤
	4	気分障害	気分障害	
	5	物質依存	アルコール、覚醒剤、睡眠剤、その他	
	6	器質性脳症候群	症状精神病、認知症、感染症、脳血管障害	
	7	てんかん	てんかん	
	8	神経症、心身症	神経症、心身症	
	9	児童青年期精神医学	発達障害、不登校、神経性食欲不振症	
	10	老年精神医学	老年期の特徴	
	11	リエゾン精神医学	リエゾン精神医学	
	12	治療学	精神療法、薬物療法、身体的治療	
	13	補講		
	14	予備		
教科書・参考書等 STEP精神科：高橋茂樹、岸本年史（著）、海馬書房				
オフィスアワー 中村 祐 後期 火曜日 15時～16時 yunaka#!#@med.kagawa-u.ac.jp				
履修上の注意・担当教員からのメッセージ 講義内容を確実に把握すること。さらに深い理解には、図書館などに備えている関連図書を参考にすること。				

授業科目名 精神援助論 (時間割コード：762641)	科目区分	DPコード ebcM	分野コード
	単位数 1	時間割 後期 火1	
担当教員名 渡邊久美	対象年次及び学科	2～ 医学部 看護学科	
	関連授業科目	精神看護学概論、精神看護学実習	
	履修推奨科目		
学習時間	講義あるいは演習90分×15回+自己学習（受講時に提示する課題についてレポート提出）		
授業の概要	精神健康に問題を抱える人に、精神健康の回復や日常生活の自立に向けた看護援助を行うための、患者-看護師関係を基盤とするアプローチ方法を学習する。		
授業の目的	精神援助論は、精神看護学概論で学んだ考え方にに基づき、精神疾患に特徴的な症状に対する看護や、精神科で行われる治療法における看護の役割など、具体的な援助方法や技術について学ぶ。特に、心を病む人と自己との援助関係のあり方について、患者-看護師関係の特徴を踏まえた諸理論を学び、自己を守りつつ、対象に治療的に関わるための自己の活用方法を習得する。		
	到達目標	学習・教育到達目標 (工学部JABEE基準)	
	1 精神疾患や精神障害を持つ人との援助関係の形成における看護の諸理論の基本的理解ができる。 2 症状に応じた看護の視点、要点を述べることができる。 3 向精神病薬を服用する患者の体験を理解し、入院中の薬物療法時の看護の視点や退院後の服薬支援に向けた看護の役割を述べるができる。 4 精神看護における関連技法について学び、演習において健常者を対象に実施することができる。		
成績評価の方法と基準	提出レポート（30%）、期末試験（60%）、学習態度、グループワーク（10%）により総合的に評価する。 期末試験は出席2/3以上を条件とする。		
授業計画並びに授業及び学習の方法	第1～3回：＜看護師自身の自己理解に基づく援助関係の形成＞ <ol style="list-style-type: none"> 1 援助関係とは何か、対象との適切な距離とは 2 関係形成における自己開示の意義と留意点 3 看護師の感情の自己活用 4 プロセスレコードの記述と評価 5 自身の自己表明力について把握する 6 看護師のバーンアウトとアサーティブ・コミュニケーション 第4～8回：＜症状別看護・薬物療法と看護＞ <ol style="list-style-type: none"> 1 幻覚・妄想状態にある患者の看護 2 うつ状態にある患者の看護 3 隔離・行動制限のある患者の看護 4 薬物療法と看護師の役割、副作用の観察 5 患者と家族への疾病教育の実際 第9～11回：＜事例検討および看護の倫理＞ <ol style="list-style-type: none"> 1 ペーパーペイシエントに基づく対象理解、看護問題、計画立案 2 精神科看護における倫理的問題 第12～15回：＜看護による治療的アプローチ、実習に向けて＞ <ol style="list-style-type: none"> 1 治療的コミュニケーションとは何か 2 being とdoing、寄り添うとは 3 看護師によるコラージュ療法、ユーモア療法、レクリエーション 4 認知行動療法の看護における活用 5 ハンドマッサージの理論と精神科臨床における当事者の変化 6 実習に向けて 		
教科書・参考書等	精神看護学 ころろ・からだ・かかわりのプラクティス 萱間真美、野田文隆（南江堂） 根源へ 執行草舟（講談社）		
オフィスアワー	木曜日 17:00～18:00 6階(616) 渡邊研究室		
履修上の注意・担当教員からのメッセージ	原則として精神看護学概論、精神疾病論を履修していること。 授業方法は、講義、演習、グループワークなどを組み合わせて進め、講義終了後に自分の意見や感想を提出する。各自、積極的に参加し、自己の疑問や意見を表現していくこと。		

授業科目名 (時間割コード: 762671) 在宅看護学概論 Introduction to home care nursing home care nursing	科目区分	DPコード bcdM	分野コード
	単位数 2	時間割 後期 水2	
担当教員名 松井 妙子	対象年次及び学科	2～ 医学部 看護学科	
	関連授業科目	成人疾病論、在宅援助論、家族看護学	
	履修推奨科目	ヘルスアセスメント、成人疾病論、在宅援助論	
学習時間 講義90分×15回+自学自習			
授業の概要 在宅看護をめぐる歴史的背景、在宅医療、介護保険、訪問看護の制度、医療的ケアが必要な在宅療養者の特徴とその看護について教授し、在宅療養している人々とその家族を支援するための基礎的知識を提供する。さらに、保健医療福祉の専門職種と連携して支援する必要性を示し、在宅療養支援における看護の役割を教授する。			
授業の目的 在宅医療の発展に伴い、在宅看護の重要性が高まっています。この授業では、在宅看護の対象、提供場所、看護を提供するための制度を理解する。また、医療的ケアが必要な療養者に対して使用する医療技術や看護について理解する。具体的には、栄養ケア、皮膚ケア、呼吸器ケア、ターミナルケアが必要な在宅療養者への看護と在宅におけるリスク管理について理解する。			
到達目標			学習・教育到達目標 (工学部JABEE基準)
1 在宅看護の対象と在宅看護の提供方法を列挙する。 2 在宅看護の歴史と変遷を述べる。 3 介護保険制度、在宅看護と訪問看護の制度について具体的に説明する。 4 多様な社会資源を列挙し、そこで働く看護職や他職種との連携の必要性とその方法を述べる。 5 在宅における医療（栄養・皮膚・呼吸・終末期）管理を必要とする人への看護について説明する。 6. 在宅看護の課題について述べる。			
成績評価の方法と基準 テストを受けるために2/3以上の出席が必要。 期末テスト90%、非常勤講師および教員の課題レポート10%			
授業計画並びに授業及び学習の方法 第1回：在宅看護の対象、特徴、在宅における看護活動 第2回：在宅看護の歴史と変遷 第3回：在宅療養支援のための社会資源とその役割 第4回：在宅看護職の活動場所と訪問看護 第5回：訪問看護の制度、在宅療養支援のための制度 第6回：在宅療養者支援のためのアセスメントの視点 第7回：訪問看護の実際 第8回：訪問看護ステーションの管理・運営 第9回：栄養ケアが必要な在宅療養者への看護、胃ろうを中心に 第10回：栄養ケアが必要な在宅療養者への看護、在宅中心静脈栄養を中心に 第11回：皮膚（褥瘡）ケアが必要な在宅療養者への看護 第12回：呼吸器ケアが必要な在宅療養者への看護 第13回：ターミナルケアが必要な在宅療養者への看護 第14回：在宅における感染症とその予防 第15回：在宅看護の課題とまとめ 【自学実習に関するアドバイス】 第1～4回：自宅近くにある在宅看護の提供場所を探そう。 第5～8回：自宅近くの訪問看護事業所を訪ね、パンフレットからその事業所の特徴を学ぼう。地方公共団体のホームページから高齢者支援のサービスを学ぼう 第9～14回：各テーマについて教科書・参考書で予習をして授業に参加しよう。			
教科書・参考書等 参考書 在宅看護論 自分らしい生活の継続をめざして、石垣和子、上野まり編集、南江堂、2730円（実習時の参考書としても使用可能） 根拠がわかる在宅看護技術 岡崎美智子、正野逸子編集、メジカルフレンド社、4935円 （在宅看護技術がわかります）			

オフィスアワー 授業終了後1時間

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

訪問看護振興財団、介護保険情報等のホームページを参照すること

授業科目名 (時間割コード：762680) 家族看護学 family nursing	科目区分	DPコード abcM	分野コード
	単位数 1	時間割 後期 火4	
担当教員名 松井 妙子, 新田 紀枝	対象年次及び学科	2～3 医学部 看護学科	
	関連授業科目	在宅看護学概論、在宅援助論	
	履修推奨科目	在宅看護学概論、在宅援助論	
学習時間 2年次 後期・必修 1単位 (15時間)			
授業の概要 少子・高齢化、家族形態の変化が進行している現代社会において求められる看護を考察する機会を学生に提供し、療養者とその家族を支援する看護職の役割を教授する。 家族を一つの単位として支援する必要性を説明し、家族を理解するための基本理論（家族発達理論、家族システム理論、家族ストレス対処理論）を基に家族を理解し、家族のライフステージや各期におこりやすい健康問題の特徴について整理する。さらに、家族看護を展開するための基盤となる知識・技術・態度を教授する。			
授業の目的 1. 家族が看護を必要とする対象であることを認識する。 2. 家族看護学の理念と目的、看護職の役割を理解する。 3. 家族看護学の基本理論を理解して、家族看護アセスメント力を身につける。 4. 家族の発達課題とその特徴、各期におこりやすい健康問題を理解する。 5. さまざまな発達課題や健康問題をもつ家族を対象とした支援のあり方を考察する。			
到達目標			学習・教育到達目標 (工学部JABEE基準)
1. 家族が看護を必要とする対象であることを説明できる。 2. 少子・高齢化、家族形態の変化が進行している現代社会の問題について、看護学の視点で捉え、自らの意見を述べるができる。 3. 家族の定義、家族看護学の目的を理解し、家族の機能と健康の関係を捉えた上で、支援のあり方を説明できる。 4. 家族を一つの単位として看護介入することを目的として、家族看護の基本理論（家族発達理論、家族システム理論、家族ストレス対処理論）の概要を説明できる。 5. 家族アセスメントモデルを用いた家族看護過程の概要が説明できる。 6. 家族が有する発達課題や健康問題への具体的な支援・介入の要点を説明できる。			
成績評価の方法と基準 出席（5%）、受講態度（5%）、筆記試験（90%）により総合的に判断する。			
授業計画並びに授業及び学習の方法			
第1回 家族看護学の概念 1. 家族の定義 2. 現代社会における家族の機能 3. 家族支援の必要性			
第2回 家族に関する基礎理論 1. 家族発達理論 2. 家族システム理論 3. 家族ストレス対処理論 4. 家族役割理論			
第3回 ジェノグラムとエコマップの書き方 1. ジェノグラムとエコマップの演習			
第4回 家族アセスメントの実際 1. 家族看護アセスメントモデルの概要 2. 家族看護過程の概要			
第5回 在宅高齢者介護に関するアセスメント 第6回 在宅高齢者介護に関する家族援助 第7回 在宅終末期療養者の家族援助 第8回 まとめ			
教科書・参考書等 教科書は指定しない 1. 森山美知子：ファミリーナーシングプラクティス、医学書院、2001 2. 小林奈美：グループワークで学ぶ家族看護論、カルガリー式家族看護			

モデル実践へのファーストステップ、医歯薬出版、2005

3. 鈴木和子、渡辺裕子：家族看護学 理論と実践（第3版）、日本看護協会出版会、2006

オフィスアワー 授業終了後1時間

履修上の注意・担当教員からのメッセージ
在宅看護概論と関連づけて考察する。

授業科目名 (時間割コード：762131) 公衆衛生学 Public Health	科目区分	DPコード bcdM	分野コード
	単位数 1	時間割 後期 集中	
担当教員名 大西 美智恵, 加藤 匡宏	対象年次及び学科	2～ 医学部 看護学科	
	関連授業科目	公衆衛生看護学概論	
	履修推奨科目	疫学・公衆衛生統計論	
学習時間	講義90分×8回＋自学自習		
授業の概要 公衆衛生は、人々の健康を守り、増進し、また回復させるために社会により組織された活動の総体であり、具体的には公衆衛生学に立脚した社会的な実践活動である。公衆衛生の目的は、全ての人々があらゆる生活の場で健康を享受できる公正な社会の創造であるとされている。保健師として公衆衛生活動の一翼を担うためには、健康と社会・環境の関係や、自然科学と人文・社会科学の両者の基盤の上に立つ総合的・学際的な学問である公衆衛生を基盤として、まずそれらがコミュニティで展開される時の基本的方法論と地域保健活動について学ぶ必要がある。そこで本科目では、公衆衛生の歴史やシステム、方法論など公衆衛生の基本的事項を学ぶ。			
授業の目的 1. 公衆衛生学に立脚した社会的な実践活動である公衆衛生について理解する。 2. 公衆衛生の基本的方法論および地域保健活動を理解する。 3. 人々が健康な生活を送るために必要な保健対策（政策）を包括的・体系的に修得する。			
到達目標			学習・教育到達目標 (工学部JABEE基準)
1. 健康と社会・環境の関係について説明できる。 2. 保健政策の基盤となる公衆衛生について説明できるとともに、公衆衛生活動の基本的方法論について説明できる。			
成績評価の方法と基準 学習態度：1割 レポート：9割			
授業計画並びに授業及び学習の方法 公衆衛生総論 第1週 公衆衛生の意義・定義と歴史 公衆衛生とは何か、公衆衛生の目標、公衆衛生の歴史、公衆衛生を学ぶ意義 第2週 公衆衛生システムと政策 公衆衛生関係法規、公衆衛生システムの特徴と行政の役割、公衆衛生活動の場、公衆衛生専門職の役割とその変化 第3週 諸外国の公衆衛生政策 諸外国の医療制度と予防対策、諸外国の公衆衛生活動 第4週 これからの公衆衛生 ヘルスプロモーションと公衆衛生活動、公衆衛生・地域保健サービスと公的責任 公衆衛生の方法論 第5週 公衆衛生の活動方法 集団の見方と健康指標、リスクファクター、スクリーニング、公衆衛生活動における疫学 第6週 統計情報の収集と見方 さまざまな統計情報と見方・扱い方、情報収集の方法 第7週 公衆衛生活動のプロセス ハイリスクアプローチとポピュレーションアプローチ、Plan—Do—Check—Act 第8週 まとめ 講義を中心として授業を展開するが、看護・保健・医療の社会的側面を理解したり、今現在起きている社会的事象を理解するためには、常に政治、経済などの社会的動向に気配りできる態度を養うことが要求される。特に、新聞、テレビ、ラジオ、インターネット等の活用は社会の動きを知り、保健政策・保健活動のダイナミックな理解の上で有用である。積極的に活用することを希望する。			

【自学自習に関するアドバイス】

集中講義のため、

第1～4週 講義の内容を振り返り整理する。

第5～8週 課題として提示されたテーマでレポートをまとめる。

教科書・参考書等

教科書

厚生統計協会：国民衛生の動向、最新版

参考書

平野加代子他編：ナーシング・グラフィカ⑧公衆衛生、MCメディカ出版、最新版

オフィスアワー 授業終了時に対応する

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

毎回出席を取る。学ぶ意欲を持って授業に臨むこと。

授業科目名 (時間割コード：762132) 公衆衛生看護学概論 Public Health Nursing Introduction	科目区分	DPコード bcaM	分野コード
	単位数 2	時間割 後期 金4	
担当教員名 大西 美智恵	対象年次及び学科	2～ 医学部 看護学科	
	関連授業科目	公衆衛生学	
	履修推奨科目	コミュニティアセスメント論、公衆衛生看護対象論、保健医療福祉行政論	
学習時間 講義90分 × 15回 + 自学自習			
授業の概要 公衆衛生看護は、地域社会の中で生活している人々を対象に展開される看護の実践活動である。その活動を概観するとともに、公衆衛生看護の理念や活動分野・対象・場の特性について学ぶ。また社会環境の変化と健康課題および対策そして関連法規について学ぶ。			
授業の目的 1. 公衆衛生看護学の理念と目的を理解する 2. 公衆衛生看護活動の対象・場の特性・原則を理解する。 3. 社会環境の変化と健康課題について理解する。 4. 公衆衛生看護活動の歴史から期待される保健師（看護職）の役割を理解する。			
到達目標			学習・教育到達目標 (工学部JABEE基準)
1. 公衆衛生看護活動の歴史から、時代に左右されない地域看護活動の原点を述べるができる。 2. 公衆衛生看護活動の場と対象の特徴について説明できる。 3. 地域社会の変化に伴う健康課題およびその対策について理解する。 4. 公衆衛生看護活動は組織的な方法によって地域の健康レベルを向上させ得ることを理解するとともに、それらを行政政策に反映させる意義を説明できる。			
成績評価の方法と基準 定期試験：60点 映画鑑賞ミニレポート・グループワークディスカッションレポート：10点 地域と資源ワーク：20点 受講態度、出席状況：10点			
授業計画並びに授業及び学習の方法			
第1週 公衆衛生看護とは 第2週 公衆衛生看護の理念と活動分野 第3週 公衆衛生看護活動の場 第4週 社会環境の変化と健康課題 その1 第5週 社会環境の変化と健康課題 その2 第6週 公衆衛生看護学の歴史 その1 第7週 公衆衛生看護学の歴史 その2 第8週 映画「孤島の太陽」鑑賞 第9週 グループディスカッション「保健師が大切にしたいこと」 第10週 公衆衛生看護に関する法令 第11週 地域住民の保健関連行動 第12週 グループワーク「公衆衛生看護活動と資源」 第13週 グループワーク「公衆衛生看護活動と資源」 第14週 国際協力と公衆衛生看護 第15週 まとめ			
【自学自習に関するアドバイス】 第1・2週 テキスト・授業で配布した資料を読む 第3～5週 課題として提示したキーワードについて調べる 第6・7週 配布した資料で歴史を振り返る 第8・9週 ミニレポートをまとめる 第10・11週 テキスト・授業で配布した資料を読む 第12・13週 地域資源について調べ整理する 第14週 テキスト・授業で配布した資料を読む 第15週 授業目的・到達目標の達成状況を評価し、達成できていない部分を補完する。			
教科書・参考書等 教科書 奥山則子他著：標準保健師講座第1巻 地域看護学概論，医学書院。			

厚生統計協会編：国民衛生の動向，最新版.
その他資料は随時配布

参考書

厚生統計協会編：国民福祉の動向，厚生統計協会，最新版
飯田澄美子他編：保健学講座 第1巻「地域看護学概論」，メヂカルフレンド社 最新版
宮崎美砂子他編：最新地域看護学，日本看護協会出版会，最新版
門脇豊子他：看護法令要覧，日本看護協会出版会，最新版
日本看護協会監：新版保健師業務要覧 第3版，日本看護協会出版会，2013.
平野かよ子編：ナーシング・グラフィカ⑦ 健康と社会・生活，MC メディカ出版，最新版

オフィスアワー 随時

履修上の注意・担当教員からのメッセージ
毎回出席を取る。学ぶ意欲を持って授業に臨むこと。グループワークに積極的に参加する。

授業科目名 看護とコミュニケーション (時間割コード：762790)	科目区分	DPコード bacM	分野コード
	単位数 1	時間割 前期 集中	
担当教員名 藪添 隆一, 竹森 元彦	対象年次及び学科 2～ 医学部 看護学科		
	関連授業科目		
	履修推奨科目		
学習時間 講義90分 × 8回 + 自学自習			
授業の概要 コミュニケーションを通して、私たちは他者理解・自己理解を有機的に行っている。また、コミュニケーションの方法も言語コミュニケーションと非言語コミュニケーションに大別できるが、多様で微妙なものである。 以上のように、コミュニケーションを改めて認識し直すとともに、実技演習を実施しながら自己理解、他者理解深めながら、看護におけるコミュニケーションの実際を習得できる授業としたい。			
授業の目的 ・カウンセリングの基本的姿勢（受容・共感・傾聴）とその重要性について学ぶこと ・相手の理解が深まり、同時に自己理解が深まるコミュニケーションのあり方について学ぶこと ・看護場面や人間関係場面におけるコミュニケーションを見直し、援助的なコミュニケーションのあり方について学ぶこと			
到達目標			学習・教育到達目標 (工学部JABEE基準)
1) 受容的・共感的な姿勢や傾聴の姿勢を示せる。 2) 他者理解を深め、自己理解も深まるようなコミュニケーションのポイントについて理解できる。 3) カウンセリングを用いた援助的コミュニケーションを看護場面にも援用する姿勢を示せる。			
成績評価の方法と基準 出席を基本として、授業への積極性、1日目のレポートと、2日目のレポートを併せて評価をします。設問については、その時に出題します。			
授業計画並びに授業及び学習の方法 カウンセリングの学習は、自己理解と他者理解のための演習から始まります。単なる知的学習ではありませんので、自分をかけて積極的に参加してください。 1日目 1. 現代社会とカウンセリング、カウンセリングのケース紹介 (竹森) 2. パーソナリティ理論 3. カウンセリング・シナリオ作成 4. 発表と振り返り 現代社会とカウンセリングについて、パーソナリティの理論について学ぶ。 カウンセリングの相談場面のシナリオを作成した上で、グループにて話し合ったうえで、発表を行う。 その場合、発表されたシナリオについてコメントを行いながら、相互に学びあう。 最後に、振り返りとしてのレポートを提出する。 2日目 1. 感受性訓練 (藪添) 言語・非言語コミュニケーション 対他・対自コミュニケーション 2. ペア・カウンセリング 雑談の効用 傾聴の方法と効用 3. 質疑応答 自己理論形成のための質疑 4. まとめ 経験から理論を認識する 人間関係を深めるとともに傾聴する態度と技法を学ぶ			
教科書・参考書等 教科書：東山紘久著「カウンセラーへの道」創元社 教科書：竹森元彦著「心の生まれる場所」西日本法規出版（ふくろう出版、2005年） 参考文献：東山紘久「プロカウンセラーの聞く技術」創元社 「プロカウンセラーのコミュニケーション術」創元社			
オフィスアワー 授業後のひととき：非常勤であり、学内には常駐していない			
履修上の注意・担当教員からのメッセージ 「心の生まれる場所」を、事前に読んで臨んでください。特に、カウンセリングとは何か、どのような姿勢でもってクライアントと出会うのかなどについて学んだ上で受講をしてください。			

授業科目名 (時間割コード: 764000) ボランティア活動 Volunteer Activities	科目区分	DPコード debM	分野コード
	単位数 1	時間割 前期 未定	
担当教員名 清水 裕子	対象年次及び学科	1~2 医学部 看護学科	
	関連授業科目	看護とコミュニケーション、看護クリティカルシンキング	
	履修推奨科目	心と体のケアリング、看護とコミュニケーション、公衆衛生看護学概論、家族看護学、看護倫理	
学習時間	講義90分 × 15回 + 自学自習に相当する学外でのボランティア活動が単位認定の対象になる。		
授業の概要 地域・社会貢献に対する学生のボランティア活動が推奨されている。そこで、ボランティア意識を向上させるために、学生が主体的に計画し参加したボランティア活動に対して一定の基準を満たすものに対して単位を認定し、ボランティア活動の活性化を計る。 本科目は、平成24年度に新しく新設した科目である。この科目は、平成23年3月11日に発生した東日本大震災の後、国内外の多くの人々が被災者支援のために活動し、その成果が教育活動に資するものであることを期待して開設された。この科目の履修を通して、人間関係の絆を再確認し、生きる意欲を相互に高めあうことができることを学ぶ。			
授業の目的 この授業では、学内での講義は、ボランティアを行うための基礎的な知識を学習するにとどめ、そのガイダンスをもとに、学外実地でのアウトリーチを主体的に実施することを学習活動の中心とする。これにより、人間関係の相互性、自立性を確認し、相互発展的な関係を築き、自らが保護的、支援的存在であることを確かめることを目的とする。			
到達目標			学習・教育到達目標 (工学部JABEE基準)
1. ボランティア活動の主体となる人間の存在と相互関係について理解できる。 2. 利他的行動と自己愛的行動を明確化できる。 3. 自然災害と支援の相互発展的過程を理解できる。 4. 自然と人間の調和的關係とコミュニティーの形成過程を理解できる。 5. 人間の愛と尊厳について洞察できる。			
成績評価の方法と基準 1. 支援を求める人々のニーズを理解し、自分にできる支援の可能性を説明できる。 2. 自分の支援的役割を明らかにし、関連する人々との連携方法を説明できる。 3. 自分の能力の限界を知り、安全に活動できる計画を立て、評価できる。 4. ボランティア活動によって得られた新たな価値について説明できる。 5. 生きるを支えるものとは何か、について自分の意見を明らかにできる。			
以上を自己評価と共に客観評価を行う。			
授業計画並びに授業及び学習の方法 1. ボランティア活動のガイダンス 2. ボランティア活動の計画書を作成する 3-1 3. ボランティア活動の実際 1 4-1 5. 評価とまとめ 【自己学習へのアドバイス】 1. 自分の希望するボランティア活動を見いだしておく。 2. どのような支援役割ができるかを明らかにしておく。 3-1 3. 健康管理が十分にできる。 1 4-1 5. 自分に内在する新たな価値を発見できるようアサーティブマインドで臨む。			
教科書・参考書等 参考図書 1. 清水裕子, ヒューマンケアと看護学, ナカニシヤ出版, 2013. 2. Martin E. P. Seligman, Authentic Happiness; 小林裕子訳, 世界でひとつだけの幸せ, アスペクト, 東京, 2004. 3. M. Simone Roach, The Human Act of Caring, ; 鈴木智之, 操華子, 森岡崇訳, アクト・オブ・ケアリング, ゆみる出版, 東京, 1994. 4. 岩崎正子・上野轟・大江米次郎・夏目誠, 幸せを築く対人援助, 星雲社, 東京, 2008. 5. 草野篤子・柿沼幸雄・金田利子・間野百子編, 世代間交流学の創造, あせび書房, 東京, 2010.			
オフィスアワー 随時対応できるが、事前にアポイントをとること。			
履修上の注意・担当教員からのメッセージ ボランティアに参加するに際して健康上および経済的問題がないこと、学生保険に加入すること、に留意する。必要に応じて、予防接種の有無を確認することがある。			

授業科目名 (時間割コード：764001) 国際交流活動 International Exchange Activities	科目区分	DPコード acdM	分野コード
	単位数 1	時間割	前期 未定
担当教員名 谷本 公重、徳田 雅明、日下 隆、横井 英人	対象年次及び学科	1～2 医学部 看護学科	
	関連授業科目	看護と国際社会	
	履修推奨科目	看護と国際社会、上級英語	
学習時間 事前準備 + 派遣先での研修 + 報告会 + 自学自習			
授業の概要 香川大学医学部の国際交流の理念は、『国際交流をとおして、グローバルスタンダードを有した「学生」「医師」「看護師」「研究者」の育成を行うとともに、人類の福祉や地域への貢献を行う。』としている。この理念のもとに、全学年を通して、学生には様々な国際交流活動に参加する機会が与えられている。こうした活動に積極的に参加することで、国際的感覚を涵養し、国際社会の一員としての自覚に目覚めることは、これからのグローバル社会において重要であり、医学・看護学の面でもグローバルスタンダードを自覚するためのまたとないチャンスである。本プログラムでは、①事前の十分な準備を行うこと、②実習を自主的かつ勤勉に行うこと、③報告書を提出すること、④報告会において発表すること、を求めている。対象となる活動は、香川大学医学部が交流をしている協定校において開設されるプログラムに参加するものに限る。それぞれのプログラムについては、活動の時期、内容、定員が異なるため、それらに対応する準備や勉強が求められる。いずれのプログラムにおいても、語学（英語）は重要であり、一定程度の語学力が求められる。語学プログラム（上級英語など）への参加が望ましい。			
授業の目的 学生の中に、海外での経験を積むことにより、世界に通用する広い視野を涵養する。また他国での医学や看護学の状況を見聞することで日本の医学や看護学について考える機会とすることを目的とする。			
到達目標			学習・教育到達目標 (工学部JABEE基準)
1) 派遣先の大学で、医学もしくは看護学の研修（実習、講義、見学など）に自主的に参加することができる。 2) 派遣先の大学で行われている、医学もしくは看護学の現状を理解し、日本の医学もしくは看護学と比較・分析できる。 3) 派遣先の大学の学生や教員と交流ができ友好を深める行動ができる。			
成績評価の方法と基準 1) 派遣先の大学もしくは受け入れ科で発行する修了証。 2) 報告書および報告会での発表の評価。 以上より判断し「了」をもって合格とする。			
授業計画並びに授業及び学習の方法 対象となる派遣は以下のものに限る ・夏季休暇中：チェンマイ大学での研修（医学科・看護学科） ・夏季休暇中：ブルネイ・ダルサラーム大学での研修（医学科） ・春季休暇中：中国医科大学もしくは河北医科大学での研修（医学科・看護学科） 上記の派遣において以下のとおりの活動を行うこと。 1) 事前の十分な準備を行うこと。 2) 実習を自主的かつ勤勉に行うこと。 3) 報告書を提出すること。 4) 報告会において発表すること。			
教科書・参考書等 ※			
オフィスアワー 看護学科コーディネーター 谷本 水曜日13時から15時 看護学科教育研究棟 4階 414号			
履修上の注意・担当教員からのメッセージ 医学部内で開催される様々な国際交流活動にも積極的に参加してください。			

授業科目名 Communicative English III(1)	(時間割コード: 041348)	科目区分 コミュニケーション科目	DPコード axxG	分野コード
担当教員名 ウィリアム・イアン・デビッド (大学教育開発センター)	単位数 1	時間割	後期 金2	
	対象年次及び学科	2年次生 医学部看護学科		
	関連授業科目	主題科目B-2で提供される講義		
	履修推奨科目	Advanced English I, II		
学習時間 15 classes (90 min. each) + weekly out-of-class work (approximately 90 min., for preparation, review, etc.)				
授業の概要 One aim of general education at Kagawa University is to help students develop a wide range of communication skills. This course builds upon the basic English communication skills developed by students in their first year (in Communicative English I/II).				
授業の目的 This course focuses on the development of students' oral communication skills. The primary objective is for students to improve their English speaking skills by the end of the 15-week semester. Students will also learn how to type short papers (speech scripts) in English.				
到達目標				学習・教育到達目標 (工学部JABEE基準)
By the end of the semester, students should become enabled to: 1. Express themselves clearly in English in group and class discussion; 2. Handle a variety of nursing situations involving patients using English; 3. Type 1-2 page papers in English using MS-Word or other software; 4. Deliver 3-5 minute presentations in English, using PowerPoint.				
成績評価の方法と基準 In-class effort : 20%; Homework & quizzes: 30%; Midterm presentation : 20%; Final presentation : 30%				
授業計画並びに授業及び学習の方法				
<p>【Class method】 The first 60 minutes of class will be spent on the textbook. Students will engage in pair and group tasks, as well as role plays and other communicative activities. The last 30 minutes will be spent on speech and writing skill development. All class activities will be conducted in English.</p> <p>【Class schedule】 Week 1: Introductions; Begin Easy Nursing English (ENE) Week 2: Preparing a speech script; ENE Week 3~5: ENE & speech practice Week 6~7: Mid-term presentations (a personal topic) Week 8~12: ENE & speech practice Week 13: ENE & final presentation workshop Week 14~15: Final presentations (an academic topic)</p> <p>【Suggestions for self-study】 Week 1: Students should purchase their textbooks before the first class and look over the content. Week 2~4: Students should prepare for quizzes and complete homework assignments Week 5~7: Students should prepare for mid-term presentations, deliver them, and write self-assessments. Week 8~12: Students should prepare for quizzes and complete homework assignments Week 13~15: Students should prepare for final presentations, deliver them, and write self-assessments.</p>				
教科書・参考書等 Required Textbook: Willey, I., McCrohan, G., & Shibata, S. (2009). 看単! Easy Nursing English. Tokyo: Nanzando. (定価 ¥1200)				
オフィスアワー Thursdays 14:40~16:10, at Saiwai-cho campus only. Students can contact the instructor via this e-mail address: ianwill@cc.kagawa-u.ac.jp				
履修上の注意・担当教員からのメッセージ 事前に教科書を購入し内容(教科書の前書きの部分と最初の章)を確認した上で、第1回目の授業に出席してください。欠席回数が4回以上になった時点で単位不認定となります。遅刻を3回すると欠席1回となります。遅刻は授業開始から20分以内までとします。それ以降は欠席の扱いとなります。				

授業科目名 (時間割コード: 041349)	科目区分 コミュニケーション科目	DPコード axxG	分野コード
Communicative English III(2)	単位数 1	時間割 後期 金2	
担当教員名	対象年次及び学科 2年次生 医学部看護学科		
佐藤 誠子 (大学教育開発センター)	関連授業科目	主題科目B-2で提供される講義	
	履修推奨科目	上級英語	
学習時間	授業90分×15回+授業外学習 (予習・復習・発表準備)		
授業の概要	幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。この授業では、1年次の授業 (Communicative English I/II) で身につけた「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を更に向上させます。		
授業の目的	この授業は受講生のスピーキング能力の育成に重点を置いています。15回の授業を通して受講生の英語でのスピーキング能力を向上させることを目的とします。		
	到達目標	学習・教育到達目標 (工学部JABEE基準)	
	1. 英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ることができる。 2. 自分の言いたいことをうまく伝えることができない時でも、ジェスチャー、パラフレーズ (言い換え) などのコミュニケーション方略を用いて、コミュニケーションを継続することができる。 3. 英語で3分間程度のスピーチを行うことができる。 4. 英語でコミュニケーションをとる際に必要である適切な語や表現を身につけることができる。		
成績評価の方法と基準	Quiz : 20% In-class effort : 30% Midterm presentation : 20% Final presentation : 30%		
授業計画並びに授業及び学習の方法	<p>【授業の方法】 毎回テキストに従って展開される。テキストを通してモデルとなる語彙・表現を学び、学習した表現を用いてグループワークやペアワークなどのコミュニケーション活動を行う。</p> <p>【授業計画】 第1回: Introduction 第2回~第13回: テキストを使用した演習活動 (第7回: Midterm Presentation) 第14回・第15回: Final Presentation</p> <p>【授業外学習に関するアドバイス】 第1回: 事前に教科書を購入し、内容を確認してから授業に臨むこと。 第2回~第13回: 毎時間の予習をした上で授業に臨むこと。予習をしていることを前提として授業を進めるのでグループワーク、ペアワークをする際に困らぬようにしておくこと。 第7回および第14・15回: プレゼンテーションを行う。具体的な指示は授業内で行う。計画的に準備しておくこと。</p>		
教科書・参考書等	Harrington, D., & Le Beau, C. (2009). Speaking of Speech. Macmillan. ISBN 978-4-7773-6271-4 ¥2625		
オフィスアワー	水曜日と木曜日の12時~13時 (幸町キャンパス5号館1階)		
履修上の注意・担当教員からのメッセージ	事前に教科書を購入し内容 (教科書の前書きの部分と最初の章) を確認した上で、第1回目の授業に出席してください。欠席回数4回以上になった時点で単位不認定となります。遅刻を3回すると欠席1回となります。遅刻は授業開始から20分以内までとします。それ以降は欠席の扱いとなります。		

授業科目名 (時間割コード: 041350)	科目区分 コミュニケーション科目	DPコード axxG	分野コード
Communicative English III(3)	単位数 1	時間割 後期 金2	
担当教員名	対象年次及び学科 2年次生 医学部看護学科		
長井 克己 (大学教育開発センター)	関連授業科目	主題科目B-2で提供される講義	
	履修推奨科目	Advanced English I/II	
学習時間	授業90分×15回+授業外学習 (予習・復習・発表準備)		
授業の概要	幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。この授業では、1年次の授業 (Communicative English I/II) で身につけた「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を更に向上させます。		
授業の目的	この授業は受講生のスピーキング能力の育成に重点を置いています。15回の授業を通して受講生の英語でのスピーキング能力を向上させることを目的とします。		
	到達目標	学習・教育到達目標 (工学部JABEE基準)	
	1. 英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ることができる。 2. 自分の言いたいことをうまく伝えることができない時でも、ジェスチャー、パラフレーズ (言い換え) などのコミュニケーション方略を用いて、コミュニケーションを継続することができる。 3. 英語で3分間程度のスピーチを行うことができる		
成績評価の方法と基準	中間と期末の2回、教科書のテーマから一つを選んで3分間スピーチをする。 第1回目の授業で配布する Rubric (棒読みしていない、声が大きい、英語が聞きとりやすい、結論が明快、の4項目を5段階) で20点満点で採点し、30/20倍して30点。2回スピーチをするので60点。毎週の活動は40点。合計100点満点のうち、60点以上で単位を認定。		
授業計画並びに授業及び学習の方法	<p>【授業の方法】 毎週 2Units と 2Slides の中から、スピーチに利用できる表現を抜き出して覚えていく。各Unit では、Step2 で語彙と表現の確認をした後、Step 4の model presentations を聞き内容を理解する。次に声を出して読む練習を行う。最後に Step7 を参考に英語で質問をしたり、それに答えたりする練習を行う。教科書のスピーチは語彙・表現ともやや高度なので、同レベルのスピーチを目指す必要は無い。教科書は使えそうな表現を探す素材集だと考え準備をすること。</p> <p>【授業計画】 第1回: introduction to the course 第2~6回: two presentations and slides / week 第7回: tutorial 1, slides due 第8回 speech 1 第9~13回: two presentations and slides / week 第14回: tutorial 2, slides due 第15回: speech 2</p> <p>【授業外学習に関するアドバイス】 各週の語彙・表現を復習し、自分で使えるようになっておく。 2回のプレゼンテーションの準備を行う。</p>		
教科書・参考書等	Textbook: Kobayashi and Clankie. (2011). Your First Speech and Presentation. Tokyo: Nan-undo. (ISBN 9784523176626)		
オフィスアワー	授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。		
履修上の注意・担当教員からのメッセージ	事前に教科書を購入し内容を確認した上で、第1回目の授業に出席してください。欠席回数が4回以上になった時点で単位不認定となります。遅刻を3回すると欠席1回となります。遅刻は授業開始から20分以内までとします。それ以降は欠席の扱いとなります。		

3 年次生対象 授業科目

授業科目名 疫学 Epidemiology (時間割コード：762130)	科目区分	DPコード bxxM	分野コード
	単位数 2	時間割 前期 月2	
担当教員名 藤井 豊	対象年次及び学科	3～ 医学部 看護学科	
	関連授業科目	公衆衛生学	
	履修推奨科目	公衆衛生統計論	
学習時間	講義90分×15回＋自学自習		
授業の概要 疫学は、集団及び個人レベルの生身の人間を対象とする学問です。根拠に基づく保健医療福祉活動(Evidence Based Medicine EBM)が常識の時代となり、疫学は保健師活動において必須の基礎科学です。今日、新聞・雑誌・テレビでも、「疫学調査」「疫学的因果関係」といった言葉が頻繁に出てくるようになってきました。このように科学の世界だけではなく、保健医療福祉の現場においても、一般社会においても、疫学は重要な役割を担っています。この授業では、難しいものと考えられがちな疫学を、講義と演習を通して学びます。			
授業の目的 保健師として、人間の健康を客観的にとらえる理論と方法を理解し、活用できることを目的とする。			
到達目標			学習・教育到達目標 (工学部JABEE基準)
1. 疫学概念を説明できる。 2. 疫学的アプローチを説明できる。 3. 国家試験の既出問題を解答できる。 講義毎の詳細な到達目標は、講義時にプリントを配布し示します。			
成績評価の方法と基準 期末試験により到達度を評価する。 演習問題の解答結果と、講義毎に提出するリアクションペーパーは、成績評価の対象とはしない。			
授業計画並びに授業及び学習の方法			
1. 疫学とは何か 教科書1章 2. 疫学で用いられる指標1 頻度の測定 3章 3. 疫学で用いられる指標2 相対危険と寄与危険 オッズ比 3章 4. 演習1 5. 対象の選択と抽出、スクリーニング 4章、5章 6. 疫学的方法の種類と原因究明の手順、記述疫学 6章、7章 7. 演習2 8. 分析疫学、横断研究と生態学的調査、症例対照研究(後ろ向き研究) 8章 9. コホート研究(前向き研究) 8章 10. 演習3 11. 介入研究 9章 12. 因果関係、交絡因子 10章、11章 13. 演習4 14. 感染症の疫学 15. 疫学と倫理 13章			
教科書・参考書等 教科書 はじめて学ぶやさしい疫学 南江堂 参考書 クエスチョン・バンク 保健師 国家試験問題解説 メディックメディア			
オフィスアワー 月曜日、火曜日、月・火曜日の振り替え講義日、午後4時10分～午後5時			
履修上の注意・担当教員からのメッセージ 疫学には、なじみのない特有の用語や概念があり、理解するためには予習・復習が必要です。 演習は、国家試験問題や模擬試験問題から引用し、プリントを配布して行います。			

授業科目名 (時間割コード: 763110) 保健医療福祉行政論 Health and Medical Welfare Administration Theory	科目区分	DPコード bcdM	分野コード
	単位数 2	時間割 前期 木4	
担当教員名 大西 美智恵, 須那 滋, 星川 洋一, 松原 文字, 佐野 昌美	対象年次及び学科	3~ 医学部 看護学科	
	関連授業科目	社会福祉社会保障論	
	履修推奨科目	公衆衛生学	
学習時間 講義90分×15回+自学自習			
授業の概要 法律や制度は、よりよい社会を形成するための社会の仕組みである。私たちの生活は、多くの法律や制度によって保護され、一方で規制されている。保健医療福祉に関する数多くの法律も例外ではなく、保健医療福祉の充実と具体的なサービス提供の基盤をなしている。地域保健に携わる保健師として、直接的な保健指導や組織活動、政策の企画・立案、関係機関との連携を行うためには、それらに関する仕組みや法律・制度・政策について理解を深める必要がある。そこで本科目では、総合的・学際的な学問である公衆衛生の基本的な方法論と地域保健活動の具体として、健康増進対策や環境保健衛生・感染症対策などを取り上げながら、まず行政の仕組みを学び、保健医療福祉制度の概要と財政制度、行政が立案する計画について教授する。			
授業の目的 1. 保健医療福祉行政の発展過程について理解する。 2. 保健医療福祉活動の基盤となる保健医療福祉制度について理解する。 3. 保健医療福祉行政の仕組みについて理解する。 4. 公衆衛生の基本的な方法論および地域保健活動を理解する。 5. 国や地方自治体の保健医療福祉計画の基本的な考え方や策定過程・推進管理と評価について理解する。 6. 人々が健康な生活を送るために必要な保健対策（政策）を包括的・体系的に習得する。			
到達目標			学習・教育到達目標 (工学部JABEE基準)
1. 戦後の保健医療福祉行政の変遷について概観することができる。 2. 社会保障・地域保健・社会福祉・医療制度・介護保険制度と行政そして保健師の役割と機能について説明できる。 3. 保健政策の基盤となる公衆衛生について説明できるとともに、公衆衛生活動の基本的な方法論（保健計画を含む）について説明できる。 4. 保健医療福祉行政の理念や仕組み、そして財政について説明できる。 5. 保健医療福祉計画の必要性、そして計画策定から評価までを説明できる。			
成績評価の方法と基準 ・定期試験、ミニレポート、定期試験：9割 ・学習態度：1割			
授業計画並びに授業及び学習の方法			
第1・2週 保健医療福祉行政の歴史と制度 (大西) 1. 保健医療福祉行政の変遷 2. 保健医療福祉に関する制度			
第3・4週 感染症対策 (大西) 1. 急性感染症対策 2. 慢性感染症対策			
第5・6週 健康増進 (星川) 1. 健康づくり方法論1 2. 健康づくり方法論2			
第7～9週 環境保健衛生 (那須) 1. 環境保健衛生対策 2. 栄養・食品保健衛生対策 3. 栄養・食品保健衛生対策			
第10週 看護行政 1. 香川県の看護行政 (佐野)			
第11～13週 保健医療福祉行政の仕組み (松原) 1. 保健医療福祉行政 2. 保健医療福祉の財政 3. 保健医療福祉行政の計画と評価			

第14週 地域保健行政と保健師活動（松原）
1. 地域保健行政と保健師活動

第15週 まとめ（大西）

【自学自習に関するアドバイス】

第1・2週 テキスト・授業で配布した資料を読む

第3・4週 感染症サーベイランスで流行している感染症等について調べる。

第5・6週 テキスト・授業で配布した資料を読む

第7～9週 環境省や厚労省のHPを検索して、環境衛生や食品衛生について調べる。

第10週 厚労省や香川県および日本看護協会・香川県看護協会のHPを検索し、看護行政について調べる。

第11～14週 テキスト・授業で配布した資料をよく読む。

第15週 授業目的・到達目標の達成状況を評価し、達成できていない部分を補う。

教科書・参考書等

教科書

藤内修二他：標準保健師講座別巻1 保健医療福祉行政論、医学書院、最新版

厚生統計協会：国民衛生の動向、最新版

オフィスアワー 授業終了後に対応する

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

毎回出席を取る。学ぶ意欲をもって授業に臨むこと。

授業科目名 (時間割コード: 763100) 公衆衛生統計論 Statistics of Public Health	科目区分	DPコード bceM	分野コード
	単位数 2	時間割 前期 火3	
担当教員名 真鍋 芳樹	対象年次及び学科	3～ 医学部 看護学科	
	関連授業科目	公衆衛生学	
	履修推奨科目	疫学	
学習時間	講義90分 × 15回 + 自学自習		
授業の概要 公衆衛生統計とは、健康増進、疾病予防、医療等人の健康・公衆衛生に関する統計のことを指す。公衆衛生統計は、厚生労働省をはじめ各省庁や地方公共団体の行政施策の基礎資料となるほか、民間企業などでも利用されている。そこで、公衆衛生統計の種類と意義を学習し、わが国の公衆衛生統計の変遷および現状等について理解を深める。 学生は、この授業を通じて、種々の政策策定者を初めとする意思決定者は客観的に意思決定を行う必要があること、その客観的意思決定は客観的データに基づいたものによること、その客観的データは加工されていない生のデータでなければならないこと等を学習する。そのために、情報を検索し、収集して客観的データを集積し、統計的・疫学的手法を用いて解析・分析し、問題解決、意志決定、創造、評価等を、自らが行える資質を養うことが重要である。			
授業の目的 人間集団に発生するあらゆる健康事象を考える際、その集団の大きさ（人口数）と質を無視することはできない。人口統計・保健統計として、わが国や世界における人口の量や質、またその動きを知り、さらに健康に関する各種公衆衛生に関する統計の実際と方法論を習得する。 さらに、データに基づいて意思決定を行うためには、明確な目的意識および適切な計画を立案してデータを収集する必要があることを理解する。統計的評価を行うために、データの分布や水準に応じた適切な統計解析手法を適用することを理解する。			
到達目標			学習・教育到達目標 (工学部JABEE基準)
1. 人口、人口の種類、人口の現状と推移について述べる。 2. 出生率、死亡率等の意味と現状と推移について述べる。 3. 生命表、生命関数、統計資料、国際疾病（ICD）について述べる。 4. 受療率、有訴率、国民生活基礎調査、患者調査、医療施設調査、国民栄養の現状と推移について述べる。 5. データの水準、データの持つ意味について説明する。 6. 記述・推測統計的アプローチを説明し、応用できる。 7. 公衆衛生統計的データ分析を説明する。			
成績評価の方法と基準 試験、学習態度（出席等）、レポート等を総合的に評価する。			
授業計画並びに授業及び学習の方法			
第1～2週 人口静態統計 1. 主な健康・人口指標 2. 国勢調査 日本の人口・世界の人口 人口ピラミッド、年少人口指数、老年人口指数等			
第3～6週 人口動態統計 1. 出生統計の概要 出生率 再生産率（合計特殊出生率、総再生産率、純再生産率） 2. 死産・婚姻・離婚の概要 3. 死亡統計の概要 悪性新生物、脳血管疾患、心疾患死亡の概要 4. ICDの概要			
第7週 生命表 1. 生命表、平均余命・寿命、生命関数			
第8週 指定統計 1. 国民生活基礎調査 有訴率、受療率 2. 患者調査、医療施設調査			
第9週 データの基礎 1. データ収集法 2. 調査の計画と実施、データの水準			

<p>第10～13週 記述・分析統計</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 正規分布の特徴 2. 度数分布とヒストグラム、代表値と散布度等 3. 保健統計・公衆衛生統計的データのまとめ方・演習 <p>第14～15週 演習</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 国家試験問題等を利用した演習
<p>教科書・参考書等</p> <p>「国民の動向」を用意しておくこと。 教科書・参考書については、追って連絡する。</p>
<p>オフィスアワー 火曜日 授業終了後1時間</p>
<p>履修上の注意・担当教員からのメッセージ</p> <p>「データ」や「社会」は具体的に手に取ってみることのできる物質ではないが、厳然として存在している。各種疫学データや各種統計データの分析や見聞を通じて「社会」を実感していく必要がある。</p>

授業科目名 成人看護学演習 (時間割コード：762340)	科目区分	DPコード cbaM	分野コード
	単位数 1	時間割 前期 火1～2	
担当教員名 當目 雅代, 清水 裕子, 金正 貴美	対象年次及び学科 3～ 医学部 看護学科		
	関連授業科目 成人疾病論 成人看護学概論 成人急性期援助論 成人慢性期援助論 成人リハビリテーション期援助論 成人終末期援助論 成人看護学演習 成人看護学基本実習 成人急性期・リハビリテーション期実習 成人慢性期・終末期実習 成人看護学継続看護実習		
	履修推奨科目 形態生理A・B 生化学 分子生物学・栄養学 微生物学A・B 薬剤療養学 免疫学 機能再生医療学 看護クリティカルシンキング ヘルスアセスメント 看護倫理		
学習時間 15回の授業を講義と演習で構成している。3～4名のグループでの自学実習時間をもつ。			
授業の概要 本科目は、成人看護学概論、成人慢性期援助論、成人急性期援助論、成人リハビリテーション期援助論、成人終末期援助論で学んだことを基盤として、疾病を有する対象に対して問題解決するために看護過程の思考方法を教授します。			
授業の目的 学生は、成人急性期・リハビリテーション期実習および成人慢性期・終末期実習で受け持つ患者に対して、適切で効果的な看護援助を提供することが求められます。そのために学生は、成人期の代表する疾患における事例を通して、患者に関する必要な情報を収集し、その情報をアセスメントし、看護における問題点を明確にした上で、看護ケア計画を立案できる看護過程の展開方法を学習します。各学生は1事例を展開していきますが、他の事例展開を共通理解するために授業の最後にグループ内で発表を行います。			
到達目標			学習・教育到達目標 (工学部JABEE基準)
<ol style="list-style-type: none"> 1. 成人期患者の疾病や障害の病態が説明でき、必要な検査と治療などが理解できる。 2. 成人期患者の事例を通して、ゴードンの枠組みに基づいて情報の整理とアセスメントができる。 3. 成人期患者の事例を通して、対象者の全体像を把握するための関連図を作成できる。 4. 作成した関連図に基づいて、情報を統合し、統合した情報から対象者の状態をアセスメントすることで看護上の問題が抽出できる。 5. 成人期患者の事例の看護上の問題を解決するために、長期目標・短期目標が設定できる。 6. 成人期患者の事例の看護上の問題に対して、個別性を踏まえた看護計画が立案できる。 7. 他のグループの学習内容の発表を通して、成人各期の看護過程の特徴を理解できる。 			
成績評価の方法と基準 出席状況15%、試験15%、看護過程提出物60% グループ内評価10%			
授業計画並びに授業及び学習の方法			
第1回	看護過程の導入 ゴードンの枠組み・グループ分け		
第2回	事例の提供 4例(急性期、慢性期、回復期、終末期) 課題学習：病態生理レポートと情報の整理(第5回に提出する)		
第3回	慢性・終末期実習における看護過程の特徴		
第4回	急性・回復期実習における看護過程の特徴		
第5・6回	病態の解釈の説明と演習		
第7・8回	情報の解釈の説明と演習		
第9・10回	関連図の説明と演習		
第11・12回	情報の統合とアセスメント・計画の説明と演習		
第13回	情報の統合とアセスメント・計画の演習		
第14回	各グループ内での情報共有のための発表		
第15回	各期の看護過程の特徴のまとめの発表と質疑応答		
教科書・参考書等			
教科書 任和子.看護過程展開ガイド.改訂版,照林社,2009年,2400円.			
参考文献 浅野嘉延:看護のための臨床病態学,南山堂,2012 小田正枝ほか.ケーススタディ看護診断ガイド.第2版,ヌーヴェルヒロカワ,2003. 江川隆子ほか.ゴードンの機能的健康パターンに基づく看護データベース.第2版3刷,ヌーヴェルヒロカワ,2003. 江本愛子.基本から学ぶ看護過程と看護診断.第6版,医学書院,2008. 東風平智江美ほか.疾患別/看護ケアのための病態関連図.医学芸術社,2006. 長谷川雅美ほか.疾患と看護過程実践ガイド.改訂版,医学芸術新社,2007,(BN books,6).			

中村あやほか. 疾患別看護過程セミナー. 統合改訂版, 医学芸術社, 2006.
山田幸宏. 看護のための病態ハンドブック. 改訂版, 医学芸術新社, 2007, (BN books, 5).

オフィスアワー 火曜日 12:30 ~ 13:00

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

少人数のグループワークにより看護過程の展開を行います。自学実習時間でのグループメンバー間の協力が必要です。

授業科目名 成人看護学基本実習 (時間割コード：762351)	科目区分	DPコード cbdM	分野コード
	単位数 1	時間割 前期 集中	
担当教員名 當目 雅代, 清水 裕子, 金正 貴美, 野口 英子, 小笠 美春	対象年次及び学科 3～ 医学部 看護学科		
	関連授業科目 成人疾病論 成人看護学概論 成人急性期援助論 成人慢性期援助論 成人リハビリテーション期援助論 成人終末期援助論 成人看護学演習 成人急性期・リハビリテーション期実習 成人慢性期・終末期実習 成人看護学継続看護実習		
	履修推奨科目 免疫学 機能再生医療学		
学習時間 実習45時間 1日9時～16時(休憩1時間)を5日間			
授業の概要 本科目は、香川大学医学部附属病院と学内での演習で構成しました。附属病院では、急性期リハビリテーション期実習・慢性期終末期実習で実習を行う病棟に1日ずつ行き、臨床実習指導者からオリエンテーションや看護ケアのシャドーイングを実施してもらいます。また、手術室・集中治療室での見学実習も行います。学内では、成人看護系教員が、病棟実習で実施する頻度の高い看護技術の習得に向けた演習を行います。			
授業の目的 成人看護学基本実習は急性期・リハビリテーション実習、慢性期・終末期実習の導入です。そこで、急性期・リハビリテーション実習および慢性期・終末期実習を展開する実習病棟において、入院患者の特徴、看護ケアの特徴、看護体制を知り、事前学習および自己の実習計画の作成を行います。また、成人看護の実習で頻度の高い看護技術を演習により習得します。			
到達目標			学習・教育到達目標 (工学部JABEE基準)
<ol style="list-style-type: none"> 急性期・リハビリテーション実習および慢性期・終末期実習を展開する実習病棟における入院患者の特徴および代表的な疾患を述べることができる。 急性期・リハビリテーション実習および慢性期・終末期実習を展開する実習病棟における看護ケアの特徴を知り、疾患に応じた観察点およびアセスメントの視点を述べることができる。 急性期・リハビリテーション実習および慢性期・終末期実習を展開する実習病棟における看護体制を知り、看護チームの一員としての役割を述べるができる。 手術部および集中治療室の見学および入室のオリエンテーションを受けることで、手術部・集中治療室の看護の概要を述べるができる。 透析の実際を見学することにより、透析の目的・構造原理・方法を理解すると共に、患者がどのような体験をしているか理解し、患者と家族に必要なとされる看護援助について考察することができる。 成人患者の看護援助に必要な看護技術の方法および注意点について説明できる。 <ol style="list-style-type: none"> 血糖測定・インスリン注射の目的を理解し、方法および留意点について説明できる。 高カロリー輸液、輸液管理の目的を理解し、方法および留意点が説明できる。 術後管理の目的を理解し、バイタルサイン測定時の方法および留意点が説明できる。 成人患者の看護援助に必要な看護技術を正確に身につける。 <ol style="list-style-type: none"> 対象および自己の安全・安楽を考慮したうえで、正確に血糖測定・インスリン注射ができる。また、患者指導のための視点を述べるができる。 対象の安全・安楽を考慮したうえで、中心静脈栄養カテーテルの維持・管理、輸液管理が実施できる。 全身麻酔を受けた患者の術後の全身管理が実施できる。 			
成績評価の方法と基準 各項目毎に出席点を含めて配点をします。病棟実習40% (事前・事後学習含む) 演習項目60% (事前・事後学習含む)			
授業計画並びに授業及び学習の方法			
あるグループの例 1日目 午前：血糖測定演習 午後：自己学習 2日目 午前：病棟見学実習慢性期 午後：病棟見学実習慢性期 3日目 午前：術後管理技術チェック 午後：中心静脈栄養管理法 (TPN)、輸液管理 4日目 午前：手術室・集中治療室 (ICU) 見学 午後：自己学習 5日目			

午前：透析看護見学
午後：自己学習

教科書・参考書等
関連授業科目で使用した教科書・参考図書・授業での配布物

オフィスアワー 火曜日12時30分～13時

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

成人看護学基本実習では、基礎看護の知識と技術を基に応用技術能力が求められます。事前学習の内容を1ヶ月以上前から周知しますので、準備してください。健康管理にも十分注意してください。さらに詳細な内容については、「看護学実習の手引き」に掲載します。

授業科目名 (時間割コード: 762495) 母性保健対象論 Maternity Health Nursing Methods	科目区分	DPコード bdxM	分野コード
	単位数 1	時間割 前期 水2	
担当教員名 佐々木 睦子, 片山 理恵, 松木 由美	対象年次及び学科	3~ 医学部 看護学科	
	関連授業科目	母性看護学概論, 母性援助論, 母性疾病論	
	履修推奨科目	母性看護学概論, 母性援助論, 母性疾病論	
学習時間 講義90分 × 12回 + 自学自習 演習90分 × 3回 + 自学自習			
授業の概要 母性保健対象論は子孫を創造し、育み、健やかに成長発達させる人間の営みに着目して、新しい家族の誕生期にある人々が、様々な変化を遂げて、健康生活を営み発展させるという視点から、女性の生涯の中でも特に発達危機に陥りやすい周産期(妊娠・分娩・産褥)にある女性および新生児とその家族の特性の理解と援助方法について学ぶ。具体的には妊娠・分娩・産褥の期間をとおして、母体および胎児・新生児の健康を維持・増進、および異常が予防できるよう援助するために必要な基本的知識を学ぶ。			
授業の目的 1. 対象の健康レベルをwellnessな視点からアセスメントし、健康ニーズを充足する能力を身につけるために、周産期にある女性および新生児の心身の健康現象(生理的変化と病態生理・心理社会的変化)を理解する。 2. 対象の健康レベルをwellnessな視点からアセスメントする能力を活用してマタニティ診断し、看護実践を支える基本技術と日常生活への適応を促進する援助技法、さらにハイリスク状況にある人々への援助技法について理解する。 3. 妊娠期および分娩期にある女性への援助に向けて、ロイ看護理論の展開とクリティカルな援助技法について理解する。 4. 受け持ち対象をとおして、倫理的観点に基づく状況判断や実践、および倫理的責任感について理解する。			
到達目標			学習・教育到達目標 (工学部JABEE基準)
1. 妊娠の成立と胎児の発育過程について説明できる。 2. 妊娠経過に伴う生理的変化、心理・社会的健康について説明できる。 3. 妊娠の経過に影響を及ぼす因子について説明できる。 4. 妊娠期にある女性、及び家族の反応について考察できる。 5. 妊娠期にある女性への基本的な援助技法について理解できる。 6. 分娩経過における生理的変化、心理・社会的健康について理解できる。 7. 分娩期にある女性への基本的な援助技法について理解できる。 8. 母性看護学の演習をとおして、人格の尊重、人間としての尊厳、プライバシーの擁護、自己決定権など、倫理的観点に基づいて行動できる。			
成績評価の方法と基準 試験、出席状況、発問に対する応答性と学習態度、レポートなど総合的に評価する。			
授業計画並びに授業及び学習の方法			
第1回	周産期看護の特徴 (佐々木)		
	1. リプロダクティブ・ヘルス/ライツ 2. 周産期看護の特徴 3. 周産期看護に有用な看護理論 Wellness, Roy看護理論(自己概念), セルフケア, エンパワースメント		
第2回	正常な妊娠 (佐々木)		
	妊娠期看護アセスメント 1. 正常な妊娠の看護アセスメント 2. 正常な妊婦の看護ケア		
第3回	妊娠初期・中期の看護アセスメントと妊婦の援助 (佐々木)		
	1. 妊娠初期の看護アセスメントと看護ケア 2. 妊娠中期の看護アセスメントと看護ケア 3. 妊娠期の食事と栄養		
第4回	妊娠後期の看護アセスメントと妊婦の援助 (佐々木)		
	1. 妊娠後期の看護アセスメントと看護ケア 2. 妊娠期のメンタルヘルスケア 夫立ち会い分娩, パースプラン		
第5回	正常な妊婦のケア (佐々木)		
	1. 妊婦の基本的欲求へのケア 2. 日常生活とセルフケア 3. 妊産婦に必要な届出と適用される母子保健施策 4. 就労妊婦に適用される母子保健施策		
第6回	演習: 妊婦の基本的な援助技術-1 (佐々木, 片山)		
	1) 妊婦健康診査と母子健康手帳の活用		

第7回	2) 妊婦のアセスメント；体重、血圧、浮腫、検尿 3) 胎児のアセスメントと胎児心音聴取 演習：妊婦の基本的な援助技術-2 (佐々木, , 片山) 1) レオポルド触診法と子宮底・腹囲計測 2) 妊婦の日常ケアと保健指導 3) 妊婦体験ジャケット
第8回	ハイリスク妊娠の看護アセスメントとケア1 (佐々木) 妊娠合併症，流産・早産
第9回	ハイリスク妊娠の看護アセスメントとケア2 (佐々木) 常位胎盤早期剥離，前置胎盤，妊娠高血圧症候群，多胎妊娠
第10回	正常な分娩 1. 正常な分娩の看護アセスメント (片山) 2. 正常な分娩の基礎的理解 1) 胎位・胎向 2) 分娩の3要素 3) 分娩機転 3. 産婦の健康状態のアセスメント 4. 胎児の健康状態のアセスメントー胎児モニタリング
第11回	正常な分娩の産婦の援助 (片山) 1) 産婦の基本的要求へのケア 2) 産婦のメンタルヘルスケア 3) ラマーズ呼吸法，腹部マッサージ法 4) 産痛緩和・感覚の閾値 5) ゲートコントロール法
第12回	演習：産婦アセスメントと基本的な援助技術 (片山, 佐々木,) 1) 分娩機転 2) 分娩の1期と2期のケア 3) 分娩の3期と4期のケア
第13回	ハイリスク分娩の看護アセスメントとケア1 (佐々木) 遷延分娩，胎児機能不全，会陰切開と会陰裂傷
第14回	ハイリスク分娩の看護アセスメントとケア2 (佐々木) 分娩時異常出血，帝王切開術，多胎分娩
第15回	助産外来の役割と看護の特徴 (松木)
<p>自学自習 毎回配布する資料と教科書で復習し，次回講義へ臨む。</p>	
<p>教科書・参考書等 教科書 1. 村本淳子，高橋真理：周産期ナーシング（第2版）ヌーヴェルヒロカワ，2011. 2. 高橋真理，村本淳子：女性のライフサイクルとナーシング（第2版）ヌーヴェルヒロカワ，2011. 3. 日本助産診断・実践研究会編著：マタニティ診断ガイドブック（第4版）医学書院，2013. 4. 森 恵美，高橋真理他：系統看護学講座専門分野Ⅱ 母性看護学各論（第12版），医学書院，2012. 5. 内藤直子 他：あっそうか！ロイとゴードンで母性小児看護過程（初版）ふくろう出版，2011. 参考書 1. 小田正枝：ロイ適応モデル看護過程と記録の実際（第2版），ヌーヴェルヒロカワ，2003. 2. 横尾京子，中込さと子：ナーシング・グラフィカ母性看護学②母性看護技術，メディカ出版，2013. 3. 櫛引美代子：カラー写真で学ぶ周産期の看護技術（第2版），医歯薬出版，2007. 4. 櫛引美代子：カラー写真で学ぶ妊産褥婦のケア，医歯薬出版，2001. 5. 櫛田美代子：カラー写真で学ぶ新生児の観察と看護技術，医歯薬出版，2006.</p>	
<p>その他，適時提示する</p>	
<p>オフィスアワー 毎回授業終了後 ～ 17：30まで 看護学科教育研究棟4階416室 佐々木研究室</p>	
<p>履修上の注意・担当教員からのメッセージ 講義，デモンストレーション・演習，グループ学習などで展開する。また，適時，DVD教材や保健指導媒体を活用する。</p>	

授業科目名 (時間割コード：762505) 母性援助論 Maternity Health Nursing Methods	科目区分	DPコード bdxM	分野コード
	単位数 1	時間割 前期 木5	
担当教員名 佐々木 睦子, 片山 理恵, 阿部 慈, 岡田 佳子	対象年次及び学科	3～ 医学部 看護学科	
	関連授業科目	母性看護学概論, 母性保健対象論, 母性 疾病論	
	履修推奨科目	母性看護学概論, 母性保健対象論, 母性 疾病論	
学習時間 講義90分 × 12回 + 自学自習 演習90分 × 3回 + 自学自習			
授業の概要 女性の生涯の中でも特に発達危機に陥りやすい周産期(妊娠・分娩・産褥)にある女性, および新生児とその家族の特性の理解と援助方法について学ぶ。 具体的には妊娠・分娩・産褥の期間をとおして, 母体および胎児・新生児の健康を維持・増進, および異常が予防できるよう援助するために必要な基本的知識および基本的援助技術を学ぶ。			
授業の目的 1. 対象の健康レベルをwellnessな視点からアセスメントし, 健康ニーズを充足する能力を身につけるために, 周産期にある女性および新生児の心身の健康現象(生理的変化と病態生理・心理社会的変化)を理解する。 2. 対象の健康レベルをwellnessな視点からアセスメントする能力を活用してマタニティ診断し, 看護実践を支える基本技術と日常生活への適応を促進する援助技法, さらにハイリスク状況にある人々への援助技法と評価法を習得する。 3. 妊娠期および産褥期にある女性への援助に向けて, ロイ適応看護モデルを用いて看護過程を展開し, クリティカルな看護介入技法を習得する。 4. 受け持ち対象をとおして, 倫理的観点に基づく状況判断や実践, および倫理的責任感について理解する。			
到達目標			学習・教育到達目標 (工学部JABEE基準)
1. 産褥の経過と産褥経過に影響を及ぼす因子について説明できる。 2. 産褥経過における生理的変化, 心理・社会的健康, 及び家族の反応について考察できる。 3. 産褥期にある女性への基本的な援助技法について説明できる。 4. 産褥期にある女性への基本的な援助技法と評価法を実施できる。 5. 新生児の胎外生活への適応と生理的特性について説明できる。 6. 新生児への基本的な援助技法と評価法を説明できる。 7. 周産期にある母性の看護過程展開が理解できる。 8. 周産期にある母性のロイ看護過程が理解できる。 9. 母性看護学の演習をとおして, 人格の尊重, 人間としての尊厳, プライバシーの擁護, 自己決定権など, 倫理的観点に基づいて行動できる。			
成績評価の方法と基準 試験, 出席状況, 発問に対する応答性と学習態度, レポートなど総合的に評価する。			
授業計画並びに授業及び学習の方法			
第1回	正常な産褥の看護アセスメント 1. 産褥経過 2. 母乳育児 3. 出産後の家族への看護	(佐々木,)	
第2回	正常な産褥の看護援助(復古現象) 1. 産褥期女性の健康を促進させるための援助 1) 生理的復古現象を促進させるためのケア 2) 会陰部創傷治癒に対するケア	(佐々木,)	
第3回	正常な産褥の看護援助(進行現象) 1. 産褥期女性の健康を促進させるための援助 1) 進行現象を促進するためのケア 2) 母乳育児に向けてのケア	(佐々木,)	
第4回	産褥期の日常ケア, 産褥期の保健指導 1. 健康生活に必要なセルフケア能力の獲得への支援 2. マイナートラブルを緩和させるためのケア 3. 産後に必要な届出と適用される母子保健施策 4. 産褥期のメンタルヘルスケア 5. 役割獲得への支援	(佐々木,)	
第5回	ハイリスク産褥の看護アセスメントとケア1 子宮復古不全, 外陰・腔内の血腫, 産褥期の感染	(佐々木)	
第6回	ハイリスク産褥の看護アセスメントとケア2 産褥精神障害(産褥マタニティブルー, うつ), 周産期の死	(佐々木)	

第7回	演習：産褥期アセスメント 1. 子宮底の観察と子宮底輪状マッサージ 2. 外陰部消毒	(佐々木, , 片山)
第8回	演習：産褥期アセスメント 1. 乳頭乳輪マッサージ, 乳房基底部マッサージ, 搾乳, 乳房トラブル 2. 授乳姿勢 (抱き方, 乳頭の含ませ方, 排気)	(佐々木, , 片山)
第9回	正常な新生児の看護アセスメント 1. 正常な新生児の基礎的理解 2. 新生児看護の原則 3. 出生直後の新生児の理解と看護 4. 新生児の栄養 5. 新生児と家族	(片山)
第10回	ハイリスク新生児の看護アセスメントとケア 1. 新生児合併症 2. 低出生体重児 3. 先天異常, 障害を持つ新生児	(岡田)
第11回	演習：新生児期アセスメント 1. 新生児の観察 2. 沐浴	(片山, 佐々木,)
第12回	周産期事例の看護過程展開 1. ロイ適応看護モデル 2. ロイ4様式の情報収集とアセスメント 3. レポート作成と記録用紙	(佐々木, , 片山)
第13回	周産期の看護実践 1. 産褥期事例の看護過程展開 2. 帝王切開事例の看護過程展開 3. マタニティ診断	(佐々木, , 片山)
第14回	周産期の看護実践 1. 産褥期事例の看護過程展開 2. 帝王切開事例の看護過程展開 3. マタニティ診断	(佐々木, , 片山)
第15回	分娩期および褥婦と新生児の看護 MFI CUの役割と看護の特徴	(阿部)
<p>自学自習 毎回配布する資料と教科書で, 復習をして次回講義に臨む.</p>		
<p>教科書・参考書等 教科書 1. 村本淳子, 高橋真理: 周産期ナーシング 第2版, ヌーヴェルヒロカワ, 2011. 2. 高橋真理, 村本淳子: 女性のライフサイクルとナーシング 第2版, ヌーヴェルヒロカワ, 2011. 3. 内藤直子 他: あっそうか! ロイとゴードンで母性小児看護過程 初版, ふくろう出版, 2011. 4. 日本助産診断・実践研究会: マタニティ診断ガイドブック 第4版, 医学書院, 2013. 5. 森 恵美: 系統看護学講座専門分野II 母性看護学各論 第12版, 医学書院, 2012.</p> <p>参考書 1. 小田正枝: ロイ適応モデル看護過程と記録の実際 第2版, ヌーヴェルヒロカワ, 2003. 2. 横尾京子, 中込さと子: ナーシング・グラフィカ母性看護学②母性看護技術, メディカ出版, 2013. 3. 櫛引美代子: カラー写真で学ぶ周産期の看護技術 (第2版), 医歯薬出版, 2007. 4. 櫛引美代子: カラー写真で学ぶ妊産褥婦のケア, 医歯薬出版, 2001. 5. 櫛引美代子: カラー写真で学ぶ新生児の観察と看護技術, 医歯薬出版, 2006.</p> <p>その他, 適時提示する</p>		
<p>オフィスアワー 毎回授業終了後 ~ 18:30まで, 看護学科教育研究棟4階416 佐々木研究室</p>		
<p>履修上の注意・担当教員からのメッセージ 講義, デモンストレーション・演習, グループ学習で展開する. また適時, DVD教材や保健指導媒体を活用する.</p>		

授業科目名 (時間割コード：762672) 在宅援助論 Methodology of home care nursing	科目区分	DPコード abcM	分野コード
	単位数 1	時間割 前期 火4～5	
担当教員名 松井 妙子	対象年次及び学科	3～ 医学部 看護学科	
	関連授業科目	在宅看護学概論、家族看護学、ヘルスアセスメント	
	履修推奨科目	在宅看護学概論、ヘルスアセスメント、家族看護学	
学習時間	3年次 前期・必修 演習 90分 × 15週		
授業の概要 在宅療養者特有の疾患、在宅における医療処置、在宅療養事例等の演習課題を提示し、在宅における日常生活援助技術および医療的処置を伴う援助技術、在宅事例に対する看護過程の展開等を学生相互に学べるよう教示する。在宅における医療的ケアに関して、学生が相互に学び、その学びをクラスで発表し、授業を通じて他者への教育的支援の方法を考えるよう授業を展開する。			
授業の目的 医療技術が進歩し、在宅ケア・在宅医療における看護職の果たす役割が増大している。この授業に置いて、(学生は)在宅療養者の特徴、在宅に多い疾患の理解、症状への対応、在宅療養者に看護を展開するために必要な情報収集項目、看護の展開方法、具体的な看護技術、社会資源の提供主体とその種類などの知識を修得する。			
到達目標			学習・教育到達目標 (工学部JABEE基準)
1 訪問看護師の役割を説明できる。 2 在宅療養事例をもとに、看護課題の抽出、在宅特有の医療的ケアに関する知識を、参考書・教科書から収集することができる。 3 在宅療養事例の看護問題を抽出し、看護目標、看護計画を立てる。 4 在宅療養事例の看護に必要な援助技術・医療的ケアの技術を習得し、クラス内の学生に説明できる。			
成績評価の方法と基準 個人学習とグループ学習の内容、演習参加態度、グループ別の発表内容、実習を通してのレポート内容などを総合的に評価する。			
授業計画並びに授業及び学習の方法 「前半」 第1回 ガイダンス：事例概要の紹介、事例の記録用紙への記入方法についてオリエンテーション、グループ分けを行う。 グループは、5人ずつ12グループに分ける。 第2回 在宅療養者特有の疾患とその看護についてグループ学習を行う。 第3～4回 在宅療養事例の情報を整理する。疾患や生活状況を理解し、アセスメントを行い、看護課題を考える。 第5～6回 看護課題を抽出し、看護目標を設定し、看護計画を作成する。 第7～8回 抽出した看護課題、看護目標、看護計画をグループ別に発表する。 第9回 作成した看護計画の中から必要な医療的ケア、看護ケアを選択し、その知識を収集する。 第10回 事例に関する在宅援助技術・医療的ケアの実施方法を教科書や参考書などで調べる。 第11回 在宅援助技術、医療的ケア、看護ケアの実技を習得する。 第12回 事例に関する在宅援助技術・医療的ケア、看護技術を指導する媒体を作成する。 第13～14回 在宅援助技術・医療的ケア、看護技術についてクラスメンバーに教育的指導を行う。 第15回 まとめ：レポート作成を行い提出する 【自学実習に関するアドバイス】 在宅看護過程、在宅特有の医療的ケアについて教科書等を参考に自己学習した上で、演習授業に参加のこと。また、皮膚ケアが必要な事例、がん終末期の事例、高齢者終末期の事例、呼吸器のケアが必要な事例、在宅中心静脈栄養を行っている事例、胃漏栄養を行っている事例、家庭において日常生活援助が必要な事例などを教科書・参考書から自己学習した上で演習に参加する。			
教科書・参考書等 教科書は指定しない 参考書 木下由美子編：新版 在宅看護論、医歯薬出版。 金川克子・天津栄子編：わかる・使える看護過程、中央法規出版。 岡崎美智子・正野逸子編：「根拠がわかる在宅看護技術」、メヂカルフレンド社			
オフィスアワー 授業前後1時間			
履修上の注意・担当教員からのメッセージ 実習に入る前の演習授業です。実習で困らないよう、興味を持って全員参加でグループワークを行うこと。			

授業科目名 (時間割コード: 732541) 公衆衛生看護対象論 Public Health Nursing Theory Subject	科目区分	DPコード bcdM	分野コード
	単位数 1	時間割 前期 木1	
担当教員名 大西 美智恵, 越田 美穂子	対象年次及び学科	3~ 医学部 看護学科	
	関連授業科目	公衆衛生看護学概論 コミュニティアセスメント論	
	履修推奨科目	人間理解に関する一般教養科目	
学習時間 講義90分 × 15回 + 自学自習			
授業の概要 人々の健康に直接的・間接的に関わる保健・医療・福祉に関する政策や法制度について理解し、それらを踏まえて、人生の全ライフステージにおける健康レベルに応じた支援の方法を学ぶ。			
授業の目的 1. 各ライフステージの特徴や健康課題を知り、それぞれの時期の発達課題に応じた支援のあり方を理解する。 2. 精神・難病患者や障害者の生活実態や生活課題を理解するとともに、地域ケアのあり方を説明できる。 3. 感染症における健康危機管理と保健師活動の関係について理解し、保健師の果たすべき役割について説明できる。			
到達目標			学習・教育到達目標 (工学部JABEE基準)
1. 各ライフステージの特徴や健康課題を説明できる。 2. 各ライフステージの発達課題に応じた支援のあり方を説明できる。 3. 精神疾患をもつ患者や障害者の生活実態や生活課題を説明できる。 4. 精神疾患をもつ患者や障害者に対する地域ケアのあり方について説明できる。 5. 難病患者や障害者の生活実態や生活課題を説明できる。 6. 難病患者や障害者に対する地域ケアのあり方について説明できる。 7. 感染症における健康危機管理と保健師活動の関係について説明できる。 8. 感染症における健康危機管理において保健師の果たすべき役割について説明できる。			
成績評価の方法と基準 出席回数及び受講態度で試験受験の可否を確認のうえ、最終的に定期試験で評価する。			
授業計画並びに授業及び学習の方法			
第1回 母子保健活動Ⅰ (越田) 1. 母子保健の変遷と関係法規 2. 地域母子保健と福祉サービス その①			
第2回 母子保健活動Ⅱ (越田) 1. 母子保健と福祉サービス その② 2. 子育てに関わる様々な支援と社会資源 (健診・相談・グループ支援)			
第3回 母子保健活動Ⅲ (越田) 1. 母子保健と福祉サービス その③ 2. 子育てと育児支援 (虐待・発達障害・ハイリスク母子へのアプローチ)			
第4回 成人保健Ⅰ (越田) 1. 成人保健の動向と保健活動 2. 健康づくり運動			
第5回 成人保健Ⅱ (越田) 1. 生活習慣病対策 2. 特定健診・特定保健指導			
第6回 歯科保健活動 (越田) 1. 歯科保健の動向 2. 生涯を通じた歯科保健			
第7回 高齢者保健活動Ⅰ (越田) 1. 政策過程と法制度 2. 健康レベルと生活支援			
第8回 高齢者保健活動Ⅱ (越田) 1. 高齢者支援対策			
第9回 高齢者保健活動Ⅲ (越田) 1. 健康長寿社会づくりと保健活動			

第10回 精神保健活動（越田）
1. 歴史的変遷と現状及び課題
2. 地域精神保健活動の実際

第11回 感染症予防活動（大西）
1. 感染症予防法と対策

第12回 感染症予防活動Ⅱ（大西）
1. 結核対策

第13回 障がい児（者）保健活動（大西）
1. 障がい児・者をめぐる社会資源
2. 保健福祉政策と地域支援
3. 当事者から学ぶ

第14回 難病保健活動（大西）
1. 難病保健の動向
2. 難病患者の生活と保健指導

第15回 まとめ（越田）

自学自習に関するアドバイス

第1～15回 テキスト・授業で配布した資料を読む
テレビ放映されるニュースや新聞記事に関心を持ち、授業内容との関連づけを考える

教科書・参考書等

教科書（購入のこと）

中谷芳美他著：標準保健師講座 3 対象別地域看護活動 第3版 医学書院（3,300円）

厚生統計協会編：国民衛生の動向 厚生統計協会 2013/2014 （2,400円）

参考書

金川克子編：最新保健学講座 4 公衆衛生看護活動論① メヂカルフレンド社

金川克子編：最新保健学講座 5 公衆衛生看護活動論② メヂカルフレンド社

宮崎美砂子：最新地域看護学各論1 日本看護協会出版会

津村智恵子編著：改訂 地域看護学、中央法規

厚生統計協会：国民福祉の動向 厚生統計協会

厚生労働省監：厚生労働白書 ぎょうせい

柳澤健一郎他編：衛生行政大要 日本公衆衛生協会

オフィスアワー 講義終了後1時間（各教員研究室 大西・越田：看護棟6階）

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

講義を主体とした展開になるが、教科書や参考書を読み主体的に学習すること。

テキストや参考図書における、各階の講義テーマについて事前に読んでくること。

授業科目名 (時間割コード: 762551) コミュニティアセスメント論 Community Assessment Theory	科目区分	DPコード cbdM	分野コード
	単位数 1	時間割 前期 木2	
担当教員名 大西 美智恵	対象年次及び学科	3～ 医学部 看護学科	
	関連授業科目	公衆衛生看護学概論 公衆衛生看護対象論 保健医療福祉行政論	
	履修推奨科目	人間理解に関連する一般教養科目	
学習時間	講義90分×15回+自学自習		
授業の概要 健康や障害に関連した諸問題は、生物学的、物理的、社会的な原因で生ずることを理解し、健康課題を考えると、具体的な個々の実態を見つめながら、社会的な基盤を視野に入れて捉えることを学ぶ。また、歴史的に展開されてきた公衆衛生看護活動を踏まえ、今日、地域で展開する看護活動の方法について理解できる。特に、地域保健活動としての展開方法では、地域の人びとが顕在・不顕在を問わず健康課題を認識し、主体的な保健行動がとれるよう組織的活動を目指した支援のあり方を学ぶ。			
授業の目的 1. 地域看護診断の意義・目的・方法について理解し、演習を行うことで地域看護学実習の地域診断に活かすことができる。			
到達目標			学習・教育到達目標 (工学部JABEE基準)
1. 地区の健康課題(生活課題)をアセスメントするために必要な情報を収集できる。 2. 情報収集するための地区踏査・インタビュー・既存資料の活用について理解し、実施できる 3. 地区の健康課題(生活課題)を記述し、対策(解決策)を考えることができる。 4. 地域看護診断から見出した健康課題(生活課題)を公衆衛生看護活動に活かすことを理解できる。			
成績評価の方法と基準 地域看護診断演習成果およびグループワーク成果(60%)、出席および定期試験(40%)			
授業計画並びに授業及び学習の方法			
第1回 地域看護診断の有用性と方法 1. 地域のヘルスニーズのとらえ方 2. 地域看護診断の意義・目的・枠組みと方法			
第2回 エスノグラフィーに基づく地域看護診断 1. コミュニティ・アズ・パートナーモデルの活用 2. エスノグラフィーの接近に基づく地域看護診断の具体的な実践方法			
第3回 あるべき姿からの地域看護診断、地域の強みを活かす地域看護診断			
第4～5回 地域看護診断の実際① (演習) 我が町の情報収集の実際			
第6～7回 地域看護診断の実際② (演習) 地区視診で我が町を観よう			
第8～9回 地域看護診断の実際③ (演習) 我が町の健康課題・生活課題と対策を考えよう			
第10～11回 地域看護診断グループワーク 各自で行った地区視診やインタビューを発表し、グループでまとめよう			
第12～13回 地域看護診断発表 グループ毎にまとめた地域看護診断を発表しよう			
第14～15回 地域看護診断から公衆衛生看護活動へ			
教科書・参考書等 教科書			

金川克子編：地域看護診断 東京大学出版会 最新版 (2,800円＋税)
中村裕美子他著：標準保健師講座2 地域看護技術 医学書院 (3,150円)

参考書

平野かよ子編：最新保健学講座2 地域看護学総論② メヂカルフレンド社
村嶋幸代編：最新保健学講座3 地域看護支援技術 メヂカルフレンド社
宮崎美砂子：最新地域看護学 総論 日本看護協会出版会
津村智恵子編：改訂地域看護学、中央法規
平野かよ子他編：事例から学ぶ保健活動の評価 医学書院
金川克子監：地域看護学日線の理論化をめざして 日本看護協会出版会
Elizabeth T. Anderson, Judith Mcfarlane編 金川克子他訳：コミュニティ・アズ・パートナー
地域看護学の理論と実際 医学書院

オフィスアワー 講義終了後1時間 (研究室は看護棟6階)

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

講義と並行して、演習を多く取り入れ理解を深める。各自の演習とグループ演習を行うため、開講時間が変則となる
ことがあるので注意すること。

授業科目名 (時間割コード：762552) 健康教育論 Health Education	科目区分	DPコード bcdM	分野コード
	単位数 1	時間割 前期 木3	
担当教員名 越田 美穂子	対象年次及び学科	3～ 医学部	
	関連授業科目	公衆衛生看護学概論 コミュニティアセスメント論 保健医療福祉行政論	
	履修推奨科目	人間理解に関連する一般教養科目	
学習時間	講義90分×30回+自学自習		
授業の概要 健康や障害に関連した諸問題は、生物学的、物理的、社会的な原因で生ずることを理解し、健康課題を考えるとき、具体的な個々の実態を見つめながら、社会的な基盤を視野に入れて捉えることを学ぶ。また、歴史的に展開されてきた公衆衛生看護活動を踏まえ、地域で展開する看護活動の方法について理解できる。特に、地域保健活動としての展開方法では、地域の人びとが顕在・不顕在を問わず健康課題を認識し、主体的な行動変容がとれるような健康教育技術を用いた支援のあり方を学ぶ。			
授業の目的 1. 地域における健康課題解決の保健師技術として行われてきた健康教育の歴史、理論的背景について理解する。 2. 健康課題において、地域特性や対象に応じた、健康教育の目的から評価までの具体的な企画の立て方を理解する。 3. 人々が健康問題に主体的に取り組むことを援助するために、健康教育の技術を理解し、技術の実際を身につける。 4. 健康教育のテーマにあった教育媒体を作成し、教育内容を実施できる。			
到達目標			学習・教育到達目標 (工学部JABEE基準)
1. 地区の健康課題（生活課題）をアセスメントするために必要な情報を収集できる。 2. 地区の健康課題（生活課題）を健康教育のテーマに位置づけ、目的や内容を考えることができる。 3. 健康教育の地域特性や対象に応じた具体的な企画と評価計画ができる。 4. 健康教育の技術を習得し、効果的に教育媒体を作成することができる。 5. 健康教育の展開過程を理解し、演習において実践できる。			
成績評価の方法と基準 出席及び受講態度で試験受験の可否を確認したうえで定期試験（40%） 演習態度・記録、発表内容・ミニレポート（10%）			
授業計画並びに授業及び学習の方法			
第1回 オリエンテーション・地域における健康教育（越田） 1. 地域における集団を対象とした援助技術 2. 健康教育の理念と定義 目的・方法の変遷			
第2回 健康教育と保健行動（越田） 1. 健康のレベルに対応したセルフケアと健康教育 2. 健康教育理論 健康行動科学理論 行動変容へのアプローチ			
第3回 集団を対象にした健康教育の実際（1）（越田） 1. ファシリテーション技法：場を作る技術 会場設営 プロセスデザイン アイスブレイク レクチャーの方法			
第4回 集団を対象にした健康教育の実際（2）（越田） 1. ファシリテーション技法：対人関係を作る技術 チームビルディング 傾聴と質問による意見の発散			
第5回 集団を対象にした健康教育の実際（3）（越田） 1. ファシリテーション技法：構造化の技術 グラフィックによる見える化 フレームワークの使用による意見収束			
第6回 地区活動と健康教育（越田） 1. 計画から実施・事後フォロー・評価に至るプロセスとその重要な側面			
第7回 グループ演習オリエンテーション（越田） 1. 講義：効果的な媒体とその活用 2. 模擬健康教育 グループ演習(1)			
第8～11回 模擬健康教育 グループ演習(2)～(5)（越田）			

第13～14回 模擬健康教育 グループ発表（越田）

第15回 まとめ

教科書・参考書等

教科書（購入のこと）

中村裕美子他著：標準保健師講座 2 地域看護技術 第2版 医学書院（3,000円）

参考書

村嶋幸代編：最新保健学講座 3 地域看護支援技術 メヂカルフレンド社

平野かよ子他編：事例から学ぶ保健活動の評価 医学書院

オフィスアワー 各教員 講義終了後1時間（研究室は看護棟6階）

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

講義と並行して、地域看護診断及び健康教育ではグループ演習を取り入れ理解を深める。グループ演習を行うため、開講時間が変則となることがあるので注意すること。

授業科目名 (時間割コード: 762601) 学校保健 I School Nursing I	科目区分	DPコード bcdM	分野コード
	単位数 1	時間割 前期 金3・4 7月集中	
担当教員名 中西 美恵子	対象年次及び学科	3～ 医学部 看護学科	
	関連授業科目	公衆衛生看護学概論	
	履修推奨科目	公衆衛生看護対象論	
学習時間	講義90分×8回+自学自習		
授業の概要	非常勤講師による7月の集中講義である。		
授業の目的	1. 学校保健の理念と目的、制度を理解するとともに、学校保健における健康課題を知り、その対応を理解できる。 2. 養護教諭の職務を理解し、地域保健との連携を理解できる。		
	到達目標	学習・教育到達目標 (工学部JABEE基準)	
	1. 学校保健・看護の理念と目的を理解する。 2. 学校保健の制度とシステムを理解する。 3. 学校保健の・看護の現状と健康課題を理解する。 4. 養護教諭の職務と保健室の機能を理解する。 5. 地域保健・産業保健との連携を理解する。		
成績評価の方法と基準	レポート90%、受講態度10%		
授業計画並びに授業及び学習の方法	第1・2回 学校保健・看護の理念と目的 学校保健の制度とシステム 第3・4回 学校保健・看護の現状と課題 第5・6回 養護教諭の職務と保健室の機能 第7・8回 地域保健・産業保健との連携 自学自習 7月に集中で行うため 第1～8回 テキストや配付資料を読み事前・事後学習をする。		
教科書・参考書等	中谷芳美他、標準保健師講座3 対象公衆衛生看護活動、医学書院、最新版、3,465円		
オフィスアワー	授業時間終了直後		
履修上の注意・担当教員からのメッセージ	積極的に授業に参加すること		

授業科目名 (時間割コード: 762100) 看護と国際社会 Global Health Nursing	科目区分	DPコード cdbM	分野コード
	単位数 1	時間割 前期 金3~4	
担当教員名 谷本 公重, 近藤 麻理, 柴崎三郎	対象年次及び学科	3~ 医学部 看護学科	
	関連授業科目		
	履修推奨科目		
学習時間	講義90分 × 8回 + 自学自習		
授業の概要 世界経済危機が進行する中で、保健および医療を取り巻く状況は、発展途上国のみならず先進国においても大変厳しい状況にあることは、周知のことと思われる。ある国や地域の問題は、世界の国や地域に対しても大変大きな影響を与えることは、世界のグローバル化としてとらえられる。保健や医療においても、エイズやインフルエンザ、結核などの感染症の世界的蔓延、人口の爆発的増加など、世界的な視野に立ち、さらに環境、社会、文化、政治、経済問題などと関連させて、対策を立てないと解決しえない問題が山積している。 大学の授業を通して、地域に即した保健医療の推進に必要な知識や技術を習得すると同時に、国際的観点に立った知識や思考法を養うことは、これからの医療従事者にとって重要な課題の一つである。さらには、将来において世界保健機関 (WHO) や国際協力機構 (JICA) などにおいて世界の保健医療に寄与しうる人材を育成することは、看護系大学の責務の一つであるといえる。従って、この「看護と国際社会」の授業においては、先進国、並びに発展途上国の保健および医療の現状を提示し、国際保健医療における看護の役割や問題点について理解を促し、さらにはこれからの国際保健医療における看護の果たすべき役割についても、レポート作成という作業を通して、考えを巡らせていければと考える。同時に医学部で行われる国際交流に関するイベントに参加し、他の国の人々を理解しあうことに積極的に参加してほしい。この授業が、国際保健医療に対する理解ならびに興味を深める一契機になってくれればと願っている。			
授業の目的 1. 世界の健康問題について理解する 2. 発展途上国での保健医療の現状と問題点について理解する 3. 先進国での保健医療の現状と問題点について理解する 4. グローバルな視点から、日本の健康関連課題について考察する 5. 他の国の人々と積極的に相互理解する行動をとる 6. 国際保健医療における看護の役割について考察する			
到達目標			学習・教育到達目標 (工学部JABEE基準)
1. 国際保健医療での看護の役割について説明できる 2. 世界の健康問題について、疫学や生態学等の視点から述べるができる 3. 世界の健康問題について、社会、文化、政治、経済及び保健医療システムの関連から総合的に現状を評価できる 4. グローバルな視点から、日本の健康問題について論理的に説明できる 5. 日本以外の人々と相互理解する行動をとることができる 6. 国際保健医療におけるこれからの看護の役割について、創造的に述べるができる			
成績評価の方法と基準 1. 出席 40% (国際交流に関するイベント参加を含む) 2. レポート 60%			
授業計画並びに授業及び学習の方法 各回の授業内容および担当者 () は以下の通りである。 第1回: ガイダンス; 授業目的、科目の展開や進め方、学習方法、評価方法の説明 (谷本) 第2回: 世界の健康課題と国際機関の役割 (非常勤講師 近藤) 第3回: ジェンダー・貧困・HIV/AIDSと看護の取り組み (非常勤講師 近藤) 第4回: バングラディッシュ等における国際保健活動 (非常勤講師 柴崎) 第5回: MDG's から見た世界の健康問題と解決策 (非常勤講師 柴崎) 第6回: JICAの国際協力の実践 (非常勤講師 柴崎およびJICA協力者) 第7回: 協力とピットフォール (非常勤講師 柴崎) 第8回: まとめと評価; レポート作成、まとめと評価 (谷本)			
【学習方法】 WHOを中心とした国際保健医療機関の役割や、NPOなどによる保健医療活動、諸外国の保健医療の現状について学ぶとともに、常にグローバルな視点で保健医療の問題点や看護の役割について考え、その対処方法についても考えを巡らせるようにしてもらいたい。			
【予習へのコメント】 第2、3回: 「タイ国の保健と社会発展」研修プログラムが夏季休暇中に、タイのマヒドン大学で10日間あることをご紹介します。 http://mahidol-prgm.internet.ne.jp/index.htm また、国際看護に関心のある学生は、予習用として「知って考えて実践する国際看護」(医学書院)をお読みください			

い。

第4～7回：可能であれば、参考書に目を通しておくこと

教科書・参考書等

【参考書】

1. 久間圭子, 序説国際看護学, 日本看護協会出版会, 2001年, ¥2,100
2. 国際看護研究, 国際看護学入門, 1999年, ¥2,940
3. 近藤克則, 「医療費抑制の時代」を超えて—イギリスの医療・福祉改革, 2005年, ¥2,940
4. 近藤麻理, 知って考えて実践する国際看護, 医学書院, 2011年, ¥1,890

その他、適時提示する。

オフィスアワー 谷本 水曜日13:00～15:00 (414号研究室)

非常勤講師に対してはその場で積極的に質問・相談すること

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

授業では積極的に参加し、適切な方法で意見を述べること。必要があれば自由に教員に質問したり、図書館やインターネットによる検索も心掛けてもらいたい。

また、医学部で行われる国際交流活動に積極的に参加してください。

授業科目名 (時間割コード: 762770) 看護クリティカルシンキング Critical thinking for Nursing	科目区分	DPコード bcdM	分野コード
	単位数 1	時間割 前期 水3	
担当教員名 清水 裕子	対象年次及び学科	3～ 医学部 看護学科	
	関連授業科目	全学共通科目心理学, 看護とコミュニケーション	
	履修推奨科目	成人看護学概論	
学習時間	演習90分×8回+自学自習		
授業の概要 思考のスキルとして異文化の中で発達してきた批判的思考 (Critical Thinking) は、複雑化する社会において人が十分に機能するために必須の能力である。物事に疑問を持ち、理解し、分析する批判的思考は、自分自身の思考と他者の思考を検討し、洗練していくことでもある。看護師は人々に関わることにより、他者に対する自己の思考の傾向や (枠組みや前提) に気づくとともに、人々のそれに気づくことにより、出来事をより広い視野から系統的に理解するのを助け、よりよい意思決定を導くことができる。すなわち、批判的思考は看護師の成長や看護の発展に必要な不可欠な技術である。			
授業の目的 本講義では批判的思考の本質を学ぶとともに、看護における批判的思考の意義、重要性、さらに、批判的思考のための基本となる態度と方法について学ぶ。具体的には、批判的思考の本質を学ぶとともに、看護における批判的思考の意義、重要性について理解する。また、他者と自らの思考の傾向とその影響を理解することをとおして、多様な看護の場面において批判的思考を用いるための基本となる姿勢・態度・方法を学ぶ。			
到達目標			学習・教育到達目標 (工学部JABEE基準)
1. 批判的思考について説明できる。 2. 看護における批判的思考の意義・目的について説明できる。 3. クリティカルシンキングに必要な態度・方法について説明できる。 4. 批判的思考に影響する要因について説明できる。 5. 他者と自分の思考の傾向について批判的に思考できる。 6. 他者と自分との相互作用を批判的に思考しながら、課題に対する発展的・創造的な提言ができる。 7. MBTIによる思考パターンのタイプが理解でき、自己理解を深めることができる。			
成績評価の方法と基準 参加度 (出席、課題への取り組み、発問に対する応答) および、課題レポート、発表から、思考パターンの自己理解と批判的思考との関連の理解、到達レベルについて総合的に評価する (50%)。最後に試験を実施する (50%)。			
授業計画並びに授業及び学習の方法 1. 批判的思考 (CT) とは: 批判的思考 (CT) の本質と意義・目的、影響要因、方法と技術 2. 看護と批判的思考: 看護における批判的思考の意義、重要性との適用・応用、思考のスタイル (MBTI検査とフィードバック) 3. 看護場面と批判的思考1: 思考パターンのベストフィットタイプの検討; グループによる課題学習 1 4. 看護場面と批判的思考2: 思考パターンのベストフィットタイプの検討; グループによる課題学習 2 5. タイプグループによる批判的思考の実践: 看護場面の検討: グループ学習 6. タイプグループによる批判的思考の実践: 看護場面の検討: 発表と討論 7. タイプグループによる批判的思考の実践: 看護場面の検討: グループ学習 8. タイプグループによる批判的思考の実践: 看護場面の検討: 発表と討論 【自学自習へのアドバイス】 1～2. 指定書を精読しておく 3～8. 演習と討論であるからグループメンバーと協調して進めるよう健康管理を行いグループへの参加意欲を高めておく。また、グループ学習の調査では、主体的な活動が求められる。			
教科書・参考書等 (指定図書) 1. 清水裕子, ヒューマンケアと看護学, ナカニシヤ出版, 2013. 2. イザベル・ブリックス・マイヤーズ著, 園田由紀訳, MBTIタイプ入門第6版, Japan Psychologists Press Inc. (参考図書) 1. Rosalinda Alfaro-LeFevre, CRITICAL THINKING IN NURSING Apractical Nursing; 江本愛子監訳, アルファロ看護場面のクリティカルシンキング, 医学書院, 1996. 2. E. B. ゼックミスタ, J. E. ジョンソン, ITP; 宮元博章他訳, あなたの思考をガイドする40の原則 入門編クリティカルシンキング, 北大路書房, 1998. 3. Mary A. Miller, Dorothy E. Babcock, Critical Thinking Applied to Nursing; 深谷計子, 羽山由美子監訳, 看護にいかすクリティカルシンキング, 医学書院, 2002.			
オフィスアワー	授業日の18:00-21:00		

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

自分の思考タイプを性格検査MBTIを実施してフィードバックしますから、これからの学習に有用です。

授業科目名 (時間割コード：762830) 看護倫理 Nursing Ethics	科目区分	DPコード dbcM	分野コード
	単位数 2	時間割 前期 火4~5	
担当教員名 大森 美津子, 名越 民江, 大西 美智恵, 佐々木 睦子, 當目 雅代	対象年次及び学科 3~ 医学部 看護学科		
	関連授業科目		
履修推奨科目			
学習時間 講義・演習90分 × 15回 + 自学自習			
授業の概要 保健・医療の発展に伴い、様々な倫理的ジレンマが生じている。看護師は、これらの倫理的問題に対する高い感受性と倫理観が求められる。そこで医療倫理・看護倫理の原則を踏まえ、倫理的問題について当事者の立場を理解した上での解決の方法を共に考える。 またハンセン病の隔離施策の場となった大島清松園の歴史と課題を理解し、入所者の方々と交流して、ハンセン病の隔離に伴う倫理的問題を理解し、看護職の役割について考える。			
授業の目的 1. 医療倫理・看護倫理の原則について理解する。 2. 倫理的問題について、解決の方法を提案できる。 3. ハンセン病の隔離に伴う倫理的問題を理解し、看護職の役割について考える。			
到達目標			学習・教育到達目標 (工学部JABEE基準)
1. 医療倫理・看護倫理の原則について説明できる。 2. 臨床における倫理的問題について説明できる。 3. 臨床における倫理的問題を解決するために、必要な情報を述べるができる。 4. 臨床における倫理的問題を解決するために、重要な内容もしくは解決方法を説明できる。 5. ハンセン病の隔離に伴う倫理的問題を説明できる。 6. ハンセン病の隔離に伴う倫理的問題を包含している大島清松園での看護職の役割について説明できる。			
成績評価の方法と基準 レポート、出席状況、学習態度により評価する。			
授業計画並びに授業及び学習の方法			
1 ガイダンス 倫理の原則		(大森)	
2 大島清松園での見学研修のオリエンテーション		(大西・大森)	
3 ハンセン病と倫理的問題		(非常勤)	
4 大島清松園の歴史と課題		(大西)	
5-7 ハンセン病と看護職の役割		(大西・大森)	
大島清松園の見学実習 ・園長・看護師長・自治会長の講演 ・入所者との交流 ・施設見学			
8-9 高齢者における倫理的問題と解決に向けて		(大森)	
10-11 病院における倫理的問題と解決に向けて		(名越)	
12-13 成人看護学領域における倫理的問題と解決に向けて		(當目)	
14-15 母性における倫理的問題と解決に向けて		(佐々木)	
教科書・参考書等 赤林朗・大林雅之編, ケースブック医療倫理, 医学書院, 2011, 2520円 Joyce E, Thompson, Hery 0 他, ケイコ・キシ・イマイ他訳: 看護倫理のための意志決定10のステップ, 看護協会出版会, 2004, 3150円 サラ・フライ著, 片田範子他訳 (2002), 看護実践の倫理, 医学書院, 2310円, 書籍部 アンJ. デーヴィス監修, 看護倫理 理論・実践・研究, 日本看護協会出版会, 2004, 3150円 ジョンセン他著, 赤林他監訳 (2006), 臨床倫理学, 新興医学出版, 3000円 その他状況に応じて随時追加する			
オフィスアワー 随時			
履修上の注意・担当教員からのメッセージ 倫理的問題を生み出す立場にもあるということを踏まえて、当事者の立場に立って考えることを体験して欲しい。解決への方法を自由な発想で、感じて、考えて欲しい。			

授業科目名 看護研究基礎論 (時間割コード：762930)	科目区分	水準DPコード bcdm	分野コード
	単位数 2	時間割 前期 金1	
担当教員名 松井 妙子, 峠 哲男, 藤井 豊, 名越 民江, 當目 雅代, 清水 裕子, 大森 美津子, 谷本 公重, 佐々木 睦子, 大西 美智恵	対象年次及び学科	3～ 医学部 看護学科	
	関連授業科目	保健統計論 看護研究	
	履修推奨科目	情報リテラシー	
学習時間 講義・演習90分×15回+自学自習			
授業の概要 看護学の知識体系を構築するために、研究による理論の開発と検証が必要です。看護研究は、看護援助のうえで生じる現象への新たな問題意識を持ち、その問題を解決していこうとするプロセスです。この問題意識の持ち方と解決方法の一連のプロセスを講義と演習で教授します。			
授業の目的 1. 看護援助に対する現象の科学的根拠を明らかにし、法則性を見いだす能力を身につける。 2. 看護現象の問題解決に向けて、科学的方法を用いて系統的な探求のプロセスを踏む能力を身につける。 3. 文献検討を通してエビデンス・ベースド・ナーシングの実践力を身につける。 4. 看護学の知識体系構築に向けての看護職者としての役割を理解する。 5. 看護研究を通して、倫理的課題を明確にできる能力を身につける。 6. 研究成果を共有するためのプレゼンテーション能力を身につける。			
到達目標			学習・教育目標 (工学部JABEE基準)
1. 看護学領域における研究の意義・目的が説明できる。 2. 医学・看護学関連データベースにアクセスして、関心領域の文献を検索できる。 3. 研究の種類・方法および研究過程について説明できる。 4. 看護研究における倫理的配慮の重要性と内容について説明できる。 5. 研究計画書を作成できる。 6. 適切な方法でデータを収集し、分析できる。 7. 研究成果を既存の知識との関連づけて解釈できる。 8. グループで研究した成果をパワーポイントを使用してプレゼンテーションできる。			
成績評価の方法と基準 出席状況・授業参加度50% 最終レポート50%			
授業計画並びに授業及び学習の方法			
第1回 研究の意義と目的－研究とは 研究の種類と研究方法について学ぶ。 第2回 研究計画書－研究計画書作成方法 研究計画を作成するために、研究の構成要素および研究のプロセスについて学ぶ。 第3回 文献検索法（担当：香川大学図書館医学部分館職員） 医学・看護学データベースによる文献検索の方法をマルチメディア室で演習する。 第4回 文献検討 看護系の学会誌で掲載されている研究論文を用いて、研究論文の読み方を学ぶ。 第5回 研究の倫理 研究における倫理的配慮について学ぶ。 第6回 研究計画書の作成 ワークシートを用いて、研究テーマ、研究の意義、目的、概念枠組みを作成する。 第7回 量的研究 1 質問紙を作成する。 第8回 量的研究 2 データの収集を行い、データベースを作成する。 第9回 量的研究 3 分析の方法を学び、データを分析する。 第10回 科学的研究論文の書き方とプレゼンテーション技法 図表作成方法、Power Pointを用いたプレゼンテーション方法を学ぶ。 第11回 実験研究の行い方 第12回 質的・帰納的研究法 第13回 プレゼンテーションの実際 1 第14回 プレゼンテーションの実際 2 量的研究の成果をPower Pointで視覚化し、プレゼンテーションを行う。 第15回 研究計画のレポート作成 各自の関心に沿って研究計画を作成し、レポートとして提出する。			

教科書・参考書等

必携図書

必携：足立はるゑ：看護研究サポートブック改訂第2版、MCメディカ出版、2007、2520円

参考図書

- ・松田光信・當目雅代：実践能力を磨く看護研究、KINPODO、2009
- ・福原俊一：リサーチ・クエッションの作り方、健康医療評価研究機構、2010
- ・加藤千恵子・石村貞夫：EXCELでやさしく学ぶアンケート処理、東京図書、2003
- ・酒井聡樹：これから論文を書く若者のために、共立出版、2006
- ・Polit DF et al.、近藤潤子監訳：看護研究 原理と方法、医学書院、2010

オフィスアワー 授業終了後1時間

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

研究計画書・質問紙の作成、データ分析、プレゼンテーション資料の作成をグループ単位で実施してもらいます。自学自習時間を有効に活用してください。

授業科目名 (時間割コード：763000) 養護原論 Principle of school nursing	科目区分	DPコード bcaM	分野コード
	単位数 1	時間割 前期 金4	
担当教員名 稲毛 美智子, 松井 妙子	対象年次及び学科	3～ 医学部 看護学科	
	関連授業科目	学校保健Ⅱ	
	履修推奨科目		
学習時間 講義90分×8回+自学自習 講義を受けるだけでなく、予習として次回の内容のところをよく読んでくること。また、授業後には復習を行い、分らないところがある場合には、オフィスアワーを利用し熟知すること。			
授業の概要 養護教諭の職責や役割・機能について理解を深め、児童・生徒の健康の保持増進のための健康教育、健康管理について説明するとともに、養護教諭としての実践力に必要な理論や基礎となる知識を事例を示しながら学習させ、養護教諭としての基礎的、応用的知識・技術を学び科学的な理論と実践の中で研究的な資質・力量を身につけられるよう概説する。			
授業の目的 平成9年に示された保健体育審議会答申において、養護教諭の新たな役割と求められる資質が提言された。養護教諭は従来の児童生徒の健康の保持増進に関する活動の上に、主体的な健康管理はもとより健康教育活動に積極的に関わるなど健康に関する中心的な役割を担うようになってきた。また、緊急の課題として、いじめ、不登校、性の逸脱行動など心の問題と深く関わる現代的課題も出てきている。養護教諭には、身体的ケアとともに心のケアの両面からの対応が求められており、養護教諭は学校の中で唯一健康に関する専門職として存在する意義は大きい。このようなことから、養護教諭の職務について理解し、養護教諭に求められている役割や資質を身につける。			
到達目標			学習・教育到達目標 (工学部JABEE基準)
1 養護教諭の役割と求められる資質について述べるができる。 2 養護教諭に必要な資質、能力、役割等を追求しながら、養護教諭の基礎となる理論と方法を解釈することができる。 3 養護教諭としての現代的健康課題や教育課題について説明することができる。			
成績評価の方法と基準 出席回数、受講態度、試験あるいはレポートで総合的に評価する。			
授業計画並びに授業及び学習の方法 小児看護学概論、学校保健を基礎とする。			
養護学概論	1 養護教諭の概念と役割	a) 学校教育における養護教諭の役割 b) 養護教諭制度の沿革と職務・役割の変遷 c) 養護教諭と学校保健関係職員	
	2 保健室の経営	a) 保健室の規程 b) 保健室の機能 c) 保健室経営計画と運営 d) 保健室登校	
学校保健と養護教諭	3 養護教諭の新たな役割と求められる資質	a) 学校保健活動と養護教諭 b) 養護教諭の職務に必要な基礎知識 c) 養護教諭に求められる資質	
	4 健康評価の意義	a) 健康評価の意義と評価 b) 健康実態把握に関しての養護教諭の役割	
健康実態の把握	5 定期健康診断と臨時健康診断	a) 定期健康診断の意義 b) 定期健康診断の企画・運営 c) 事後措置の進め方 d) 臨時健康実態の必要時期と内容	
	6 健康観察	a) 健康観察の必要性 b) 健康観察と養護教諭の役割 c) 健康観察と健康検診の手順と処理	
	7 養護教諭の執務の実際	a) 保健管理活動 b) 保健教育活動 c) 学校組織活動及び家庭・地域社会との連携	
健康問題解決への支援	8 健康問題における養護教諭の役割	a) 現代的健康問題の種類 b) 身体的健康問題への支援 c) 精神的健康問題への支援 d) 養護教諭が行う健康相談 e) 健康問題解決への支援	
教科書・参考書等 教科書			

杉浦守邦：養護教諭講座（1）養護概説，東山書房，2012

参考書

三木とみ子編：養護概説，ぎょうせい，2010

森昭三：変革期の養護教諭，大修館書店，1999

大谷尚子：養護学概論，東山書房，1997

大谷尚子：養護学・序論，ジャパンシマニスト，2008

大谷尚子他：新養護学概論，東山書房，2009

飯野順子編：養護教諭のための特別支援教育ハンドブック，大修館書店，2007

藤田和也：養護教諭の教育実践の地平，東山書房，1999

藤井寿美子他：養護教諭のための看護学，東山書房，2006

オフィスアワー 授業終了時

履修上の注意・担当教員からのメッセージ
特になし

授業科目名 Communicative English IVN(1)	(時間割コード：041444)	科目区分 コミュニケーション科目	DPコード axxG	分野コード
担当教員名 岩中 貴裕 (大学教育開発センター)	単位数 1	時間割	前期	金2
学習時間	授業90分×15回+授業外学習 (予習・復習・課題)			
授業の概要 幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。この授業では、1年次の授業 (Communicative English I/II) で身につけた「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を更に向上させます。				
授業の目的 この授業は受講生のライティング能力の育成に重点を置いています。15回の授業を通して受講生の英語でのライティング能力を向上させることを目的とします。				
到達目標				学習・教育到達目標 (工学部JABEE基準)
1. 英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ることができる。 2. 辞書等のツールを用いて適切さと正確さに配慮しながら英文を書くことができる。 3. 英語で300語程度のエッセイを書くことができる。				
成績評価の方法と基準 Quiz : 20% In-class effort : 30% Papers : 50%				
授業計画並びに授業及び学習の方法 【授業の方法】 第1回目から第6回目まではテキストに沿って授業を行います。第6回目以降は各自のペースで3つのエッセイを書きます。エッセイのトピックは授業内で提示します。 【授業計画】 第1回目：オリエンテーション 第2回目～第6回目：テキストを使用しての演習活動 第7回目～第15回目：エッセイ作成 【授業外学習に関するアドバイス】 第2回目～第6回目：授業担当者の指示に従い、十分に予習をした上で授業に臨むこと。 第7回目～第15回目：授業外でエッセイの原稿を作成してから授業の臨むこと。				
教科書・参考書等 Blass, L., & Vargo, M. (2013) Pathways: Reading, Writing, and Critical Thinking Book 1. Cengage Learning. ISBN: 978-1-133-94213-9 2,814円				
オフィスアワー 金曜日の13時30分から14時15分の間。				
履修上の注意・担当教員からのメッセージ 事前に教科書を購入し内容 (教科書の前書きの部分と最初の章) を確認した上で、第1回目の授業に出席してください。欠席回数が増えた時点で単位不認定となります。遅刻を3回すると欠席1回となります。遅刻は授業開始から20分以内までとします。それ以降は欠席の扱いとなります。				

授業科目名 (時間割コード: 041445)	科目区分 コミュニケーション科目	DPコード axxG	分野コード
Communicative English IVN(2)	単位数 1	時間割 前期 金2	
担当教員名	対象年次及び学科 3年次生 医学部看護学科		
長井 克己 (大学教育開発センター)	関連授業科目	主題科目B-2で提供される講義	
	履修推奨科目	Advanced English I/II	
学習時間	授業90分×15回+授業外学習 (予習・復習・課題)		
授業の概要	幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。この授業では、1年次の授業 (Communicative English I/II) で身につけた「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を更に向上させます。		
授業の目的	この授業は受講生のライティング能力の育成に重点を置いています。15回の授業を通して受講生の英語でのライティング能力を向上させることを目的とします。		
	到達目標	学習・教育到達目標 (工学部JABEE基準)	
	1. 英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ることができる。 2. ウェブをadvanced searchすることにより、正しいコロケーションでe-mailを書くことができる。 3. cover letterが書ける。 4. 手元を見ずにキーボードが打て、ワープロでスペルチェックやシソラスが使える。		
成績評価の方法と基準	In-class writing: 20%, Commitment: 20%, Exam 1: 30%, Exam 2: 30%.		
授業計画並びに授業及び学習の方法	<p>【授業の方法】</p> <p>(1) Class starts off with reading and interaction (pair-work/missing info.) (2) Study model texts, focus on selected passages from the sample, rewrite the passages, and apply it to themselves, (3) Controlled practice and pair work/interview, (4) Write a letter/e-mail on a word processor (Microsoft Word).</p> <p>【授業計画】</p> <p>第1回: Introduction to the course 第2回~第7回: 1 Unit/wk で writing 練習を行う。 第8回: Exam 1 and tutorial 1 第9回~第14回: 1 Unit/wk で writing 練習を行う。 第15回: Exam 2 and tutorial 2</p> <p>【授業外学習に関するアドバイス】</p> <p>2回の試験は教科書のテーマについての自由なwritingを含むので、準備しておくこと。辞書使用不可。</p>		
教科書・参考書等	Textbook: LeBeau, C. (2014). Interactive Writing. (ISBN978-4777364763) 東京: マクミラン.		
オフィスアワー	授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。		
履修上の注意・担当教員からのメッセージ	事前に教科書を購入し内容 (教科書の前書きの部分と最初の章) を確認した上で、第1回目の授業に出席してください。欠席回数が4回以上になった時点で単位不認定となります。遅刻を3回すると欠席1回となります。遅刻は授業開始から20分以内までとします。それ以降は欠席の扱いとなります。		

授業科目名 (時間割コード: 041446)	科目区分 コミュニケーション科目	DPコード axxG	分野コード
Communicative English IVN(3)	単位数 1	時間割 前期 金2	
担当教員名	対象年次及び学科 3年次生 医学部看護学科		
ウィリアム・アン・デビッド (大学教育開発センター)	関連授業科目 主題科目B-2で提供される講義		
	履修推奨科目 Advanced English I, II		
学習時間 15 classes (90 min. each) + approximately 90 min. out-of-class work every week (preparation, review, homework)			
授業の概要 One aim of general education at Kagawa University is to help students develop a wide range of communication skills. This course builds upon the basic English communication skills developed by students in their first year (in Communicative English I/II).			
授業の目的 This course focuses on the development of students' written communication skills. The primary objective is for students to improve their English academic writing skills by the end of the 15-week semester.			
到達目標			学習・教育到達目標 (工学部JABEE基準)
By the end of the semester, students should become enabled to: 1. Use computer software to produce 1-2 page English essays; 2. Competently proofread their own writing; 3. Competently revise their own writing, based on teacher feedback; 4. Read their own essays aloud to other students in groups or before the class, while making eye contact; 5. Actively engage in group and class discussions in English; 6. Use nursing English vocabulary and expressions in a variety of nursing situations.			
成績評価の方法と基準 Evaluation will be based on the below criteria: Quizzes : 10% In-class effort : 10% Essays : 60% Writing Portfolio : 20%			
授業計画並びに授業及び学習の方法			
<p>【Class method】 The first 60 minutes of class time will typically be spent on the textbook. Students will engage in pair and group tasks, as well as role plays and other communicative activities. The last 30 minutes will be spent on writing and speech skill development. Students will regularly read their essays as short speeches before groups and the class. All class activities will be conducted in English.</p> <p>【Class schedule】 Week 1: Introductions; Begin Easy Nursing English (ENE) Week 2: ENE; Typing, paragraphs, & plagiarism; Essay 1 assigned Week 3: ENE; Essay 1 due Week 4: ENE; Common problems in writing; Essay 2 assigned Week 5: ENE; Essay 2 due Week 6: ENE; Essay 3 assigned Week 7: ENE; Essay 3 due Week 8: ENE; Essay 4 assigned Week 9: ENE; Essay 4 due Week 10: ENE; Essay 5 assigned Week 11: ENE; Essay 5 due Week 12: ENE; Essay 6 assigned Week 13: ENE; Essay 6 due Week 14: ENE; Writing Portfolio workshop Week 15: Writing Portfolio due</p> <p>【Suggestions for self-study】 Week 1: Students should purchase their textbooks before the first class and look over the content. Week 2-14: Students should complete assigned essay homework, prepare for quizzes, and revise returned essay assignments. All writing assignments (revisions and original essays) should be kept in students' Writing Portfolios (to be explained in class). Week 15: Students should share and submit their Writing Portfolios.</p>			
教科書・参考書等 Willey, I., McCrohan, G., & Shibata, S. (2009). 看単! Easy Nursing English. Tokyo: Nanzando. (定価 ¥1200)			
オフィスアワー Thursdays 14:40~16:10, at Saiwai-cho campus only. Students can contact the instructor via this e-mail address: ianwill@cc.kagawa-u.ac.jp			
履修上の注意・担当教員からのメッセージ 事前に教科書を購入し内容(教科書の前書きの部分と最初の章)を確認した上で、第1回目の授業に出席してください。欠席回数が4回以上になった時点で単位不認定となります。遅刻を3回すると欠席1回となります。遅刻は授業開始から20分以内までとします。それ以降は欠席の扱いとなります。			

授業科目名 (時間割コード: 050402) 高学年向け教養科目 上級英語 Advanced English I (2) Formal Presentation	科目区分 高学年向け教養科目	DPコード axxG	分野コード
	単位数 2	時間割 前期 月5	
担当教員名 ウィリアム・イアン・デビッド (大学教育開発センター)	対象年次及び学科	3~4年次生 全学部	
	関連授業科目	Communicative English I, II, III, & IV	
	履修推奨科目		
学習時間 90 min classes X 15 class meetings; + 90~180 min out-of-class work per week.			
授業の概要 This course is for students who wish to sharpen their formal English communication skills. Students will have many opportunities to discuss and debate topics with classmates in English, as well as give presentations. Students aiming for advanced level English skills, or who are considering studying abroad, are welcome to join this class.			
授業の目的 Through this course, students will become enabled to participate actively in discussions and interviews in English, as well as deliver formal presentations in English.			
到達目標			学習・教育到達目標 (工学部JABEE基準)
Through this course, students will become able to: 1) speak actively in English in group and class discussions; 2) speak actively in English in one-on-one interviews; 3) prepare and deliver 10 min. presentations in English, using PowerPoint.			
成績評価の方法と基準 Students' grades will be based on the following: 10%: Participation (in-class effort) 90%: Presentations (3 presentation tasks)			
授業計画並びに授業及び学習の方法			
授業及び学習の方法 In the first few weeks, effective techniques in presentation and discussion will be covered. During class we will discuss and debate readings and other materials (for example, newspaper articles and films) and engage in group work and short presentation activities. Useful techniques and practice for English interview tests, such as TOEFL and IELTS, will form a regular part of class. Students will give at least three formal presentations during the semester: a personal presentation (for practice), an informative presentation, and a persuasive presentation. (Depending on the number of students enrolled, the below schedule may be adjusted slightly.) (1) Introductions (2) Discussion skills (3) Presentation skills (4) Presentation skills (5) Presentation 1: Personal topic ("A memorable trip") (6) PowerPoint: Dos and Don'ts (7) Film (8) Film part 2 and discussion (9) Presentation 2: Informative presentations (Topic TBA) (10) Presentation 2: Informative presentations (part 2) (11) Topics and discussion (12) Topics and discussion (13) Presentation 3 workshop (14) Presentation 3: Persuasive presentations (Topic TBA) (15) Presentation 3: Persuasive presentations (part 2)			
Suggestions for Self-study: Assignments will be explained in each class, and will include advice on how assignments can be completed efficiently.			
教科書・参考書等 A textbook is not required for this course. Readings will be provided by the instructor, and students will regularly be asked to find readings on their own.			
オフィスアワー Thursdays 14:40-16:10, at Saiwai-cho campus only. Students can contact the instructor via this e-mail address: ianwill@cc.kagawa-u.ac.jp			
履修上の注意・担当教員からのメッセージ 医学部キャンパスで開講します。 4回以上の欠席回数の場合は単位を与えられません。			

授業科目名 (時間割コード: 050405) 高学年向け教養科目 上級英語 Advanced English II (2) Academic writing	科目区分 高学年向け教養科目	DPコード axxG	分野コード
	単位数 2	時間割 後期 月5	
担当教員名 ウィリアム・イアン・デビッド (大学教育開発センター)	対象年次及び学科	3~4年次生 全学部	
	関連授業科目	Advanced English I (Not required)	
	履修推奨科目		
学習時間 90 min classes X 15 class meetings; 90~180 min out-of-class work per week			
授業の概要 This course focuses on English academic writing, including e-mail writing, essay tests, summaries, and the Personal statement essay. I hope that students will come to see writing as an audience-focused endeavor, and become enabled to write effectively in a variety of academic genres. Students interested in studying abroad or taking the IELTS or TOEFL are recommended to join this class.			
授業の目的 This course builds upon the academic English skills that students have gained in Communicative English I~IV, with a focus on productive writing skills.			
到達目標			学習・教育到達目標 (工学部JABEE基準)
Through this course, students will become able to: 1. write timed-task academic essays in English; 2. send and reply to e-mail messages using polite and appropriate language; 3. summarize and paraphrase academic passages; 4. write an effective personal statement essay; 5. describe academic abstracts in easy-to-understand language.			
成績評価の方法と基準 Students' grades will be based on the following: 10%: Participation (in-class effort) 90%: Writing Portfolio (5-6 assignments)			
授業計画並びに授業及び学習の方法 Each class meeting will address an aspect of writing (e-mail requests, summaries, etc.). Writing will be done in class and as homework. All assignments should be typed, and kept in a Writing Portfolio (to be discussed in class). The last 30 minutes of class will usually be devoted to discussion, group work, or other communicative tasks. TOEFL or IELTS writing and speaking tasks will form a regular part of class work. (Depending on the number of students enrolled, the schedule below may be adjusted slightly). (1) Introductions; Practice IELTS essay task (2) Paragraph format; IELTS Task 1 (3) IELTS Task 2 (4) E-mail basics (5) E-mail basics (2) (6) Summary writing (7) Summary writing (2) (8) Paraphrasing (9) Paraphrasing (2) (10) Personal statement essay (11) Personal statement essay (2) (12) Introducing abstracts (13) Introducing abstracts (2) (14) Writing skill review (15) Writing Portfolio due Suggestions for Self-study: Assignments will be explained in each class, and will include advice on how assignments can be completed efficiently. All returned homework assignments should be revised, printed out again, and kept with original assignments in a Writing Portfolio.			
教科書・参考書等 There will be no textbook for this course. Handouts will be provided by the instructor, and students will regularly be expected to find readings (for example, English articles) using on-line resources.			
オフィスアワー Thursdays 14:40-16:10, at Saiwai-cho campus only. Students can contact the instructor via this e-mail address: ianwill@cc.kagawa-u.ac.jp			
履修上の注意・担当教員からのメッセージ 医学部キャンパスで開講します。 4回以上の欠席回数の場合は単位を与えられません。			

4 年次生以上対象
授業科目

授業科目名 (時間割コード: 762910) 地域看護管理論 Community Nursing Management Theory	科目区分	DPコード cdbM	分野コード
	単位数 1	時間割 後期 集中	
担当教員名 大西 美智恵	対象年次及び学科	4～ 医学部 看護学科	
	関連授業科目	地域援助論、保健政策論	
	履修推奨科目	地域看護学実習	
学習時間	講義90分 × 8回 + 自学自習		
授業の概要 地域看護学実習で実践した地域看護診断や実習先市町の総合計画と実習した事業の関係、予算を含む組織運営・管理について整理する。また、家庭訪問事例から地域ケアシステムを創造する。これらのことを通して地域における看護の視点からのマネジメントやスーパービジョンを学ぶ。			
授業の目的 1. 実習先市町の健康づくりの全体像を捉えるとともに実習内容を位置づける。 2. 実習した市町の予算を含む組織運営・管理について理解する。 3. 家庭訪問事例から地域ケアシステムを創造する。			
到達目標			学習・教育到達目標 (工学部JABEE基準)
1. 実習先市町の健康づくりについて説明できる。 2. 実習内容を健康づくりに位置づけ、その強みと改善点を述べるができる。 3. 実習先市町の組織機構と財政状況について説明できる。			
成績評価の方法と基準 演習の成果物 (90%) と受講態度 (10%)			
授業計画並びに授業及び学習の方法			
第1回 地域看護管理の目的と機能 第2回 健康づくり計画と保健事業・組織機構と財政 (講義) 第3回 人事管理と人材育成 (講義) 第4・5回 実習市町の健康づくりと組織機構と財政状況 (演習) ・実習先市町村で実践した地域看護診断と総合計画および実習した事業を体系的にまとめる。 ・実習先市町の予算を含む組織運営・管理と保健師数についてまとめる。 第6回 地域ケアシステムの創造 (講義) 第7・8回 家庭訪問事例から、実習先市町の地域ケアシステムを創造しよう (演習)			
【自学自習に関するアドバイス】 集中講義なので、以下の事を見直し整理する。 ①地域看護診断・総合計画・事業について資料を見直し整理する。 ②組織機構のあり方や人員・予算等について資料を見直し整理する。 ③家庭訪問事例と活用できる市町の資源について資料を見直し整理する。 ④市町の健康づくりの全体像をイメージし、まとめる。			
教科書・参考書等 教科書：地域看護学概論:奥山則子他, 医学書院 (2年次に使用した教科書でよい) 講義毎の資料			
オフィスアワー 随時			
履修上の注意・担当教員からのメッセージ 毎回出席を取る。地域看護実習の総括として意欲を持って授業に臨むこと。			

授業科目名 (時間割コード: 762610) 地域看護学実習 Community Health Nursing Practice	科目区分	DPコード bcdM	分野コード
	単位数 4	時間割 前期 7・9月	
担当教員名 大西 美智恵, 越田 美穂子	対象年次及び学科 4～ 医学部 看護学科		
	関連授業科目 公衆衛生看護学概論 コミュニティアセスメント論 健康教育論 公衆衛生看護対象論 保健医療福祉行政論 コミュニティケースワーク論 産業保健・看護論 疫学 保健統計論 ヘルスプロモーション演習 公衆衛生学 健康危機管理論 組織連携論		
	履修推奨科目 人間理解に関連する一般教養科目		
学習時間 実習45時間×4回+自学自習			
授業の概要 保健所や、市町での保健活動の実際を体験し、地域看護学で学習した地域の人々の健康な暮らしを支援するための理念を理解し、地域看護活動の技術を習得する。 さらに、地域保健活動における保健師の役割を理解する。 また、地域で支援が必要な個人とその家族への理解を深め、質の高い支援を展開するための基礎的能力を養う。さらに個人への援助の展開をとおして保健・医療・福祉の包括的支援の必要性と連携の実際について学ぶ。			
授業の目的 1. 地域の特性と歴史・文化など、地域の人々の生活と健康を多角的・継続的に捉え、地域の健康課題を見出し、それらに対する対応策を、健康政策や保健事業・サービス資源から考える一連のプロセスを体験する。 2. 保健師の実践活動を素材にして、地域看護学独自の思考過程と活動の手法を学ぶ。 3. 地域における保健活動実践を通して、学びを統合する。			
到達目標			学習・教育到達目標 (工学部JABEE基準)
1. 保健師活動の領域は、各々どのような保健活動で構成され、それぞれの保健活動はどのように連動するのかについて理解・説明できる。 2. 地域の実態把握から健康課題を見出す地域看護診断に有用なエスノグラフィ的接近について理解・説明できる。 3. 地域住民に直接関わることや保健師の体験談を聴くことなどを通して、人間理解を深め、多様な人間観及び人生観を学ぶとともに、自らの看護観を形成する機会とすることができる。 具体的な到達目標 1) 保健機関の機構・機能を理解できる。 2) 保健事業の概要を理解できる。 3) 保健活動の財政的基盤とマンパワーについて理解できる。 4) 保健活動における保健所と市町の役割と連携について理解できる。 5) 地域(管内及び受持ち地区)の特性を理解し、説明できる。 6) 地域(管内及び受持ち地区)におけるヘルスニーズのアセスメント・抽出ができ、その対策を立案することができる。 7) 保健師の行っている業務を理解し、説明できる。 8) 健康相談の方法と保健指導を理解し、説明できる。 9) 集団を対象とした健康診査の方法と保健指導について理解し、説明できる。 10) 集団を対象とした健康教育の方法と教育的技術について理解し、説明できる。 12) 小集団及び地区組織活動の現状と保健師の関わりについて理解できる。 13) 8) から12)の保健指導の場面をとおして、健康行動の変容やセルフケア能力が高まる援助方法を理解できる。 14) 個人・家族を取り巻く状況を把握し、説明できる。 15) 個人・家族の看護上のニーズを把握し、訪問計画が作成できる。 16) 個人・家族と目標を共有しながら援助する過程が理解できる。 17) 個々の家庭に合った援助の方法を考えることができる。 18) 個々の家庭に合った資源の活用やケアシステムを考えることができる。 19) 地域の人々の健康を支えるメンバーの一員としての保健師の果たす役割を理解し、説明できる。			
成績評価の方法と基準 実習評価表に沿って、実習内容・実習態度・事前学習・記録・レポートなどから総合的に評価する。(実習項目72点)			

＋態度項目28点)
授業計画並びに授業及び学習の方法
看護学実習の手引きの内容に準じて、各実習機関にて実施する。
教科書・参考書等 各講義で紹介・使用したテキスト及び参考図書
オフィスアワー 原則実習期間中は、担当教員が学内もしくは実習先で対応する。
履修上の注意・担当教員からのメッセージ 事前学習及び実習内容の詳細や留意点については、オリエンテーションで説明する。 実習計画の内容に沿って、毎日必要事項の事前学習を行い、質問や確認等は積極的に行うこと。また、報告や記録提出などは決められた日時と方法で忘れず提出すること。

授業科目名 (時間割コード: 762731) 看護マネジメント学 Nursing Management	科目区分	DPコード bdxM	分野コード
	単位数 2	時間割 後期 集中	
担当教員名 佐々木 睦子, 名越 民江, 豊嶋 克美, 阪井 眞利子, 大橋 奈美	対象年次及び学科	4～ 医学部 看護学科	
	関連授業科目	看護と法規	
	履修推奨科目		
学習時間 講義90分 × 8回 + 自学自習 演習90分 × 7回 + 自学自習			
授業の概要 本科目は、価値観の多様化・高度情報化時代にあつて、社会のニーズに応える看護を提供するために、看護管理の基礎およびマネジメントのあり方について講義する。			
授業の目的 社会のニーズに応える看護を安全に提供するため、看護管理の基礎や医療の安全をはかるマネジメントのあり方について認識を深め、管理に関する理論や技法について理解する。また、現代社会の動向と医療政策の動向を理解し、地域・在宅・医療施設における看護管理の実際および課題について認識する。			
到達目標			学習・教育到達目標 (工学部JABEE基準)
1. 看護管理の本質と看護管理の過程について説明することができる。 2. 資源としての物品、予算、時間、情報のマネジメントについて説明することができる。 3. 保健医療組織における看護の質保証プログラムについて説明することができる。 4. 医療の安全をはかるリスクマネジメントと医療事故防止のしくみについて説明することができる。 5. 看護管理における法的責任とリーダーシップならびに倫理的問題について具体的に述べるることができる。			
成績評価の方法と基準 筆記試験とレポート提出(又は演習記録提出)をもとに評価する。			
授業計画並びに授業及び学習の方法			
授業内容 第1回…ガイダンス: 学習目的、目標、方法、評価について 看護管理総論: 看護管理の本質、看護管理過程について 第2回…組織論: 組織とは、組織管理の基本、医療の安全と教育 第3回…看護の質保証と資源管理: 物的資源、予算、時間、情報の管理 第4回…人材育成: 人的資源の活用と育成・人材育成プログラム 第5回…リスクマネジメントと医療事故: 医療現場のリスクマネジメント 第6回…在宅看護におけるマネジメント: 在宅看護を支える訪問看護師の活動の実際とマネジメント 第7回…法的責任とリーダーシップ: 看護管理における法的責任とリーダーシップ 第8回…倫理的諸問題: 医療・看護管理における倫理的諸問題 第9回～14回…各グループのマネジメント課題を設定し、課題解決に向けての計画立案をする。また、統合実習に先がけて看護ケアのマネジメントや看護サービスのマネジメントについて計画立案する。 第15回…発表と質疑 【自学実習に関するアドバイス】 第1回～8回…テキストの関係箇所を通読する。 第9回～14回…各自マネジメントの視点について資料収集しておく。 第15回…質疑対応の準備をする。			
教科書・参考書等 1. 上泉 和子/小山 秀夫/寛 淳夫/鄭 佳紅: 系統看護学講座 統合分野 看護の統合と実践 (1) 看護管理 (第9版) 医学書院 2013. オフィスアワー 集中授業のため、4年生の後期10月14日(月)～10月17日(金) 16時30分～18時30分 看護学科教育研究棟5階517室 名越研究室, または4階416室 佐々木研究室			
履修上の注意・担当教員からのメッセージ 統合実習に向けて演習を計画するので、各自マネジメントの視点を明確にして参加することが必要。			

授業科目名 (時間割コード：762940) 統合実習 Integrated Bed Side learning	科目区分	DPコード cdbM	分野コード
	単位数 2	時間割 後期 集中	
担当教員名 清水 裕子, 大西 美智恵, 大森 美津子, 名越 民江, 谷本 公重, 當目 雅代, 松井 妙子, 佐々木 睦子, 南 妙子, 越田 美穂子, 金正 貴美, 小笠 美春, 片山 理恵, 香川 里美, 野口 英子, 西村 美穂, 松岡 美奈子, 政岡 敦子	対象年次及び学科	4～ 医学部 看護学科	
	関連授業科目	生涯発達看護学領域援助論・実習	
	履修推奨科目	看護クリティカルシンキング	
学習時間 実習1単位45時間 × 2単位 + 自学自習			
授業の概要 最終学年の4年次に既習の知識、技術の統合を図りながら、未経験分野での実習や難易度の高いケアのポイントについて指導する。夜勤実習や多重業務の実際を体験することで、ケアの優先度や修正、評価について指導する。			
授業の目的 既習の学習を振り返り、自己の能力、適性、志向に適合する分野を選択し、看護実践能力を身につける。			
到達目標			学習・教育到達目標 (工学部JABEE基準)
1. 看護活動の志向を述べることができる。 2. 看護実践上の課題を見出し、解決方法を述べるができる。 3. 看護課題を解決するための実習計画を立案することができる。 4. 患者および家族を支援するための看護過程を実施することができる。 5. 多重業務の優先順位を考慮し、業務の調整および職種間の連携方法について説明することができる。			
成績評価の方法と基準 出席、実習態度、提出物を総合して評価する。			
授業計画並びに授業及び学習の方法 実習の手引き参照			
教科書・参考書等 既習時に紹介されたテキストや参考図書等			
オフィスアワー 各指導教員が掲示する。			
履修上の注意・担当教員からのメッセージ 実習の手引き参照			

授業科目名 (時間割コード：763010) 養護実習	科目区分	DPコード xxx	分野コード
	単位数 4	時間割 前期 集中	
担当教員名 松井 妙子, 清水 裕子, 筒井 邦彦, 片山 理恵	対象年次及び学科	4～ 医学部 看護学科	
	関連授業科目	養護原論、教職実践演習、教育実践演習	
	履修推奨科目	養護原論、学校保健 (教育学部)	
学習時間 実習1単位 (45時間) × 4単位 + 自学自習			
授業の概要 養護実習は大学で学んだ一般教養に関する科目、養護に関する専門科目、教科または教職に関する科目等の知識や技術を実際の教育現場で実践し、実習を通しての学びを統合することにより、養護教諭 (教育者) としての資質や自覚を高める。児童生徒の健康の保持増進に関しての養護教諭の果たすべき責任と役割を理解し、求められている資質や能力 (実践的・研究能力等) を育成する。			
授業の目的 児童生徒の健康の保持増進のための、保健教育および保健管理の実際を体験し、児童生徒の心身の成長・発達や健康維持および健康上の課題に対する指導や支援の在り方について理解する。そのために、学校教育全体の組織、運営を理解するとともに、学校保健安全計画の実践に参加し、学校保健安全活動における養護教諭の役割と機能、活動内容および方法を理解する。さらに、実習経験に基づいて養護教諭としての自覚を高め、教育者としての倫理観や人間性を身につける。			
到達目標			学習・教育到達目標 (工学部JABEE基準)
1. 成長発達過程にある児童・生徒の特性や学校生活について説明することができる。 2. 学校保健安全活動における養護教諭の役割について述べるができる。 3. 保健室の管理・運営および機能について説明することができる。 4. 児童生徒への保健教育について計画し、実施することができる。 5. 学校保健全般に関わる組織・運営のあり方について説明することができる。 6. 学校保健安全活動と校内および地域の社会資源との連携について説明することができる。			
成績評価の方法と基準 各実習毎の評価、教育実習前後の演習、実習評価を合算する。			
授業計画並びに授業及び学習の方法			
実習の手引きを参照			
教科書・参考書等 養護原論や学校保健の授業時に紹介された図書			
オフィスアワー 火曜日17:30-18:30 養護実習担当教員			
履修上の注意・担当教員からのメッセージ 教職課程の時間割と全学共通科目ならびに看護学科の時間割を把握して、履修計画を立てること。自学自習で教育実習時の教材資料を早期から収集しておくこと。			

3～4 年次生対象

授業科目

授業科目名 成人急性期・リハビリテーション期実習 (時間割コード：762352)	科目区分	DPコード cbdM	分野コード
	単位数 2	時間割 前期 未定	
担当教員名 當目 雅代, 金正 貴美, 野口 英子, 小笠 美春	対象年次及び学科	3～ 医学部 看護学科	
	関連授業科目	成人疾病論 成人看護学概論 成人急性期援助論 成人慢性期援助論 成人リハビリテーション期援助論 成人終末期援助論 成人看護学演習 成人看護学基本実習 成人慢性期・終末期実習 成人看護学継続看護実習	
	履修推奨科目	関連する既習の全ての科目	
学習時間	実習90時間 1日8時～15時(休憩1時間)を10日間		
授業の概要 本科目は、香川大学医学部附属病院の外科系病棟での実習を構成しています。実習生に対して全身麻酔で手術を受ける対象者を選定し、周手術期・リハビリテーション期看護を展開してもらいます。実習の展開については、教員と各病棟の看護師長および臨地実習指導者との間で詳細な打ち合わせを行った上で、各実習生の実習計画に基づいた指導を行います。			
授業の目的 本看護実習では、成人看護学ならびに関連領域科目で学習した理論、知識、技術を適用して、手術を受ける患者と家族を多面的に、総合的に理解し、根拠に基づいた看護ケアを実施します。そのため、周手術期およびリハビリテーション期の特性に応じた対象の個別的な看護過程を展開する能力を身につけます。さらに、本実習を通して、学生個々の看護観を培います。			
到達目標			学習・教育到達目標 (工学部JABEE基準)
1. 根拠に基づいた看護を提供するための情報を探索し、受け持ち患者に適用できる。 2. 問題解決方法を活用し、受け持ち患者の個別性に応じた看護過程の展開を実施できる。 3. 患者の術前の全身状態を把握し、維持・改善のための援助を実施できる。 4. 受け持ち患者の手術を見学することで、患者の身体の変化を理解し、術後ケアに繋げることができる。 5. 受け持ち患者の手術を見学することで、手術室看護師の役割を説明することができる。 6. 手術に伴う生体反応および麻酔の影響をアセスメントし、術後の看護援助を実施できる。 7. 手術に伴う生体損傷とその修復過程をアセスメントし、術後の看護援助を実施できる。 8. 術後合併症を予防するためのアセスメントと看護援助を実施できる。 9. 日常生活動作(ADL)評価し、適切なセルフケア援助を実施できる。 10. 早期離床と二次的障害の予防の看護援助を実施できる。 11. リハビリテーションの目的・方法を理解し、受け持ち患者への指導を実施できる。 12. 疾患に応じた療養指導および退院指導のためのパンフレット、退院計画を提供することができる。			
成績評価の方法と基準 出席状況10% 日々の看護記録20% 看護過程の展開40% 実習態度・取り組み方30%			
授業計画並びに授業及び学習の方法			
ある学生の例 1日目(実習病棟) 午前：受け持ち患者の紹介を受ける 午後：受け持ち患者のケア(情報収集) 2日目(実習病棟) 午前：受け持ち患者のケア・患者情報収集を実施し患者全体像の把握 午後：受け持ち患者のケア・ポストカンファレンス 3日目(実習病棟・手術室) 午前：受け持ち患者の術前ケア、手術室申し送り、手術室見学 午後：受け持ち患者の術直後ケア 4日目(実習病棟) 午前：受け持ち患者の術後ケア(術後1日目のケア) 午後：受け持ち患者の術後ケア・患者情報の整理と関連図の作成 5日目(実習病棟・学内) 午前：受け持ち患者の術後ケア 午後：学内で個別指導・看護計画の立案 6日目(実習病棟) 午前：受け持ち患者の看護過程に基づいた患者ケアの実施 午後：受け持ち患者の看護過程に基づいた患者ケアの実施 7日目(実習病棟・学内) 午前：受け持ち患者の看護過程に基づいた患者ケアの実施 午後：学内でのカンファレンス資料作成 8日目(実習病棟)			

午前：受け持ち患者の看護過程に基づいた患者ケアの実施
午後：病棟での受け持ち患者カンファレンス
9日目（実習病棟・学内）
午前：受け持ち患者の看護過程に基づいた患者ケアの実施
午後：受け持ち患者の看護過程に基づいた患者ケアの実施
学内でのテーマカンファレンス
10日目（学内）
午前：学生・教員間最終実習評価
午後：記録物の整理

教科書・参考書等

成人看護学に関連する全ての科目の教科書・推薦参考書

オフィスアワー 月曜から木曜の17時～17時30分

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

成人基本実習での事前学習・事後学習内容を復習しておいてください。また、実習病棟の患者の疾患の特徴、ケアの特徴を学習しておいてください。実習前週金曜日の17時以降に受け持ち患者がわかりますので、担当教員から情報を得てください。受け持ち患者が決定すれば、病態生理レポートを実習開始までに作成してください。詳細は、「看護学実習の手引き」に掲載します。

授業科目名 (時間割コード: 762353) 成人慢性期・終末期実習 Adult Health Nursing; Clonie, End-of-life Bed-Side learning	科目区分	DPコード bcaM	分野コード
担当教員名 清水 裕子, 金正 貴美, 野口 英子, 小笠 美春	単位数 2	時間割 前期 未定	
学習時間 2単位 (90時間) 病棟実習時間 8時~15時 10日間	対象年次及び学科 3~ 医学部 看護学科	関連授業科目 成人看護学関連科目	
	履修推奨科目 心と体のケアリング		
授業の概要 成人慢性期・終末期看護実習では、臨床において成人看護学ならび関連領域科目で学んだことを基盤に、理論、知識、技術を適用して、成人慢性期・終末期にある患者とその家族を多面的、総合的な理解すると共に、対象の特性に応じた個別的な看護過程を展開する能力を養う。さらに、それらの体験を通して、学生個々の看護観を培い、看護者及び人間としての成長・発達を促進する。			
授業の目的 成人慢性期援助論、成人終末期援助論の学習をとおして学んだことを、治療、療養過程にある患者に対して看護を提供し、看護実践力を学習することが目的である。			
到達目標			学習・教育到達目標 (工学部JABEE基準)
1) 慢性期にある患者とその家族の身体的・精神心理的・社会経済的特性を理解し、看護の必要性を説明できる。 2) 永続的な自己管理確立の視点から、疾病・病状の進行・悪化の予防、ならびに日常生活の維持・安定のための患者とその家族の目標が設定できる 3) 患者とその家族のセルフケア能力を高めることができるよう、支援できる 4) 退院後に地域社会において、継続的な治療・看護ができるように、患者とその家族に社会資源とその活用方法について助言したり、連絡調整の活動に参加できる 5) 終末期にある患者とその家族の身体的・精神心理的・社会経済的・スピリチュアルな苦痛とそれに伴うニーズを理解できる 6) 患者のその人らしさの尊重、ならびに人生の最後を迎える患者とその家族の達成感、安寧、QOLの視点から、患者とその家族の希望を見出し看護目標を設定できる 7) 患者とその家族の身体的・精神心理的・社会経済的・スピリチュアルな苦痛を緩和できる看護ケアを実施できる 8) 患者の希望やニーズを取り入れた日常生活の援助ができる			
成績評価の方法と基準 実習参加度、実施内容、成果物の評価資料についての学習目標の到達度自己評価を参考にしつつ評価する			
授業計画並びに授業及び学習の方法 1日目 午前 学内オリエンテーション、N-OSCEの実施 午後 病棟オリエンテーション、患者情報収集 2日目 病棟実習にて患者情報を収集し、患者全体像を考える 3日目 病棟実習にて患者情報を収集し、患者の看護問題を立案する 4日目 病棟実習にて収集した患者情報より関連図を作成し、担当看護師より追加情報を収集する 5日目 午前 病棟実習 午後 中間評価面接、関連図を用いたピアレビューを行う 6日目 受け持ち患者の看護過程に基づいた患者ケアの実施 7日目 受け持ち患者の看護過程に基づいた患者ケアの実施 8日目 受け持ち患者の看護過程に基づいた患者ケアの実施 9日目 午前 受け持ち患者の看護過程に基づいた患者ケアの実施 午後病棟でのカンファレンス (実習の学び、受け持ち患者の事例検討) 10日目 午前 最終評価面接 午後 看護過程、レポート作成			
教科書・参考書等 成人看護学の講義および演習で使用した指定図書、参考図書			
オフィスアワー 随時			
履修上の注意・担当教員からのメッセージ 実習前に到達目標をよく読み復習し、提示された事前学習および演習を十分行った上で、実習に臨むことを期待します。病態生理、治療、看護に関するレポートの作成を求めます。			

授業科目名 (時間割コード：762354) 成人看護学継続看護実習	科目区分	DPコード cbdM	分野コード
	単位数 1	時間割 後期 集中	
担当教員名 當目 雅代, 清水 裕子, 金正 貴美, 野口 英子, 小笠 美春	対象年次及び学科 3～ 医学部 看護学科		
	関連授業科目 成人疾病論 成人看護学概論 成人慢性期援助論 成人リハビリテーション期援助論 成人終末期援助論 成人看護学演習 成人看護学基本実習 成人急性期・リハビリテーション期実習 成人慢性期・終末期実習 成人看護学継続看護実習		
	履修推奨科目 成人リハビリテーション期援助論、成人終末期援助論		
学習時間 実習45時間 1日9時～16時 (休憩1時間) を5日間+自学学習			
授業の概要 近年患者の在院期間の短縮化が進み、病病連携、看看連携が重要視されてきています。つまり、急性期病院が自己完結型病院から、他の病院・施設との連携を重視した病院へと変わってきています。看護においても、附属病院入院患者の円滑な療養を支援するためには、患者が退院した先の後方支援施設との連携できる看護実践力が重要です。学生が看護実践力を高めるために、学生が自分の目で観察し現場で実践する医療者や患者へのインタビューといったフィールドワークを行い、現状の問題を医療上の課題へと主体的な思考を促します。			
授業の目的 病院施設から本来の生活の場への復帰を支援する継続看護システムおよび看護活動、回復期および終末期の患者を支える看護活動の見学を通して、成人看護学の目的・役割・機能の学習を統合する。			
到達目標			学習・教育到達目標 (工学部JABEE基準)
1. 退院及び転院後の患者への継続看護の視点から医療連携のあり方、疾病の治療、療養の継続のために外来受診する患者に対する外来における看護職の役割と活動を説明できる。 <ol style="list-style-type: none"> 1) 外来における看護の役割・機能、体制を説明できる 2) 少子高齢化、総死亡率数増加、在院日数短縮化といった社会背景や外来看護に関わる診療報酬について説明できる 3) 地域連携室における医療連携を理解できる 4) 地域連携室で看護師が行う退院支援や在宅療養支援、医療福祉相談、他職種との協働について説明できる 5) 患者のセルフケア能力とQOLの向上を目指した在宅療養指導や患者相談に参加できる 6) 看護上の判断で支援を要する人を把握し、個別的な生活を継続するために行う組織的な看護活動(継続看護システム)についての学びを整理できる 2. 社会復帰を目指したリハビリテーション施設における看護職の役割とその他の職種との連携を説明できる <ol style="list-style-type: none"> 1) リハビリテーション施設の役割と機能を説明できる 2) リハビリテーション施設を利用する対象者の障害の特徴を説明できる 3) 家庭及び社会復帰に向けた地域との連携及び社会資源の活用方法を説明できる 4) 日常生活自立に向けたリハビリテーションアプローチの実際を説明できる 5) リハビリテーションチーム医療における他職種の役割を説明できる 3. 終末期の患者に対して提供される緩和ケア病棟における看護職の役割と活動を説明できる <ol style="list-style-type: none"> 1) 緩和ケア病棟における看護職の役割を説明できる 2) 緩和ケア病棟におけるチームアプローチの実際を説明できる 3) 緩和ケア病棟の患者及び家族へのサポート体制を説明できる 4) 緩和ケア病棟と在宅緩和ケアにおける訪問看護の連携の実際を説明できる 5) 緩和ケア病棟を利用する患者の身体、心理、スピリチュアル、社会的特徴を説明できる 6) 患者及び家族を対象とした死への準備教育について説明できる 			
成績評価の方法と基準 1. かがわ総合リハビリテーションセンター、三豊総合病院緩和ケア病棟見学に対する課題レポート、香川大学医学部附属病院外来見学実習課題レポート 75% 2. 出席状況、実習態度 25% 1、2の総合得点で評価する			
授業計画並びに授業及び学習の方法 1日目：かがわ総合リハビリテーションセンター施設見学 総合リハビリテーションセンター、香川県障害福祉相談所、香川県発達障害者支援センター、高次脳機能障害相談窓			

口と障害者生活支援センターたかまつ、成人支援施設の機能と役割について

2日目：三豊総合病院緩和ケア病棟見学

緩和ケア病棟の特徴、看取り時のケア、終末期を過ごす人々を支える家族へのケアおよび遺族ケア、在宅緩和ケアの実際

3～5日目：香川大学附属病院外来看護見学実習

外来看護の特徴を知り、継続看護について考える。地域連携室の活動と役割について学ぶ

教科書・参考書等

成人看護学に関連する全ての科目の教科書・推薦参考書

オフィスアワー 月曜日4限目

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

自分の目で観察し現場で実践する医療者や患者へのインタビューといったフィールドワークを行い、現状の問題、取り組み、医療上の課題へと思考し主体的に学習する。

授業科目名 (時間割コード: 762395) 老年生活援助実習 Gerontological Nursing Practicum in the Nursing Home	科目区分	DPコード cdbM	分野コード
	単位数 2	時間割 後期 未定	
担当教員名 大森 美津子, 西村 美穂, 政岡 敦子	対象年次及び学科	3~4 医学部 看護学科	
	関連授業科目	老年看護学概論, 老年援助論, 老年疾病論	
	履修推奨科目		
学習時間 臨地実習+学内実習(2週間90時間)+自学自習			
授業の概要 老年生活援助実習では、既習の老年看護学概論・老年疾病論・老年援助論等で得た知識や技術を統合し、人生のまとめの時期にある高齢者や家族を全人的に捉え、援助する。また、高齢者や家族をとりまく諸制度、保健・医療・福祉の役割と連携の実際を学ぶことを目的とする。 実際に、実習で出会う高齢者(多くは認知症のある方)や家族の問題を見極め、その人がいきいきと生活し、人生を統合していけるように高齢者をとりまく人たちと連携しながら援助を実践する。そして、援助の評価を繰り返し行い、高齢者や家族の状況に応じた個別性のある援助を実践する。			
授業の目的 老年期にある人々の特徴を理解し、生活の質の向上を目指した看護や介護の必要性を判断し、老年看護の基本的能力を習得する。また、老年期にある人々の保健・医療・福祉の連携について理解する。			
到達目標			学習・教育到達目標 (工学部JABEE基準)
1. 対象者の発達課題の特性や老化現象の影響について説明できる。 2. 高齢者の施設での生活状況について述べるができる。 3. 施設で生活したり、通所介護サービスに通う高齢者や家族の問題について説明できる。 4. 対象者の特性を踏まえて、その個別性を尊重した生活の援助について考えることができる。 5. 高齢者の家族の感染予防と安全対策について述べるができる。 6. 高齢者や家族に対して、倫理的配慮に基づいた対応ができる。 7. 施設(特別養護老人ホーム、ショートステイセンターなど)の役割や機能について述べるができる。 8. 老年看護、老年観について自己の考えを述べるができる。			
成績評価の方法と基準 出席状況、実習態度、実習記録、レポートなどを総合して評価する。			
授業計画並びに授業及び学習の方法			
詳細については「看護学実習の手引き 老年生活援助実習」を参照。			
教科書・参考書等 篠崎人理：ケアワーカーが語るバリデーション，筒井書房，2006。 六角僚子：認知症ケアの考え方と技術，医学書院，2005。 水野裕：実践パーソン・センタード・ケア，ワールドプランニング，2008。 山田律子，井出訓：老年看護過程，医学書院，2008。 奥宮暁子，安川揚子，木島輝美，武田かおり：生活機能のアセスメントにもとづく老年看護過程，医歯薬出版株式会社，2012。 伊藤雅治，井部俊子：特別養護老人ホーム看護実践ハンドブックー尊厳ある生活を支えるために，中央法規出版，2006。 鳥海房枝：高齢者施設における看護師の役割ー医療と介護を連携する統合力，雲母書房，2007。 折茂肇監修，青木民子他編：高齢者看護セミナー 高齢者の特徴と日常生活看護のポイント，メジカルレビュー，2003。 グループホームのケアを考える会：事例を交えて学ぶ認知症高齢者グループホームQ&A，中央法規出版，2007。 シスター・カリスタ・ロイ著，松木光子監訳：ザ・ロイ適応看護モデル 第2版，医学書院，2010。 野呂レナルド，柴田理恵訳：ロイ適応モデルにもとづく看護アセスメントツール，医学書院，2009。 ヒーサーA，アンドリュース，シスターC，ロイ著，松木光子監訳：ロイ適応看護論入門，医学書院，2010。 小田正枝編集：ロイ適応看護理論の理解と実践，医学書院，2009。 小田正枝編集：ロイ適応モデル 看護過程と記録の実際，廣川書店，1999。			
その他、既習の老年看護学及び関連分野の教科書・推薦参考書。			
オフィスアワー 前期・月曜日 17時00分～ 18時00分			
履修上の注意・担当教員からのメッセージ 認知症の高齢者と関わらせていただくことができます。人間的な看護をよく学んでほしい。			

授業科目名 (時間割コード: 762405) 老年看護学実習 Gerontological Nursing Practicum	科目区分	DPコード cdbM	分野コード
	単位数 2	時間割 後期 未定	
担当教員名 大森 美津子, 西村 美穂, 政岡 敦子	対象年次及び学科	3~4 医学部 看護学科	
	関連授業科目	老年看護学概論, 老年援助論, 老年疾病論	
	履修推奨科目		
学習時間	臨地実習+学内実習(2週間90時間) + 自学自習		
授業の概要 老年看護学実習では、既習の老年看護学概論・老年疾病論・老年援助論等で得た知識や技術を統合し、人生のまとめの時期にある高齢者や家族を全人的に捉え、援助することを目的とする。 実際に、実習で出会う高齢者や家族の入院や退院に伴う看護上の問題を見極め、その人らしい入院生活、退院生活が送れるように援助を実践する。そして、援助の評価を繰り返し行い、高齢者や家族の状況に応じた個別性のある援助を実践する。			
授業の目的 疾病や機能障害のある高齢者とその家族を、発達段階、老化現象、対象者の個性性等も踏まえて総合的に理解する。また、高齢者とその家族の対象理解に基づいた問題を明らかにし、適応を促し、継続看護を踏まえた援助を行う。			
到達目標			学習・教育到達目標 (工学部JABEE基準)
1. 高齢者の発達段階や老化現象の影響について述べるができる。 2. 入院時および入院後の高齢者に起こる問題を述べるができる。 3. 入院時および入院後の高齢者やその家族への援助について述べるができる。 4. 退院後の高齢者やその家族の状況について述べるができる。 5. 退院時の高齢者やその家族への援助について述べるができる。 6. 高齢者やその家族の特性を踏まえて、その個性性を尊重した援助について考えることができる。 7. 入院している高齢者やその家族の感染予防と安全対策について述べるができる。 8. 高齢者に対する医療・保健・福祉の連携について述べるができる。 9. 対象者や家族に対して、倫理的配慮に基づいた対応ができる。 10. 老年観について述べるができる。			
成績評価の方法と基準 出席状況、実習態度、実習記録、レポートなどを総合して評価する。			
授業計画並びに授業及び学習の方法 詳細については、「看護学実習の手引き 老年看護学実習」を参照。			
教科書・参考書等 NPO法人日本医療ソーシャルワーク研究会：医療福祉総合ガイドブック，医学書院，2011。 飯野四郎，陣田泰子監修：Nursing Selection②消化器疾患，学研メディカル秀潤社，2011。 関野宏明，陣田泰子監修：Nursing Selection⑥脳・神経疾患，学研メディカル秀潤社，2011。 東間紘，宝塚市立病院看護部監修：Nursing Selection⑧腎・泌尿器疾患，学研メディカル秀潤社，2011。 落合慈之監修：消化器疾患ビジュアルブック，学研メディカル秀潤社，2010。 落合慈之監修：脳神経疾患ビジュアルブック，学研メディカル秀潤社，2010。 落合慈之監修：腎・泌尿器疾患ビジュアルブック，学研メディカル秀潤社，2010。 介護保険研究会：新しい介護保険制度Q&A 平成17年改正法の要点、中央法規出版、2006。 山崎摩耶：新版ケアマネジャーバイブル、日本看護協会出版会、2006。			
その他、既習の老年看護学及び関連分野の教科書・推薦参考書。			
オフィスアワー	後期・月曜日 17時00分～ 18時00分		
履修上の注意・担当教員からのメッセージ 老化や疾病の影響を受けながら治療を受けている高齢者の特徴をよく捉えて、個性のある援助を見い出してほしい。			

授業科目名 (時間割コード：762450) 小児看護学実習 Clinical Practice in Pediatric Nursing	科目区分	DPコード cdbM	分野コード
	単位数 2	時間割 後期 未定	
担当教員名 谷本 公重	対象年次及び学科	3～4 医学部 看護学科	
	関連授業科目 対象論、小児援助論	小児看護学概論、小児疾病論、小児保健	
	履修推奨科目 対象論、小児援助論	小児看護学概論、小児疾病論、小児保健	
学習時間	臨地実習8時開始～17時終了 × 10日 + 自学自習		
授業の概要 小児病棟と小児科外来で2週間実施する本実習では、小児の健康障害について、科学的根拠に基づきアセスメントできる能力と看護診断力を養い、看護実践能力の育成をねらいとしています。そこで、健康障害が及ぼす小児とその家族に対する、現在および将来の看護問題を包括的に理解していきます。また、それら個別看護の計画・実践・評価を通して、小児看護実践に関する基礎的な知識や技術、態度を身につけるとともに、医療チームの一員として、小児看護の役割と責任についての理解を深めていきます。			
授業の目的 本実習は、小児と家族への基礎的看護実践能力と問題解決能力の育成を目的としています。講義で得た小児看護の基礎的知識と臨床での応用技術を統合し、医療チームの一員として、小児看護の対象への成長発達と健康レベルに応じた、個別看護を実践するために必要な知識・技術・態度を身につけます。			
到達目標			学習・教育到達目標 (工学部JABEE基準)
1. 医療チームの一員として、倫理的配慮に基づいた適切なコミュニケーションをとることができる。 2. 入院が必要な小児看護の対象に対して、成長発達を踏まえた健康障害による問題をアセスメントできる。 3. 入院が必要な小児看護の対象に対して、看護診断に基づいた看護計画・実践・評価ができる。 4. 小児や家族に対する倫理的配慮に基づいた看護が実践できる。 5. 小児と家族の個人情報保護のための行動ができる。 6. 実習での学びやこれまでの知識を統合して、小児看護に対する自己の考えを述べるができる。			
成績評価の方法と基準 出席、実習態度、カンファレンスにおける参加状況、実習記録及び実習到達度等により総合的に評価します。			
授業計画並びに授業及び学習の方法 実習場所は香川大学医学部附属病院小児病棟および小児科外来です。 病棟では、入院中の小児を受け持ち、看護過程に基づいた看護実践を行い、健康レベルと成長発達を含めた入院児の個別看護について学びます。外来では、見学とともに身体計測など小児看護特有の技術経験を通して、小児科外来看護の機能と役割について学びます。 実習方法の詳細については「看護学実習の手引」を参照してください。			
教科書・参考書等 【教科書（必携）】 二宮啓子，今野美紀編集：小児看護学概論改定第2版，南江堂，2012年，¥3,150 二宮啓子，今野美紀編集：小児看護技術改定第2版，南江堂，2012年，¥2,730 【参考書】 石黒彩子，浅野みどり編集：発達段階からみた小児看護過程+病態関連図第2版，医学書院，2012年，¥3,990 竹村節子，横井和美監修：実習アセスメント実践ノート，医学芸術社，2008年，¥4,095 【その他資料】 適宜配布、紹介します。			
オフィスアワー 水曜日13時から15時 看護学科教育研究棟 谷本 4階 414号研究室 「 」4階 413号研究室 「 」3階 313号研究室			
履修上の注意・担当教員からのメッセージ 小児看護学実習の詳細については、事前に開催される実習オリエンテーションに参加するとともに、「看護学実習の手引」を参照してください。 学生自身の感染症（B型肝炎，風疹，麻疹，水痘，ムンプス等）の抗体の有無を事前に把握しておいてください。			

授業科目名 (時間割コード: 762510) 母性看護学実習 Maternity Health Nursing Practicum	科目区分	DPコード bcdM	分野コード
	単位数 2	時間割 前期 未定	
担当教員名 佐々木 睦子, 片山 理恵	対象年次及び学科	3~4 医学部 看護学科	
	関連授業科目	母性看護学概論, 母性保健対象論, 母性援助論, 母性疾病論	
	履修推奨科目	母性看護学概論, 母性保健対象論, 母性援助論, 母性疾病論	
学習時間	詳細については「看護学実習の手引きー母性看護学実習」を参照.		
授業の概要 学生は、周産期にある女性および家族の看護を体験し、既習の母性看護学の知識・技術、並びに関連分野の知識を統合させ、母性のwell-beingがより望ましくwellness型で発達段階へ移行するような看護実践力を学習する。			
授業の目的 1. リプロダクティブヘルスの観点から、周産期にある母性および新生児の生理的変化と病態生理を関連づけるために、対象の健康レベルの変化や内的・外的刺激への適応レベルをwellnessな視点からアセスメントでする。 2. 母性看護学の意義や理論と臨床での実習体験を統合するために、ロイ適応看護モデルとwellness型看護診断に基づくマタニティ診断をクリティカルに用いて看護過程を展開し、効果的な看護介入を実践する。 3. 受け持ち対象をとおして、倫理的観点に基づいた状況判断や実践、および倫理的責任感について理解する。			
到達目標			学習・教育到達目標 (工学部JABEE基準)
1. 周産期にある母性および新生児の生理的変化と病態生理を関連づけ、母と子の健康診査に参加できる。 2. wellnessな視点から周産期にある母性および新生児の健康レベルを明確にし、健康維持および増進を促す看護介入ができる。 3. 母子関係および家族関係の成立状況や心理的变化を観察し、看護介入が実施できる。 4. 母子保健医療チームの一員として、母子保健の関連法規、および他職種の役割、他職種との相互連携について理解できる。 5. 受け持ち対象をとおして、人格の尊重、人間としての尊厳、プライバシーの擁護、自己決定権の擁護など、倫理的観点に基づいて行動できる。			
成績評価の方法と基準 出席状況、事前学習、看護過程の理解と展開状況、実習記録、カンファレンスの発言、実習への意欲と態度などを総合して評価する。			
授業計画並びに授業及び学習の方法 詳細については、「看護学実習の手引きー母性看護学実習」を参照。			
教科書・参考書等 母性看護学概論, 母性保健対象論, 母性援助論, 母性疾病論で提示した資料や参考書を効果的に活用する。関連図書や他領域の文献を参照することが望ましい。			
教科書 1. 村本淳子, 高橋真理: ウイメンズヘルスナーシング概論 第2版, ヌーヴェルヒロカワ, 2011. 2. 高橋真理, 村本淳子: 女性のライフサイクルとナーシング 第2版, ヌーヴェルヒロカワ, 2011. 3. 村本淳子, 高橋真理: 周産期ナーシング 第2版, ヌーヴェルヒロカワ, 2011. 4. 森 恵美: 系統看護学講座専門分野II 母性看護学各論, 医学書院, 2012. 5. 日本助産診断・実践研究会編著: マタニティ診断ガイドブック 第4版, 医学書院, 2013. 6. 内藤直子 他: あっそうか! ロイとゴードンで母性小児看護過程 初版, ふくろう出版, 2011.			
オフィスアワー 実習期間中, 毎日16:00 ~ 17:00 各教員研究室			
履修上の注意・担当教員からのメッセージ 実習開始後に受け持ち事例が決定するため、事前学習課題を十分に理解し、対象の時期に応じた看護が展開できるようにして実習に臨む。			

授業科目名 (時間割コード: 762673) 在宅看護学実習 Clinical practice in home care nursing	科目区分	DPコード acdM	分野コード
	単位数 2	時間割 前期 未定	
担当教員名 松井 妙子	対象年次及び学科	3～ 医学部 看護学科	
	関連授業科目	在宅看護学概論 在宅援助論 家族看護学	
	履修推奨科目	人間理解に関する一般教養科目	
学習時間 実習45時間×2回+自己学習			
授業の概要 教員は、訪問看護事業所に学生を配置し、訪問看護師指導の下に在宅療養者への看護を体験するよう指導する。学生が療養者の病状や受けている治療を把握したうえで、療養者とその家族の置かれている生活の現状を理解するよう指導する。また、居宅における看護の内容を理解し、看護技術の習得を指導する。療養者の生活の質を向上するために他職種とともにチームアプローチを行う必要性に気づき、その制度や方法を理解するよう指導する。			
授業の目的 学生は、在宅療養者およびその家族への理解を深め、療養者と家族のその人らしい生活や生き方を支援するために必要な看護を考える。また、療養者の病態に応じた医療的ケアと、家族の状況に応じたケアの在り方を理解し、居宅において基礎的な看護技術が展開できる。さらに、療養者と家族に提供されている支援の実際を通して、保健・医療・福祉の包括的支援の必要性と連携の実際を学ぶ。			
到達目標			学習・教育到達目標 (工学部JABEE基準)
1. 療養者と家族への理解を深め、居宅において生活を継続していくために必要な看護を考える。 2. 療養者の病態に応じた医療的ケアと家族の状況に応じたケアの在り方を理解し、居宅において基礎的な看護技術が展開できる。 3. 保健・医療・福祉の包括的支援の必要性と連携の実際を学ぶ。 4. 在宅療養者および家族と信頼関係を作るために、実習生として良識ある態度やふるまいができる。			
成績評価の方法と基準 出席状況、療養者のアセスメントおよび看護計画の適切さ、学内カンファレンスの建設的な発言、実習態度、実習記録の内容から総合的に判断する。			
授業計画並びに授業及び学習の方法 看護学実習の手引きの内容に準じて、各実習機関の状況に応じて実習する。			
自学自習の内容 <ul style="list-style-type: none"> ・訪問看護を利用するための制度 ・介護保険制度と医療保険制度における訪問看護の利用条件 ・在宅療養者に多い疾病の理解 ・ヘルスアセスメント ・障害高齢者の日常生活自立度 ・認知症高齢者の日常生活自立度 ・在宅で行われる主な医療処置とその技術 <ul style="list-style-type: none"> 栄養管理 (経腸栄養法、中心静脈栄養法、栄養評価) 呼吸管理 (在宅酸素療法、在宅人工呼吸療法、気切部の管理) 排泄管理 (尿道留置カテーテル、ストーマケア、腹部マッサージ、温罨法) インシュリン自己注射と血糖自己測定 褥瘡の予防とケア ・在宅における感染予防 			
教科書・参考書等 在宅看護概論、在宅援助論で紹介した参考書			
オフィスアワー 実習期間中は、担当指導教員が学内カンファレンス時に対応または実習機関を巡回する。			
履修上の注意・担当教員からのメッセージ 体調を整え、実習を休まないように注意。 実習内容や事前学習はオリエンテーション時に説明する。 実習先から提示された訪問予定者の疾患、医療処置に関して事前学習を行い、不明な点は質問や確認を積極的に行うこと。			

授業科目名 精神看護学実習 (時間割コード：762650)	科目区分	DPコード abcM	分野コード
	単位数 2	時間割 後期 未定	
担当教員名 渡邊久美、未定	対象年次及び学科	3～4 医学部 看護学科	
	関連授業科目	精神看護学概論、精神援助論	
	履修推奨科目		
学習時間	実習90時間(2週間) + 自己学習		
授業の概要	<p>これまでに講義や演習を通して学んできた精神看護に関する知識や理論に基づき、心を病む人々の回復を支える看護や退院後の生活を支える看護を、精神科病棟および地域生活支援に関連する施設等において2週間の臨地実習を行う。病棟実習では精神疾患をもつ患者を1名継続して受け持ち、看護過程を展開する。</p>		
授業の目的	<p>学内で講義や演習をとおして学んできた知識や技術を実習の場で適用し統合する。精神看護学実習では、対象を1人の人として全体的に理解し、看護師－患者関係をもとに対象と関わることを学ぶ。さらに対象との関わりの中で自己を振り返る機会とする</p>		
	到達目標	学習・教育到達目標 (工学部JABEE基準)	
	<ol style="list-style-type: none"> 1 精神保健医療上の問題が対象の日常生活や対人関係にどのように影響しているかを述べることができる。 2 対象の生活史・家族背景・社会的背景などを理解し、精神保健医療上の問題との関連が検討できる。 3 対人関係理論・セルフケア理論を用い、援助の視点を見いだすことができる。 4 看護師－患者関係をもとに対象と関わるができる。 5 対象との関わりの中で生じる自分の気持ちや自己の持つ価値観、対人傾向などを振り返ることができる。 6 病棟や施設で行われる治療的活動が対象にとってどのような意義があるか説明できる。 7 対象と関わる保健医療チームメンバーの役割を述べるができる。 8 保健医療チームメンバーと協調しながら実習ができる。 9 毎日のカンファレンスに積極的に参加し、自己や他者の体験を共有できる。 		
成績評価の方法と基準	出席、実習内容、実習記録、レポートなどにより総合的に評価する。		
授業計画並びに授業及び学習の方法	2週間の病棟実習を行う。カンファレンスでは、グループメンバーそれぞれの異なる感じ方や見方を大切にし、表現していく。受け持ち患者の状況に応じて、施設見学を行う。実習方法、内容などについては後日提示する。		
教科書・参考書等	山崎智子監修：明解看護学双書3 精神看護学 金芳堂 参考図書は適宜紹介する。		
オフィスアワー	木曜日 16:00～17:00 6階(616) 渡邊研究室		
履修上の注意・担当教員からのメッセージ	精神看護学概論、精神疾病論、精神援助論における学習内容を事前に復習しておくこと。日常生活における他者との関係において、自分が相手に与える影響や自己の精神看護観を見つめるなど、意識的に自分に向き合う機会を設けていくとよい。また、精神看護学実習に臨むにあたり、それまでの臨地実習における対象との関係形成における自己の特性や傾向を振り返り、自己の課題や目標を明確にすることが期待される。		

授業科目名 (時間割コード: 762800) 看護研究 Nursing Research	科目区分	DPコード cadM	分野コード
	単位数 2	時間割 後期 集中	
担当教員名 大森 美津子, 峠 哲男, 藤井 豊, 名越 民江, 當目 雅代, 清水 裕子, 谷本 公重, 佐々木 睦子, 大西 美智恵, 松井 妙子, 筒井 邦彦, 南 妙子, 越田 美穂子, 金正 貴美, 松岡美奈子, 香川 里美, 野口 英子, 小笠 美春, 西村 美穂, 政岡 敦子, 片山 理恵	対象年次及び学科	3~ 医学部 看護学科	
	関連授業科目	看護研究基礎論	
学習時間	講義90分 × 30回 + 自学自習		
授業の概要 本科目では、看護に焦点を当てた学問知識を洗練し、看護の知識体系を他の学問と区別して、看護分野の専門職として責任と権限を持つことができるために、看護研究の方法を習得する。			
授業の目的 1. 倫理的配慮をしながら、テーマに沿った研究計画を立案し、実践できる。 2. 論文をまとめて、完成することができる。 3. 研究発表の方法について説明できる。			
到達目標			学習・教育到達目標 (工学部JABEE基準)
1. 研究対象者への倫理的配慮ができる。 2. 研究目的に沿った研究方法を選択できる。 3. 研究計画を立案し研究活動を行うことができる。 4. 文献検索と文献検討の結果を研究過程に活用することができる。 5. 研究協力者の必要性和依頼の仕方が説明できる。 6. データの解析、分析を適切な手法により実施できる。 7. 論文の書き方および発表の仕方がわかる。 8. 一連の看護研究活動における研究姿勢について自己評価できる。			
成績評価の方法と基準 研究への取り組みおよび研究論文の内容に基づき研究指導担当単位の教員が評価する。			
授業計画並びに授業及び学習の方法			
1	ガイダンス	看護研究の学習方法の説明 グループ編成 抄録集作成担当係りの選出	(大森)
2-3	看護研究の準備	文献レビュー	(峠)
4-5		研究計画書の作成	(名越)
6		方法の信頼性と妥当性を検討	(清水)
7		倫理面を検討	(當目)
8		研究対象の検討	(佐々木)
9		対象の同意書の検討	(谷本)
10		インタビューガイドの作成および質問紙の構成	(大西)
11-12		予備的研究の実施	(松井)
13-17	看護研究の開始	データ収集	(筒井)
18-22		データ分析	(南)
23		結果から図表作成	(藤井)
24-28	論文作成		(越田)
29		抄録作成	(金正)
30		学会発表の意義と方法	() (香川) (松岡) (野口) (小笠) (西村) (政岡) (片山) ()
教科書・参考書等 Holloway & Wheeler, 野口美和子 監訳: ナースのための質的研究入門 第二版、医学書院、2006 Hully S.B. et al., 木原雅子他 訳: 医学的研究のデザイン 第二版、メディカル・サイエンス・インターナショナル			

ナル、2004

Polit D.F. et al., 近藤潤子 監訳：看護研究 原理と方法、医学書院、2010

APA（アメリカ心理学会）、江藤浩之他 訳：APA論文作成マニュアル、医学書院、2011

看護研究基礎論の教科書・参考書等も参照すること

その他状況に応じて随時追加する

オフィスアワー 随時

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

研究は個人、または数人のグループで行う。研究の進み具合により夏休みを利用することもあるので、担当教員と相談すること。

年間時間割カレンダー

【注意！】

これらは、平成 26 年 2 月 28 日(金)現在で決定している内容です。掲載されている以外にも時間変更される場合がありますので、各自必ず掲示板を確認してください。

平成26年度 講義・実習時間割 1年次生

1学期

	I	II	III	IV	V
	8:50-10:20	10:30-12:00	13:00-14:30	14:40-16:10	16:20-17:50
4月8日 火	定期健康診断, 修学相談				
4月9日 水	大学入門ゼミ (峠, 大西他) 301, 303, A, D, 小D, 小E	看護学概論 (名越) 臨2 《三大学連携授業》	形態・生理学A (生命維持の基本構造) (峠, 筒井) 209	全学共通科目 「情報リテラシー」 (筒井, 藤井) マル付	
4月14日 月		形態・生理学A (生命維持の基本構造) (峠, 筒井) 209	生化学 (藤井) 209		
4月16日 水	大学入門ゼミ (峠, 大西他) 301, 303, A, D, 小D, 小E	形態・生理学A (生命維持の基本構造) (峠, 筒井) 209	看護学概論 (名越) 209	全学共通科目 「情報リテラシー」 (筒井, 藤井) マル付	
4月21日 月		形態・生理学A (生命維持の基本構造) (峠, 筒井) 209	生化学 (藤井) 209		
4月23日 水	大学入門ゼミ (峠, 大西他) 301, 303, A, D, 小D, 小E	看護学概論 (名越) 臨2 《三大学連携授業》	形態・生理学A (生命維持の基本構造) (峠, 筒井) 209	全学共通科目 「情報リテラシー」 (筒井, 藤井) マル付	
4月28日 月		形態・生理学A (生命維持の基本構造) (峠, 筒井) 209	生化学 (藤井) 209		
4月30日 水	大学入門ゼミ (峠, 大西他) 301, 303, A, D, 小D, 小E	看護学概論 (名越) 臨2 《三大学連携授業》	形態・生理学A (生命維持の基本構造) (峠, 筒井) 209	全学共通科目 「情報リテラシー」 (筒井, 藤井) マル付	
5月5日 月	こどもの日				
月曜日振替 5月7日 水		形態・生理学A (生命維持の基本構造) (峠, 筒井) 209	生化学 (藤井) 209		
5月12日 月		形態・生理学A (生命維持の基本構造) (峠, 筒井) 209	生化学 (藤井) 209		
5月14日 水	大学入門ゼミ (峠, 大西他) 301, 303, A, D, 小D, 小E	看護学概論 (名越) 臨2 《三大学連携授業》	形態・生理学A (生命維持の基本構造) (峠, 筒井) 209	全学共通科目 「情報リテラシー」 (筒井, 藤井) マル付	
5月19日 月		形態・生理学A (生命維持の基本構造) (峠, 筒井) 209	生化学 (藤井) 209		
5月21日 水	大学入門ゼミ (峠, 大西他) 301, 303, A, D, 小D, 小E	看護学概論 (名越) 臨2 《三大学連携授業》	形態・生理学A (生命維持の基本構造) (峠, 筒井) 209	全学共通科目 「情報リテラシー」 (筒井, 藤井) マル付	
5月26日 月		形態・生理学A (生命維持の基本構造) (峠, 筒井) 209	生化学 (藤井) 209		
5月28日 水	大学入門ゼミ (峠, 大西他) 301, 303, A, D, 小D, 小E	形態・生理学A (生命維持の基本構造) (峠, 筒井) 209	看護学概論 (名越) 209	全学共通科目 「情報リテラシー」 (筒井, 藤井) マル付	
6月2日 月		形態・生理学A (生命維持の基本構造) (峠, 筒井) 209	生化学 (藤井) 209		
6月4日 水	大学入門ゼミ (峠, 大西他) 301, 303, A, D, 小D, 小E	形態・生理学A (生命維持の基本構造) (峠, 筒井) 209	看護学概論 (名越) 209	全学共通科目 「情報リテラシー」 (筒井, 藤井) マル付	

	I	II	III	IV	V
	8:50-10:20	10:30-12:00	13:00-14:30	14:40-16:10	16:20-17:50
6月9日 月		形態・生理学A (生命維持の基本構造) (峠, 筒井) 209	生化学 (藤井) 209		
6月11日 水	大学入門ゼミ (峠, 大西他) 301, 303, A, D, 小D, 小E	形態・生理学A (生命維持の基本構造) (峠, 筒井) 209	看護学概論 (名越) 209	全学共通科目 「情報リテラシー」 (筒井, 藤井) マルチ	
6月16日 月		形態・生理学A (生命維持の基本構造) (峠, 筒井) 209	生化学 (藤井) 209		
6月18日 水	大学入門ゼミ (峠, 大西他) 301, 303, A, D, 小D, 小E	形態・生理学A (生命維持の基本構造) (峠, 筒井) 209	看護学概論 (名越) 209	全学共通科目 「情報リテラシー」 (筒井, 藤井) マルチ	
6月23日 月		形態・生理学A (生命維持の基本構造) (峠, 筒井) 209	生化学 (藤井) 209		
6月25日 水	大学入門ゼミ (峠, 大西他) 301, 303, A, D, 小D, 小E	形態・生理学A (生命維持の基本構造) (峠, 筒井) 209	看護学概論 (名越) 209	全学共通科目 「情報リテラシー」 (筒井, 藤井) マルチ	
6月30日 月		形態・生理学A (生命維持の基本構造) (峠, 筒井) 209	生化学 (藤井) 209		
7月2日 水	大学入門ゼミ (峠, 大西他) 301, 303, A, D, 小D, 小E	形態・生理学A (生命維持の基本構造) (峠, 筒井) 209	看護学概論 (名越) 209	全学共通科目 「情報リテラシー」 (筒井, 藤井) マルチ	
7月7日 月		形態・生理学A (生命維持の基本構造) (峠, 筒井) 209	生化学 (藤井) 209		
7月9日 月	大学入門ゼミ (峠, 大西他) 301, 303, A, D, 小D, 小E	形態・生理学A (生命維持の基本構造) (峠, 筒井) 209		全学共通科目 「情報リテラシー」 (筒井, 藤井) マルチ	
7月14日 月		形態・生理学A (生命維持の基本構造) (峠, 筒井) 209	生化学 (藤井) 209		
7月16日 水	大学入門ゼミ (峠, 大西他) 301, 303, A, D, 小D, 小E	形態・生理学A (生命維持の基本構造) (峠, 筒井) 209	看護学概論 (名越) 209	全学共通科目 「情報リテラシー」 (筒井, 藤井) マルチ	
7月21日 月	海の日				
7月23日 水	大学入門ゼミ (峠, 大西他) 301, 303, A, D, 小D, 小E	形態・生理学A (生命維持の基本構造) (峠, 筒井) 209	看護学概論 (名越) 209	全学共通科目 「情報リテラシー」 (筒井, 藤井) マルチ	
7月28日 月		形態・生理学A (生命維持の基本構造) (峠, 筒井) 209	生化学 (藤井) 209		
7月30日 水	第1学期末試験				
8月4日 月	〃				
8月6日 水	補講・試験予備日				

太枠内は選択科目及び自由科目を示す。

9月1日 月	基礎看護学早期体験実習
9月2日 火	基礎看護学早期体験実習
9月3日 水	基礎看護学早期体験実習
9月4日 木	基礎看護学早期体験実習
9月5日 金	基礎看護学早期体験実習

2学期					
	I	II	III	IV	V
	8:50-10:20	10:30-12:00	13:00-14:30	14:40-16:10	16:20-17:50
10月1日 水	大学記念日				
10月6日 月		形態・生理学B (環境適応と行動) (峠, 筒井) 209	分子生物学・栄養学 (藤井) 209	成人看護学概論 (清水) 209	
10月8日 水	看護理論 (名越) 209	薬剤療養学 (筒井) 209	形態・生理学B (環境適応と行動) (峠, 筒井) 209	基本援助技術論 (南) 209	
10月13日 月	体育の日				
10月15日 水	看護理論 (名越) 209	薬剤療養学 (筒井) 209	形態・生理学B (環境適応と行動) (峠, 筒井) 209	基本援助技術論 (南) 209	
月曜日振替 10月16日 木		形態・生理学B (環境適応と行動) (峠, 筒井) 209	分子生物学・栄養学 (藤井) 209	成人看護学概論 (清水) 209	
10月20日 月		形態・生理学B (環境適応と行動) (峠, 筒井) 209	分子生物学・栄養学 (藤井) 209	成人看護学概論 (清水) 209	
10月22日 水	看護理論 (名越) 209	薬剤療養学 (筒井) 209	形態・生理学B (環境適応と行動) (峠, 筒井) 209	基本援助技術論 (南) 209	
10月27日 月		形態・生理学B (環境適応と行動) (峠, 筒井) 209	分子生物学・栄養学 (藤井) 209	成人看護学概論 (清水) 209	
10月29日 水	看護理論 (名越) 209	薬剤療養学 (筒井) 209	形態・生理学B (環境適応と行動) (峠, 筒井) 209	基本援助技術論 (南) 209	
11月3日 月	文化の日				
月曜日振替 11月5日 水		形態・生理学B (環境適応と行動) (峠, 筒井) 209	分子生物学・栄養学 (藤井) 209	成人看護学概論 (清水) 209	
11月10日 月		形態・生理学B (環境適応と行動) (峠, 筒井) 209	分子生物学・栄養学 (藤井) 209	成人看護学概論 (清水) 209	
11月12日 水	看護理論 (名越) 209	薬剤療養学 (筒井) 209	形態・生理学B (環境適応と行動) (峠, 筒井) 209	基本援助技術論 (南) 209	
11月17日 月		形態・生理学B (環境適応と行動) (峠, 筒井) 209	分子生物学・栄養学 (藤井) 209	成人看護学概論 (清水) 209	
11月19日 水	看護理論 (名越) 209	薬剤療養学 (筒井) 209	形態・生理学B (環境適応と行動) (峠, 筒井) 209	基本援助技術論 (南) 209	
11月24日 月	振替休日				
11月26日 水	看護理論 (名越) 209	薬剤療養学 (筒井) 209	形態・生理学B (環境適応と行動) (峠, 筒井) 209	基本援助技術論 (南) 209	
月曜日振替 11月27日 木		形態・生理学B (環境適応と行動) (峠, 筒井) 209	分子生物学・栄養学 (藤井) 209	成人看護学概論 (清水) 209	
12月1日 月		形態・生理学B (環境適応と行動) (峠, 筒井) 209	分子生物学・栄養学 (藤井) 209	母性看護学概論 (佐々木) 209	
12月3日 水	看護理論 (名越) 209	薬剤療養学 (筒井) 209	形態・生理学B (環境適応と行動) (峠, 筒井) 209	基本援助技術論 (南) 209	
12月8日 月		形態・生理学B (環境適応と行動) (峠, 筒井) 209	分子生物学・栄養学 (藤井) 209	母性看護学概論 (佐々木) 209	

	I	II	III	IV	V
	8:50-10:20	10:30-12:00	13:00-14:30	14:40-16:10	16:20-17:50
12月10日 水	看護理論 (名越) 209	薬剤療養学 (筒井) 209	基本援助技術論 (南) 209	基本援助技術論 (南) 209	
12月15日 月		形態・生理学B (環境適応と行動) (峠, 筒井) 209	分子生物学・栄養学 (藤井) 209	母性看護学概論 (佐々木) 209	
12月17日 水		薬剤療養学 (筒井) 209	基本援助技術論 (南) 209	基本援助技術論 (南) 209	
12月22日 月		形態・生理学B (環境適応と行動) (峠, 筒井) 209	分子生物学・栄養学 (藤井) 209	母性看護学概論 (佐々木) 209	
12月24日 水		薬剤療養学 (筒井) 209	基本援助技術論 (南) 209	基本援助技術論 (南) 209	
1月12日 月	成人の日				
1月14日 水		薬剤療養学 (筒井) 209	基本援助技術論 (南) 209	基本援助技術論 (南) 209	
1月19日 月		形態・生理学B (環境適応と行動) (峠, 筒井) 209	分子生物学・栄養学 (藤井) 209	母性看護学概論 (佐々木) 209	
1月21日 水		薬剤療養学 (筒井) 209	基本援助技術論 (南) 209	基本援助技術論 (南) 209	
1月26日 月		形態・生理学B (環境適応と行動) (峠, 筒井) 209	分子生物学・栄養学 (藤井) 209	母性看護学概論 (佐々木) 209	
1月28日 水		薬剤療養学 (筒井) 209	基本援助技術論 (南) 209	基本援助技術論 (南) 209	
2月2日 月		形態・生理学B (環境適応と行動) (峠, 筒井) 209	分子生物学・栄養学 (藤井) 209	母性看護学概論 (佐々木) 209	
2月4日 水		薬剤療養学 (筒井) 209	基本援助技術論 (南) 209	基本援助技術論 (南) 209	
2月9日 月	第2学期末試験				
2月11日 水	建国記念の日				
水曜日の試験 2月16日 月	第2学期末試験 水曜日の試験実施				
2月18日 水	第2学期末 授業補講・試験予備日				
2月23日 月	"				

平成26年度 講義・実習時間割 2年次生

前期

第1週

1	I	II	III	IV	V
	8:50-10:20	10:30-12:00	13:00-14:30	14:40-16:10	16:20-17:50
4月1日 火					
4月2日 水					
4月3日 木					
4月4日 金					

太枠内は選択科目及び自由科目を示す。

第2週

2	I	II	III	IV	V
	8:50-10:20	10:30-12:00	13:00-14:30	14:40-16:10	16:20-17:50
4月7日 月					
4月8日 火	生活援助技術論 (南) 209	生活援助技術論 (南) 209	微生物学A (細菌学, 原虫学) (藤井) 209	成人疾病論 (峠, 筒井, 他) 209	精神疾病論 (中村, 他) 301
4月9日 水	成人疾病論 (峠, 筒井, 他) 209	小児看護学概論 (谷本) 301	成人急性期援助論 (當目) 301		
4月10日 木	基礎看護方法論 (名越, 他) 305	小児疾病論 (日下, 谷本他) 301	定期健康診断		
4月11日 金		精神看護学概論 (渡邊) 305	生活援助技術論 (南) 209	生活援助技術論 (南) 209	

太枠内は選択科目及び自由科目を示す。

第3週

3	I	II	III	IV	V
	8:50-10:20	10:30-12:00	13:00-14:30	14:40-16:10	16:20-17:50
4月14日 月	幸町キャンパス (養教1種教職科目開講日 (I~V時限)・全学共通科目開講日)				
4月15日 火	生活援助技術論 (南) 209	生活援助技術論 (南) 209	微生物学A (細菌学, 原虫学) (藤井) 209	成人疾病論 (峠, 筒井, 他) 209	精神疾病論 (中村, 他) 301
4月16日 水	成人疾病論 (峠, 筒井, 他) 209	小児看護学概論 (谷本) 301	成人急性期援助論 (當目) 301		
4月17日 木	基礎看護方法論 (名越, 他) 305	小児疾病論 (日下, 谷本他) 301	老年看護学概論 (大森) 305	成人疾病論 (峠, 他) 209	成人慢性期援助論 (清水) 209
4月18日 金		精神看護学概論 (渡邊) 305	生活援助技術論 (南) 209	生活援助技術論 (南) 209	

太枠内は選択科目及び自由科目を示す。

第4週

4	I	II	III	IV	V
	8:50-10:20	10:30-12:00	13:00-14:30	14:40-16:10	16:20-17:50
4月21日 月	幸町キャンパス (養教1種教職科目開講日 (I~V時限)・全学共通科目開講日)				
4月22日 火	生活援助技術論 (南) 209	生活援助技術論 (南) 209	微生物学A (細菌学, 原虫学) (藤井) 209	成人疾病論 (峠, 筒井, 他) 209	精神疾病論 (中村, 他) 301
4月23日 水	成人疾病論 (峠, 筒井, 他) 209	小児看護学概論 (谷本) 301	成人急性期援助論 (當日) 301		
4月24日 木	基礎看護方法論 (名越, 他) 305	小児疾病論 (日下, 谷本他) 301	老年看護学概論 (大森) 305	成人疾病論 (峠, 他) 209	成人慢性期援助論 (清水) 209
4月25日 金		精神看護学概論 (渡邊) 305	生活援助技術論 (南) 209	生活援助技術論 (南) 209	

太枠内は選択科目及び自由科目を示す。

第5週

5	I	II	III	IV	V
	8:50-10:20	10:30-12:00	13:00-14:30	14:40-16:10	16:20-17:50
4月28日 月	幸町キャンパス (養教1種教職科目開講日 (I~V時限)・全学共通科目開講日)				
4月29日 火	昭和の日				
4月30日 水	成人疾病論 (峠, 筒井, 他) 209	小児看護学概論 (谷本) 301	成人急性期援助論 (當日) 301		
火曜日振替 5月1日 木	生活援助技術論 (南) 209	生活援助技術論 (南) 209	微生物学A (細菌学, 原虫学) (藤井) 209	成人疾病論 (峠, 筒井, 他) 209	精神疾病論 (中村, 他) 301
5月2日 金		精神看護学概論 (渡邊) 305	小児看護学概論 (谷本) 209	小児看護学概論 (谷本) 209	

太枠内は選択科目及び自由科目を示す。

第6週

6	I	II	III	IV	V
	8:50-10:20	10:30-12:00	13:00-14:30	14:40-16:10	16:20-17:50
5月5日 月	こどもの日				
5月6日 火	振替休日				
月曜日振替 5月7日 水	幸町キャンパス (養教1種教職科目開講日 (I~V時限)・全学共通科目開講日)				
5月8日 木	基礎看護方法論 (名越, 他) 305	小児疾病論 (日下, 谷本他) 301	老年看護学概論 (大森) 305	成人疾病論 (峠, 他) 209	成人慢性期援助論 (清水) 209
火曜日振替 5月9日 金	生活援助技術論 (南) 209	生活援助技術論 (南) 209	微生物学A (細菌学, 原虫学) (藤井) 209	成人疾病論 (峠, 筒井, 他) 209	精神疾病論 (中村, 他) 301

太枠内は選択科目及び自由科目を示す。

第7週

7	I	II	III	IV	V
	8:50-10:20	10:30-12:00	13:00-14:30	14:40-16:10	16:20-17:50
5月12日 月	幸町キャンパス (養教1種教職科目開講日 (I~V時限)・全学共通科目開講日)				
5月13日 火	生活援助技術論 (南) 209	生活援助技術論 (南) 209	微生物学A (細菌学, 原虫学) (藤井) 209	成人疾病論 (峠, 筒井, 他) 209	精神疾病論 (中村, 他) 301
5月14日 水	成人疾病論 (峠, 筒井, 他) 209	小児看護学概論 (谷本) 301	成人急性期援助論 (當目) 301		
5月15日 木	基礎看護方法論 (名越, 他) 305	小児疾病論 (日下, 谷本他) 301	老年看護学概論 (大森) 305	成人疾病論 (峠, 他) 209	成人慢性期援助論 (清水) 209
5月16日 金		精神看護学概論 (渡邊) 305	生活援助技術論 (南) 209	生活援助技術論 (南) 209	

太枠内は選択科目及び自由科目を示す。

第8週

8	I	II	III	IV	V
	8:50-10:20	10:30-12:00	13:00-14:30	14:40-16:10	16:20-17:50
5月19日 月	幸町キャンパス (養教1種教職科目開講日 (I~V時限)・全学共通科目開講日)				
5月20日 火	生活援助技術論 (南) 209	生活援助技術論 (南) 209	微生物学A (細菌学, 原虫学) (藤井) 209	成人疾病論 (峠, 筒井, 他) 209	精神疾病論 (中村, 他) 301
5月21日 水	成人疾病論 (峠, 筒井, 他) 209	生活援助技術論 (南) 301	成人急性期援助論 (當目) 301		
5月22日 木	基礎看護方法論 (名越, 他) 305	小児疾病論 (日下, 谷本他) 301	老年看護学概論 (大森) 305	成人疾病論 (峠, 他) 209	成人慢性期援助論 (清水) 209
5月23日 金		精神看護学概論 (渡邊) 305	生活援助技術論 (南) 209	生活援助技術論 (南) 209	

太枠内は選択科目及び自由科目を示す。

第9週

9	I	II	III	IV	V
	8:50-10:20	10:30-12:00	13:00-14:30	14:40-16:10	16:20-17:50
5月26日 月	幸町キャンパス (養教1種教職科目開講日 (I~V時限)・全学共通科目開講日)				
5月27日 火	生活援助技術論 (南) 209	生活援助技術論 (南) 209	微生物学A (細菌学, 原虫学) (藤井) 209	成人疾病論 (峠, 筒井, 他) 209	精神疾病論 (中村, 他) 301
5月28日 水	成人疾病論 (峠, 筒井, 他) 209	小児看護学概論 (谷本) 301	成人急性期援助論 (當目) 301		
5月29日 木	基礎看護方法論 (名越, 他) 305	小児疾病論 (日下, 谷本他) 301	老年看護学概論 (大森) 305	成人疾病論 (峠, 他) 209	成人慢性期援助論 (清水) 209
5月30日 金		精神看護学概論 (渡邊) 305	生活援助技術論 (南) 209	生活援助技術論 (南) 209	

太枠内は選択科目及び自由科目を示す。

第10週

10	I	II	III	IV	V
	8:50-10:20	10:30-12:00	13:00-14:30	14:40-16:10	16:20-17:50
6月2日 月	幸町キャンパス (養教1種教職科目開講日 (I~V時限)・全学共通科目開講日)				
6月3日 火		基礎看護技術論 (南) 209	微生物学A (細菌学, 原虫学) (藤井) 209	成人疾病論 (峠, 筒井, 他) 209	
6月4日 水	成人疾病論 (峠, 筒井, 他) 209	小児看護学概論 (谷本) 301	成人急性期援助論 (當目) 301	成人疾病論 (峠, 他) 209	
6月5日 木	基礎看護方法論 (名越, 他) 305	小児疾病論 (日下, 谷本他) 301	老年看護学概論 (大森) 305	老年疾病論 (峠, 他) 209	成人慢性期援助論 (清水) 209
6月6日 金		精神看護学概論 (渡邊) 305	基礎看護技術論 (南) 209		

太枠内は選択科目及び自由科目を示す。

第11週

11	I	II	III	IV	V
	8:50-10:20	10:30-12:00	13:00-14:30	14:40-16:10	16:20-17:50
6月9日 月	幸町キャンパス (養教1種教職科目開講日 (I~V時限)・全学共通科目開講日)				
6月10日 火		基礎看護技術論 (南) 209	微生物学A (細菌学, 原虫学) (藤井) 209	成人疾病論 (峠, 筒井, 他) 209	
6月11日 水	成人疾病論 (峠, 筒井, 他) 209	小児疾病論 (日下, 谷本他) 301	成人急性期援助論 (當目) 301	成人疾病論予備日 (峠, 他) 209	
6月12日 木		基礎看護方法論 (名越, 他) 305	老年看護学概論 (大森) 305	老年疾病論 (峠, 他) 209	成人慢性期援助論 (清水) 209
6月13日 金		精神看護学概論 (渡邊) 305	基礎看護技術論 (南) 209		

太枠内は選択科目及び自由科目を示す。

第12週

12	I	II	III	IV	V
	8:50-10:20	10:30-12:00	13:00-14:30	14:40-16:10	16:20-17:50
6月16日 月	幸町キャンパス (養教1種教職科目開講日 (I~V時限)・全学共通科目開講日)				
6月17日 火		基礎看護技術論 (南) 209	微生物学A (細菌学, 原虫学) (藤井) 209	成人疾病論 (峠, 筒井, 他) 209	
6月18日 水	成人疾病論 (峠, 筒井, 他) 209	基礎看護技術論 (南) 209	成人急性期援助論 (當目) 301	成人疾病論 (峠, 他) 209	
6月19日 木		基礎看護方法論 (名越, 他) 305	老年看護学概論 (大森) 305	老年疾病論 (峠, 他) 209	成人慢性期援助論 (清水) 209
6月20日 金		精神看護学概論 (渡邊) 305	基礎看護技術論 (南) 209		

太枠内は選択科目及び自由科目を示す。

第13週

13	I	II	III	IV	V
	8:50-10:20	10:30-12:00	13:00-14:30	14:40-16:10	16:20-17:50
6月23日 月	幸町キャンパス (養教1種教職科目開講日 (I~V時限)・全学共通科目開講日)				
6月24日 火		基礎看護技術論 (南) 209	微生物学A (細菌学, 原虫学) (藤井) 209	成人疾病論 (峠, 筒井, 他) 209	
6月25日 水	成人疾病論 (峠, 筒井, 他) 209		成人急性期援助論 (當目) 301	成人疾病論 (峠, 他) 209	
6月26日 木		基礎看護方法論 (名越, 他) 305	老年看護学概論 (大森) 305	老年疾病論 (峠, 他) 209	成人慢性期援助論 (清水) 209
6月27日 金		精神看護学概論 (渡邊) 305	基礎看護技術論 (南) 209		

太枠内は選択科目及び自由科目を示す。

第14週

14	I	II	III	IV	V
	8:50-10:20	10:30-12:00	13:00-14:30	14:40-16:10	16:20-17:50
6月30日 月	幸町キャンパス (養教1種教職科目開講日 (I~V時限)・全学共通科目開講日)				
7月1日 火		基礎看護技術論 (南) 209	微生物学A (細菌学, 原虫学) (藤井) 209	成人疾病論 (峠, 筒井, 他) 209	
7月2日 水	成人疾病論 (峠, 筒井, 他) 209		成人急性期援助論 (當目) 301	成人疾病論 (峠, 他) 209	
7月3日 木		基礎看護方法論 (名越, 他) 305	老年看護学概論 (大森) 305	老年疾病論 (峠, 他) 209	成人慢性期援助論 (清水) 209
7月4日 金		精神看護学概論 (渡邊) 305	基礎看護技術論 (南) 209		

太枠内は選択科目及び自由科目を示す。

第15週

15	I	II	III	IV	V
	8:50-10:20	10:30-12:00	13:00-14:30	14:40-16:10	16:20-17:50
7月7日 月	幸町キャンパス (養教1種教職科目開講日 (I~V時限)・全学共通科目開講日)				
7月8日 火		基礎看護技術論 (南) 209	微生物学A (細菌学, 原虫学) (藤井) 209	成人疾病論 (峠, 筒井, 他) 209	
7月9日 水	成人疾病論 (峠, 筒井, 他) 209		成人急性期援助論 (當目) 301	成人疾病論 (峠, 他) 209	
7月10日 木		基礎看護方法論 (名越, 他) 305	老年看護学概論 (大森) 305	老年疾病論 (峠, 他) 209	成人慢性期援助論 (清水) 209
7月11日 金		精神看護学概論 (渡邊) 305	基礎看護技術論 (南) 209		

太枠内は選択科目及び自由科目を示す。

第16週

16	I	II	III	IV	V
	8:50-10:20	10:30-12:00	13:00-14:30	14:40-16:10	16:20-17:50
7月14日 月	幸町キャンパス (養教1種教職科目開講日 (I~V時限)・全学共通科目開講日)				
7月15日 火		基礎看護技術論 (南) 209	微生物学A (細菌学, 原虫学) (藤井) 209	成人疾病論 (峠, 筒井, 他) 209	
7月16日 水	成人疾病論 (峠, 筒井, 他) 209		成人急性期援助論 (當目) 301	成人疾病論予備日 (峠, 他) 209	
7月17日 木	基礎看護方法論 (名越, 他) 305	基礎看護方法論 (名越, 他) 305	老年看護学概論 (大森) 305	老年疾病論 (峠, 他) 209	成人慢性期援助論 (清水) 209
7月18日 金		精神看護学概論 (渡邊) 305	基礎看護技術論 (南) 209		
7月19日 土	授業予備日				

太枠内は選択科目及び自由科目を示す。

第17週

17	I	II	III	IV	V
	8:50-10:20	10:30-12:00	13:00-14:30	14:40-16:10	16:20-17:50
7月21日 月	海の日				
7月22日 火		基礎看護技術論 (南) 209	微生物学A (細菌学, 原虫学) (藤井) 209	成人疾病論 (峠, 筒井, 他) 209	
7月23日 水	成人疾病論 (峠, 筒井, 他) 209		成人急性期援助論 (當目) 301	成人疾病論予備日 (峠, 他) 209	
7月24日 木		基礎看護学実習オリエンテーション (名越, 他) 305	老年看護学概論 (大森) 305	老年疾病論 (峠, 他) 209	成人慢性期援助論 (清水) 209
7月25日 金		精神看護学概論 (渡邊)	基礎看護技術論 (南)		
7月26日 土	授業予備日				

太枠内は選択科目及び自由科目を示す。

第18週

18	I	II	III	IV	V
	8:50-10:20	10:30-12:00	13:00-14:30	14:40-16:10	16:20-17:50
7月28日 月	幸町キャンパス (養教1種教職科目開講日 (I~V時限)・全学共通科目開講日)				
7月29日 火	第一学期末試験				
7月30日 水	第一学期末試験				
7月31日 木	看護とコミュニケーション				
8月1日 金	看護とコミュニケーション				

第19週

19	I	II	III	IV	V
	8:50-10:20	10:30-12:00	13:00-14:30	14:40-16:10	16:20-17:50
8月4日 月	第一学期末試験				
8月5日 火					
8月6日 水	補講・試験予備日				
8月7日 木	補講・試験予備日				
8月8日 金	補講・試験予備日				

第20週

20	I	II	III	IV	V
	8:50-10:20	10:30-12:00	13:00-14:30	14:40-16:10	16:20-17:50
9月1日 月	補講期間				
9月2日 火	補講期間				
9月3日 水	補講期間				
9月4日 木	社会福祉・社会保障論				
9月5日 金	社会福祉・社会保障論				

第21週

21	I	II	III	IV	V
	8:50-10:20	10:30-12:00	13:00-14:30	14:40-16:10	16:20-17:50
9月8日 月	基礎看護学実習				
9月9日 火	基礎看護学実習				
9月10日 水	基礎看護学実習				
9月11日 木	基礎看護学実習				
9月12日 金	基礎看護学実習				

第22週

22	I	II	III	IV	V
	8:50-10:20	10:30-12:00	13:00-14:30	14:40-16:10	16:20-17:50
9月15日 月	敬老の日				
9月16日 火	基礎看護学実習				
9月17日 水	基礎看護学実習				
9月18日 木	基礎看護学実習				
9月19日 金	基礎看護学実習				

第23週

23	I	II	III	IV	V
	8:50-10:20	10:30-12:00	13:00-14:30	14:40-16:10	16:20-17:50
9月22日 月	社会福祉・社会保障論				
9月23日 火	秋分の日				
9月24日 水	社会福祉・社会保障論				
9月25日 木	社会福祉・社会保障論				
9月26日 金	社会福祉・社会保障論				

後期

第1週

1	I	II	III	IV	V
	8:50-10:20	10:30-12:00	13:00-14:30	14:40-16:10	16:20-17:50
9月29日 月	社会福祉・社会保障論				
9月30日 火	社会福祉・社会保障論				
10月1日 水	大学記念日				
10月2日 木	幸町キャンパス (養教1種教職科目開講日 (I~V時限)・全学共通科目開講日)				
10月3日 金		全学共通科目 Communicative English III N (Wiley, 佐藤, 長井) 209.301.303	成人リハビリテーション期 援助論 (当日) 209	(看・保) 公衆衛生 看護学概論 (大西) 209	

太枠内は選択科目及び自由科目を示す。

第2週

2	I	II	III	IV	V
	8:50-10:20	10:30-12:00	13:00-14:30	14:40-16:10	16:20-17:50
10月6日 月		基礎看護技術論 (南) 305	小児保健対象論 (谷本, 他) 305	成人終末期援助論 (金正) 305	免疫学 (筒井) 305
10月7日 火	精神援助論 (渡邊) 301	微生物学B (ウイルス学, 真菌学) (藤井) 209	老年援助論 (大森) 209	看護統計論 (清水, ※荒川) 209, マルチ	看護統計論 (清水, ※荒川) 209, マルチ
10月8日 水	小児援助論 (谷本) 301	在宅看護学概論 (松井) 301	看護と法規 (名越, 大西, 木下, 豊嶋 ※藤本, ※馬場) 301	機能再生医療学 (峠, 他) 301	
10月9日 木	幸町キャンパス (養教1種教職科目開講日 (I~V時限)・全学共通科目開講日)				
10月10日 金		全学共通科目 Communicative English III N (Willey, 佐藤, 長井) 209.301.303	医学部祭 (午後休講)		

太枠内は選択科目及び自由科目を示す。

第3週

3	I	II	III	IV	V
	8:50-10:20	10:30-12:00	13:00-14:30	14:40-16:10	16:20-17:50
10月13日 月	体育の日				
10月14日 火	精神援助論 (渡邊) 301	微生物学B (ウイルス学, 真菌学) (藤井) 209	老年援助論 (大森) 209	看護統計論 (清水, ※荒川) 209, マルチ	看護統計論 (清水, ※荒川) 209, マルチ
10月15日 水	小児援助論 (谷本) 301	在宅看護学概論 (松井) 301	看護と法規 (名越, 大西, 木下, 豊嶋 ※藤本, ※馬場) 301	機能再生医療学 (峠, 他) 301	
月曜日振替 10月16日 木		基礎看護技術論 (南) 305	小児保健対象論 (谷本, 他) 305	成人終末期援助論 (金正) 305	免疫学 (筒井) 305
10月17日 金		全学共通科目 Communicative English III N (Willey, 佐藤, 長井) 209.301.303	成人リハビリテーション期 援助論 (當日) 209	(看・保)公衆衛生 看護学概論 (大西) 209	

太枠内は選択科目及び自由科目を示す。

第4週

4	I	II	III	IV	V
	8:50-10:20	10:30-12:00	13:00-14:30	14:40-16:10	16:20-17:50
10月20日 月		基礎看護技術論 (南) 305	小児保健対象論 (谷本, 他) 305	成人終末期援助論 (金正) 305	免疫学 (筒井) 305
10月21日 火	精神援助論 (渡邊) 301	微生物学B (ウイルス学, 真菌学) (藤井) 209	老年援助論 (大森) 209	看護統計論 (清水, ※荒川) 209, マルチ	看護統計論 (清水, ※荒川) 209, マルチ
10月22日 水	小児援助論 (谷本) 301	在宅看護学概論 (松井) 301	看護と法規 (名越, 大西, 木下, 豊嶋 ※藤本, ※馬場) 301	機能再生医療学 (峠, 他) 301	
10月23日 木	幸町キャンパス (養教1種教職科目開講日 (I~V時限)・全学共通科目開講日)				
10月24日 金		全学共通科目 Communicative English III N (Willey, 佐藤, 長井) 209.301.303	成人リハビリテーション期 援助論 (當日) 209	(看・保)公衆衛生 看護学概論 (大西) 209	

太枠内は選択科目及び自由科目を示す。

第5週

5	I	II	III	IV	V
	8:50-10:20	10:30-12:00	13:00-14:30	14:40-16:10	16:20-17:50
10月27日 月		基礎看護技術論 (南) 305	小児保健対象論 (谷本, 他) 305	成人終末期援助論 (金正) 305	免疫学 (筒井) 305
10月28日 火	精神援助論 (渡邊) 301	微生物学B (ウイルス学, 真菌学) (藤井) 209	老年援助論 (大森) 209	看護統計論 (清水, ※荒川) 209, マルチ	看護統計論 (清水, ※荒川) 209, マルチ
10月29日 水	小児援助論 (谷本) 301	在宅看護学概論 (松井) 301	看護と法規 (名越, 大西, 木下, 豊嶋 ※藤本, ※馬場) 301	機能再生医療学 (峠, 他) 301	
10月30日 木	幸町キャンパス (養教1種教職科目開講日 (I~V時限)・全学共通科目開講日)				
10月31日 金		全学共通科目 Communicative English III N (Willey, 佐藤, 長井) 209.301.303	成人リハビリテーション期 援助論 (當日) 209	(看・保)公衆衛生 看護学概論 (大西) 209	

太枠内は選択科目及び自由科目を示す。

第6週

6	I	II	III	IV	V
	8:50-10:20	10:30-12:00	13:00-14:30	14:40-16:10	16:20-17:50
11月3日 月	文化の日				
11月4日 火	精神援助論 (渡邊) 301	微生物学B (ウイルス学, 真菌学) (藤井) 209	老年援助論 (大森) 209		
月曜日振替 11月5日 水		基礎看護技術論 (南) 305	小児保健対象論 (谷本, 他) 305	成人終末期援助論 (金正) 305	免疫学 (筒井) 305
11月6日 木	幸町キャンパス (養教1種教職科目開講日 (I~V時限)・全学共通科目開講日)				
11月7日 金		全学共通科目 Communicative English III N (Willey, 佐藤, 長井) 209.301.303	成人リハビリテーション期 援助論 (當日) 209	(看・保)公衆衛生 看護学概論 (大西) 209	

太枠内は選択科目及び自由科目を示す。

第7週

7	I	II	III	IV	V
	8:50-10:20	10:30-12:00	13:00-14:30	14:40-16:10	16:20-17:50
11月10日 月		基礎看護技術論 (南) 305	小児保健対象論 (谷本, 他) 305	成人終末期援助論 (金正) 305	免疫学 (筒井) 305
11月11日 火	精神援助論 (渡邊) 301	微生物学B (ウイルス学, 真菌学) (藤井) 209	老年援助論 (大森) 209		
11月12日 水	小児援助論 (谷本) 301	在宅看護学概論 (松井) 301	看護と法規 (名越, 大西, 木下, 豊嶋 ※藤本, ※馬場) 301	機能再生医療学 (峠, 他) 301	
11月13日 木	幸町キャンパス (養教1種教職科目開講日 (I~V時限)・全学共通科目開講日)				
11月14日 金		全学共通科目 Communicative English III N (Willey, 佐藤, 長井) 209.301.303	成人リハビリテーション期 援助論 (當日) 209	(看・保)公衆衛生 看護学概論 (大西) 209	

太枠内は選択科目及び自由科目を示す。

第8週

8	I	II	III	IV	V
	8:50-10:20	10:30-12:00	13:00-14:30	14:40-16:10	16:20-17:50
11月17日 月		基礎看護技術論 (南) 305	小児保健対象論 (谷本, 他) 305	成人終末期援助論 (金正) 305	免疫学 (筒井) 305
11月18日 水	精神援助論 (渡邊) 301	微生物学B (ウイルス学, 真菌学) (藤井) 209	老年援助論 (大森) 209		
11月19日 水	小児援助論 (谷本) 301	在宅看護学概論 (松井) 301	看護と法規 (名越, 大西, 木下, 豊嶋 ※藤本, ※馬場) 301	機能再生医療学 (峠, 他) 301	
11月20日 木	幸町キャンパス (養教1種教職科目開講日 (I~V時限)・全学共通科目開講日)				
11月21日 金		全学共通科目 Communicative English III N (Willey, 佐藤, 長井) 209,301,303		推薦入試準備	

太枠内は選択科目及び自由科目を示す。

第9週

9	I	II	III	IV	V
	8:50-10:20	10:30-12:00	13:00-14:30	14:40-16:10	16:20-17:50
11月24日 月	振替休日				
11月25日 火	精神援助論 (渡邊) 301	微生物学B (ウイルス学, 真菌学) (藤井) 209	老年援助論 (大森) 209	家族看護学 (松井) 209	
11月26日 水	小児援助論 (谷本) 301	在宅看護学概論 (松井) 301	看護と法規 (名越, 大西, 木下, 豊嶋 ※藤本, ※馬場) 301	機能再生医療学 (峠, 他) 301	
月曜日振替 11月27日 木		基礎看護技術論 (南) 305	小児保健対象論 (谷本, 他) 305	成人終末期援助論 (金正) 305	免疫学 (筒井) 305
11月28日 金		全学共通科目 Communicative English III N (Willey, 佐藤, 長井) 209,301,303	成人リハビリテーション期 援助論 (當日) 209	(看・保)公衆衛生 看護学概論 (大西) 209	

太枠内は選択科目及び自由科目を示す。

第10週

10	I	II	III	IV	V
	8:50-10:20	10:30-12:00	13:00-14:30	14:40-16:10	16:20-17:50
12月1日 月			小児保健対象論 (谷本, 他) 305		
12月2日 火	精神援助論 (渡邊) 301	微生物学B (ウイルス学, 真菌学) (藤井) 209	老年援助論 (大森) 209	家族看護学 (松井) 209	
12月3日 水	小児援助論 (谷本) 301	在宅看護学概論 (松井) 301	看護と法規 (名越, 大西, 木下, 豊嶋 ※藤本, ※馬場) 301	機能再生医療学 (峠, 他) 301	
12月4日 木	幸町キャンパス (養教1種教職科目開講日 (I~V時限)・全学共通科目開講日)				
12月5日 金		全学共通科目 Communicative English III N (Willey, 佐藤, 長井) 209,301,303	成人リハビリテーション期 援助論 (當日) 209	(看・保)公衆衛生 看護学概論 (大西) 209	

太枠内は選択科目及び自由科目を示す。

第11週

11	I	II	III	IV	V
	8:50-10:20	10:30-12:00	13:00-14:30	14:40-16:10	16:20-17:50
12月8日 月			小児保健対象論 (谷本, 他) 305	母性疾病論 (佐々木, ※塩田) 301	母性疾病論 (佐々木, ※塩田) 301
12月9日 火	精神援助論 (渡邊) 301	微生物学B (ウイルス学, 真菌学) (藤井) 209	老年援助論 (大森) 209	家族看護学 (松井) 209	
12月10日 水	小児援助論 (谷本) 301	在宅看護学概論 (松井) 301	看護と法規 (名越, 大西, 木下, 豊嶋 ※藤本, ※馬場) 301		
12月11日 木	幸町キャンパス (養教1種教職科目開講日 (I~V時限)・全学共通科目開講日)				
12月12日 金		全学共通科目 Communicative English III N (Wiley, 佐藤, 長井) 209,301,303	成人リハビリテーション期 援助論 (當日) 209	(看・保)公衆衛生 看護学概論 (大西) 209	

太枠内は選択科目及び自由科目を示す。

第12週

12	I	II	III	IV	V
	8:50-10:20	10:30-12:00	13:00-14:30	14:40-16:10	16:20-17:50
12月15日 月			小児保健対象論 (谷本, 他) 305		
12月16日 火	精神援助論 (渡邊) 301	微生物学B (ウイルス学, 真菌学) (藤井) 209	老年援助論 (大森) 209	家族看護学 (松井) 209	
12月17日 水	小児援助論 (谷本) 301	在宅看護学概論 (松井) 301	看護と法規 (名越, 大西, 木下, 豊嶋 ※藤本, ※馬場) 301		
12月18日 木	幸町キャンパス (養教1種教職科目開講日 (I~V時限)・全学共通科目開講日)				
12月19日 金		全学共通科目 Communicative English III N (Wiley, 佐藤, 長井) 209,301,303	成人リハビリテーション期 援助論 (當日) 209	(看・保)公衆衛生 看護学概論 (大西) 209	

太枠内は選択科目及び自由科目を示す。

第13週

12	I	II	III	IV	V
	8:50-10:20	10:30-12:00	13:00-14:30	14:40-16:10	16:20-17:50
12月22日 月			小児保健対象論 (谷本, 他) 305	母性疾病論 (佐々木, ※塩田) 301	母性疾病論 (佐々木, ※塩田) 301
12月23日 火	天皇誕生日				
12月24日 水	小児援助論 (谷本) 301	在宅看護学概論 (松井) 301	看護と法規 (名越, 大西, 木下, 豊嶋 ※藤本, ※馬場) 301		
12月25日 木	冬季休業				
12月26日 金	冬季休業				

太枠内は選択科目及び自由科目を示す。

第14週

13	I	II	III	IV	V
	8:50-10:20	10:30-12:00	13:00-14:30	14:40-16:10	16:20-17:50
1月5日 月	冬季休業				
1月6日 火	冬季休業				
1月7日 水	冬季休業				
1月8日 木	幸町キャンパス (養教1種教職科目開講日 (I~V時限)・全学共通科目開講日)				
1月9日 金		全学共通科目 Communicative English III N (Wiley, 佐藤, 長井) 209.301.303	成人リハビリテーション期 援助論 (當目) 209	(看・保)公衆衛生 看護学概論 (大西) 209	

太枠内は選択科目及び自由科目を示す。

第15週

14	I	II	III	IV	V
	8:50-10:20	10:30-12:00	13:00-14:30	14:40-16:10	16:20-17:50
1月12日 月	成人の日				
1月13日 火	精神援助論 (渡邊) 301	微生物学B (ウイルス学, 真菌学) (藤井) 209	老年援助論 (大森) 209	家族看護学 (松井) 209	
1月14日 水	小児援助論 (谷本) 301	在宅看護学概論 (松井) 301	看護と法規 (名越, 大西, 木下, 豊嶋 ※藤本, ※馬場) 301	母性疾病論 (佐々木, ※塩田) 301	母性疾病論 (佐々木, ※塩田) 301
1月15日 木	幸町キャンパス (養教1種教職科目開講日 (I~V時限)・全学共通科目開講日)				
1月16日 金	センター試験準備				

太枠内は選択科目及び自由科目を示す。

第16週

15	I	II	III	IV	V
	8:50-10:20	10:30-12:00	13:00-14:30	14:40-16:10	16:20-17:50
1月19日 月			小児保健対象論 (谷本, 他) 305		
1月20日 火	精神援助論 (渡邊) 301	微生物学B (ウイルス学, 真菌学) (藤井) 209	老年援助論 (大森) 209	家族看護学 (松井) 209	
1月21日 水	小児援助論 (谷本) 301	在宅看護学概論 (松井) 301	看護と法規 (名越, 大西, 木下, 豊嶋 ※藤本, ※馬場) 301		
1月22日 木	幸町キャンパス (養教1種教職科目開講日 (I~V時限)・全学共通科目開講日)				
1月23日 金		全学共通科目 Communicative English III N (Wiley, 佐藤, 長井) 209.301.303	成人リハビリテーション期 援助論 (當目) 209	(看・保)公衆衛生 看護学概論 (大西) 209	

太枠内は選択科目及び自由科目を示す。

第17週

16	I	II	III	IV	V
	8:50-10:20	10:30-12:00	13:00-14:30	14:40-16:10	16:20-17:50
1月26日 月			小児保健対象論 (谷本, 他) 305	母性疾病論 (佐々木, ※塩田) 301	母性疾病論 (佐々木, ※塩田) 301
1月27日 火	精神援助論 (渡邊) 301	微生物学B (ウイルス学, 真菌学) (藤井) 209	老年援助論 (大森) 209	家族看護学 (松井) 209	
1月28日 水	小児援助論 (谷本) 301	在宅看護学概論 (松井) 301	看護と法規 (名越, 大西, 木下, 豊嶋 ※藤本, ※馬場) 301		
1月29日 木	幸町キャンパス (養教1種教職科目開講日 (I~V時限)・全学共通科目開講日)				
1月30日 金		全学共通科目 Communicative English III N (Wiley, 佐藤, 長井) 209,301,303	成人リハビリテーション期 援助論 (當日) 209	(看・保)公衆衛生 看護学概論 (大西) 209	

ヘルスアセスメント 後期2月補講期間に集中講義

第18週

17	I	II	III	IV	V
	8:50-10:20	10:30-12:00	13:00-14:30	14:40-16:10	16:20-17:50
2月2日 月			小児保健対象論 (谷本, 他) 305	母性疾病論 (佐々木, ※塩田) 301	
2月3日 火	精神援助論 (渡邊) 301	微生物学B (ウイルス学, 真菌学) (藤井) 209	老年援助論 (大森) 209	家族看護学 (松井) 209	
2月4日 水	小児援助論 (谷本) 301	在宅看護学概論 (松井) 301	看護と法規 (名越, 大西, 木下, 豊嶋 ※藤本, ※馬場) 301		
2月5日 木	幸町キャンパス (養教1種教職科目開講日 (I~V時限)・全学共通科目開講日)				
2月6日 金		全学共通科目 Communicative English III N (Wiley, 佐藤, 長井) 209,301,303	成人リハビリテーション期 援助論 (當日) 209	(看・保)公衆衛生 看護学概論 (大西) 209	

第19週

18	I	II	III	IV	V
	8:50-10:20	10:30-12:00	13:00-14:30	14:40-16:10	16:20-17:50
2月9日 月	公衆衛生学 (第2学期末試験)				
2月10日 火	公衆衛生学 (第2学期末試験)				
2月11日 水	建国記念の日				
2月12日 木	公衆衛生学 (第2学期末試験)				
2月13日 金	公衆衛生学 (第2学期末試験)				

第20週

19	I	II	III	IV	V
	8:50-10:20	10:30-12:00	13:00-14:30	14:40-16:10	16:20-17:50
水曜日の試験 2月16日 月	補講期間（第2学期末試験 水曜日の試験実施）				
2月17日 火	補講期間 試験予備日				
2月18日 水	補講期間 試験予備日				
2月19日 木	補講期間 試験予備日				
2月20日 金	補講期間 試験予備日				

第21週

20	I	II	III	IV	V
	8:50-10:20	10:30-12:00	13:00-14:30	14:40-16:10	16:20-17:50
2月23日 月	補講期間 試験予備日				
2月24日 火	補講期間		前期入試準備		
2月25日 水	前期入試				
2月26日 木	前期入試				
2月27日 金	補講期間				

第22週

21	I	II	III	IV	V
	8:50-10:20	10:30-12:00	13:00-14:30	14:40-16:10	16:20-17:50
3月2日 月	補講期間				
3月3日 火	補講期間				
3月4日 水	補講期間				
3月5日 木	補講期間				
3月6日 金	補講期間				

平成26年度 講義・実習時間割 3年次生

前期

第1週

1	I	II	III	IV	V
	8:50-10:20	10:30-12:00	13:00-14:30	14:40-16:10	16:20-17:50
4月1日 火					
4月2日 水					
4月3日 木					
4月4日 金					

太枠内は選択科目及び自由科目を示す。

第2週

2	I	II	III	IV	V
	8:50-10:20	10:30-12:00	13:00-14:30	14:40-16:10	16:20-17:50
4月7日 月					
4月8日 火			(保)公衆衛生統計論 (真鍋) 303	看護倫理 (大森, 他) 305	看護倫理 (大森, 他) 305
4月9日 水		母性保健対象論 (佐々木, 他) 305			
4月10日 木	(保)公衆衛生看護対象論 (大西, 越田) 303	(保)コミュニティアセスメント論 (大西) 303	定期健康診断 (午後休講)		
4月11日 金	看護研究基礎論 (松井) 301	全学共通科目 Communicative English IV N (Willey, 岩中, 長井) 209,301,マルチ	ヘルスアセスメント (全教員)	ヘルスアセスメント (全教員)	(養)養護原論 303

太枠内は選択科目及び自由科目を示す。

第3週

3	I	II	III	IV	V
	8:50-10:20	10:30-12:00	13:00-14:30	14:40-16:10	16:20-17:50
4月14日 月	(養)学校保健 (注: 本学・教育学部で実施)	(保)疫学 (藤井) 303			全学共通科目 「上級英語」 医学部キャンパス(Willey) 大B
4月15日 火		看護研究基礎論 (當日, 谷本)	(保)公衆衛生統計論 (真鍋)	看護倫理 (大森, 他) 305	看護倫理 (大森, 他) 305
4月16日 水		母性保健対象論 (佐々木, 他) 305	ヘルスアセスメント (全教員)	ヘルスアセスメント (全教員)	
4月17日 木	(保)公衆衛生看護対象論 (大西, 越田) 303	(保)コミュニティアセスメント論 (大西) 303	(保)健康教育論 (越田) 303	(保・養)保健医療福祉行政論 (大西, ※星川, ※須那, 他) 303	母性援助論 (佐々木) 301
4月18日 金	看護研究基礎論 (谷本, 當日) 301	全学共通科目 Communicative English IV N (Willey, 岩中, 長井) 209,301,マルチ	ヘルスアセスメント (全教員)	ヘルスアセスメント (全教員)	(養)養護原論 303

太枠内は選択科目及び自由科目を示す。

第4週

4	I	II	III	IV	V
	8:50-10:20	10:30-12:00	13:00-14:30	14:40-16:10	16:20-17:50
4月21日 月	(養)学校保健 (注:本学・教育学部で実施)	(保)疫学 (藤井) 303			全学共通科目 「上級英語」 医学部キャンパス(Willey) 大B
4月22日 火	看護研究基礎論 (谷本, 當日) 305	看護研究基礎論 (大森) 305	(保)公衆衛生統計論 (真鍋)	看護倫理 (大森, 他) 305	看護倫理 (大森, 他) 305
4月23日 水		母性保健対象論 (佐々木, 他) 305	ヘルスアセスメント (全教員)	ヘルスアセスメント (全教員)	
4月24日 木	(保)公衆衛生看護対象論 (大西, 越田) 303	(保)コミュニティアセスメント論 (大西) 303	(保)健康教育論 (越田) 303	(保・養)保健医療福祉行政論 (大西, ※星川, ※須那, 他) 303	母性援助論 (佐々木) 301
4月25日 金	看護研究基礎論 (大西) 301	全学共通科目 Communicative English IV N (Willey, 岩中, 長井) 209,301,マルチ	ヘルスアセスメント (全教員)	ヘルスアセスメント (全教員)	(養)養護原論 303

太枠内は選択科目及び自由科目を示す。

第5週

5	I	II	III	IV	V
	8:50-10:20	10:30-12:00	13:00-14:30	14:40-16:10	16:20-17:50
4月28日 月	(養)学校保健 (注:本学・教育学部で実施)	(保)疫学 (藤井) 303			全学共通科目 「上級英語」 医学部キャンパス(Willey) 大B
4月29日 火	昭和の日				
4月30日 水		母性保健対象論 (佐々木, 他) 305	ヘルスアセスメント (全教員)	ヘルスアセスメント (全教員)	
火曜日振替 5月1日 木			(保)公衆衛生統計論 (真鍋)	看護倫理 (大森, 他) 305	看護倫理 (大森, 他) 305
5月2日 金	看護研究基礎論 (清水) 301	全学共通科目 Communicative English IV N (Willey, 岩中, 長井) 209,301,マルチ	ヘルスアセスメント (全教員)	ヘルスアセスメント (全教員)	(養)養護原論 303

太枠内は選択科目及び自由科目を示す。

第6週

6	I	II	III	IV	V
	8:50-10:20	10:30-12:00	13:00-14:30	14:40-16:10	16:20-17:50
5月5日 月	こどもの日				
5月6日 火	振替休日				
月曜日振替 5月7日 水	(養)学校保健 (注:本学・教育学部で実施)	(保)疫学 (藤井) 303			全学共通科目 「上級英語」 医学部キャンパス(Willey) 大B
5月8日 木	(保)公衆衛生看護対象論 (大西, 越田) 303	(保)コミュニティアセスメント論 (大西) 303	(保)健康教育論 (越田) 303	(保・養)保健医療福祉行政論 (大西, ※星川, ※須那, 他) 303	母性援助論 (佐々木) 301
火曜日振替 5月9日 金			(保)公衆衛生統計論 (真鍋)	看護倫理 (大森, 他) 305	看護倫理 (大森, 他) 305

太枠内は選択科目及び自由科目を示す。

第7週

7	I	II	III	IV	V
	8:50-10:20	10:30-12:00	13:00-14:30	14:40-16:10	16:20-17:50
5月12日 月	(養)学校保健 (注:本学・教育学部で実施)	(保)疫学 (藤井) 303			全学共通科目 「上級英語」 医学部キャンパス(Willey) 大B
5月13日 火	看護研究基礎論 (清水, 松井, 藤井) マルチ	看護研究基礎論 (清水, 松井, 藤井) マルチ	(保)公衆衛生統計論 (真鍋)	看護倫理 (大森, 他) 305	看護倫理 (大森, 他) 305
5月14日 水		母性保健対象論 (佐々木, 他) 305			
5月15日 木	(保)公衆衛生看護対象論 (大西, 越田) 303	(保)コミュニティアセスメント論 (大西) 303	(保)健康教育論 (越田) 303	(保・養)保健医療福祉行政論 (大西, ※星川, ※須那, 他) 303	母性援助論 (佐々木) 301
5月16日 金	看護研究基礎論 (佐々木) 301	全学共通科目 Communicative English IV N (Willey, 岩中, 長井) 209,301,マルチ			(養)養護原論 303

太枠内は選択科目及び自由科目を示す。

第8週

8	I	II	III	IV	V
	8:50-10:20	10:30-12:00	13:00-14:30	14:40-16:10	16:20-17:50
5月19日 月	(養)学校保健 (注:本学・教育学部で実施)	(保)疫学 (藤井) 303			全学共通科目 「上級英語」 医学部キャンパス(Willey) 大B
5月20日 火	看護研究基礎論 (峠) 305	看護研究基礎論 (名越) 305	(保)公衆衛生統計論 (真鍋)	看護倫理 (大森, 他) 305	看護倫理 (大森, 他) 305
5月21日 水		母性保健対象論 (佐々木, 他) 305	看護クリティカルシンキング (清水)305		
5月22日 木	(保)公衆衛生看護対象論 (大西, 越田) 303	(保)コミュニティアセスメント論 (大西) 303	(保)健康教育論 (越田) 303	(保・養)保健医療福祉行政論 (大西, ※星川, ※須那, 他) 303	母性援助論 (佐々木) 301
5月23日 金		全学共通科目 Communicative English IV N (Willey, 岩中, 長井) 209,301,マルチ	看護と国際社会 (谷本, 他)301	看護と国際社会 (谷本, 他)301	(養)養護原論 303

太枠内は選択科目及び自由科目を示す。

第9週

9	I	II	III	IV	V
	8:50-10:20	10:30-12:00	13:00-14:30	14:40-16:10	16:20-17:50
5月26日 月	(養)学校保健 (注:本学・教育学部で実施)	(保)疫学 (藤井) 303			全学共通科目 「上級英語」 医学部キャンパス(Willey) 大B
5月27日 火	看護研究基礎論 (藤井, 佐々木, 清水, 松井) 305	看護研究基礎論 (藤井, 佐々木, 清水, 松井) 305	(保)公衆衛生統計論 (真鍋)	看護倫理 (大森, 他) 305	看護倫理 (大森, 他) 305
5月28日 水		母性保健対象論 (佐々木, 他) 305	看護クリティカルシンキング (清水)305	看護クリティカルシンキング (清水)305	
5月29日 木	(保)公衆衛生看護対象論 (大西, 越田) 303	(保)コミュニティアセスメント論 (大西) 303	(保)健康教育論 (越田) 303	(保・養)保健医療福祉行政論 (大西, ※星川, ※須那, 他) 303	母性援助論 (佐々木) 301
5月30日 金		全学共通科目 Communicative English IV N (Willey, 岩中, 長井) 209,301,マルチ	看護と国際社会 (谷本, 他)301	看護と国際社会 (谷本, 他)301	(養)養護原論 303

太枠内は選択科目及び自由科目を示す。

第10週

10	I	II	III	IV	V
	8:50-10:20	10:30-12:00	13:00-14:30	14:40-16:10	16:20-17:50
6月2日 月	(養)学校保健 (注:本学・教育学部で実施)	(保)疫学 (藤井) 303			全学共通科目 「上級英語」 医学部キャンパス(Willey) 大B
6月3日 火	成人看護学演習 (當目, 清水, 金正) 305	成人看護学演習 (當目, 清水, 金正) 305	(保)公衆衛生統計論 (真鍋)	在宅援助論 (松井) 305	在宅援助論 (松井) 305
6月4日 水		母性保健対象論 (佐々木, 他) 305	看護クリティカルシンキング (清水)305	看護クリティカルシンキング (清水)305	
6月5日 木	(保)公衆衛生看護対象論 (大西, 越田) 303	(保)コミュニティアセスメント論 (大西) 303	(保)健康教育論 (越田) 303	(保・養)保健医療福祉行政論 (大西, ※星川, ※須那, 他) 303	母性援助論 (佐々木) 301
6月6日 金		全学共通科目 Communicative English IV N (Willey, 岩中, 長井) 209,301,マル子	看護と国際社会 (谷本, 他)301	看護と国際社会 (谷本, 他)301	(養)養護原論 303

太枠内は選択科目及び自由科目を示す。

第11週

11	I	II	III	IV	V
	8:50-10:20	10:30-12:00	13:00-14:30	14:40-16:10	16:20-17:50
6月9日 月	(養)学校保健 (注:本学・教育学部で実施)	(保)疫学 (藤井) 303			全学共通科目 「上級英語」 医学部キャンパス(Willey) 大B
6月10日 火	成人看護学演習 (當目, 清水, 金正) 305	成人看護学演習 (當目, 清水, 金正) 305	(保)公衆衛生統計論 (真鍋)	在宅援助論 (松井) 305	在宅援助論 (松井) 305
6月11日 水		母性保健対象論 (佐々木, 他) 305			
6月12日 木	(保)公衆衛生看護対象論 (大西, 越田) 303	(保)コミュニティアセスメント論 (大西) 303	(保)健康教育論 (越田) 303	(保・養)保健医療福祉行政論 (大西, ※星川, ※須那, 他) 303	母性援助論 (佐々木) 301
6月13日 金		全学共通科目 Communicative English IV N (Willey, 岩中, 長井) 209,301,マル子	看護と国際社会 (谷本, 他)301	看護と国際社会 (谷本, 他)301	

太枠内は選択科目及び自由科目を示す。

第12週

12	I	II	III	IV	V
	8:50-10:20	10:30-12:00	13:00-14:30	14:40-16:10	16:20-17:50
6月16日 月	(養)学校保健 (注:本学・教育学部で実施)	(保)疫学 (藤井) 303			全学共通科目 「上級英語」 医学部キャンパス(Willey) 大B
6月17日 火	成人看護学演習 (當目, 清水, 金正) 305	成人看護学演習 (當目, 清水, 金正) 305	(保)公衆衛生統計論 (真鍋)	在宅援助論 (松井) 305	在宅援助論 (松井) 305
6月18日 水		母性保健対象論 (佐々木, 他) 305	看護クリティカルシンキング (清水)305		
6月19日 木	(保)公衆衛生看護対象論 (大西, 越田) 303	(保)コミュニティアセスメント論 (大西) 303	(保)健康教育論 (越田) 303	(保・養)保健医療福祉行政論 (大西, ※星川, ※須那, 他) 303	母性援助論 (佐々木) 301
6月20日 金		全学共通科目 Communicative English IV N (Willey, 岩中, 長井) 209,301,マル子			

太枠内は選択科目及び自由科目を示す。

第13週

13	I	II	III	IV	V
	8:50-10:20	10:30-12:00	13:00-14:30	14:40-16:10	16:20-17:50
6月23日 月	(養)学校保健 (注:本学・教育学部で実施)	(保)疫学 (藤井) 303			全学共通科目 「上級英語」 医学部キャンパス(Willey) 大B
6月24日 火	成人看護学演習 (當日, 清水, 金正) 305	成人看護学演習 (當日, 清水, 金正) 305	(保)公衆衛生統計論 (真鍋)	在宅援助論 (松井) 305	在宅援助論 (松井) 305
6月25日 水		母性保健対象論 (佐々木, 他) 305	看護クリティカルシンキング (清水)305	看護クリティカルシンキング (清水)305	看護クリティカルシンキング (清水)305
6月26日 木	(保)公衆衛生看護対象論 (大西, 越田) 303	(保)コミュニティアセスメント論 (大西) 303	(保)健康教育論 (越田) 303	(保・養)保健医療福祉行政論 (大西, ※星川, ※須那, 他) 303	母性援助論 (佐々木) 301
6月27日 金		全学共通科目 Communicative English IV N (Willey, 岩中, 長井) 209,301,マルチ			

太枠内は選択科目及び自由科目を示す。

第14週

14	I	II	III	IV	V
	8:50-10:20	10:30-12:00	13:00-14:30	14:40-16:10	16:20-17:50
6月30日 月	(養)学校保健 (注:本学・教育学部で実施)	(保)疫学 (藤井) 303			全学共通科目 「上級英語」 医学部キャンパス(Willey) 大B
7月1日 火	成人看護学演習 (當日, 清水, 金正) 305	成人看護学演習 (當日, 清水, 金正) 305	(保)公衆衛生統計論 (真鍋)	在宅援助論 (松井) 305	在宅援助論 (松井) 305
7月2日 水		母性保健対象論 (佐々木, 他) 305	ヘルスアセスメント (全教員)	ヘルスアセスメント (全教員)	
7月3日 木	(保)公衆衛生看護対象論 (大西, 越田) 303	(保)コミュニティアセスメント論 (大西) 303	(保)健康教育論 (越田) 303	(保・養)保健医療福祉行政論 (大西, ※星川, ※須那, 他) 303	母性援助論 (佐々木) 301
7月4日 金		全学共通科目 Communicative English IV N (Willey, 岩中, 長井) 209,301,マルチ	(保)学校保健 I (中西)305	(保)学校保健 I (中西)305	

太枠内は選択科目及び自由科目を示す。

第15週

15	I	II	III	IV	V
	8:50-10:20	10:30-12:00	13:00-14:30	14:40-16:10	16:20-17:50
7月7日 月	(養)学校保健 (注:本学・教育学部で実施)	(保)疫学 (藤井) 303			全学共通科目 「上級英語」 医学部キャンパス(Willey) 大B
7月8日 火	成人看護学演習 (當日, 清水, 金正) 305	成人看護学演習 (當日, 清水, 金正) 305	(保)公衆衛生統計論 (真鍋)	在宅援助論 (松井) 305	在宅援助論 (松井) 305
7月9日 水		母性保健対象論 (佐々木, 他) 305	ヘルスアセスメント (全教員)	ヘルスアセスメント (全教員)	
7月10日 木	(保)公衆衛生看護対象論 (大西, 越田) 303	(保)コミュニティアセスメント論 (大西) 303	(保)健康教育論 (越田) 303	(保・養)保健医療福祉行政論 (大西, ※星川, ※須那, 他) 303	母性援助論 (佐々木) 301
7月11日 金		全学共通科目 Communicative English IV N (Willey, 岩中, 長井) 209,301,マルチ	(保)学校保健 I (中西)305	(保)学校保健 I (中西)305	

太枠内は選択科目及び自由科目を示す。

第16週

16	I	II	III	IV	V
	8:50-10:20	10:30-12:00	13:00-14:30	14:40-16:10	16:20-17:50
7月14日 月	(養)学校保健 (注:本学・教育学部で実施)	(保)疫学 (藤井) 303			全学共通科目 「上級英語」 医学部キャンパス(Willey) 大B
7月15日 火	成人看護学演習 (當目, 清水, 金正) 305	成人看護学演習 (當目, 清水, 金正) 305	(保)公衆衛生統計論 (真鍋)	在宅援助論 (松井) 305	在宅援助論 (松井) 305
7月16日 水		母性保健対象論 (佐々木, 他) 305	ヘルスアセスメント (全教員)	ヘルスアセスメント (全教員)	
7月17日 木	(保)公衆衛生看護対象論 (大西, 越田) 303	(保)コミュニティアセスメント論 (大西) 303	(保)健康教育論 (越田) 303	(保・養)保健医療福祉行政論 (大西, ※星川, ※須那, 他) 303	母性援助論 (佐々木) 301
7月18日 金		全学共通科目 Communicative English IV N (Willey, 岩中, 長井) 209,301,マルチ	(保)学校保健 I (中西)305	(保)学校保健 I (中西)305	
7月19日 土	授業予備日				

太枠内は選択科目及び自由科目を示す。

第17週

17	I	II	III	IV	V
	8:50-10:20	10:30-12:00	13:00-14:30	14:40-16:10	16:20-17:50
7月21日 月	海の日				
7月22日 火	成人看護学演習 (當目, 清水, 金正) 305	成人看護学演習 (當目, 清水, 金正) 305	(保)公衆衛生統計論 (真鍋)	在宅援助論 (松井) 305	在宅援助論 (松井) 305
7月23日 水		母性保健対象論 (佐々木, 他) 305	ヘルスアセスメント (全教員)	ヘルスアセスメント (全教員)	
7月24日 木	(保)公衆衛生看護対象論 (大西, 越田) 303	(保)コミュニティアセスメント論 (大西) 303	(保)健康教育論 (越田) 303	(保・養)保健医療福祉行政論 (大西, ※星川, ※須那, 他) 303	母性援助論 (佐々木) 301
7月25日 金		全学共通科目 Communicative English IV N (Willey, 岩中, 長井) 209,301,マルチ	(保)学校保健 I (中西)305	(保)学校保健 I (中西)305	
7月26日 土	授業予備日				

太枠内は選択科目及び自由科目を示す。

第18週

18	I	II	III	IV	V
	8:50-10:20	10:30-12:00	13:00-14:30	14:40-16:10	16:20-17:50
7月28日 月	(養)学校保健 (注:本学・教育学部で実施)	(保)疫学 (藤井) 303			全学共通科目 「上級英語」 医学部キャンパス(Willey) 大B
7月29日 火	第一学期末試験				
7月30日 水	第一学期末試験				
7月31日 木	第一学期末試験				
8月1日 金	第一学期末試験				

太枠内は選択科目及び自由科目を示す。

第19週

19	I	II	III	IV	V
	8:50-10:20	10:30-12:00	13:00-14:30	14:40-16:10	16:20-17:50
8月4日 月	第一学期末試験				
8月5日 火					
8月6日 水	補講・試験予備日				
8月7日 木	補講・試験予備日				
8月8日 金	補講・試験予備日				

第20週

20	I	II	III	IV	V
	8:50-10:20	10:30-12:00	13:00-14:30	14:40-16:10	16:20-17:50
9月1日 月	補講期間				
9月2日 火	補講期間				
9月3日 水	補講期間				
9月4日 木	補講期間				
9月5日 金	補講期間				

第21週

21	I	II	III	IV	V
	8:50-10:20	10:30-12:00	13:00-14:30	14:40-16:10	16:20-17:50
9月8日 月	補講期間				
9月9日 火	補講期間				
9月10日 水	補講期間				
9月11日 木	補講期間				
9月12日 金	補講期間				

第22週

22	I	II	III	IV	V
	8:50-10:20	10:30-12:00	13:00-14:30	14:40-16:10	16:20-17:50
9月15日 月	敬老の日				
9月16日 火	臨地実習				
9月17日 水	臨地実習				
9月18日 木	臨地実習				
9月19日 金	臨地実習				

第23週

23	I	II	III	IV	V
	8:50-10:20	10:30-12:00	13:00-14:30	14:40-16:10	16:20-17:50
9月22日 月	臨地実習				
9月23日 火	秋分の日				
9月24日 水	臨地実習				
9月25日 木	臨地実習				
9月26日 金	臨地実習				

後期

第1週

1	I	II	III	IV	V
	8:50-10:20	10:30-12:00	13:00-14:30	14:40-16:10	16:20-17:05
9月29日 月	臨地実習				
9月30日 火	臨地実習				
10月1日 水	大学記念日				
10月2日 木	臨地実習				
10月3日 金	臨地実習				

第2週

2	I	II	III	IV	V
	8:50-10:20	10:30-12:00	13:00-14:30	14:40-16:10	16:20-17:05
10月6日 月	臨地実習				
10月7日 火	臨地実習				
10月8日 水	臨地実習				
10月9日 木	臨地実習				
10月10日 金	臨地実習		医学部祭(午後休講)		

第3週

3	I	II	III	IV	V
	8:50-10:20	10:30-12:00	13:00-14:30	14:40-16:10	16:20-17:05
10月13日 月	体育の日				
10月14日 火	臨地実習				
10月15日 水	臨地実習				
月曜日振替 10月16日 木	臨地実習				
10月17日 金	臨地実習				

第4週

4	I	II	III	IV	V
	8:50-10:20	10:30-12:00	13:00-14:30	14:40-16:10	16:20-17:05
10月20日 月	臨地実習				
10月21日 火	臨地実習				
10月22日 水	臨地実習				
10月23日 木	臨地実習				
10月24日 金	臨地実習				

第5週

5	I	II	III	IV	V
	8:50-10:20	10:30-12:00	13:00-14:30	14:40-16:10	16:20-17:05
10月27日 月	臨地実習				
10月28日 火	臨地実習				
10月29日 水	臨地実習				
10月30日 木	臨地実習				
10月31日 金	臨地実習				

第6週

6	I	II	III	IV	V
	8:50-10:20	10:30-12:00	13:00-14:30	14:40-16:10	16:20-17:05
11月3日 月	文化の日				
11月4日 火	臨地実習				
月曜日振替 11月5日 水	臨地実習				
11月6日 木	臨地実習				
11月7日 金	臨地実習				

第7週

7	I	II	III	IV	V
	8:50-10:20	10:30-12:00	13:00-14:30	14:40-16:10	16:20-17:05
11月10日 月	臨地実習				
11月11日 火	臨地実習				
11月12日 水	臨地実習				
11月13日 木	臨地実習				
11月14日 金	臨地実習				

第8週

8	I	II	III	IV	V
	8:50-10:20	10:30-12:00	13:00-14:30	14:40-16:10	16:20-17:05
11月17日 月	臨地実習				
11月18日 火	臨地実習				
11月19日 水	臨地実習				
11月20日 木	臨地実習				
11月21日 金	臨地実習				

第9週

9	I	II	III	IV	V
	8:50-10:20	10:30-12:00	13:00-14:30	14:40-16:10	16:20-17:05
11月24日 月	振替休日				
11月25日 火	臨地実習				
11月26日 水	臨地実習				
月曜日振替 11月27日 木	臨地実習				
11月28日 金	臨地実習				

第10週

10	I	II	III	IV	V
	8:50-10:20	10:30-12:00	13:00-14:30	14:40-16:10	16:20-17:05
12月1日 月	臨地実習				
12月2日 火	臨地実習				
12月3日 水	臨地実習				
12月4日 木	臨地実習				
12月5日 金	臨地実習				

第11週

11	I	II	III	IV	V
	8:50-10:20	10:30-12:00	13:00-14:30	14:40-16:10	16:20-17:05
12月8日 月	臨地実習				
12月9日 火	臨地実習				
12月10日 水	臨地実習				
12月11日 木	臨地実習				
12月12日 金	臨地実習				

第12週

12	I	II	III	IV	V
	8:50-10:20	10:30-12:00	13:00-14:30	14:40-16:10	16:20-17:05
12月15日 月	臨地実習				
12月16日 火	臨地実習				
12月17日 水	臨地実習				
12月18日 木	臨地実習				
12月19日 金	臨地実習				

第13週

13	I	II	III	IV	V
	8:50-10:20	10:30-12:00	13:00-14:30	14:40-16:10	16:20-17:05
12月22日 月	臨地実習				
12月23日 火	天皇誕生日				
12月24日 水	臨地実習				
12月25日 木	冬季休業				
12月26日 金	冬季休業				

第14週

14	I	II	III	IV	V
	8:50-10:20	10:30-12:00	13:00-14:30	14:40-16:10	16:20-17:05
1月5日 月	冬季休業				
1月6日 火	冬季休業				
1月7日 水	冬季休業				
1月8日 木	臨地実習				
1月9日 金	臨地実習				

第15週

15	I	II	III	IV	V
	8:50-10:20	10:30-12:00	13:00-14:30	14:40-16:10	16:20-17:05
1月12日 月	成人の日				
1月13日 火	臨地実習				
1月14日 水	臨地実習				
1月15日 木	臨地実習				
1月16日 金	臨地実習				

第16週

16	I	II	III	IV	V
	8:50-10:20	10:30-12:00	13:00-14:30	14:40-16:10	16:20-17:05
1月19日 月	臨地実習				
1月20日 火	臨地実習				
1月21日 水	臨地実習				
1月22日 木	臨地実習				
1月23日 金	臨地実習				

第17週

17	I	II	III	IV	V
	8:50-10:20	10:30-12:00	13:00-14:30	14:40-16:10	16:20-17:05
1月26日 月	臨地実習				
1月27日 火	臨地実習				
1月28日 水	臨地実習				
1月29日 木	臨地実習				
1月30日 金	臨地実習				

第18週

18	I	II	III	IV	V
	8:50-10:20	10:30-12:00	13:00-14:30	14:40-16:10	16:20-17:05
2月2日 月	臨地実習				
2月3日 火	臨地実習				
2月4日 水	臨地実習				
2月5日 木	臨地実習				
2月6日 金	臨地実習				

第19週

19	I	II	III	IV	V
	8:50-10:20	10:30-12:00	13:00-14:30	14:40-16:10	16:20-17:05
2月9日 月	公衆衛生学				
2月10日 火	公衆衛生学				
2月11日 水	建国記念の日				
2月12日 木	公衆衛生学				
2月13日 金	公衆衛生学				

第20週

20	I	II	III	IV	V
	8:50-10:20	10:30-12:00	13:00-14:30	14:40-16:10	16:20-17:05
水曜日振替 2月16日 月	臨地実習				
2月17日 火	臨地実習				
2月18日 水	臨地実習				
2月19日 木	臨地実習				
2月20日 金	臨地実習				

第21週

21	I	II	III	IV	V
	8:50-10:20	10:30-12:00	13:00-14:30	14:40-16:10	16:20-17:05
2月23日 月	臨地実習				
2月24日 火	臨地実習		前期入試準備		
2月25日 水	前期入試				
2月26日 木	前期入試				
2月27日 金	臨地実習				

第22週

22	I	II	III	IV	V
	8:50-10:20	10:30-12:00	13:00-14:30	14:40-16:10	16:20-17:05
3月2日 月	臨地実習				
3月3日 火	臨地実習				
3月4日 水	臨地実習				
3月5日 木	臨地実習				
3月6日 金	臨地実習				

平成26年度 講義・実習時間割 4年次生

前期

第1週

1	I	II	III	IV	V
	8:50-10:20	10:30-12:00	13:00-14:30	14:40-16:10	16:20-17:05
4月1日 火					
4月2日 水					
4月3日 木					
4月4日 金					

第2週

2	I	II	III	IV	V
	8:50-10:20	10:30-12:00	13:00-14:30	14:40-16:10	16:20-17:05
4月7日 月	臨地実習 看護研究				
4月8日 火	臨地実習 看護研究				
4月9日 水	臨地実習 看護研究				
4月10日 木	臨地実習 看護研究		定期健康診断（午後休講）		
4月11日 金	臨地実習 看護研究				

第3週

3	I	II	III	IV	V
	8:50-10:20	10:30-12:00	13:00-14:30	14:40-16:10	16:20-17:05
4月14日 月	臨地実習 看護研究				
4月15日 火	臨地実習 看護研究				
4月16日 水	臨地実習 看護研究				
4月17日 木	臨地実習 看護研究				
4月18日 金	臨地実習 看護研究				

第4週

4	I	II	III	IV	V
	8:50-10:20	10:30-12:00	13:00-14:30	14:40-16:10	16:20-17:05
4月21日 月	臨地実習 看護研究				
4月22日 火	臨地実習 看護研究				
4月23日 水	臨地実習 看護研究				
4月24日 木	臨地実習 看護研究		薬害被害に関する講義		
4月25日 金	臨地実習 看護研究				

第5週

5	I	II	III	IV	V
	8:50-10:20	10:30-12:00	13:00-14:30	14:40-16:10	16:20-17:05
4月28日 月	臨地実習 看護研究				
4月29日 火	昭和の日				
4月30日 水	臨地実習 看護研究				
火曜日振替 5月1日 木	臨地実習 看護研究				
5月2日 金	臨地実習 看護研究				

第6週

6	I	II	III	IV	V
	8:50-10:20	10:30-12:00	13:00-14:30	14:40-16:10	16:20-17:05
5月5日 月	こどもの日				
5月6日 火	振替休日				
月曜日振替 5月7日 水	臨地実習 看護研究				
5月8日 木	臨地実習 看護研究				
火曜日振替 5月9日 金	臨地実習 看護研究				

第7週

7	I	II	III	IV	V
	8:50-10:20	10:30-12:00	13:00-14:30	14:40-16:10	16:20-17:05
5月12日 月	臨地実習 看護研究				
5月13日 火	臨地実習 看護研究				
5月14日 水	臨地実習 看護研究				
5月15日 木	臨地実習 看護研究				
5月16日 金	臨地実習 看護研究				

第8週

8	I	II	III	IV	V
	8:50-10:20	10:30-12:00	13:00-14:30	14:40-16:10	16:20-17:05
5月19日 月	臨地実習 看護研究				
5月20日 火	臨地実習 看護研究				
5月21日 水	臨地実習 看護研究				
5月22日 木	臨地実習 看護研究				
5月23日 金	臨地実習 看護研究				

第9週

9	I	II	III	IV	V
	8:50-10:20	10:30-12:00	13:00-14:30	14:40-16:10	16:20-17:05
5月26日 月	臨地実習 看護研究				
5月27日 火	臨地実習 看護研究				
5月28日 水	臨地実習 看護研究				
5月29日 木	臨地実習 看護研究				
5月30日 金	臨地実習 看護研究				

第10週

10	I	II	III	IV	V
	8:50-10:20	10:30-12:00	13:00-14:30	14:40-16:10	16:20-17:05
6月2日 月	臨地実習 看護研究				
6月3日 火	臨地実習 看護研究				
6月4日 水	臨地実習 看護研究				
6月5日 木	臨地実習 看護研究				
6月6日 金	臨地実習 看護研究				

第11週

11	I	II	III	IV	V
	8:50-10:20	10:30-12:00	13:00-14:30	14:40-16:10	16:20-17:05
6月9日 月	臨地実習 看護研究				
6月10日 火	臨地実習 看護研究				
6月11日 水	臨地実習 看護研究				
6月12日 木	臨地実習 看護研究				
6月13日 金	臨地実習 看護研究				

第12週

12	I	II	III	IV	V
	8:50-10:20	10:30-12:00	13:00-14:30	14:40-16:10	16:20-17:05
6月16日 月	臨地実習 看護研究				
6月17日 火	臨地実習 看護研究				
6月18日 水	臨地実習 看護研究				
6月19日 木	臨地実習 看護研究				
6月20日 金	臨地実習 看護研究				

第13週

13	I	II	III	IV	V
	8:50-10:20	10:30-12:00	13:00-14:30	14:40-16:10	16:20-17:05
6月23日 月	臨地実習 看護研究				
6月24日 火	臨地実習 看護研究				
6月25日 水	臨地実習 看護研究				
6月26日 木	臨地実習 看護研究				
6月27日 金	臨地実習 看護研究				

第14週

14	I	II	III	IV	V
	8:50-10:20	10:30-12:00	13:00-14:30	14:40-16:10	16:20-17:05
6月30日 月	臨地実習 看護研究				
7月1日 火	臨地実習 看護研究				
7月2日 水	臨地実習 看護研究				
7月3日 木	臨地実習 看護研究				
7月4日 金	臨地実習 看護研究				

第15週

15	I	II	III	IV	V
	8:50-10:20	10:30-12:00	13:00-14:30	14:40-16:10	16:20-17:05
7月7日 月	臨地実習 看護研究				
7月8日 火	臨地実習 看護研究				
7月9日 水	臨地実習 看護研究				
7月10日 木	臨地実習 看護研究				
7月11日 金	臨地実習 看護研究				

第16週

16	I	II	III	IV	V
	8:50-10:20	10:30-12:00	13:00-14:30	14:40-16:10	16:20-17:05
7月14日 月	臨地実習 看護研究				
7月15日 火	臨地実習 看護研究				
7月16日 水	臨地実習 看護研究				
7月17日 木	臨地実習 看護研究				
7月18日 金	臨地実習 看護研究				
7月19日 土	授業予備日				

第17週

17	I	II	III	IV	V
	8:50-10:20	10:30-12:00	13:00-14:30	14:40-16:10	16:20-17:05
7月21日 月	海の日				
7月22日 火	臨地実習 看護研究				
7月23日 水	臨地実習 看護研究				
7月24日 木	臨地実習 看護研究				
7月25日 金	臨地実習 看護研究				
7月26日 土	授業予備日				

第18週

18	I	II	III	IV	V
	8:50-10:20	10:30-12:00	13:00-14:30	14:40-16:10	16:20-17:05
8月25日 月	臨地実習 看護研究				
8月26日 火	臨地実習 看護研究				
8月27日 水	臨地実習 看護研究				
8月28日 木	臨地実習 看護研究				
8月29日 金	臨地実習 看護研究				

第19週

19	I	II	III	IV	V
	8:50-10:20	10:30-12:00	13:00-14:30	14:40-16:10	16:20-17:05
9月1日 月	臨地実習 看護研究				
9月2日 火	臨地実習 看護研究				
9月3日 水	臨地実習 看護研究				
9月4日 木	臨地実習 看護研究				
9月5日 金	臨地実習 看護研究				

第20週

20	I	II	III	IV	V
	8:50-10:20	10:30-12:00	13:00-14:30	14:40-16:10	16:20-17:05
9月8日 月	臨地実習 看護研究				
9月9日 火	臨地実習 看護研究				
9月10日 水	臨地実習 看護研究				
9月11日 木	臨地実習 看護研究				
9月12日 金	臨地実習 看護研究				

第21週

21	I	II	III	IV	V
	8:50-10:20	10:30-12:00	13:00-14:30	14:40-16:10	16:20-17:05
9月15日 月	敬老の日				
9月16日 火	臨地実習 看護研究				
9月17日 水	臨地実習 看護研究				
9月18日 木	臨地実習 看護研究				
9月19日 金	臨地実習 看護研究				

第22週

22	I	II	III	IV	V
	8:50-10:20	10:30-12:00	13:00-14:30	14:40-16:10	16:20-17:05
9月22日 月	臨地実習 看護研究				
9月23日 火	秋分の日				
9月24日 水	臨地実習 看護研究				
9月25日 木	臨地実習 看護研究				
9月26日 金	臨地実習 看護研究				

後期

第1週

1	I	II	III	IV	V
	8:50-10:20	10:30-12:00	13:00-14:30	14:40-16:10	16:20-17:05
9月29日 月	地域看護管理論 看護研究				
9月30日 火	地域看護管理論 看護研究				
10月1日 水	大学記念日				
10月2日 木	地域看護管理論 看護研究				
10月3日 金	看護研究				

第2週

2	I	II	III	IV	V
	8:50-10:20	10:30-12:00	13:00-14:30	14:40-16:10	16:20-17:05
10月6日 月	看護研究				
10月7日 火	看護研究				
10月8日 水	看護研究				
10月9日 木	看護研究				
10月10日 金	看護研究				

第3週

3	I	II	III	IV	V
	8:50-10:20	10:30-12:00	13:00-14:30	14:40-16:10	16:20-17:05
10月13日 月	体育の日				
10月14日 火	看護マネジメント学 看護研究				
10月15日 水	看護マネジメント学 看護研究				
月曜日振替 10月16日 木	看護マネジメント学 看護研究				
10月17日 金	看護マネジメント学 看護研究				

第4週

4	I	II	III	IV	V
	8:50-10:20	10:30-12:00	13:00-14:30	14:40-16:10	16:20-17:05
10月20日 月	看護研究				
10月21日 火	看護研究				
10月22日 水	看護研究				
10月23日 木	看護研究				
10月24日 金	看護研究				

第5週

5	I	II	III	IV	V
	8:50-10:20	10:30-12:00	13:00-14:30	14:40-16:10	16:20-17:05
10月27日 月	統合実習				
10月28日 火	統合実習				
10月29日 水	統合実習				
10月30日 木	統合実習				
10月31日 金	統合実習				

統合実習：10/27～11/14のうちの2週間

第6週

6	I	II	III	IV	V
	8:50-10:20	10:30-12:00	13:00-14:30	14:40-16:10	16:20-17:05
11月3日 月	文化の日				
11月4日 火	統合実習				
月曜日振替 11月5日 水	統合実習				
11月6日 木	統合実習				
11月7日 金	統合実習				

統合実習: 10/27~11/14のうちの2週間

第7週

7	I	II	III	IV	V
	8:50-10:20	10:30-12:00	13:00-14:30	14:40-16:10	16:20-17:05
11月10日 月	統合実習				
11月11日 火	統合実習				
11月12日 水	統合実習				
11月13日 木	統合実習				
11月14日 金	統合実習				

統合実習: 10/27~11/14のうちの2週間

第8週

8	I	II	III	IV	V
	8:50-10:20	10:30-12:00	13:00-14:30	14:40-16:10	16:20-17:05
11月17日 月					
11月18日 火					
11月19日 水					
11月20日 木					
11月21日 金					

第9週

9	I	II	III	IV	V
	8:50-10:20	10:30-12:00	13:00-14:30	14:40-16:10	16:20-17:05
11月24日 月	振替休日				
11月25日 火					
11月26日 水					
月曜日振替 11月27日 木					
11月28日 金					

第10週

10	I	II	III	IV	V
	8:50-10:20	10:30-12:00	13:00-14:30	14:40-16:10	16:20-17:05
12月1日 月					
12月2日 火					
12月3日 水					
12月4日 木					
12月5日 金					

第11週

11	I	II	III	IV	V
	8:50-10:20	10:30-12:00	13:00-14:30	14:40-16:10	16:20-17:05
12月8日 月					
12月9日 火					
12月10日 水					
12月11日 木					
12月12日 金					

第12週

12	I	II	III	IV	V
	8:50-10:20	10:30-12:00	13:00-14:30	14:40-16:10	16:20-17:05
12月15日 月					
12月16日 火					
12月17日 水					
12月18日 木					
12月19日 金					

第13週

13	I	II	III	IV	V
	8:50-10:20	10:30-12:00	13:00-14:30	14:40-16:10	16:20-17:05
12月22日 月					
12月23日 火	天皇誕生日				
12月24日 水					
12月25日 木	冬季休業				
12月26日 金	冬季休業				

第14週

14	I	II	III	IV	V
	8:50-10:20	10:30-12:00	13:00-14:30	14:40-16:10	16:20-17:05
1月5日 月	冬季休業				
1月6日 火	冬季休業				
1月7日 水	冬季休業				
1月8日 木					
1月9日 金					

第15週

15	I	II	III	IV	V
	8:50-10:20	10:30-12:00	13:00-14:30	14:40-16:10	16:20-17:05
1月12日 月	成人の日				
1月13日 火					
1月14日 水					
1月15日 木					
1月16日 金					

第16週

16	I	II	III	IV	V
	8:50-10:20	10:30-12:00	13:00-14:30	14:40-16:10	16:20-17:05
1月19日 月					
1月20日 火					
1月21日 水					
1月22日 木					
1月23日 金					

第17週

17	I	II	III	IV	V
	8:50-10:20	10:30-12:00	13:00-14:30	14:40-16:10	16:20-17:05
1月26日 月					
1月27日 火					
1月28日 水					
1月29日 木					
1月30日 金					

第18週

18	I	II	III	IV	V
	8:50-10:20	10:30-12:00	13:00-14:30	14:40-16:10	16:20-17:05
2月2日 月					
2月3日 火					
2月4日 水					
2月5日 木					
2月6日 金					

第19週

19	I	II	III	IV	V
	8:50-10:20	10:30-12:00	13:00-14:30	14:40-16:10	16:20-17:05
2月9日 月					
2月10日 火					
2月11日 水	建国記念の日				
2月12日 木					
2月13日 金					

第20週

20	I	II	III	IV	V
	8:50-10:20	10:30-12:00	13:00-14:30	14:40-16:10	16:20-17:05
2月16日 月					
2月17日 火					
2月18日 水					
2月19日 木					
2月20日 金					

第21週

21	I	II	III	IV	V
	8:50-10:20	10:30-12:00	13:00-14:30	14:40-16:10	16:20-17:05
2月23日 月					
2月24日 火			前期入試準備		
2月25日 水	前期入試				
2月26日 木	前期入試				
2月27日 金					



KAGAWA
UNIVERSITY

Faculty of Medicine

2014